



## 1. 共通事項

- (1) 共通仕様  
本工事の仕様は、特記仕様書に記載してある事項の他は全て、下記による。  
国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）（最新版）」（以下、標仕）  
国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）（最新版）」（以下、改修標仕）
- (2) 質疑  
設計図書の内容に相違ある場合は現場説明事項、特記仕様書、共通仕様書、設計図書の順で解釈し、構造図は断面リストを優先する。その他の場合は監理技師又はその代理人（以下、係員という。）の指示による。
- (3) 特記仕様  
項目は、番号に○印が付いたものを適用する。  
選択する事項は○印の付いたものを適用する。○印が付かない場合は※印の付いたものを適用する。  
◎印と⊙印の付いた場合は、共に適用する。  
特記事項に記載の[...]内表示番号は、標仕の該当項目、該当図又は該当表を示す。
- (4) 提出書類 ※下記は参考であり、詳細は発注者の指示による。

- A. 契約後10日以内
- |                        |    |
|------------------------|----|
| イ. 工事請負契約書の写し          | 1部 |
| ロ. 工事着工届、主任技術者届、現場代理人届 | 1部 |
| ハ. 工事費内訳明細書、工程表、仮設計図書  | 1部 |
| ニ. 下請人名簿（決定次第提出）       | 1部 |
- B. 工事期間中
- |                                      |    |
|--------------------------------------|----|
| イ. 工事日報（毎月まとめ）                       | 1部 |
| ロ. 月間工程表、週間工程表                       | 1部 |
| ハ. 各試験結果報告書                          | 1部 |
| ニ. 工事写真（サービス版）                       | 1部 |
| ・工事着手前の敷地、既設及び隣接建物・工作物の状況、工事進捗状況（随時） |    |
| ホ. 工事進捗状況報告書                         | 1部 |
| ヘ. 工事打合記録（議事録）                       | 1部 |
- C. 工事完成時
- |  |    |
|--|----|
| イ. 竣工写真（指定アルバム）  | 2部 |
| ・撮影箇所、撮影手法、カット数は係員の指示による。                                  |    |
| ・撮影は建築写真専門の撮影業者で係員の承諾を受けた者とする。                             |    |
| ・アルバム以外に全カットをデジタルデータとしてCD-Rに焼き付け、提出する。（形式：TIFF、解像度：300dpi） |    |
| ロ. 竣工届   | 1部 |
| ハ. 使用機器の取扱説明書・保証書  | 1部 |
| ニ. 協力業者リスト   | 1部 |
| ホ. 竣工図（A2版・施工図製本）  | 1部 |
| ヘ. 工事書類（CD-Rに焼付）   | 1式 |
| ・上記書類を含む、工事に際し提出した書類等を収録する。（形式：DOC・XLS）                    |    |
| ト. 竣工図（CD-Rに焼付）  | 1式 |
| ・工事に際し承認した図面を収録する。（形式：JWW・DXF）                             |    |
| チ. その他監理者が求める書類  | 1式 |

- (5) 施工計画書 [1.2.2]  
施工計画書は、工事の施工に先立ち作成し、係員の承諾をもって施工を実施する。  
尚、提出する施工計画書の種類については事前に係員と協議をして作成する。
- (6) 施工図等 [1.2.3]  
施工図等は、工事の施工に先立ち作成し、係員の承諾をもって作成、施工等を実施する。  
また、設備工事との取り合いがある場合は、設備機器の位置、取り合い等が検討できる施工図を提出し、係員の承諾を受ける。
- (7) 化学物質の濃度測定 [1.5.9]  
工事終了後建物引渡し前に、下記に指定する居室の「ホルムアルデヒド及び揮発性有機化合物」の測定を行い報告書を提出する。  
測定方法：◎バツシブ採取 ・アクティブ採取  
測定物質：ホルムアルデヒド、ルエン、キシレン、~~スラジカロペンゼン~~、エチルベンゼン、ステレン、~~コロルピリホス~~  
~~ニタルジエノプタール~~、~~ニトラジエン~~、~~ニタルジエノヒキソル~~、~~ダイアジエン~~、~~アセトアルデヒド~~、~~フエノカガロ~~
- 測定場所：食堂兼居間、居室1、世話入室  
(計3箇所・3検体)

~~本工事では、遺体2日作業工事として、発注者は、総合施工計画書にその旨を記載すること。~~

## 2. 仮設工事

- (1) 敷地測量 [2.2.1]  
標仕による。
- (2) 家庭調査  
着工前及び工事完了後に、近隣住宅の家庭調査を行い、報告書を提出する事。調査項目は建物・工作物の、傾き及びクラックとする。工事中に発生したもについては、補修工事を行う事。（南北3軒）
- (3) 仮設物 [2.2.4]  
事前に仮設施工図を作成し、係員の承諾を得る事。  
係員用の現場事務所 ○設ける ・設けない
- (4) 足場その他  
内部足場 ○設置する（※脚立、足場板等） ・設置しない  
外部足場 ○設置する ・設置しない  
防護シート ○設置する ・設置しない
- 仮囲い等は仮設計計画図又は監督員の指示による。
- (4) 工事用水  
構内既存の施設 ※利用できない ・利用できる（※有償 ・無償）
- (5) 工事用電力  
構内既存の施設 ※利用できない ・利用できる（※有償 ・無償）

## 3. 土工事

- (1) 根切り  
所定の根切り深さで、所要な支持力が得られない場合は、余掘りとする。  
余掘りが軽微な場合は、誘負額は増額しない。
- (2) 埋戻し及び盛土 [3.2.3][表3.2.1]  
種別 ・A種 ※B種 ・C種 ・D種  
残土利用は、係員の承諾を受けた場合のみ、可とする。
- (3) 残土処分  
・場内処分 ○場外処分 ○自由 ・指定

## 4. 地業工事

- (1) 地盤調査の結果  
地盤調査報告書 ※あり ・無し  
調査項目 構造設計特記仕様書による。
- (2) 地盤の載荷試験 [4.2.4]  
係員の指示する位置 [ ]ヶ所で試験をする。 設計地耐力 [ ] kN/㎡。
- (3) 杭地業  
構造設計特記仕様書及び標準仕様書による。
- (4) 砂利地業 [4.6.2~4.6.3]  
材料 ○再生クラッシュラン（RC-40） ・切込砂利及び切込採石  
砂利厚さ ※60mm  
適用場所 ・基礎下、基礎梁下、土間コンクリート下、土に接するスラブ下  
○図示による（ ）
- (5) 捨コンクリート地業 [4.6.4][6.14.1]  
捨コンクリートの厚さ ※50mm ・ 30mm  
施工範囲 ・基礎下、基礎梁下、土に接するスラブ下  
○図示による（ ）  
設計基準強度 ※18N/mm2 ・ N/mm2  
スラブ ※15cm又は18cm
- (6) 床下防湿層 [4.6.2][4.6.5]  
材料 ○ポリエチレンフィルム厚さ0.15mm  
施工範囲 ○建物内の土間スラブ及び土間コンクリート下（ピット下を除く）
- (7) 地盤改良工法  
種類及び施工方法等 ・図示による（ ）

## 5. 鉄筋工事

- (1) 鉄筋の種類、接手、定着、かぶり厚さ、配筋 [5.2.1][表5.2.1][5.2.2][5.3.4~5]  
構造設計特記仕様書及び標準仕様書、各構造図による。 [5.5.2~3][5.3.7]
- (2) 圧接完了後の試験 [5.4.10]  
構造設計特記仕様書による。

## 6. コンクリート工事

- (1) コンクリートの使用資材による種類及び強度 [6.1.3~4][6.2.1~3]  
構造設計特記仕様書による。 [6.2.1~4][表6.2.1~2]
- (2) セメント [6.3.1]  
種類  
※普通ポルトランドセメント又は混合セメントのA種（普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210に示された規定の他、水和熱が7日目で352J/g以下、かつ28日目で402J/g以下のものとする）
- (3) 骨材 [6.3.1]  
アルカリシリカ反応による区分 ※A ・ B
- (4) 混和材 [6.3.1]  
構造設計特記仕様書による。
- (5) 寒中コンクリート [6.2.1][6.11.1]  
適用期間 日平均気温が4℃以下と予想される期間
- (6) 暑中コンクリート [6.12.2]  
適用期間 日平均気温が25℃を超えると予想される期間  
構造体強度補正值 ※6 N/mm2
- (7) 無筋コンクリート [6.14.1]  
適用箇所 [6.14.1](4)(7)~(8) による箇所
- (8) ひび割れ誘発目地、打継目地 [6.6.4][6.8.1]  
目地寸法 [9.7.3] による  
間隔・位置・形状 図示による  
必ず施工図を作成し、監督員の承諾を受ける。
- (9) コンクリートの仕上り [6.2.5]  
部材の位置及び断面寸法の許容差の標準値 [表6.2.3] による  
合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上げ  
○A種 化粧型枠コンクリート打ち放し面  
・B種 コンクリート打ち放し補修塗装面、クロス仕上面  
・C種 地下ピット等、仕上げが不要な部分
- (10) 打増し厚さ [6.8.2]  
打放し仕上げの打増し厚さ（外部に面する部分に限る） ○20mm  
打放し仕上げの打増し厚さ（内部に面する部分に限る） ・10mm ・15mm ・20mm
- (11) 型枠 [6.8.3][表6.8.1]  
材料及び厚さは、構造設計特記仕様書による。  
スリーブの材種 [表6.8.1] による
- (12) 地下ピット部  
地下ピット部コンクリート（GL以下）は防水セバを使用し、打継ぎ箇所は止水板をを入れて水の浸透を防ぐものとする。止水板位置は係員の承諾を受ける。

## 7. 鉄骨工事

- (1) 下記の事項は、標仕7章及び構造設計特記仕様書、鉄骨構造標準図による。  
鉄骨製作工場、鋼材、高力ボルト、普通ボルト、溶融亜鉛めっき高力ボルト、アンカーボルト、ターンバックル、デッキプレート、スタッド、製作精度、溶接接合、溶接部の試験、錆止め塗装、梁貫通孔の補強
- (2) 柱底均しモルタル [7.2.9]  
モルタルの種類 ※無収縮モルタル
- (3) 仮組 [7.3.10]  
・行わない ・行う
- (4) 耐火被覆 [7.9.2~8]  
※材料及び工法は建築基準法に基づき指定又は認定を受けたものとする。  
種別、性能及び適用箇所
- | 種別      | 材料・工法                         | 適用箇所 |
|---------|-------------------------------|------|
| ・耐火材吹付け | ・乾式吹付けロックウール<br>・半乾式吹付けロックウール |      |
| ・耐火塗料   | ・耐火塗装 平滑仕上<br>(メーカー責任施工)      |      |
| ・耐火板張り  | ・繊維混入けい酸砂浆板                   |      |
| ・耐火材巻付け | ・高耐熱ロックウール                    |      |
- 性能（耐火時間等）は、法チェック図 による

- (5) アンカーボルトの保持及び埋込み工法 [7.10.3]  
構造用アンカーフレームの形状及び寸法
- 建方用アンカーボルトの保持及び埋込み工法 [表7.10.1]  
種別 ・A種 ※B種  
柱底均しモルタルの厚さ及び工法の種類  
※[表7.10.2]（※A種[たゆみ厚さ50] ・B種[たゆみ厚さ30]）による

- (6) 軽量形鋼 [7.11.2]  
接合部（ボルト接合の場合） 普通ボルト接合  
溶融亜鉛めっき（基礎、主要構造部及びその他構造耐力上主要な部分に限る） [7.12.4][表14.2.2]
- | 種別 | 材料                        |
|----|---------------------------|
| A種 | 最小板厚6.0mm以上の形鋼、鋼板         |
| B種 | 最小板厚3.2mm以上、6.0mm未満の形鋼、鋼板 |
| C種 | 最小板厚2.3mm以上、3.2mm未満の形鋼、鋼板 |
- 素地ごしらえは、J I S H 8 6 4 1 による

## 8. コンクリートブロック、ALCパネル及び押出成形セメント板工事

- (1) コンクリートブロック横壁及び壁ブロックの種類 空洞ブロックC [8.3.2、3]
- (2) ALCパネル [8.4.2~5]  
厚さ、長さ、構法の種別は、下記によるもの、又は同等品で係員の承諾したものとする。  
・  
・  
取り合い部の目地幅 20mm
- (3) 押出成形セメント板（ECP） [8.4.2~5]  
厚さ、長さ、構法の種別は、下記によるもの、又は同等品で係員の承諾したものとする。  
・  
・  
パネル相互の目地幅 長辺8mm、短辺15mm  
パネル接合目地の目地幅 15mm

## 9. 防水工事

- (1) 一般事項  
防水施工者は、請負業者と連名で施工保証書及び製品保証書を提出する。  
保証書の保証期間は、10年とする。
- (2) 品質等  
施工完了後の漏水試験（項目3~4の場合） ・行う ◎行わない  
試験方法 防水層立上りまで水張り後、24時間以上経過した時点で係員の立会い検査を受ける事。
- (3) アスファルト防水 [9.2.2~5][表9.2.3~9]  
種別及び適用箇所
- | 種別 | 施工箇所 | 参考工法・メーカー |
|----|------|-----------|
|    |      |           |
|    |      |           |
|    |      |           |
- ・押え金物 アルミ製 L-30×15×2.0 ・溶接金物 6φ-100×100  
・断熱材 50mm ・伸縮調整目地 成形伸縮目地 [表9.2.1]
- ・脱気装置 ステンレス製
- (4) 改質アスファルトシート防水 [表9.3.1~3]  
種別及び適用箇所
- | 種別     | 施工箇所      | 参考工法・メーカー                                    |
|--------|-----------|--|
| ○AS-J1 | 屋上防水(ポーチ) | ストライプ工法 フラット仕上 WFX-025-TH(水透) t=1.4 田島ルーフィング |
|        |           |  |
|        |           |  |
- ・押え金物 アルミ製 L-30×15×2.0  
・断熱材 硬質ウレタンフォーム 2種1号 50mm  
・脱気装置 ステンレス製

- (5) 塩化ビニル樹脂系シート防水 [9.4.2~4][表9.4.1~3]  
種別及び適用箇所
- | 種別 | 施工箇所 | 参考工法・メーカー |
|----|------|-----------|
|    |      |           |
|    |      |           |
|    |      |           |
- ・脱気装置 ステンレス製  
・絶縁シート 発泡ポリエチレンシート  
・その他
- (6) 塗膜防水 [9.5.3][表9.5.1、2]  
種別及び適用箇所
- | 種別 | 施工箇所 | 参考工法・メーカー |
|----|------|-----------|
|    |      |           |
|    |      |           |
|    |      |           |

- (7) シーリング [9.7.2、3][表9.7.1]  
標仕[表9.7.1]による。  
ただし、外壁タイル接着剤張りの場合のシーリングは11章に、カーテンウォールの場合のシーリングは17章による。

- ポリマーセメント系塗膜防水
- |  | 施工箇所 | 参考工法・メーカー |
|--|------|-----------|
|  |      |           |
|  |      |           |
|  |      |           |

- (7) シーリング [9.7.2、3][表9.7.1]  
標仕[表9.7.1]による。  
ただし、外壁タイル接着剤張りの場合のシーリングは11章に、カーテンウォールの場合のシーリングは17章による。

## 10. 石工事

- (1) 施工 [10.1.3、5]  
石材の割り付け 図示  
室内の床を本磨きとする場合のワックス掛けは行わない
- (2) 石材等 [10.2.1、3][表10.2.1、2]  
大理石・御影石等の仕様等は、下記の表と図面による。
- | 施工箇所 | 品質  | 種類・品名 | 寸法(mm) | 厚さ(mm) | 表面仕上げ |
|------|-----|-------|--------|--------|-------|
| 玄関   | 中等品 | 御影石   | 60     | 25     | 本磨き   |
|      |     |       |        |        |       |
|      |     |       |        |        |       |
- 製作所
- 石材は上記より見本品を提出の上、決定する。
- (3) 床及び階段の石張り [10.6.2、3]  
床石張りの裏面処理 ・適用する ・適用しない  
階段張りの裏面処理 ・適用する ・適用しない  
目地 一般目地 目地幅 図示  
シーリング材及び伸縮調整目地 ・適用する ・適用しない

## 11. タイル工事

- (1) 品質等 [11.2.2][11.3.2]  
タイルの種類等は、下記の表と図面によるもの、又は同等品で係員の承諾したものとする。
- | 施工箇所         | 種類・品名                      |      |
|--------------|----------------------------|------|
| タイル(玄関・ポーチ床) | 磁器質、300×300角、メトロポリスEX t=14 | リクシル |
|              |                            |      |
|              |                            |      |
- (2) 傾斜路・段鼻部分  
図面に明記無くとも、傾斜路・段鼻部分のタイルは、平部分のタイルと色を変えて貼り分ける。
- (3) 役物  
図面に明記無くとも、係員が必要と認めた箇所には、役物を使用する。
- (4) 目地材  
内装壁部の目地材は、イナメジカラー、スーパークリーン、又は同等品で係員の承諾を得たものとする。  
特記なき目地材については、係員の承諾を得たものを使用する。
- (5) 伸縮調整目地  
図面に明記無くとも、係員が必要と認めた箇所には、伸縮調整シーリングを施す。
- (6) 石・タイルの割付図を提出し、係員の承諾を受けること。

## 12. 木工事

- (1) 材料・工法  
図面に明記なき材料は下記の表により、工法は標仕[12.2.1]による。
- | 化粧材       |       |     | 野物材                                 |          |       |
|-----------|-------|-----|-------------------------------------|----------|-------|
| 施工箇所      | 樹種    | 塗装  | 施工箇所                                | 樹種       | 塗装    |
| 中本        | ゴム集成材 | NWP | 汐・タ・ミ・書                             | 松        | 白木WAX |
| カーテンボックス  | △     | △   | 見切り                                 | ゴム集成材    | NWP   |
| コーナーガード a | △     | △   | 階段段板                                | 堅木集成材(杉) | UC    |
| コナリ・ガド b  | △     | SOP | 化粧柱(構造材)                            | 構造図による   | NWP   |
| 入口枠・顔縁 a  | △     | NWP | 化粧梁(構造材)                            | 構造図による   | 準不燃処理 |
| 入口枠・縦縁 b  | △     | SOP | a. 塗装にて木地が見える場合<br>b. 塗装にて木地が見えない場合 |          |       |
- (2) 水がかり部  
水がかりのおそれがある場合は、上記の表に関係なく検材を使用する。
- (3) 防蟻・防蟻処理 [12.3.1、2]  
コンクリート・コンクリートブロック等に接する部分、水がかりのおそれのある部分は、下記による。  
・工場における薬剤の加圧注入処理  
JASの保存処理（K1を除く）の規格に適合する保存処理材  
JIS A 9108（土台用加圧式防蟻処理木材）の規格に適合する保存処理材  
JIS K 1570に定める加圧注入用木材防蟻剤、又は（社）日本木材保存協会認定加圧式防蟻処理を行った木材  
認証木質建材（A0マーク表示品）として認証された保存処理材  
○薬剤の塗布（FL+1.0mまでの軸組柱及び引柄材も含む）  
JIS K 1570（木材防蟻剤）に適合するクレオソート油の規格品又は（社）日本木材保存協会認定の防蟻剤（社）しるあり対策協会又は（社）日本木材保存協会認定の防蟻・防蟻剤
- (4) 白木部分には、特記無くとも白木ワックスを施す。
- (5) 建物外部に露出する木部は、特記無くとも木材保護塗料（WP）を施す。

## 13. 屋根及びびとい工事（板金工事）

- (1) 一般事項  
屋根施工者は請負業者と連名で、施工保証書及び製品保証書を提出する。  
保証書の保証期間は、上記仕様においては10年とする。
- (2) 材料・工法 [13.2.2、3][13.3.2、3]  
屋根材の仕様等は、下記によるもの、又は同等品で係員の承諾したものとする。
- | 種類          | 仕様  | 製作所    |
|-------------|---|--------|
| 耐候性鋼板 立ハゼ葺  | 立断SX-40(化粧キャップレス)<br>カラーガルバリウム鋼板 t=0.5(連熟)<br>雪止金物(羽根付)(千鳥/1面2列): SUS焼付塗装 | 三晃金属工業 |
| 軒種          | サーフェスケアFS-II型   | パナソニック |
| TT1: アルミ製壁種 | アルトイ丸型 バンドレス 60φ 焼付塗装   | 井上商事   |
| TT2: 塩ビ製壁種  | 丸たてとい 75φ   | パナソニック |
|             |   |        |
- (3) とい [13.5.2、3]  
材種 壁種 ○硬質ポリ塩化ビニル管（カラーV.P） ○アルミ製 ・配管用鋼管  
・ステンレス製 ・高耐候性塗装ガルバリウム製  
軒種 ○硬質塩化ビニル ・表面処理鋼板  
留め金物はステンレス製とする。  
アルミ製の場合は、バンドレスとする。（井上商事 同等品）  
鋼管製といの防露巻き  
・適用する（工法：標仕 表13.5.3） ・適用しない
- (4) ルーフドレン  
施行場所は図示とし、鋼鉄製を原則とする。  
種別 ○陸屋根用（○縦型 ・横型） ・バルコニー用 ・バルコニー中継用

## 1 4 . 金 属 工 事

- ① 軽量鉄骨下地  
スタッド高さによる区分  
高さ2.7m以下：50型 高さ4.0m以下：65型  
高さ4.0m超え4.5m以下：90型 高さ4.5m超え5.0m以下：100型  
その他スタッド、ランナーの種類等は標準仕様書〔表14.5.1〕による。  
スタッドの高さが5.0mを超える場合 スタッド間隔#303
- 吊りボルト 配置間隔 #900mm 壁際は端から150mm以内に配置  
野縁受け 配置間隔 #900mm  
野縁 配置間隔 #303mm  
・天井横が1.5m以上3.0m以下の場合は、水平補強は、タテヨコに1.8m間隔に補強材を配置すること。  
斜め補強は、相対する斜め材を1組とし、タテヨコに3.6m間隔に配置すること。  
・天井横が3.0mを超える場合は、鉄骨天井下地（図示）を設けること。

- ② 品質等  
同等品で係員の承認したものとす。

種 類	仕 様	製 作 所
テラス屋根	ソラリア W=5,490 D=1,876.5(耐積雪性能1500N/m <sup>2</sup> ) 吊り下げ式固定物干し(ワイド)	Y K K A P
アルミ庇	AF72 W=5,600 D=280	アルフィン
天井点検口	CMJ45 450×450(アルミ枠スリムタイプ)	杉田エース
埋込消火器ボックス	UFB-1F-3013	ユニオン
室内物干し金物	ホスクリーン QSC-15 (ポール共)	川口技研
ビクチャーレール	天井埋込付型 T-3N T/TCフック306 SUSハンガー1カ所/m共	トーソー
塩ビ製手すり	ビニレール	ナカ工業
郵便受け	サインポスト クリアSF	パナソニック
S U S 小 屋 裏 換 気 口	サインポスト クリアSF	パナソニック

- (3) アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理 [表14.2.1]
- | 種別 | 施工箇所(成形板、笠木、建具以外) | 色合い等 | 皮膜又は皮膜の種類 |
|----|-------------------|------|-----------|
|    |                   |      |           |
|    |                   |      |           |
|    |                   |      |           |

## 1 5 . 左 官 工 事 ・ 吹 付 工 事

- ① モルタル塗  
特記無き場合は、金ゴテ押えとする。
- ② ひび割れ防止  
特記無くとも、床のモルタル仕上部分、下地が異なる部分等でひび割れのおそれのある部分は、必要に応じて目地又は見切線を設けるなど、係員の指示に従って適当な処理をする。
- ③ 建具枠廻り  
外部廻りの建具枠廻りは、防水モルタル トロ積めを施し、周囲(巾≧300)に塗布防水を施し、雨水の浸透を防ぐ。
- ④ セルフレベリング材塗り [15.5.2.3][表15.5.1]  
種別 ・セッコウ系 ○セメント系  
塗厚 ・10mm ○図示

- (6) 仕上塗材仕上げ [15.6.2]
- | 略号・施工箇所 | 仕 様 | 商品名・製作所 |
|---------|-----|---------|
|         |     |         |
|         |     |         |
|         |     |         |
|         |     |         |

- (6) A L C パネルの下地処理 [15.6.4]  
内壁目地の形状 ※V形目地付き
- (7) マスチック塗装塗り [15.6.4]  
種別 ・A種 ・B種(仕上材塗り：EP-G ※B種 ・A種)
- (8) ロックウール吹付け [15.12.4]  
吹付け厚さは図示による。

## 1 6 . 建 具 工 事

- ① アルミニウム製建具  
性能 外部に面する建具の種類 A種とする。  
枠の見込み寸法は建具表による  
表面処理 外部に面する建具 種別 BB-1種、屋内の建具 種別 BC-1種
- ② 網戸等  
○建具表特記による。  
・防虫網 ステンレス(SUS316)製 線径0.25mm 16〜18メッシュ  
・防鳥網 ステンレス(SUS304)線材 線径1.5mm 網目寸法15mm
- ③ 鋼製建具  
外部に面する建具の耐風圧性 S-4  
鋼板類の厚さ 標仕 表16.4.2による
- ④ 鋼製軽建具  
鋼板類の厚さ 標仕 表16.5.1による  
召合せ、縦小口包み板の材質 鋼板
- ⑤ ステンレス製建具  
表面仕上げ ○HL ・鏡面  
ステンレス鋼板の曲げ加工 ○普通曲げ ・角出し曲げ

- ⑥ 木製建具  
建具材の加工、組立時の含水率 B種  
フラッシュ戸 表面材の合板の種類は特記なき限り、シナ(耐水Ⅱ類)とする。  
かまち戸 かまち及び鏡板の樹種は建物表による。  
見込み寸法 ・36mm ○建具表 による。  
~~ふすま 横りの種類 ・Ⅰ型 ・Ⅱ型~~  
~~上張り ・鳥の子 ・新鳥の手又はビニル紙程度 押入等の裏側は雲花紙程度~~  
~~縁柱 ・塗り縁 ・生地縁(床地) ・生地縁(ウレタンクリア塗装)~~  
~~両込み寸法 ・19.5mm ・建具表 による~~  
~~戸ふすま 見込み寸法 ・30mm ・建具表 による~~  
~~紙張り障子 見込み寸法 ・30mm ・建具表 による~~

- ⑦ 鍵  
グランドマスターキー ○作製する ・作製しない マスターキー ○作製する ・作製しない  
鍵の製作本数 各室3本1セット(室名札付き)  
鍵柄 鋼製 ・10 ・20 ・30 ○60 ・120 ・200 本用
- (8) 自動ドア開閉装置  
各種装置の性能値は 標仕 表16.9.1 16.9.2 16.9.3 による  
引き戸用検出装置の種類 センサーの種類 ・光線(反射)センサー ・非接触タッチスイッチ  
取付形式 ・無目下取付(内蔵) ・天井取付 ・無目取付
- (9) 自閉式上吊り引戸装置  
装置の性能値等は 標仕 表16.10.1 による
- (10) 重量シャッター  
シャッターの種類 ・管理用シャッター 耐風圧強度( ) N/m<sup>2</sup>  
・外壁用防火シャッター 耐風圧強度( ) N/m<sup>2</sup>  
・屋内用防火シャッター  
・防煙シャッター  
開閉方式の種類 ・上部電動式(手動併用) ・上部手動式  
屋内用防火シャッター若しくは防煙シャッターの危害防止機構は建省第2563号に定める基準に適合するもの  
スラット及びシャッターケース用鋼板  
鋼板の種類 ・JIS G 3302 (溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯)  
・JIS G 3312 (塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯)  
めっきの付着量 Z12又はF12
- (11) 軽量シャッター  
開閉方式の種類 ・上部電動式(手動併用) ・上部手動式  
耐風圧強度( ) N/m<sup>2</sup>  
スラットの形状 ・インターロッキング形 ・オーバーラッピング形

## 1 7 . ガ ラ ス 工 事

- ① 材料  
ガラスは係員の承認したものとし、仕様は図面による。
- ② シーリング  
a. シリコン系(高モジュラス)：ガラス突付け  
b. シリコン系(低モジュラス)
- ③ ガラス用フィルム  
衝撃破壊対応ガラス飛散防止フィルム GI-1(内貼り)  
フィルムの厚みは100μm以下とする。

## 1 8 . 塗 装 工 事

- ① 種別・塗装回数  
塗装回数は下記の表による。塗装の種類は下記のものとする。又は同等品で係員の承認したものとす。  
メーカー等の表示無き場合の材料は係員の承認したものとす。
- | 略号      | 種別 | 仕 様   |
|---------|----|---|
| ○ 網止メ A | A  | 鉛・クロムフリー網止メ JIS K5674   |
| ○ 網止メ B | D  | 変性エポキシ樹脂系網止メ JIS K5551  |
| ○ S O P |    | 合成樹脂脂合ペイント JIS K5516  |
| ・ C L D |    | クリアラッカー塗り   |
| ○ N A D |    | アクリル樹脂系非水分散形塗料  |
| ○ D P 1 | B  | 超低汚染・弱溶剤形フッ素樹脂塗装(クリーンマイルドフッソ)<br>(屋外鉄部) 下塗:ミラクボウセイ 1回塗り 上塗:クリーンマイルドフッ素 2回塗り エスケー化研            |
| ・ D P 2 | B  | 超低汚染・超耐久NADアクリルシリコン樹脂塗装(クリーンマイルドシリコン)<br>(室内鉄部) 下塗:マイルドサビガード 1回塗り 上塗:クリーンマイルドシリコン 2回塗り エスケー化研 |
| ・ D P 3 | B  | 超低汚染型NAD特殊ポリウレタン樹脂塗料(クリーンマイルドウレタン)<br>(室内鉄部) 下塗:SKマイルドボウセイ 1回塗り 上塗:クリーンマイルドウレタン 2回塗り エスケー化研   |
| ○ E P   |    | 合成樹脂系エマルジョン塗料 JIS K5663 1種(シリコン系)<br>既設上塗の場合はシーラー処理を行う事                                       |
| ○ U C   |    | ウレタン樹脂ワニス塗り   |
| ・ W P A | A  | 外部木材保護塗料  |
| ・ V E   |    | 溶剤型塩化ビニール樹脂系塗料 JIS K5581・JIS K5582・JIS K5583  |
| ○ N W P |    | 内部木材保護塗料  |
|         |    |   |
|         |    |   |
- ※ 鉄部については特記無きとも、網止メ2回塗下地とする。

- (2) 材料・仕様  
吹付材・塗装材の材料は下記の仕様、又は同等品で係員の承認したものとす。
- | 略号  | 仕 様          | 商品名・製作所                  |
|-----|--------------|--------------------------|
| H P | 超耐久性カラー仕上撥水剤 | ランデックスコートWS疎水剤B工法 大日技研工業 |
|     |              |                          |
|     |              |                          |
|     |              |                          |
|     |              |                          |
|     |              |                          |

## 1 9 . 内 装 工 事

- ① 特記事項  
・ シックハウス対策(建築基準法 法第28条の2関係)に基づいた、仕上材・接着剤を用いる。  
・ G B - R の 塗 装 及 び 壁 紙 仕 上 げ の 目 地 処 理 は 継 目 処 理 ( ベ ル エ ヱ ジ ) と す る 。  
・ G B - R の 出 隅 部 分 に は 全 て コ ー ナ ー 補 強 材 を 入 れ る 。  
・ ビニル床シート・タイルの接着剤はエポキシ樹脂系とする。  
・ ビニル床シートは熱溶接工法とする。  
・ G B - R 下 地 に 壁 紙 や E P 仕 上 と な る 場 合 で 、 連 続 し た 壁 面 及 び 天 井 面 の 長 さ が 8 m を 超 え る 場 合 は 、 ク ラ ッ ク を 吸 収 で き る よ う 4 m 以 内 ご と に ス リ ッ ト で 見 切 り を 設 け る も の と す る 。  
・ G L 工 法 と L G S 下 地 等 、 異 な る 下 地 の 壁 G B - R 等 が 面 で 連 続 し て 納 ま る 場 合 、 一 方 の G B - R を 他 方 下 地 側 に 巾 4 0 0 以 上 貼 り 延 ば し 、 他 方 下 地 と ビ ス ・ 接 着 剤 併 用 等 に て 堅 固 に 固 定 す る 。

- ② 材料  
各材料の種類・製作所は下記のもの、又は同等品で係員の承認したものとす。  
各材料の工法は各製作所の指定するもので、係員の承認したものとす。  
可能な限り、県産材の使用に努めること。
- |               |  |        |
|---------------|--|--------|
| G F           | ケアセーフNW  | 東リ     |
| F S 1         | フロアリウム マーブルNW  | 東リ     |
| F S 2 ( W C ) | 消臭NSTフレンNW   | 東リ     |
| F S 3         | ケアセーフNW  | 東リ     |
| 乾式断熱二重床       | フリーフローEP-F (断熱材t=30)   | フクビ    |
| G B - R       | タイガーボード  | 吉野石膏   |
| G B - D       | タイガーハイクリンジブトーン・ライト   | 吉野石膏   |
| G B - S       | タイガー防水ボード  | 吉野石膏   |
| 壁紙            | ビニルクロスAA級  | サンゲツ   |
| 塗装 F K        | D 1 C フネン ソリッドカラー<br>(プレミアムカラーを含む) t=6 3×8(910×2,420)<br>※ジョイントは平目地T 6 (指定色) | D I C  |
|               |  |        |
| GW            | t=100 (24kg/m <sup>3</sup> ) M J マット   | マジソペール |
|               |  |        |
| 化粧サイディング A    | モエンエクセラード16 コルモストーン調 t=16(縦張)  | ニチハ    |
| 化粧サイディング B    | モエンエクセラード16  | ニチハ    |
| 化粧サイディング C    | ヴィンテージウッドプレミアム t=16(縦張)<br>モエンエクセラード16 Vシリーズ<br>ルビドフラットV                     | ニチハ    |
|               |  |        |

## 2 0 . ユ ニ ッ ト 及 び そ の 他 工 事

- (1) 各製品の仕様・製作所は下記のもの又は同等品で係員の承認したものとし、各工法は各製作所の指定するもの  
○システムキッチン シエラ、壁付1型、L=2,700、シングルレバー水栓  
ステンレストップ、ベニシユラ用レンジフード  
3ロ1H、グリル  
フロントオープン食洗器 W=600 (パナソニック) ——リクシル
- U B 1 [詳細図 参照]  
○ U B 2 [詳細図 参照]  
○ U S [詳細図 参照]  
○ 遮湿防水シート スーパーエアテックス P01 ——フクビ化学工業  
○ 土気気密シート SK-1010-L100 4mm厚タイプ ——城東  
○ 軒天換気材 FV-E06-1-L18 ——城東  
○ 壁内換気材 ep45 軒ゼロ ——日本住環境  
○ 消火器10型 A B C 1 0 型 S P - 1 0 X 2ヶ所 ——富士

## 2 1 . 排 水 工 事

## 2 2 . 舗 装 工 事

- ① 外構の詳細等は、外構図によるもの、又は同等品で係員の承認したものとす。

## 2 3 . 植 栽 及 び 屋 上 緑 化 工 事

- ① 外構の詳細等は、外構図によるもの、又は同等品で係員の承認したものとす。

## 2 4 . そ の 他

- ① 設計変更  
標仕1〜5の設計変更で、承認を受けずに施工した部分の工事費増額分は施工者の負担とする。
- ② その他  
設計者・監理者は、関係者相互間の意志不疎通により生じた問題では、その金銭的な責任を問われない。
- ③ 現場事務所の設備  
オンライン打合せ等が行えるように、現場事務所にはWi-Fi等のインターネット環境及びWebカメラ、スピーカー等を整備すること。
- ④ 祭事・式典  
起工式、その他の祭事・式典は発注者と協議の上、決定する。
- ⑤ 引渡し後の検査  
請負業者は引き渡し後、1年検査及び2年検査に立ち会う。
- ⑥ 契約用・工事用の図面の複写代は請負業者の負担とする。
- ⑦ 請負業者は監理者に確認の上、A3版製本 2部、A4版製本 2部を提出する。
- ⑧ 着工後、速やかに係員の指示により下記の看板を取り付ける。  
a. 設計事務所指定看板 ( 1 . 8 0 0 × 9 0 0 ) 1枚  
b. 工事看板シート(仮囲シートに取付。) 1枚  
・工事名称表示・設計事務所表示 ( 5 . 4 0 0 × 1 . 8 0 0 ) 各1枚

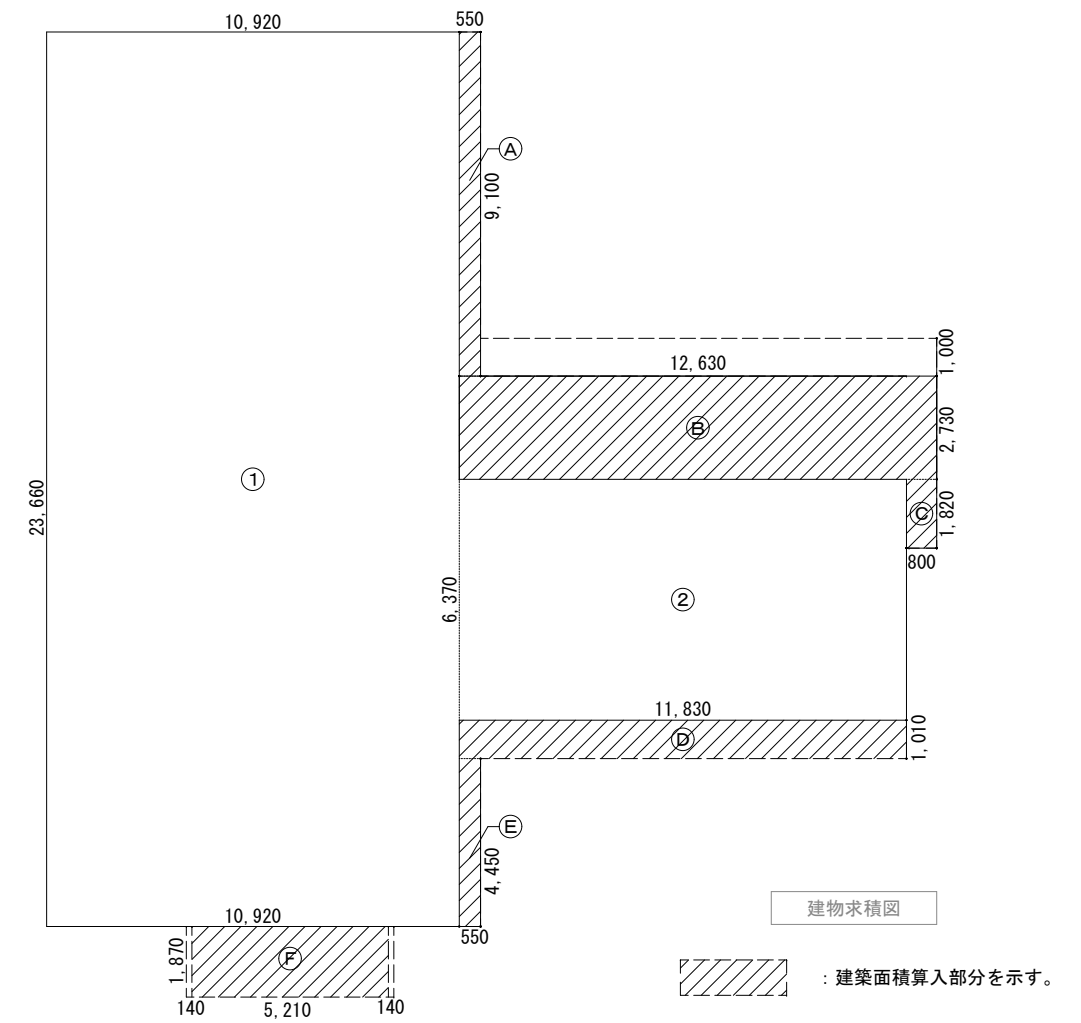
- ⑨ 廃材処理  
工事中に発生した廃材は全て、「建設リサイクル法」、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」等関連法規・条例等に基づいて元請業者の責任において適切に処理し、報告書を提出すること。
- (10) 解体施工の処理  
解体に伴う発生材の処分は「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」その他関係法令等(岐阜県条例等)に従い適切に処理を行うこと。  
撤去範囲内については建物の内外に関わらず、既設設計図に記載がなく竣工後に取付けた通路庇や家具、設備機器や設備の配管及び配線等、外構の隠蔽側溝やコンクリートガラ、マンホール等、本工事の範囲内にて処理すること。  
又、P C B 混入可能性のある電気設備や空調のフロンガス等は、関係法令に従い適切に処理を行うこと。
- (11) 建築物の解体等における石綿(アスベスト)対策  
石綿障害予防規則(厚生労働省・都道府県労働局・労働基準監督署)、労働安全衛生法、大気汚染防止法、大気汚染防止法の一部を改正する法律、廃棄物の処理及び清掃に関する法律等(岐阜県条例等を含む)最新版の関係法令を遵守して工事を行うこと。  
事前の報告書以外の建材に含有が認められる場合については、関係者と協議を行い、適切に処理を行うこと。

## 工 事 区 分 表

項目	建 築	電 気	機 械	別 途	備 考
1 建築工事による躯体貫通スリーブ、穴あけ及び補強	○				
2 各設備工事による躯体貫通スリーブ、穴あけ	○	○	○		
3 同上補強	○				
4 建築工事による下地壁、天井の穴あけ及び補強	○				
5 各設備工事による下地壁、天井の穴あけ		○	○		
6 同上補強	○				
7 天井・床・PS 点検口	○				
8 建築工事による区画及び隔壁の貫通処理	○				
9 各設備工事による区画及び隔壁の貫通処理			○	○	
10 電力会社外線工事負担金				○	
11 T E L ・ T V ・ 機 械 引 込 工 事 負 担 金				○	
12 雨水管種、ドレイン	○				
13 雨水管種(埋設以降)から横引き管(第1棟まで)及び接続	○				
14 外構側溝及び集水溝	○				
15 外壁取付ガラリ及びダクト接続用アンクルピース	○				
16 同上接続ダクト及びチャンパー			○		
17 鍵(建築図に実線記載のあるもの)	○				
18 衛生器具(WC手摺を含む)			○		
19 手摺(建築図に実線記載のあるもの)	○				
20 WC手摺・衛生器具の取付補強下地	○				
21 キッチン、システムキッチン	○				
22 同上電源			○		
23 同上水栓器具			○		
24 同上配管配線及び接続			○		
25 屋上設備基礎	○				
26 屋外設備基礎(外灯用)			○		
27 屋外設備基礎(上記以外)	○				H鋼架台は機械工事
28 同上2項目のアンカーボルト			○		
29 空調機器・空調換気扇、同ダクト・配管接続・リモコンスイッチ			○		電源、換気扇スイッチ(配線共)は電気工事
30 同上配管・配線			○		※強弱スイッチは機械工事支給の上、設置及び配線は電気工事
31 消火器収納ボックス	○				
32 消火器収納ボックス(屋内消火栓箱込みタイプ)			○		
33 消火器本体(A B C 消 火 器 1 0 型)	○				
34 防火戸、防煙垂れ壁、電動シャッター	○				
35 同上電源			○		
36 電動ロールスクリーン、電動オーニングメント	○				
37 同上電源			○		
38 電気錠			○		
39 同上電源			○		
40 エレベーター・小荷物昇降機	○				
41 同上電源			○		
42 太陽光発電パネル	○				
43 同上架台・ジョイント・押え目地材	○				
44 同上配線各種・付帯システム一式	○				
45 架台取合い屋根水切り			○		
46 架台下地補強	○				
47 出入口排水溝	○				
48 同上排水目皿及び配管			○		
49 警備保障工事的配管			○		
50 警備保障機器設置、同配線及び接続			○		○
51 L A N 工 事 の 配 管 配 線 及 び H U B 設 置			○		
52 地下ビッド内タラップ	○				
53					
54					
55					
56					
57					
58					
59					
60					



法チェック図



建物求積図

：建築面積算入部分を示す。

**凡例**

防火上主要な間仕切り壁 (令114条2項・建告第1358号)  
 (木下地: GB-R t=12.5 + GB-R t=9.5 両面貼)  
 ※床・開口上端から小屋裏又は天井裏まで  
 消火器(ABC10型)を示す。※埋込消火器B O X  
 令125条 屋外への出口

※界壁・防火上主要な間仕切り壁貫通部は、令129条の2の4第7項による。  
 ※間仕切 (防火区画) を給排水管・配電管等が貫通する場合の措置は、令112条第20項の規定による。  
 ※間仕切 (防火区画) を排気管のダクトが貫通する場合の措置は、令112条第21項の規定による。  
 ※隔壁は令114条3項二号 (壁及び天井仕上げ難燃材料以上) により不要とする。  
 ※洗濯室は継続的な利用が無いため非居室として扱う。  
 脱衣1・2・3及びUB1・2、USについては介護利用がないため非居室として扱う。  
 ※入居者の障害区分が4~6の人数が入居人数の8割以上である為、消防法施工令別表第1の6項(ロ)とする。

1階 (避難階)	歩行距離 (m)	
居室6 ~出口	5.700 + 12.900 + 1.700 + 3.500	= 23.800 ≤ 60.000
居室9 ~出口	5.300 + 12.000 + 2.000 + 1.700 + 3.500	= 24.500 ≤ 60.000

令112条20項及び令129条の2の4の規定による  
 準耐火構造の区画貫通部措置: 給水管等の配管

(a) 貫通部において保温が不要ない配管  
 1,000 1,000  
 ロックウール保温材  
 又はモルタルを充填  
 不燃材料の配管

(b) 貫通部において保温が必要な配管  
 1,000 1,000  
 ロックウール保温材  
 ロックウール保温材  
 又はモルタルを充填  
 不燃材料の配管  
 保温材

不燃材料以外の配管が防火区画を貫通する場合は、  
 大臣認定の防火区画貫通部耐火処置部材を使用する事。  
 認定番号 壁: PS060WL-0027

計算式				各階床面積
1階	①	10.920 × 23.660 =	258.367	
	②	11.830 × 6.370 =	75.357	
	計		333.724	
延べ床面積				333.72 m <sup>2</sup>

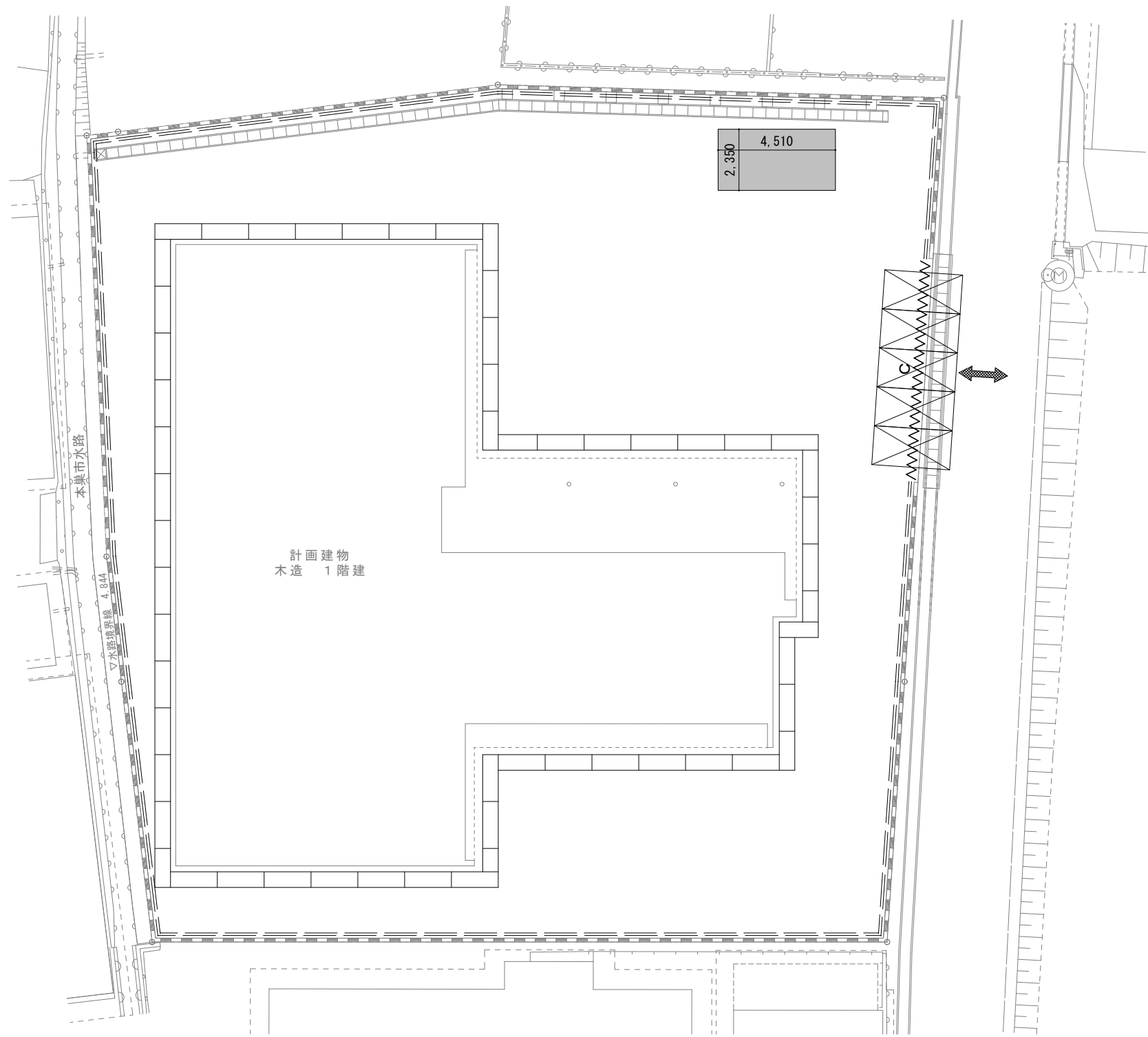
計算式				
1階 延べ床面積		=	333.724	
①	0.550 × 9.100 =		5.005	
②	12.630 × 2.730 =		34.57	
③	0.800 × 1.820 =		1.456	
④	11.830 × 1.010 =		11.948	
⑤	0.550 × 4.450 =		2.448	
⑥	5.210 × 1.870 =		9.74	
計			398.891	
建築面積				398.89 m <sup>2</sup>

工事名称	(仮称)本巣グループホーム 新築工事		
建築場所	岐阜県本巣市政田竹後781番、782番3	基準建ぺい率/容積率	60% / 200.00%
防火地域	指定無し(22条区域外)	計画建ぺい率/容積率	39.89% / 33.37%
用途地域	田園居住地域	敷地面積	999.85 m <sup>2</sup>
主要用途	障がい者向けグループホーム	建築面積	398.89 m <sup>2</sup>
構造	木造	延床面積	333.72 m <sup>2</sup>
階数	地上 1階建て	別途工事	
主要構造部	その他	備考	
地業			

外部仕上表	屋根・庇	CP t=24 + ゴムアスシート t=1.0 + 耐候性鋼板 t=0.5 立ハゼ葺			軒裏	軒裏: FK t=6 + NAD		
	外壁	外壁1: CP t=12 + 透湿防水シート + 通気胴縁 t=18(タテ) + 化粧サイディングA t=16			巾木	OC + HP		
		外壁2: CP t=12 + 透湿防水シート + 通気胴縁 t=18(ヨコ) + 化粧サイディングB t=16						
		外壁3: CP t=12 + 透湿防水シート + 通気胴縁 t=18(タテ) + 化粧サイディングC t=16						
断熱仕様 (断熱範囲: 断面詳細図参照)	屋根	スタイロフォーム t=50	天井	GW t=100	外壁	GW t=100	床	スタイロフォーム t=30

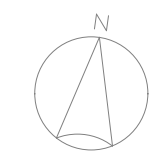
階	室名	内部仕上表							備考
		床 仕上	巾木 仕上	H	壁 仕上	天井 仕上	H	廻縁	
1階 共用部 管理者17	玄関	Mコテ + タイル	タイル	60	GB-R t= 9.5 + 12.5 + 壁紙	GB-R t=9.5 + 壁紙	2,400	スリット	
		SL + FS3	塩ビ製	60					
	廊下1・2・3	SL + FS3	塩ビ製	60	GB-R t= 9.5 + 12.5 + 壁紙	GB-R t=9.5 + 壁紙	2,400	スリット	
	食堂兼居間 キッチン	SL + FS3	塩ビ製	60	GB-R t= 9.5 + 12.5 + 壁紙	GB-R t=9.5 + 壁紙	2,400	スリット	
					一部GB-S t=12.5 + 塗装FK t=6		2,660		
	世話入室	SL + FS3	塩ビ製	60	GB-R t= 9.5 + 12.5 + 壁紙	GB-R t=9.5 + 壁紙	2,400	コの字	
	会議室	SL + FS3	塩ビ製	60	GB-R t= 9.5 + 12.5 + 壁紙	GB-R t=9.5 + 壁紙	2,400	コの字	
	倉庫	SL + FS1	塩ビ製	60	GB-R t= 9.5 + 12.5 + 壁紙	GB-D t=9.5	2,400	コの字	
	収納(廊下)	SL + FS1	塩ビ製	60	GB-R t= 9.5 + 12.5 + 壁紙	GB-R t=9.5 + 壁紙	2,400	コの字	
洗濯室	SL + FS1	FS巻上	100	GB-S t=12.5 + 塗装FK t=6	FK t=6.0 + NAD	2,400	コの字		
1階 居住部 入居者17	居室1~9	SL + FS3	塩ビ製	60	GB-R t= 9.5 + 12.5 + 壁紙	GB-R t=9.5 + 壁紙	2,400	コの字	
	短期入所室	SL + FS3	塩ビ製	60	GB-R t= 9.5 + 12.5 + 壁紙	GB-R t=9.5 + 壁紙	2,400	コの字	
	収納(各居室)	SL + FS1	塩ビ製	60	GB-R t= 9.5 + 12.5 + 壁紙	GB-D t=9.5	2,400	コの字	
	脱衣室1~3	乾式断熱二重床 + CP t=12 + ビニル床下地用シート t=4.5 + FS1	FS巻上	100	GB-S t=12.5 + 塗装FK t=6	FK t=6.0 + NAD	2,400	コの字	
	WC1~4	SL + FS2	FS巻上	100	GB-S t=12.5 + FL+900まで 塗装FK t=6 GB-S t=12.5 + FL+900から 壁紙	GB-R t=9.5 + 壁紙	2,400	コの字	
	UB1・2				ユニットバス				
	US				ユニットシャワー				

OC	塗装合板型枠コンクリート打放し	GW	グラスウール	※	特記なき限り、ボード類貼りの各部下地は表の通りとする。	※	壁仕上欄において、GB部分は法チェック図参照し防火上主要な間仕切壁を優先する。区画壁の構成は、法チェック図及び詳細図参照すること。	=	内装認定	
Cコテ	コンクリート金ゴテ	RW	ロックウール						不燃材料	
Mコテ	モルタル金ゴテ	NAD	アクリル樹脂系非水分散形塗料						GB-R t=9.5+壁紙	NM-3992
SL	セルフベリング材	DP	耐候性塗料						(壁紙基材共)	
FS	複層長尺ビニル床シート	NWP	内部木材保護塗料						GB-R t=12.5	NM-8619
GF	直貼複合フローリング	HP	超耐久性カラー仕上撥水剤						GB-D t=9.5	NM-1864
GB-R	せっこうボード	FK	けい酸カルシウム板						FK t=6	NM-8578
GB-D	化粧せっこうボード	CP	構造用合板						塗装FK t=6	NM-5037
GB-S	シーリングせっこうボード									
塗装FK	塗装けい酸カルシウム板									
壁紙	ビニールクロス(AA級)									

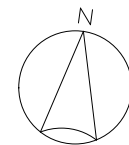
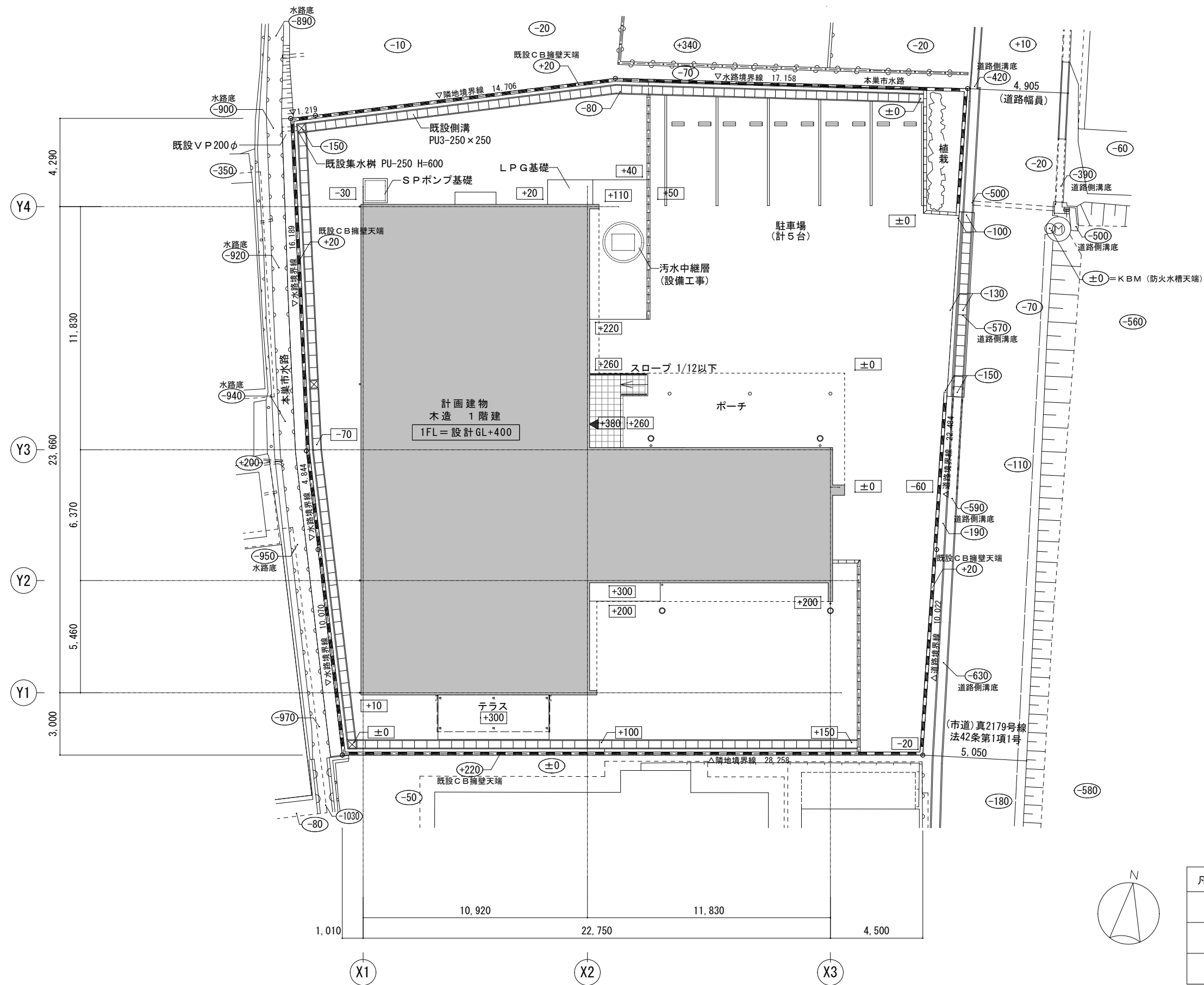


凡例	
	仮囲い：ガードフェンス H=1,800
	くさび緊結式足場 W=900
	キャスターゲート W=8,000×H1,800
	養生鉄板 3,000×1,500×t=22 又は 6,000×1,500×t=22
	現場事務所・WC
	工事車両進入口

※養生シートは防炎1類とする。

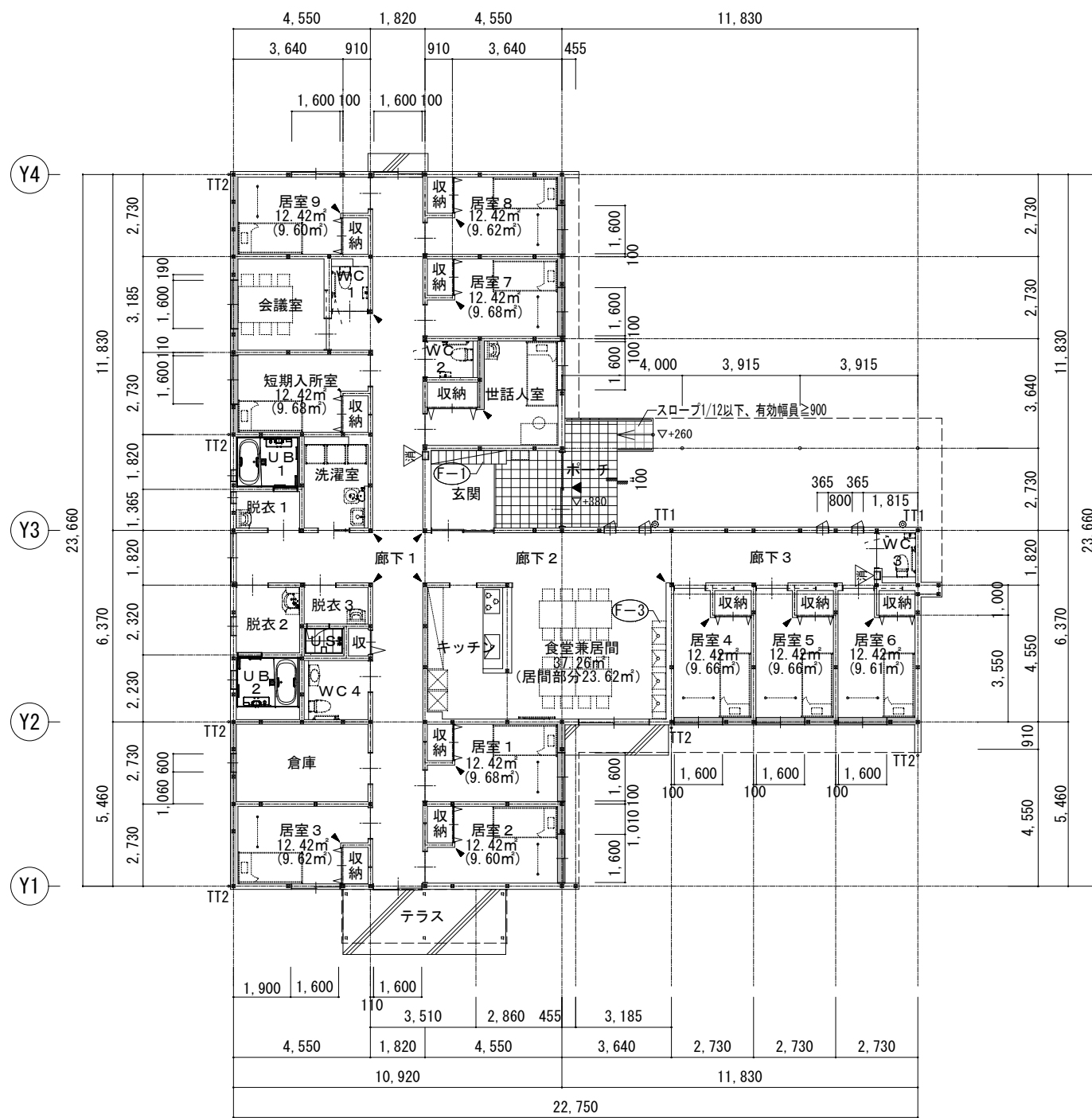




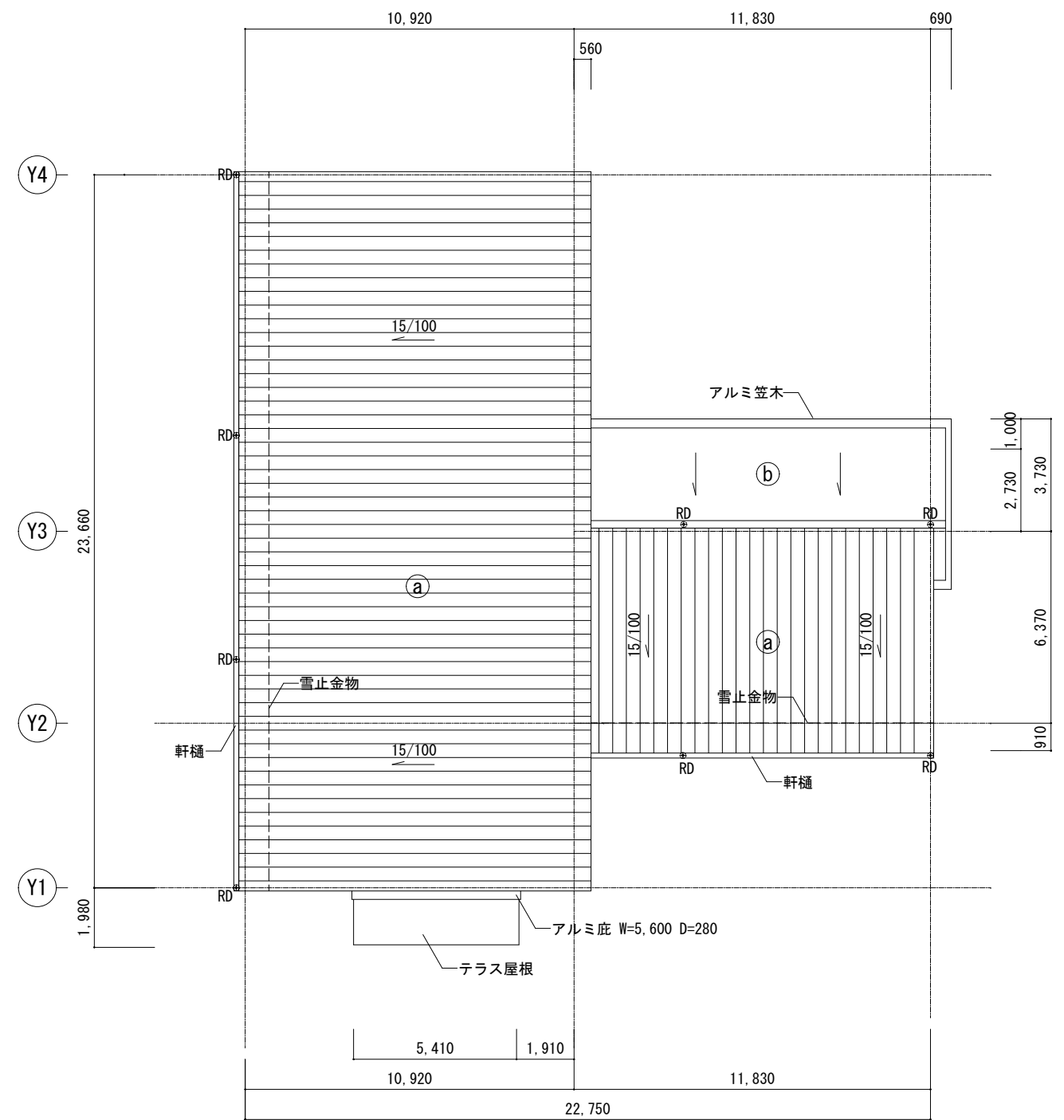


凡例	
***	現況地盤を示す (KBMより)
***	計画地盤レベルを示す (KBMより)
■	計画建物部分を示す

※設計GL = KBM ± 0 (標高 14.00)



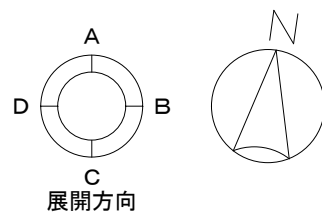
1階平面図



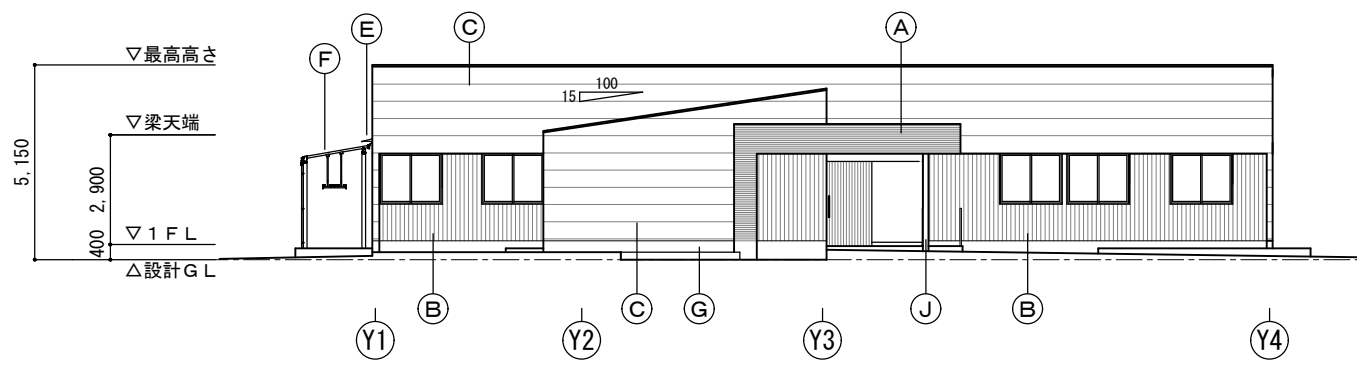
屋根伏図

凡例

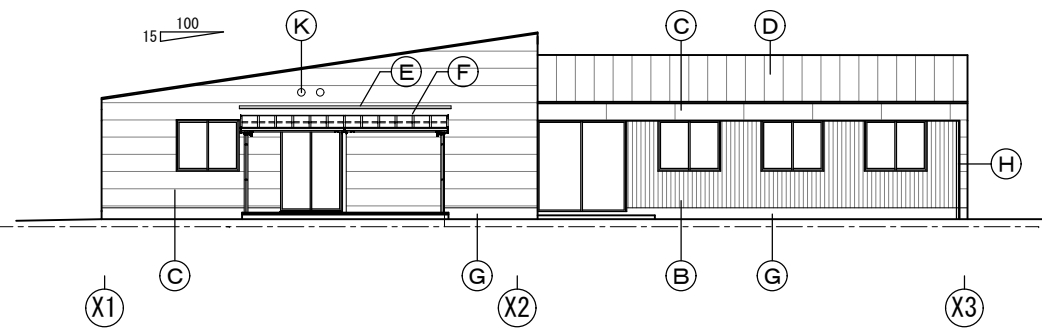
	埋込消火器BOX+消火器(ABC10型)設置位置
TT1	アルミ製縦樋 60φ
TT2	塩ビ製縦樋 75φ
	木製コーナーガード※雑詳細図参照
	内部壁 木胴縁 75×45@455
※ ( ) 内面積は有効面積を示す。	



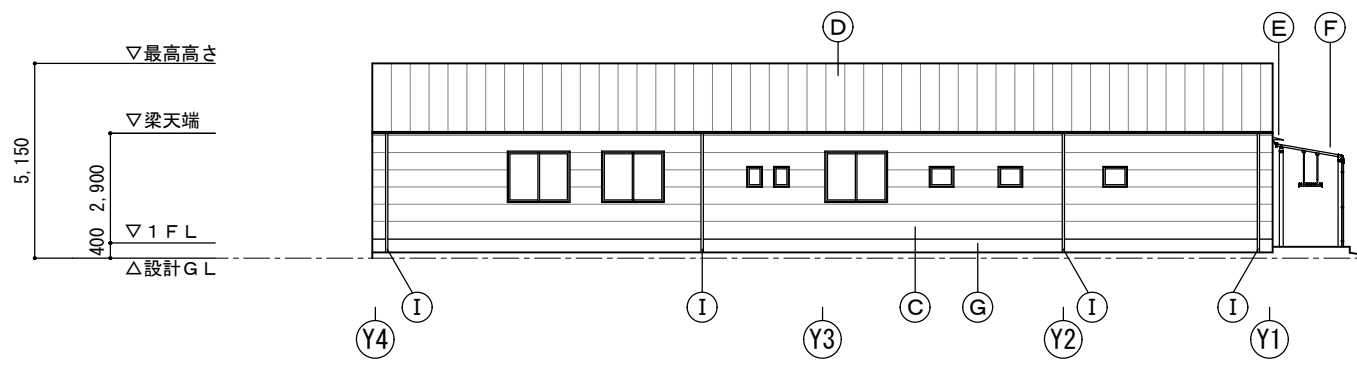
(a)	耐候性鋼板 t=0.5 立ハゼ葺
(b)	改質アスファルト系シート防水
軒樋	塩ビ製軒樋 W153
RD	縦引きルーフトレイン
雪止金物	羽根付/千鳥/1面2列/SUS型焼付塗装



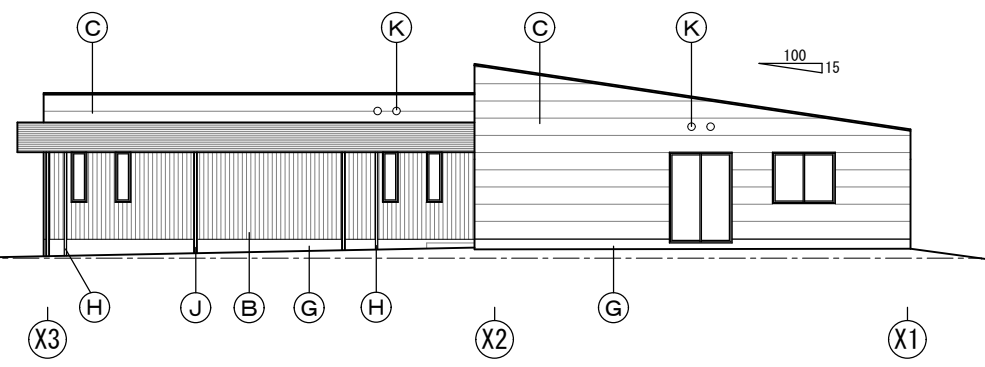
東側立面図



南側立面図

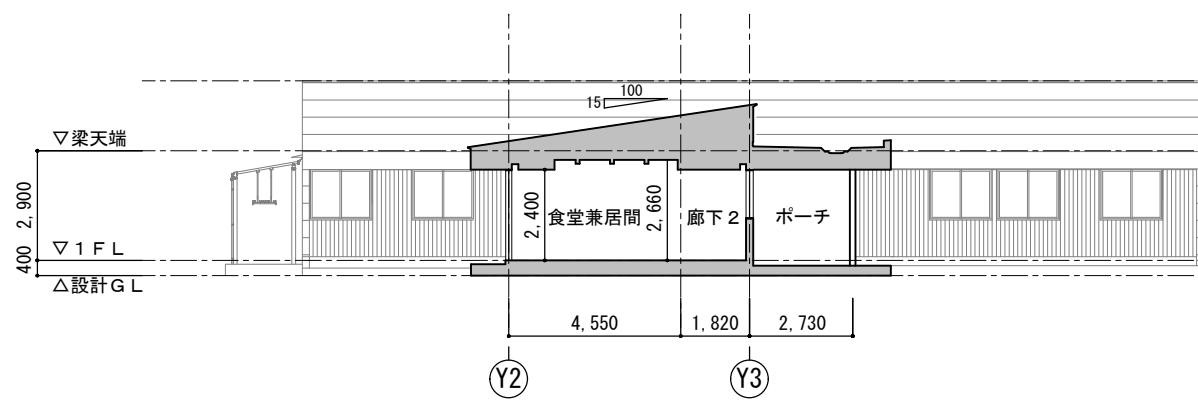


西側立面図

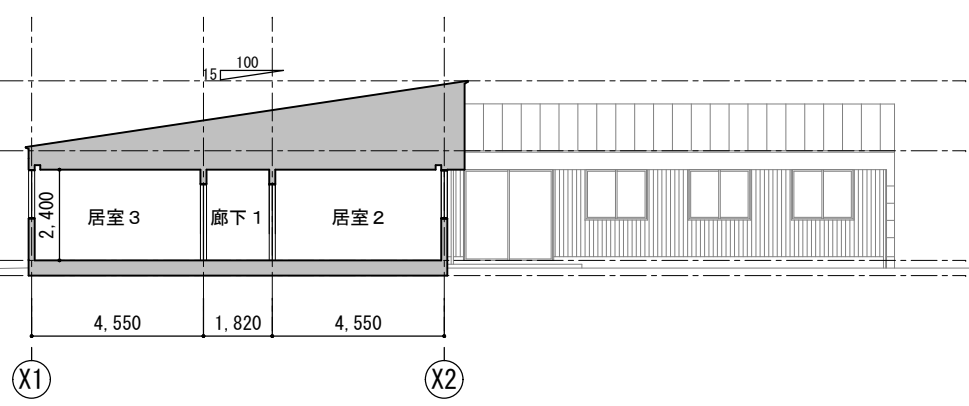


北側立面図

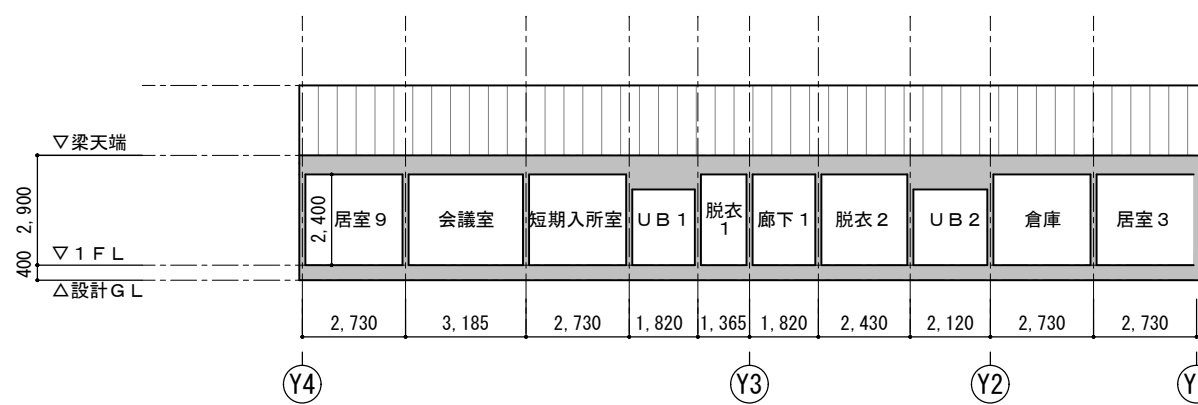
凡例	
(A)	外壁1：化粧サイディングA t=16
(B)	外壁2：化粧サイディングB t=16
(C)	外壁3：化粧サイディングC t=16
(D)	屋根：耐候性鋼板 t=0.5 立ハゼ葺
(E)	アルミ庇
(F)	テラス屋根
(G)	OC+HP
(H)	TT1：アルミ製縦樋 60φ
(I)	TT2：塩ビ製縦樋 75φ
(J)	鉄骨柱：溶融亜鉛メッキ下地
(K)	SUS小屋裏換気口



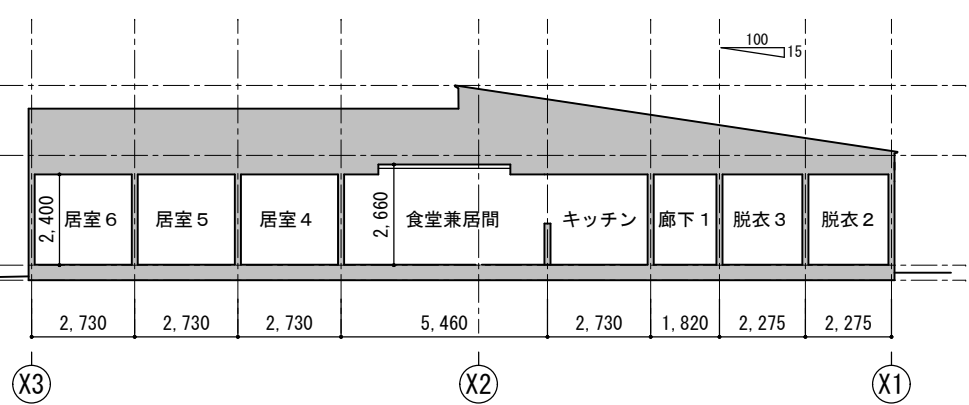
断面図1



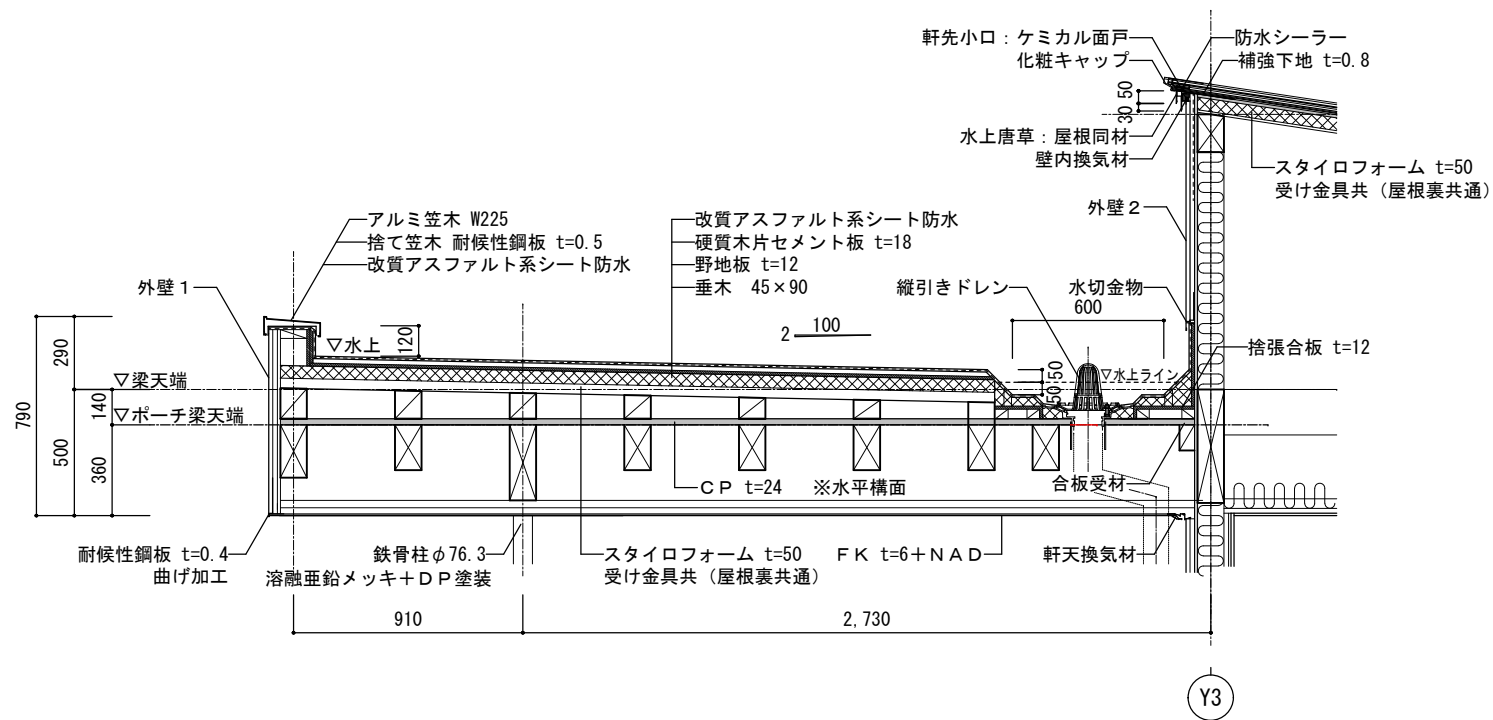
断面図2



断面図3

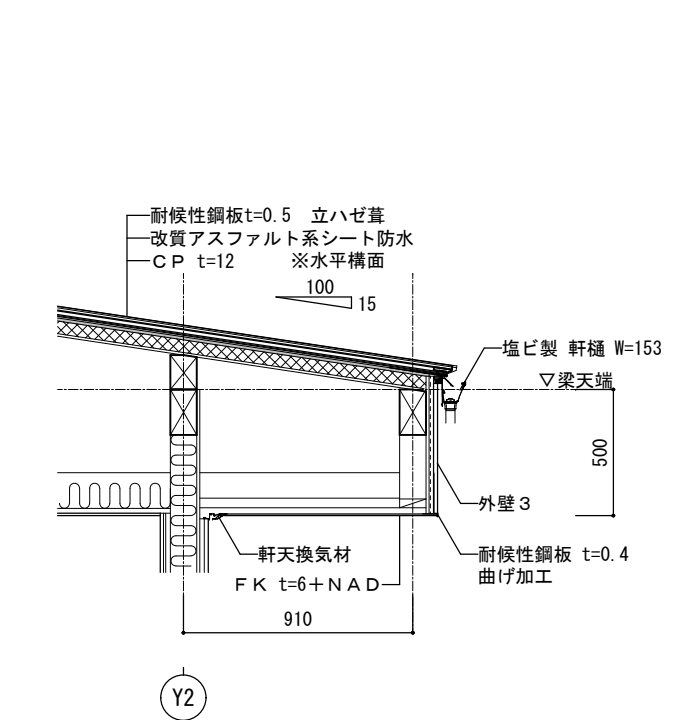


断面図4



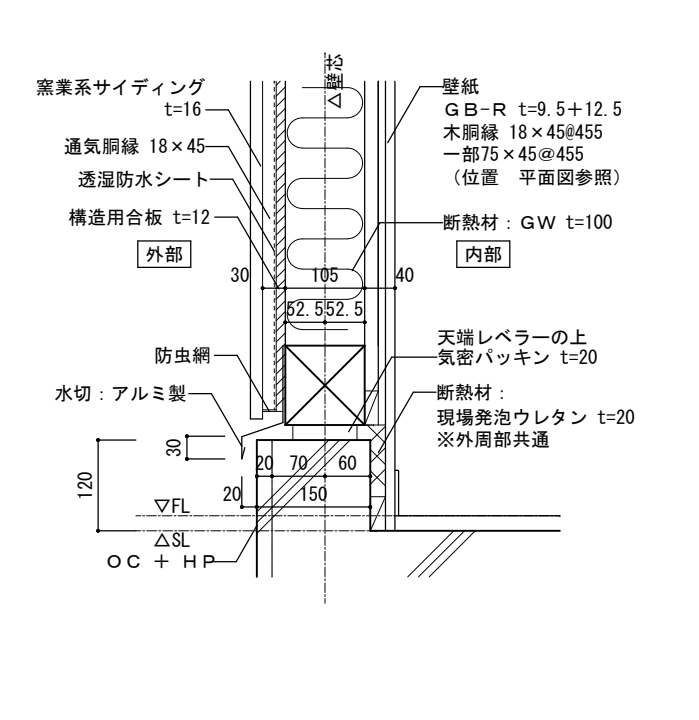
ポーチ底・軒先 (水上) 詳細図

1/30



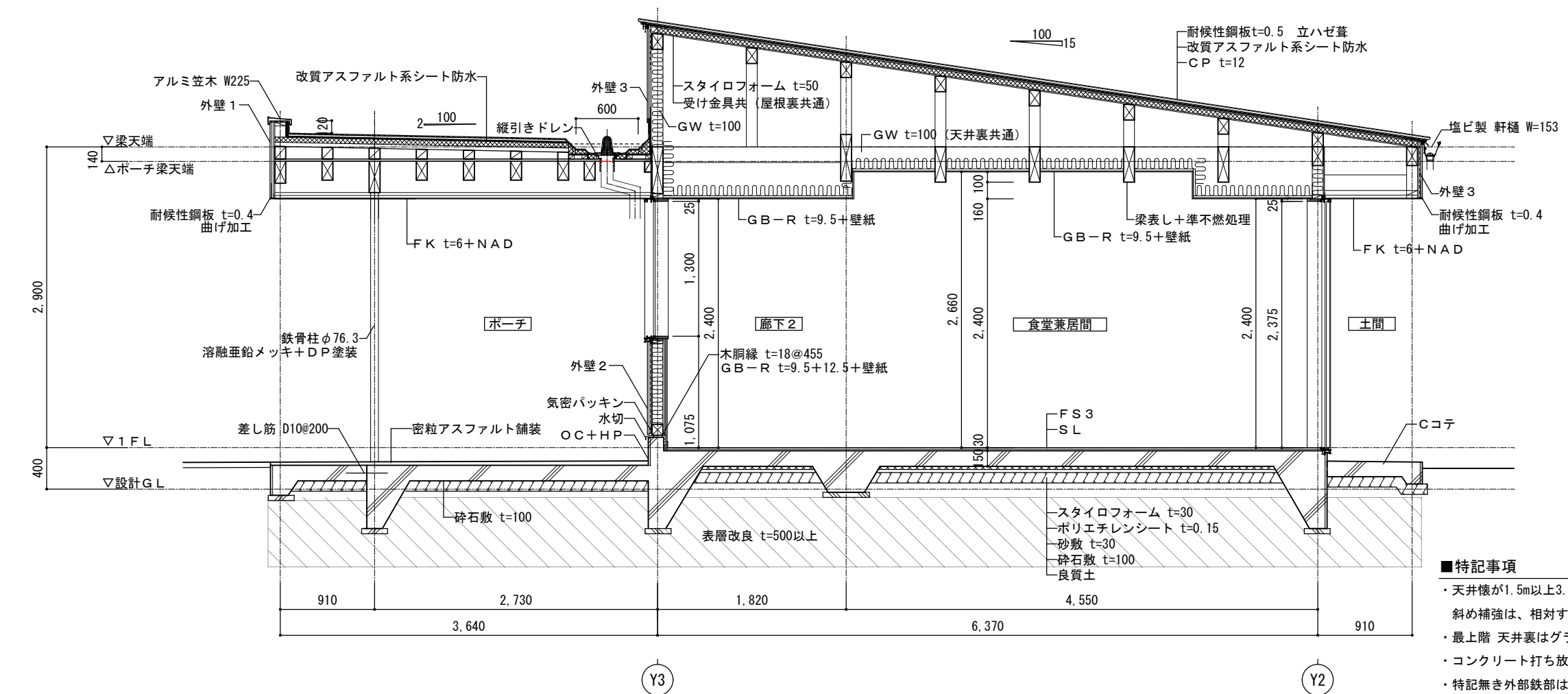
軒先 (水下) 詳細図

1/30



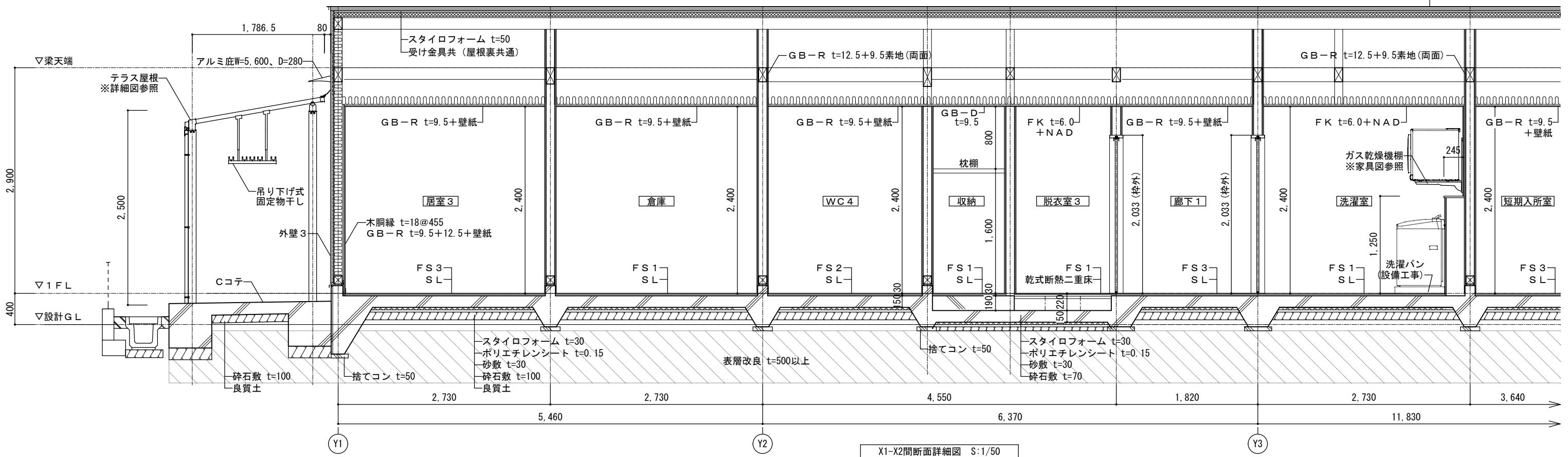
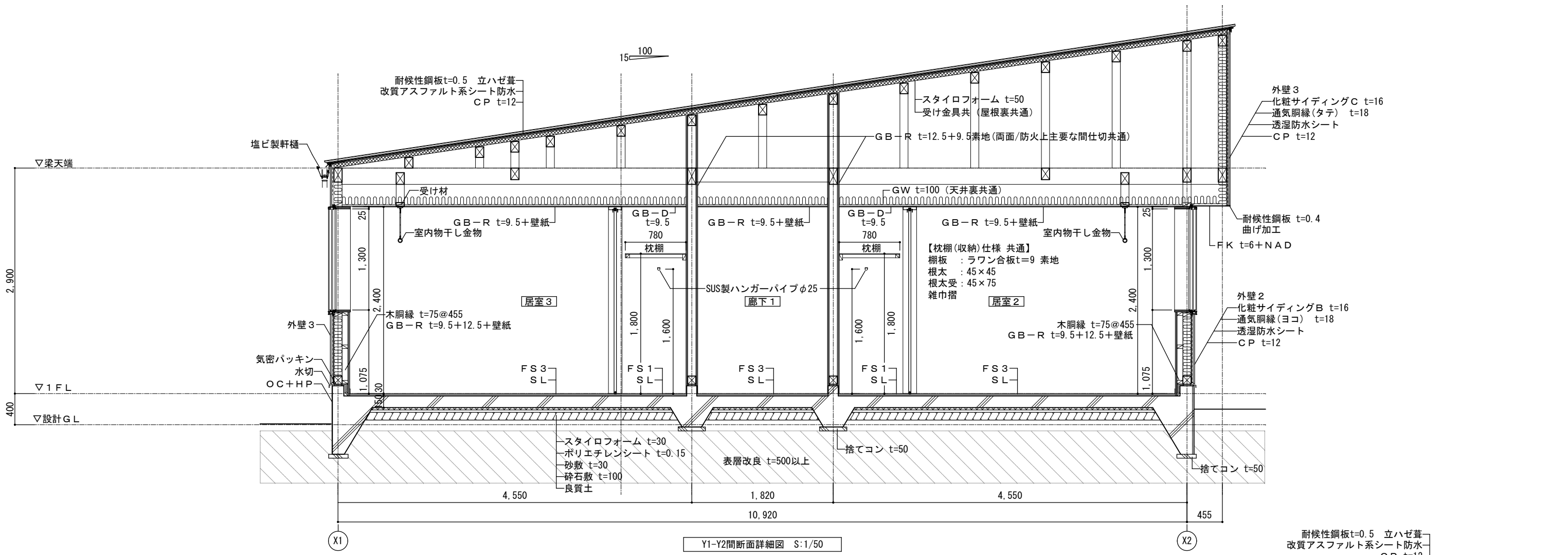
外壁立上り詳細図

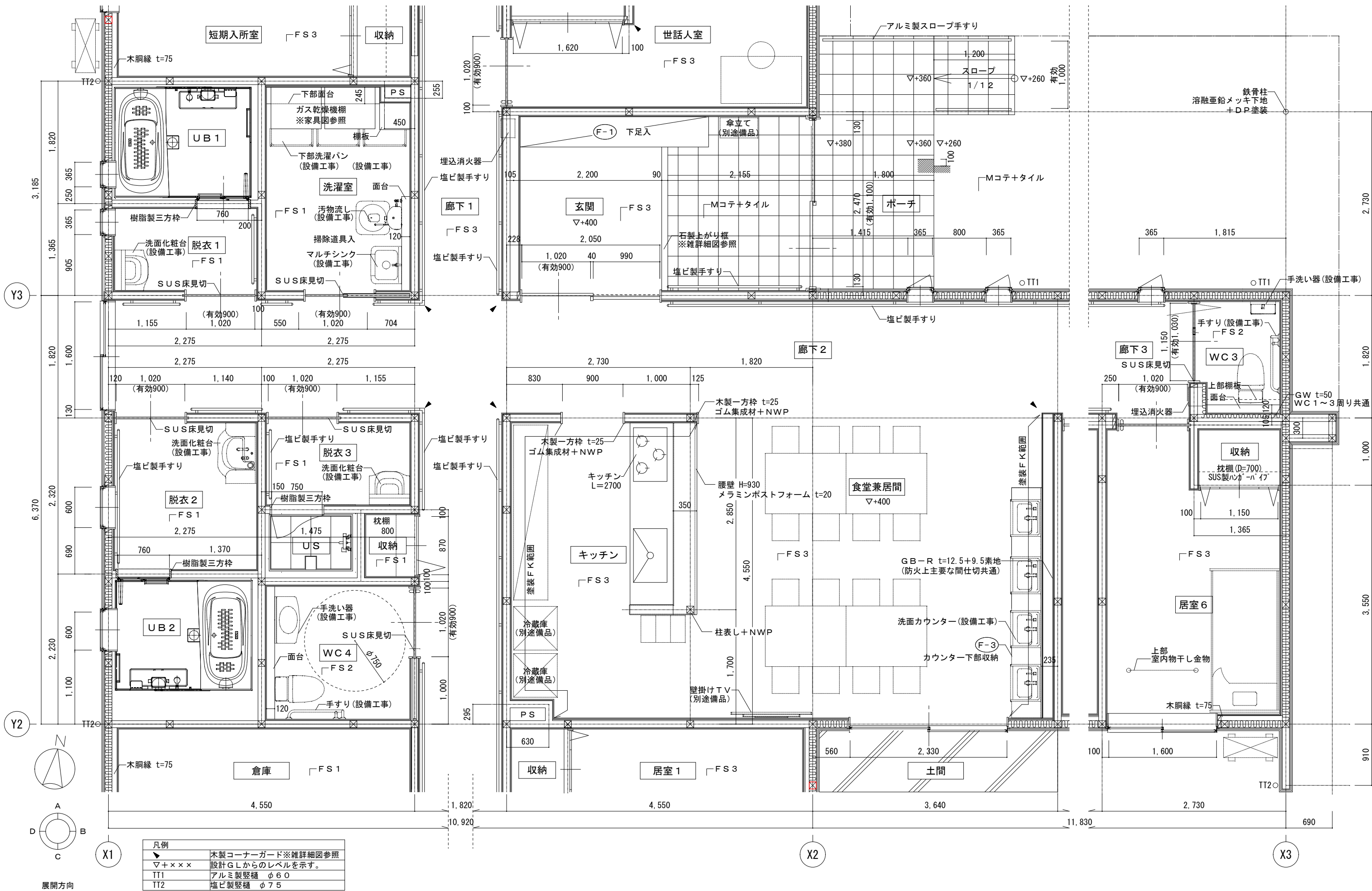
1/10



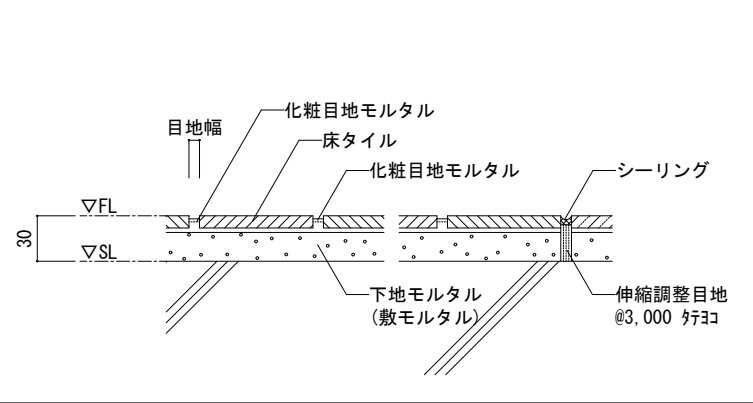
X2-X3間断面詳細図 S:1/50

- 特記事項
- ・天井高が1.5m以上3.0m以下の場合は、水平補強は、タテヨコに1.8m間隔に補強材を配置すること。
  - ・斜め補強は、相対する斜め材を1組とし、タテヨコに3.6m間隔に配置すること。
  - ・最上階 天井裏はグラスウール(GW) 24kg t=100 敷き込みとする。
  - ・コンクリート打ち放し面は4.0m以内程度に誘発目地を設け割付図を提示し監理者の承認を受けること。
  - ・特記無き外部鉄部は溶融亜鉛メッキ+DPとする。

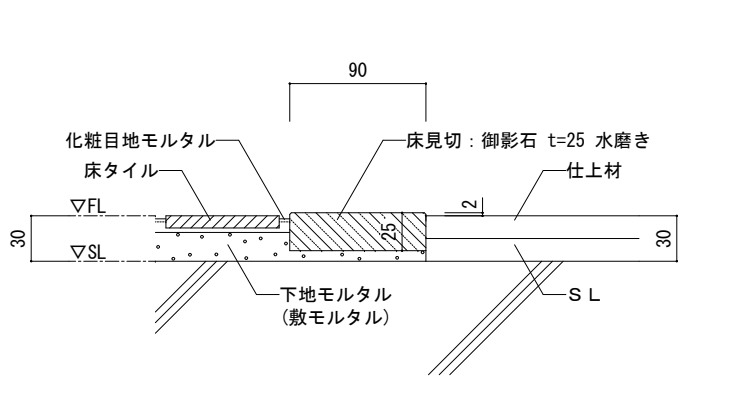




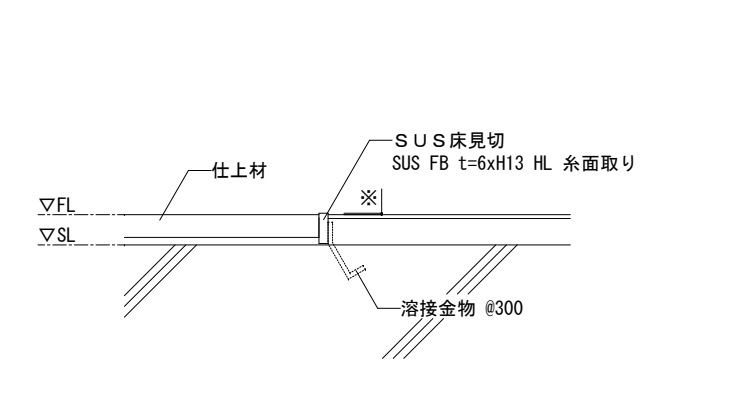
凡例	
▼	木製コーナーガード※雑詳細図参照
$\nabla+xxxx$	設計GLからのレベルを示す。
TT1	アルミ製堅樋 $\phi 60$
TT2	塩ビ製堅樋 $\phi 75$



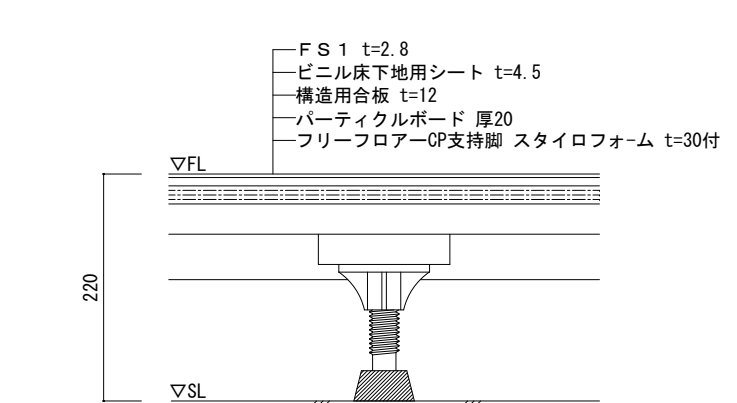
目地幅：特記なき限り6mmとする  
 張付け面積が小さい場合：敷モルタル  
 タイル 1/5



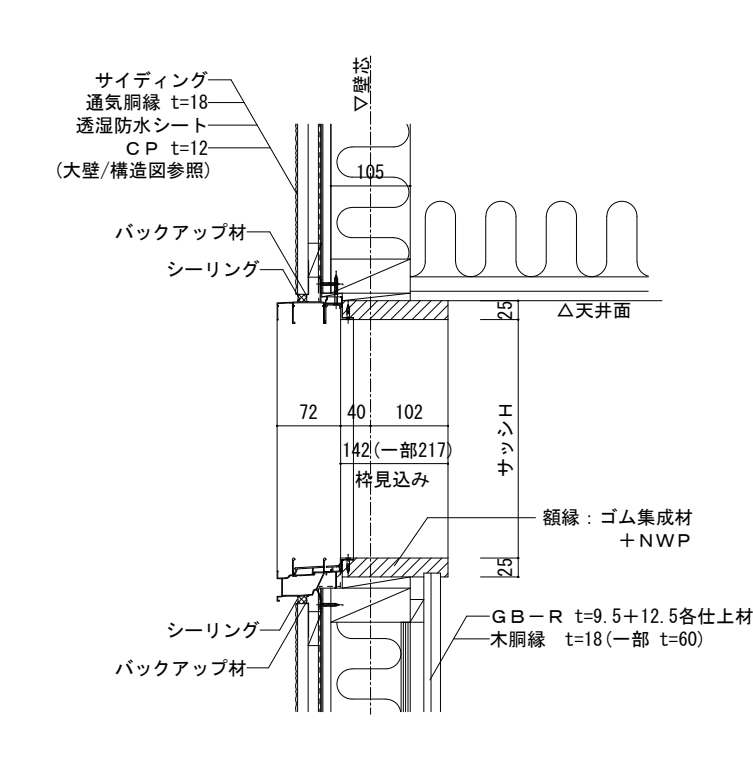
見付寸法：図示による  
 石床見切 1/5



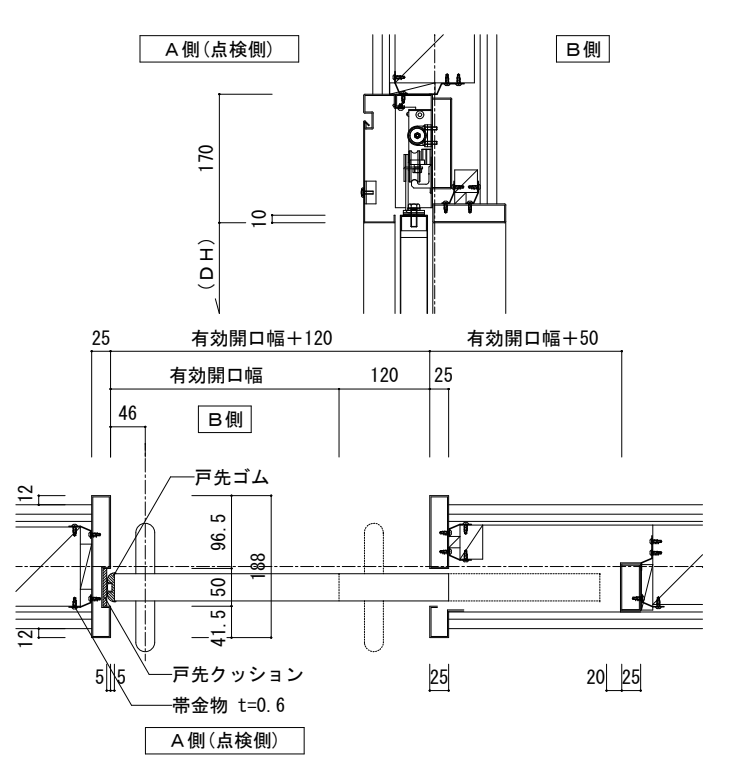
※：チリは1mm以下とする  
 SUS床見切 1/5



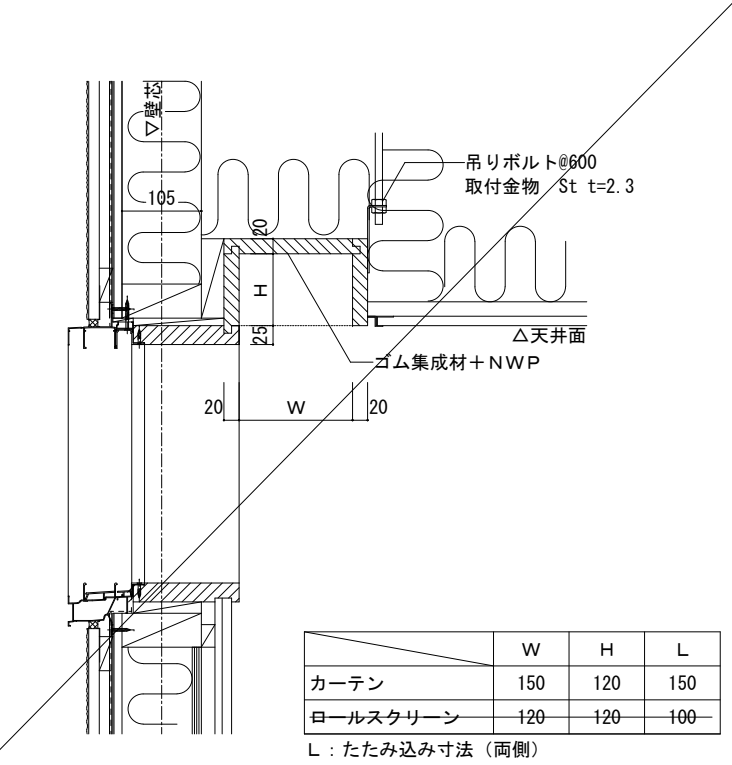
支持脚の形状は参考(7ヶレフリー707-EP-F)同等品  
 乾式断熱二重床(脱衣室) 1/5



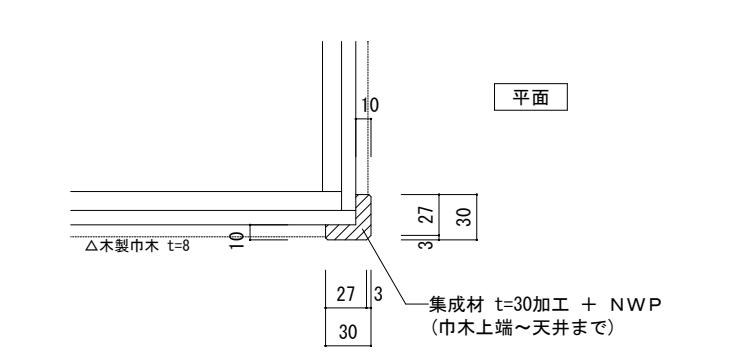
アルミ製サッシ(木造用半外付) 1/10



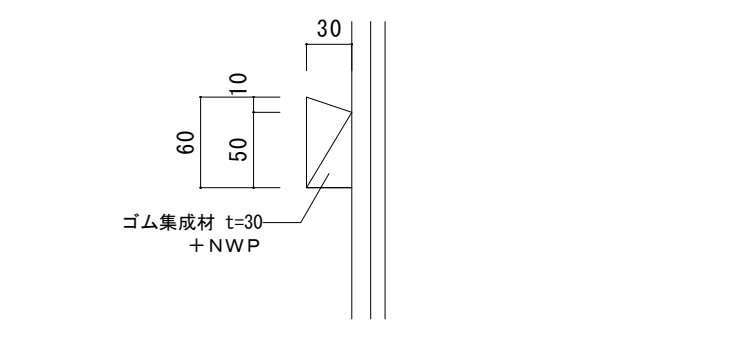
鋼製ハンガードア 枠(壁収納タイプ) 1/10



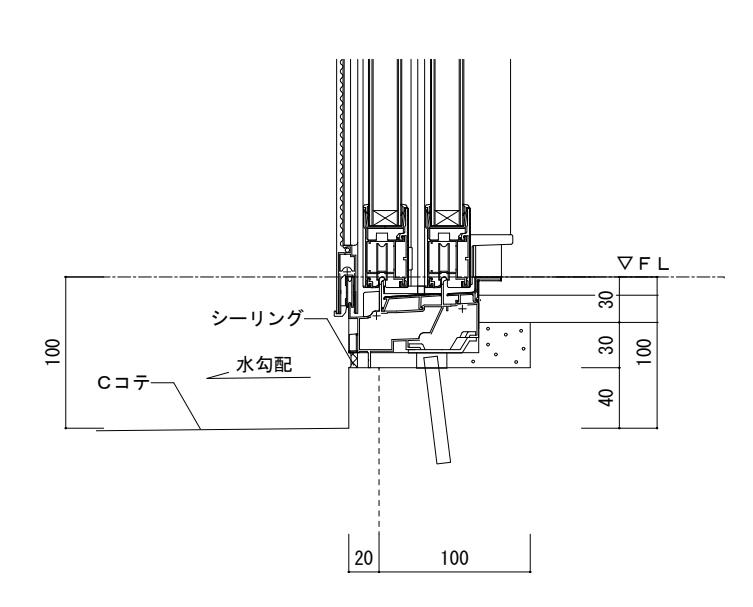
カーテンボックス 1/10



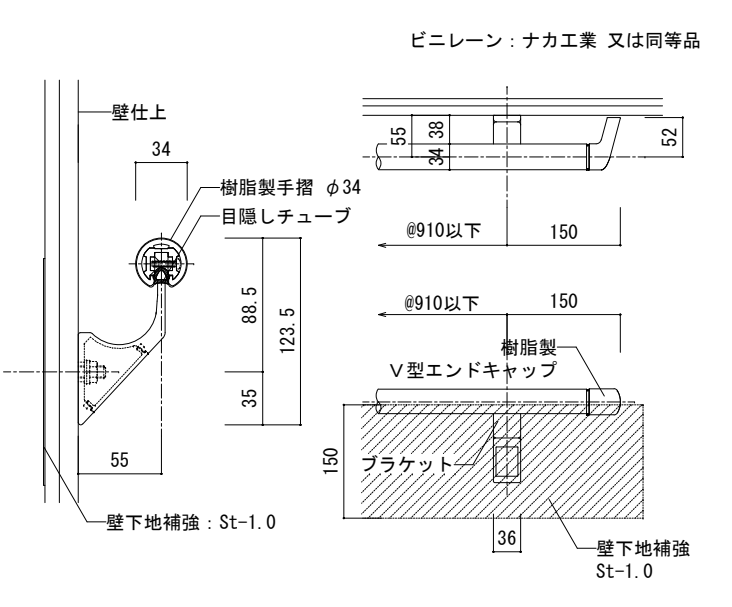
木製コーナーガード 1/5



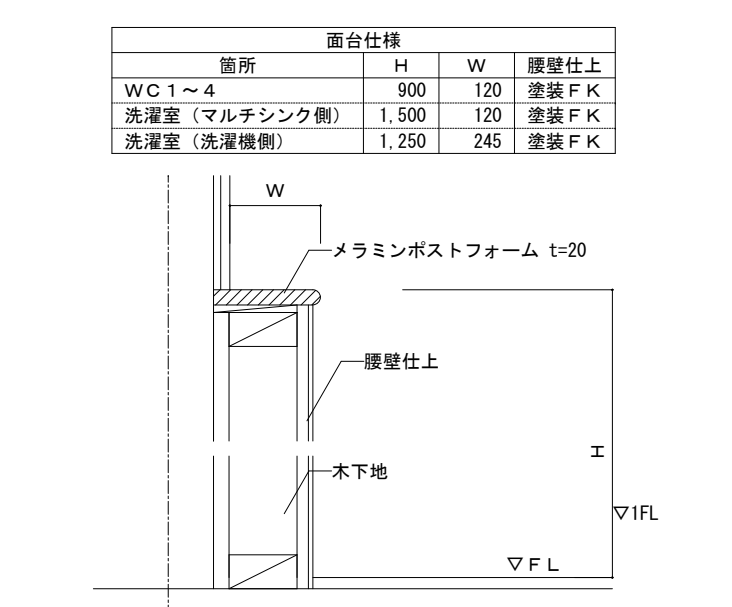
付鴨居 1/5



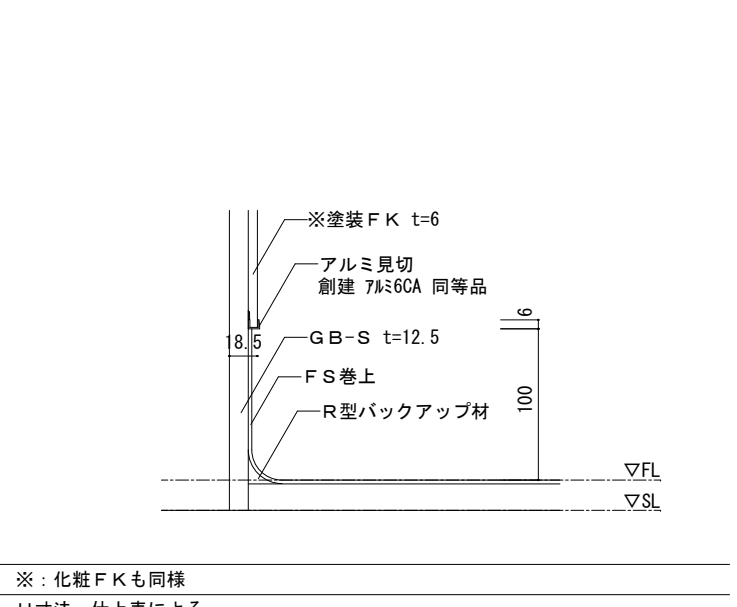
アルミ製掃出し窓 1/5



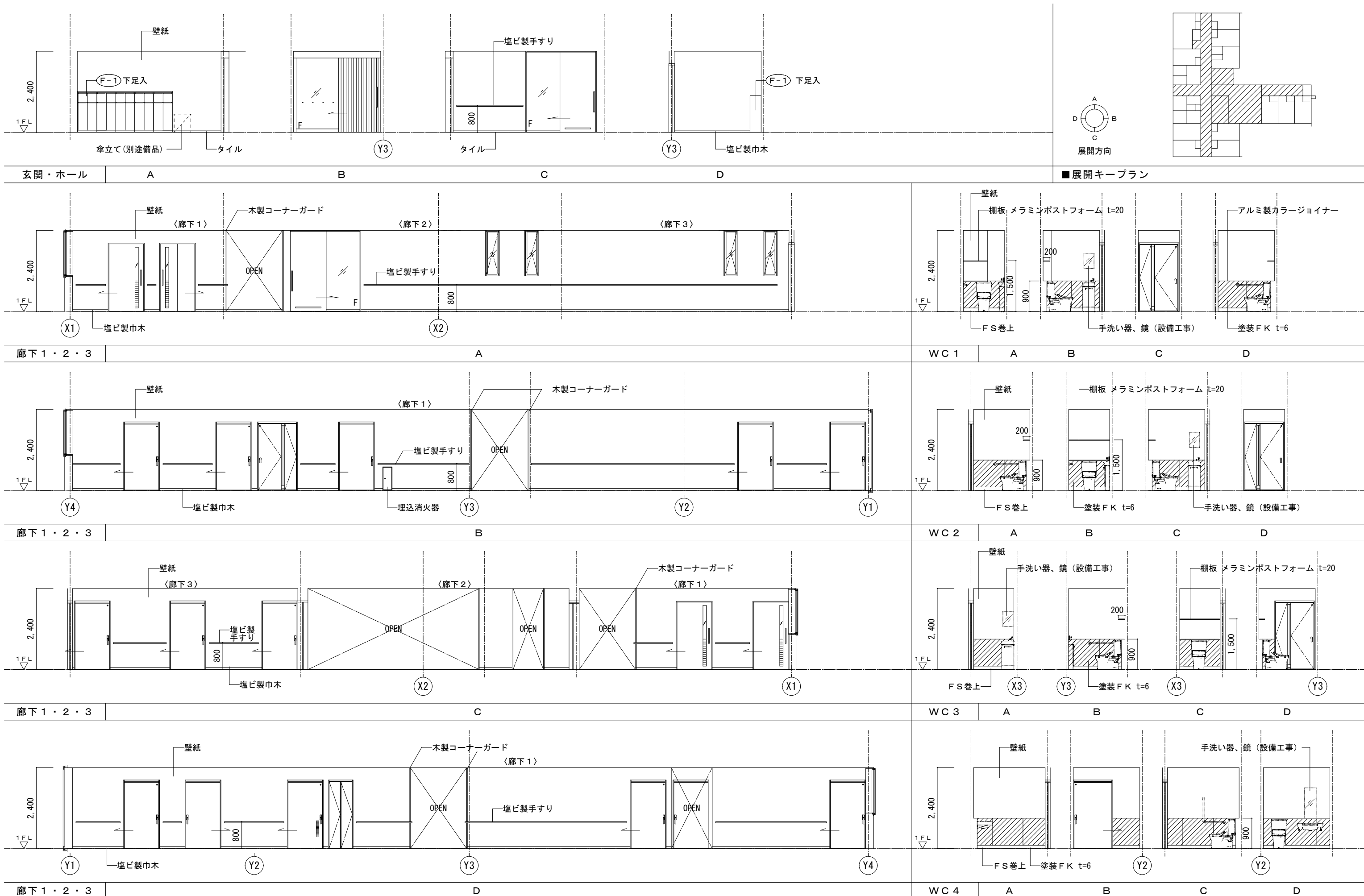
塩ビ製手すり 1/5, 1/10

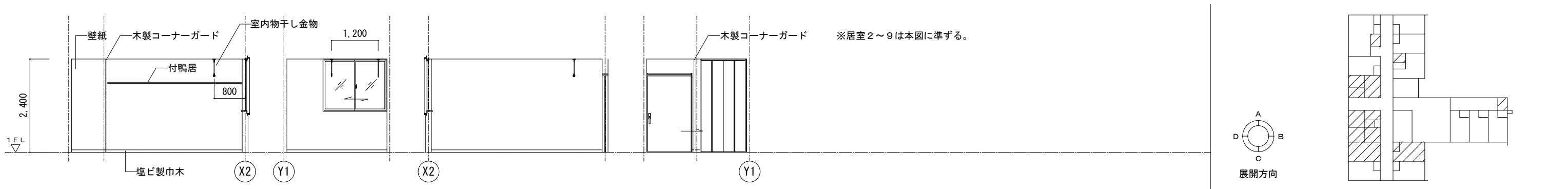


面台 1/10

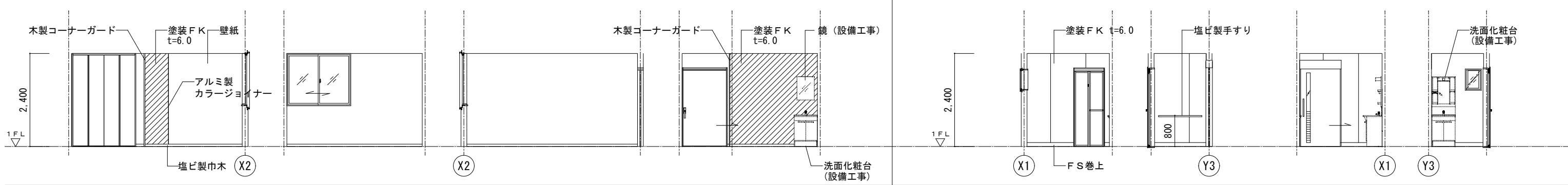


FS巻き上げ 1/5

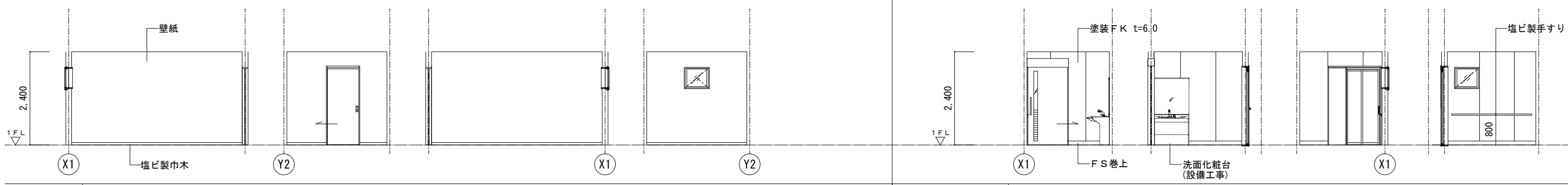




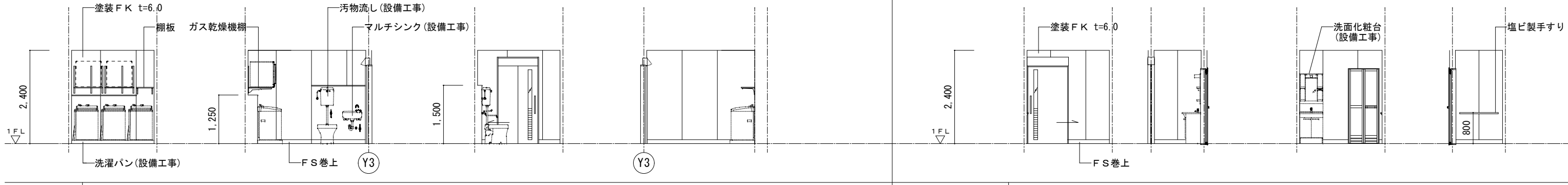
居室1 A B C D ■展開キープラン



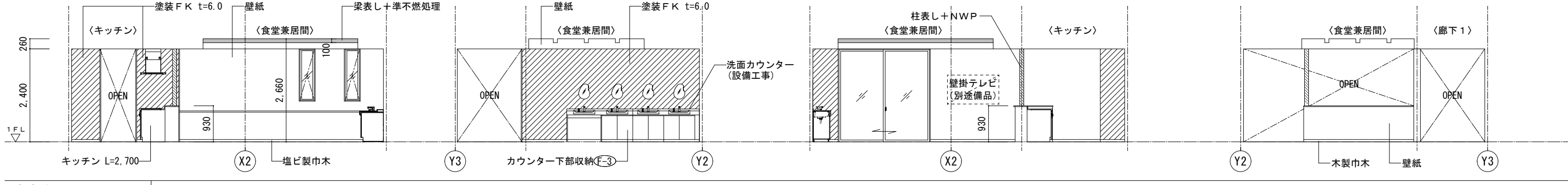
世話人室 A B C D 脱衣1 A B C D



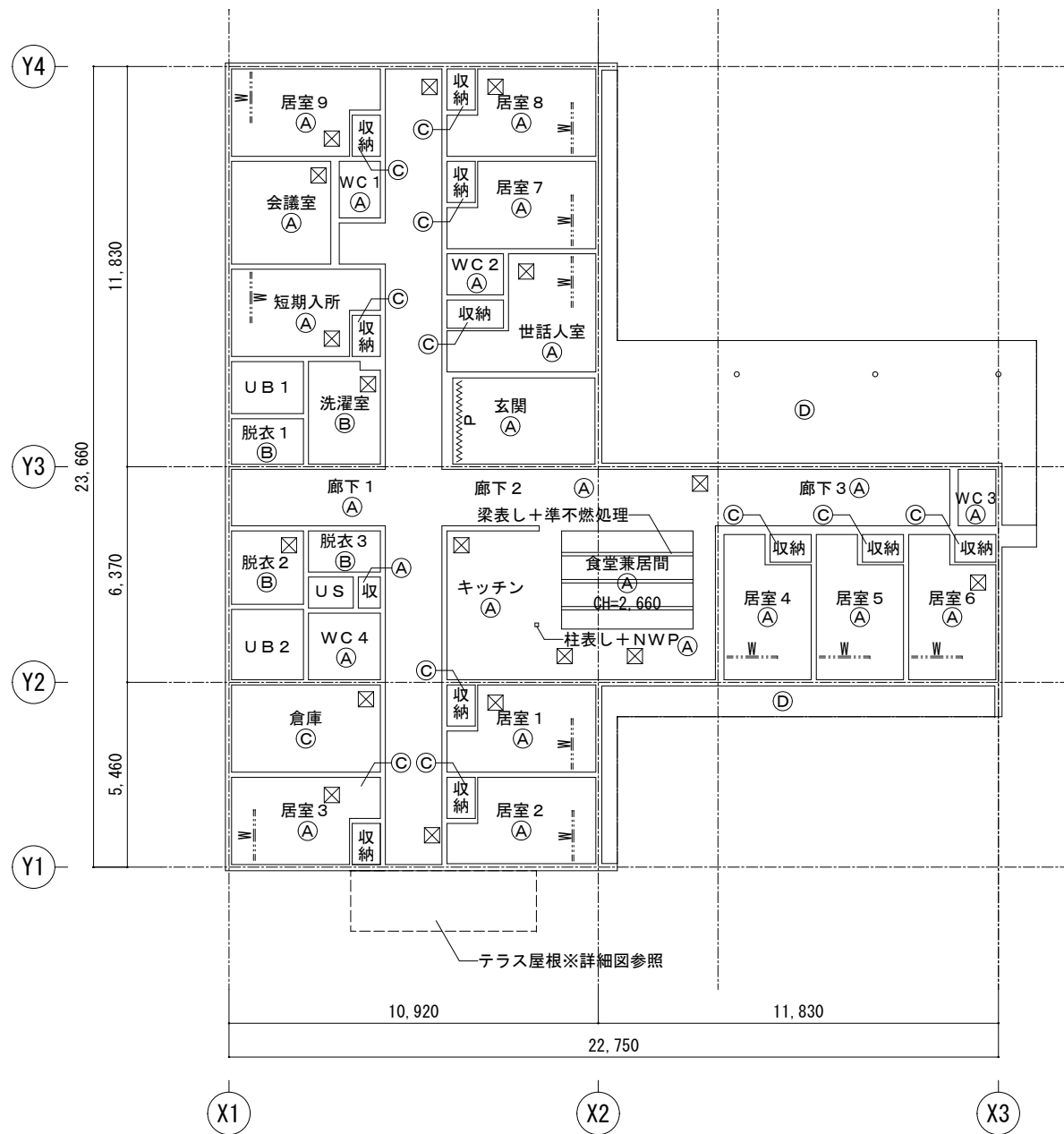
倉庫 A B C D 脱衣2 A B C D



洗濯室 A B C D 脱衣3 A B C D

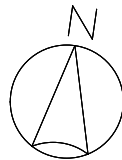


食堂兼居間・キッチン A B C D



天井伏図

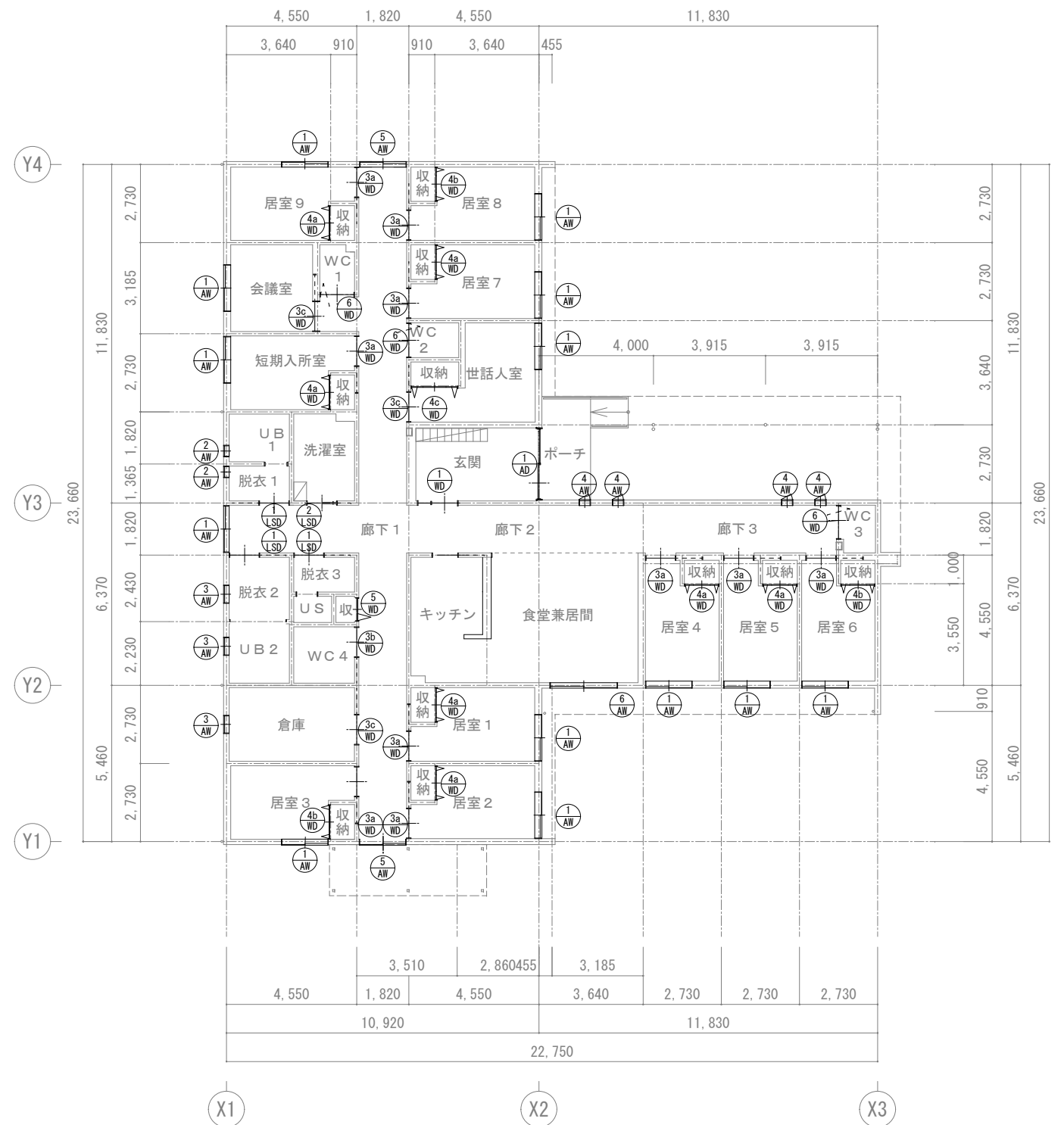
※天井高は指定なき限り、CH=2,400とする。



天井仕上凡例	
(A)	GB-R t=9.5 + 壁紙
(B)	FK t=6.0 + NAD
(C)	GB-D t=9.5

幕類凡例	
	ピクチャーレール(フック:3個/m)
	室内物干し金物
	天井点検口 450角 ※位置は監理者との協議による。

幕類仕様		
■特記■ 全て防災加工品(防火ラベル付)とする。 備考欄記載のもの、又は同等品で係員の承認したものとする。		
カーテンレール	ニューデラック 付属金物一式	トソー株式会社
ピクチャーレール	T-3Nホワイト 天井埋込先付型 T/T Cフック 30G(天井付) SUSフック・SUSハンガー 3ヶ所/m	トソー株式会社



建具キープラン図

符号	数量	1 AD	1	1 AW	13	2 AW	2	3 AW	3	4 AW	4	5 AW	2
姿図・寸法			各階FL▽		居室1~9、会議室 世話入室、短期入所室、廊下1		UB1、脱衣1		脱衣2、UB2、倉庫		廊下2、3		廊下1
型式		アルミ製片引きハンガードア+袖FIX窓	アルミ製引違い窓	アルミ製横すべり出し窓	アルミ製横すべり出し窓	アルミ製縦すべり出し窓	アルミ製引違い窓						
枠見込 (扉見込)		100	86	86	86	86	86						
仕上		H	H	H	H	H	H						
ガラス		TG6+A12+TG6	Low-E5+A12+FL5 【日射遮蔽型】	Low-E5+A13+F4 【日射遮蔽型】	Low-E5+A13+F4 【日射遮蔽型】	Low-E5+A12+FL5 【日射遮蔽型】	Low-E5+A12+FL5 【日射遮蔽型】						
金物		FK、内部AF、CK、半自動閉鎖装置 SUSフラットレール、バーハンドル	FK、MD、AM	FK、MD、AM オペレーターハンドル、内部AF	FK、MD、AM オペレーターハンドル、内部AF	FK、MD、AM カムラッチハンドル	FK、MD、AM						
備考		飛散防止フィルム	エピソードII NEO YKKAP	エピソードII NEO YKKAP	エピソードII NEO YKKAP	エピソードII NEO YKKAP	エピソードNEO-LB YKKAP(ビル用サッシ) 飛散防止フィルム						

符号	数量	6 AW	1
姿図・寸法			各階FL▽
型式		アルミ製引違い窓	食堂兼居間
枠見込 (扉見込)		86	
仕上		H	
ガラス		Low-E5+A12+FL5 【日射遮蔽型】	
金物		FK、MD、AM	
備考		エピソードNEO-LB YKKAP(ビル用サッシ) 飛散防止フィルム	

符号	ガラス	金物
SD	鋼製戸	FL フロートガラス
SW	鋼製窓	F 型板ガラス
SG	鋼製ガラリ	PW 網入り磨きガラス
SS	鋼製重量シャッター	FW 網入り型板ガラス
LD	鋼製軽量戸	EG 強化ガラス
LSD	鋼製軽量上吊引戸	FTG 型板強化ガラス
AD	アルミ製戸	LG Low-Eガラス
AW	アルミ製窓	GB ガラスブロック
AG	アルミ製ガラリ	LH レバーハンドル
AS	アルミ製シャッター	CH ケースハンドル
WD	木製戸	HANP 熱線吸収ネットガラス
WW	木製窓	HR 熱線反射ガラス
WSP	木製学校間仕切	DS 倍強化ガラス
WG	木製ガラリ	A 空気層
SLW	移動間仕切り	PC ポリカーボネート
H	ふすま	FK 付属金物一式
P	障子	OS 排煙オペレーター
特1	特定防火設備	
特2	特定防火設備 (遮煙性能有)	
防1	防火設備	
防2	防火設備 (遮煙性能有)	

品質・性能 建築材料等品質性能表による

金物	参考品番	製造所
バーハンドル	T1170-01-001-L750	ユニオン
引手1	G1270-36-076 L=600	ユニオン
引手2	MP-H1914	株式会社ノダ
引手3	H5601-01-076-L452	ユニオン
排煙オペレーター	OSL88 (隠蔽式) ・SL80 (露出式)	オイレスECO
操作ボックス	ハンドルボックス110-3 (埋込式)	▲

特記なくとも、下記に従い標準で金物・付属品を取り付けること。

外部	内部
一般扉	BH、片面サムターン
両開き扉	フランス落とし
親子開き扉	
自動扉 (引戸)	引戸用本締り錠
引違い窓	開口制限装置、クレセント、戸車、手掛
内倒し窓	あおり止め
こ出し窓	
FIX窓	室内側：結露受け
一般扉	PH、DC-S
便所	多機能トイレ：大型引き戸錠
上吊戸 (ハガ-戸)	デュアルソフトクローザー (戸先・戸尻)
随時閉鎖式防火戸 (常開)	ヒンジクローザー (ストップなし)
点検扉	点検扉用ヒンジ・点検口錠

仕上げについては下記の表による。

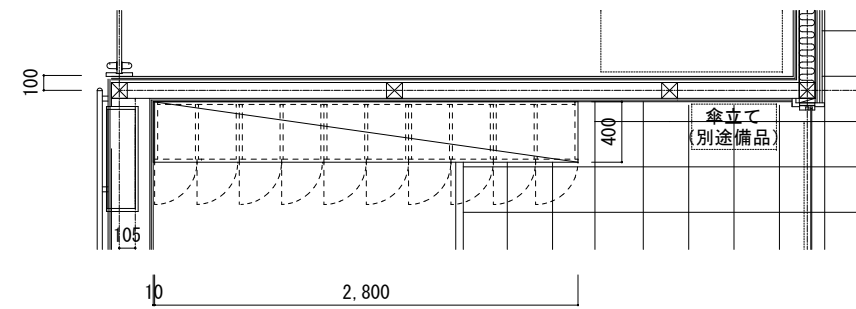
符号	種別	符号	種別
H	電解着色 (指定色)	HL	ヘアライン

SD、SW、SG、SS、LD、LSDのDP仕上げは、外部：DP1、内部：DP2

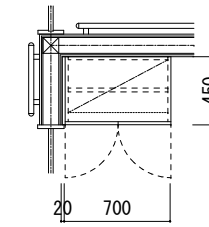
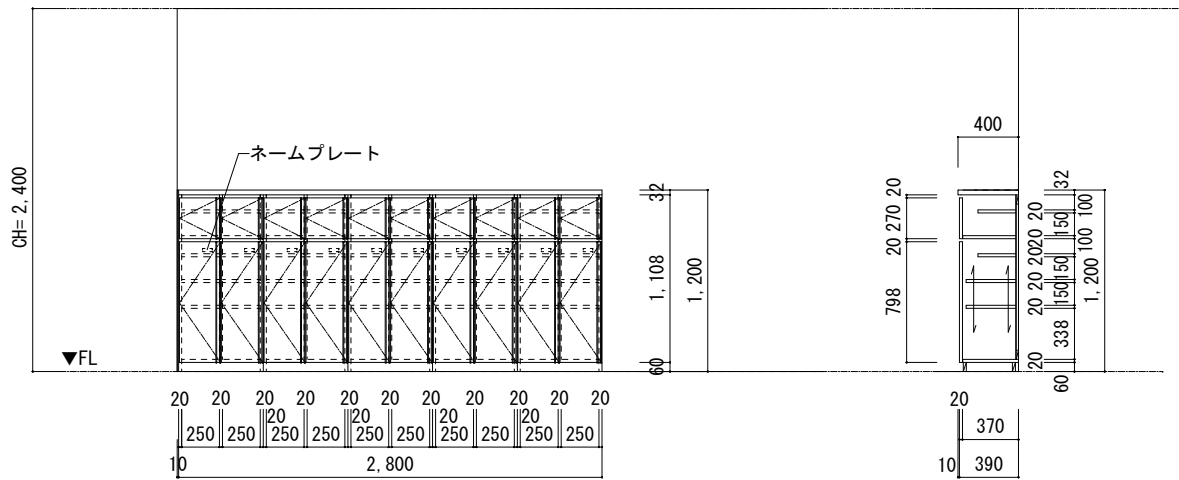
- ・設計図及び本表に示す寸法は、概略を示すものであり、施工に当たっては現場寸法の検尺を行う事。
- ・施工図は、現場員が各部の寸法・納まりを検査し、検印の上係員に提出し、承認を受ける事。
- ・扉の開き勝手は、平面図及び展開図による。
- ・引違いアルミサッシは、内外し方式障子とし、自動外れ止め装置付とする。
- ・引違いアルミサッシ (FL+900以上の高さにあるものを除く。)は、框用保護カバー及び指詰め防止ゴム (緩衝ゴム) 付とする。
- ・アルミサッシで履き出し窓となる部分には、衝突防止シールφ35 (@300程度) を貼付けとする。
- ・アルミ額縁は、アルミサッシと同仕上げとする。
- ・姿図中、Pは 断熱アルミパネル を示す。(アルミサッシに限る)
- ・複層ガラスの表記は、内部 + 中空層 + 外部の順とする。
- ・外部に面するガラリには、防鳥網 (SUS 304 平織 線径1.5mm 網目15mm) を取り付ける。
- ・網戸は、・SUS製 ○ガラスファイバー製 とする。
- ・戸当金物 (床付・壁付) の有無は、現場指示による。
- ・特記無きドアガラリは、へ型とし、ドアと同材にて作製する。
- ・排煙外倒し・内倒し窓の開放角度は60°以上とする。
- ・排煙開口部の排煙オペレーター装置及びクレセントは、FL+800mm~1500mmの高さとする。
- ・ガラス用フィルムの素材はポリエステルフィルムとし、基材厚は100μm以下とする。
- ・開放制限ストッパーは設置しないこととする。

符号	数量	① WD	1	② WD	2	③a WD	③b WD	③c WD	× 10	× 1	× 3	計14	④a WD	④b WD	④c WD	× 7	× 3	× 1	計11	
姿図・寸法																				
各階FL▽		1,000 40 1,020 (有効900) 2,060		1,615 (有効1,500)		1,020 (有効900)	1,020 (有効900)	1,020 (有効900)					1,170 (4a:1,170 4b:1,150 4c:1,620)							
型式		木製片引きハンガーフラッシュ戸+FI X	玄関	木製片引きハンガー扉戸(壁収納)	食堂兼居間	木製片引きハンガーフラッシュ戸							木製4枚折れ戸							
枠見込 (扉見込)		40		40		175							175							
仕上		メラミン化粧板		ゴム集成材+NWP		化粧シート							化粧シート							
ガラス		TG t=6		PC t=5		—							—							
金物		FK、引手1、上吊りレール		FK、引手1、上吊りレール		CK、FK、引手2、上吊りレール、WD-3b:ガラリ(有効開口0.014㎡以上)							FK、折戸金物一式、把手三方枠仕様(下枠レール)							
備考		飛散防止フィルム		SUS型Y型フラットレール		ユニバーサルディレクト 株式会社ノダ							カナエル 株式会社ノダ							

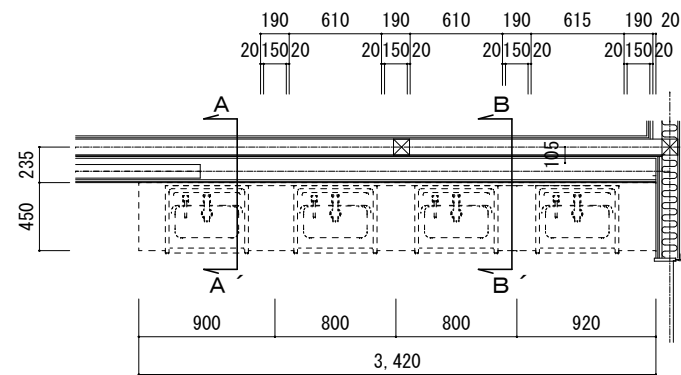
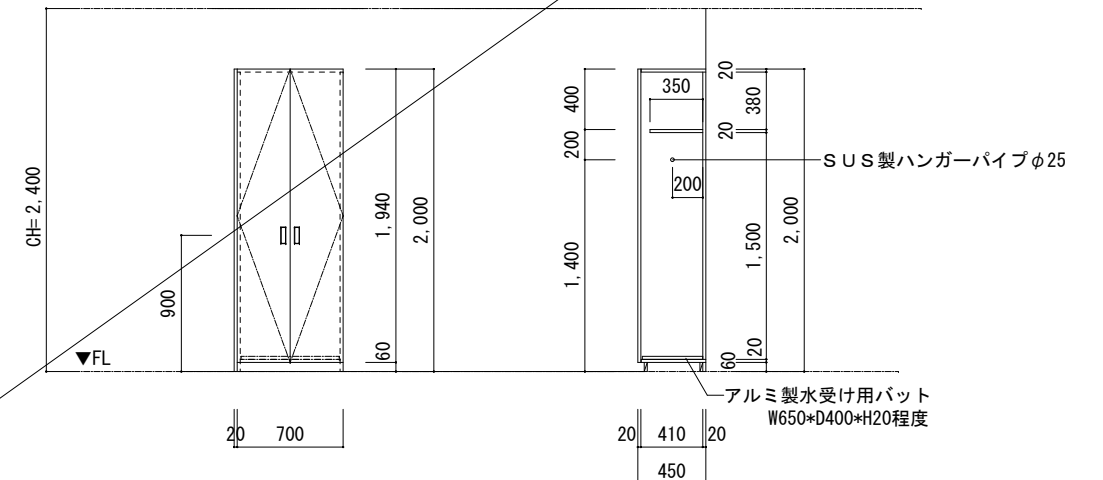
符号	数量	⑤ WD	1	⑥ WD	3	① LSD	3	② LSD	1											
姿図・寸法																				
各階FL▽		870		1,150 (有効1,030)		1,020 (有効900)		1,020 (有効900)												
型式		木製2枚折れ戸	廊下1	木製2枚折れ戸	WC1~3	軽量鋼製片引きハンガー戸(壁収納)	脱衣室1~3	軽量鋼製2枚片引きハンガー戸(壁収納)	洗濯室											
枠見込 (扉見込)		175		175		170		170												
仕上		化粧シート		化粧シート		指定色焼付塗装		指定色焼付塗装												
ガラス		—		—		F t=4		F t=4												
金物		FK、折戸金物一式、把手三方枠仕様(下枠レール)		FK、折戸金物一式、クローズアシスト用金具TK、プッシュハンドル(抗菌)		引手3(抗菌)、半自動装置TK、SK、FK、AG(有効開口0.021㎡以上)		引手3(抗菌)、半自動装置CK、SK、FK、AG(有効開口0.021㎡以上)												
備考		カナエル 株式会社ノダ		ユニバーサルディレクト 株式会社ノダ																



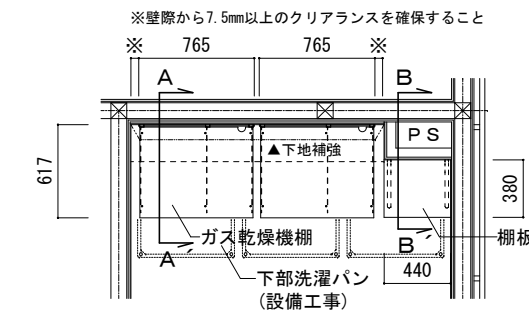
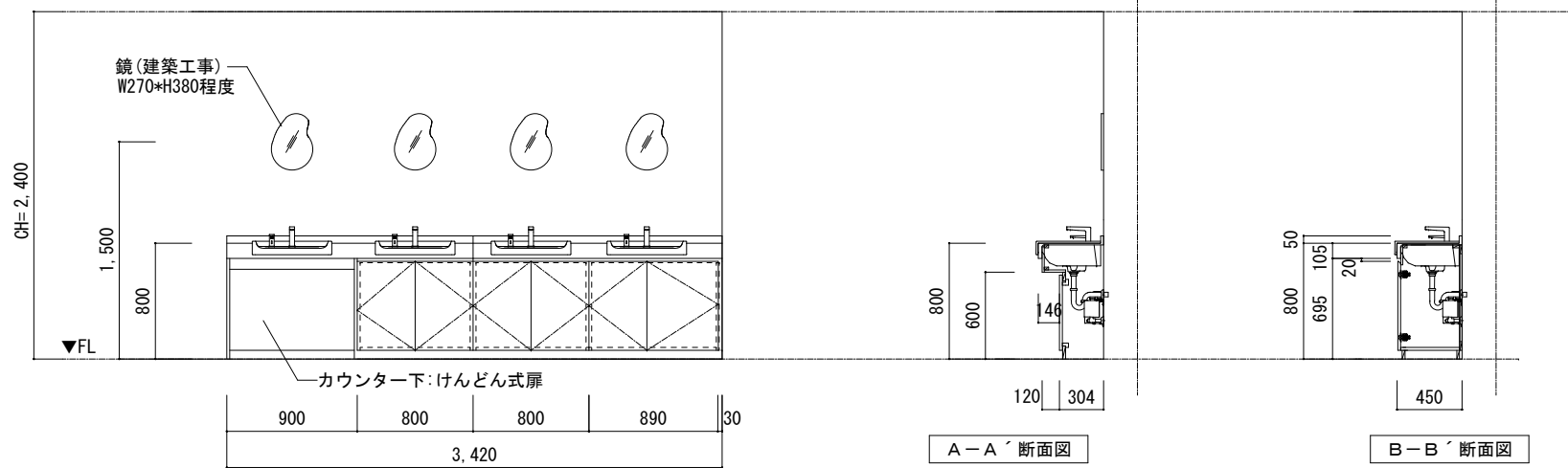
**下足入 (家具工事)**  
 天板: ポストフォームカウンター (KWAタイプ)  
 見掛: メラミン化粧合板  
 見隠・内部: メラミン化粧合板  
 扉: メラミン化粧合板 t=20  
 金物: スライド丁番 (キャッチ付)  
 SUS製ダボ  
 木口: 塩ビ樹脂2mm貼 (棚板メラミン化粧板貼)  
 取手: レール引手 (PA-59) / KAWAJUN同等品  
 その他: ネームプレート



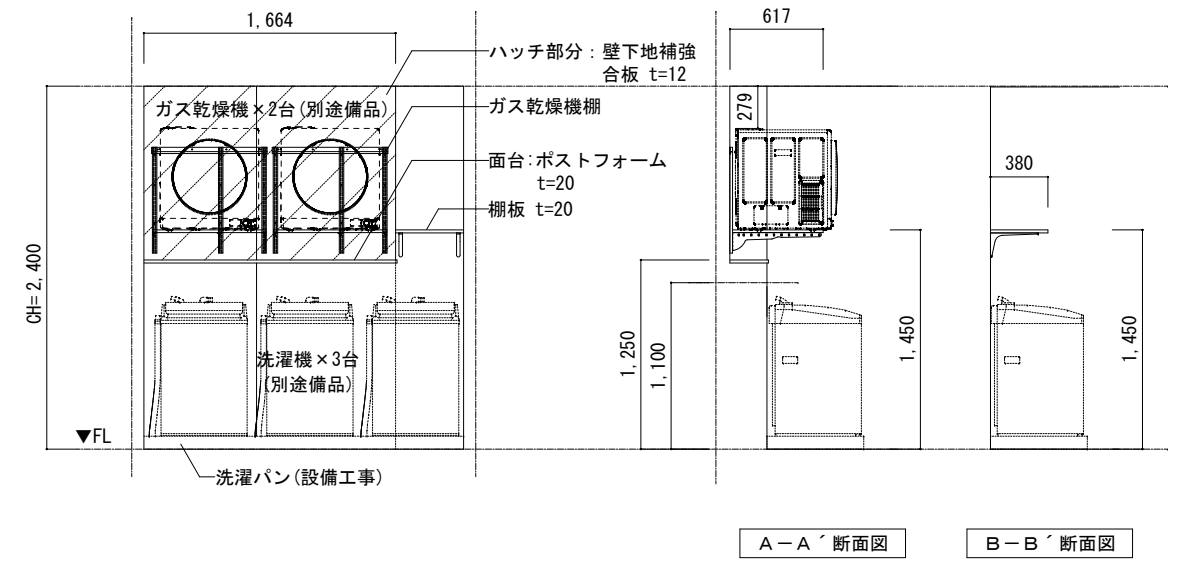
**掃除道具収納 (家具工事)**  
 見掛: メラミン化粧合板  
 見隠・内部: メラミン化粧合板  
 扉: メラミン化粧合板 t=20  
 金物: スライド丁番 (キャッチ付)  
 SUS製掘込取手  
 巾木: メラミン化粧合板  
 木口: 塩ビ樹脂2mm貼 (棚板メラミン化粧板貼)  
 その他: アルミ製水受け用バット

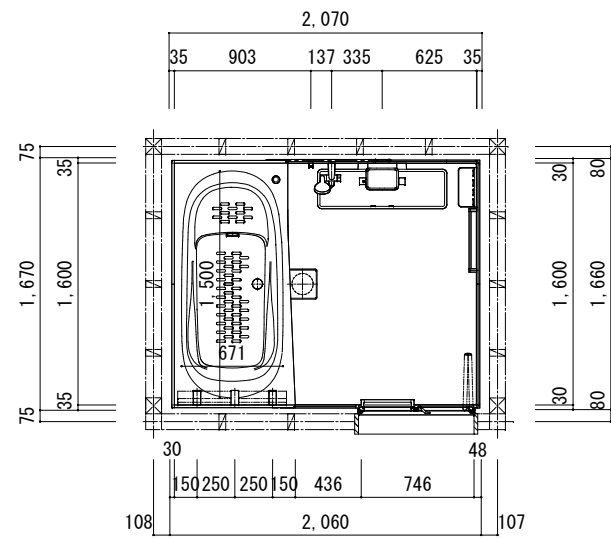


**洗面カウンター (家具工事)**  
 見掛: メラミン化粧合板  
 見隠・内部: ポリ合板  
 扉: メラミン化粧合板 t=20  
 上部掘込手掛け  
 金物: スライド丁番 (キャッチ付)  
 巾木: メラミン化粧合板  
 木口: 塩ビ樹脂2mm貼  
 その他: マーブライトカウンター・手洗い器 (設備工事)  
 鏡 (建築工事)



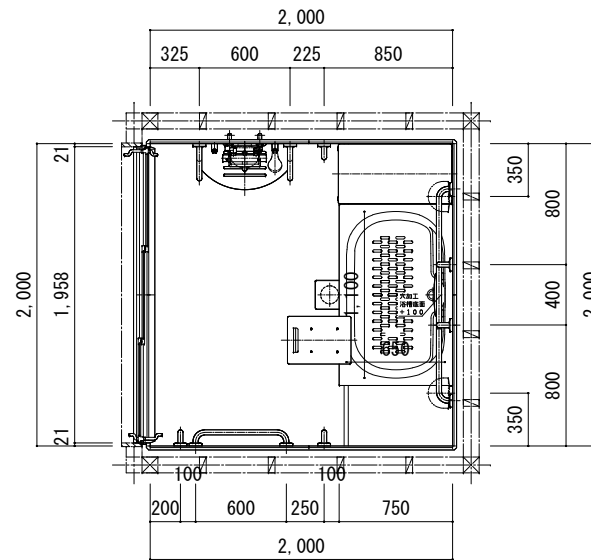
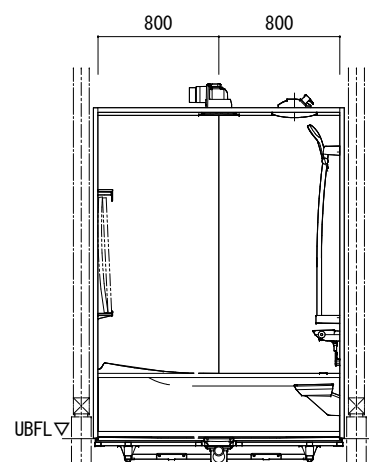
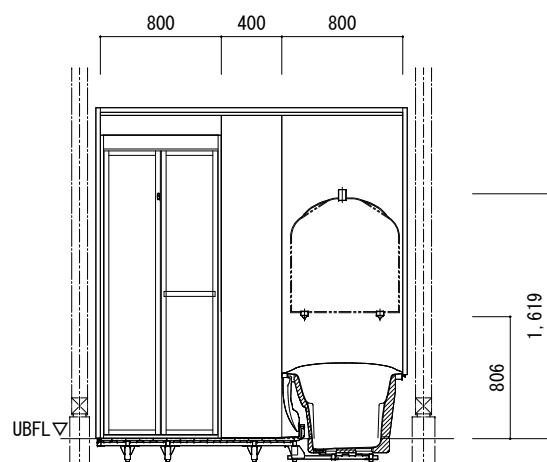
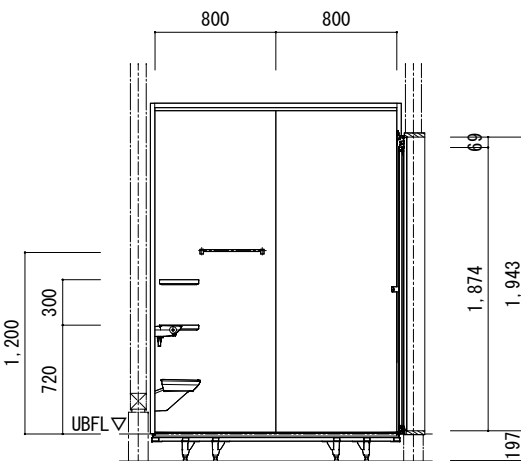
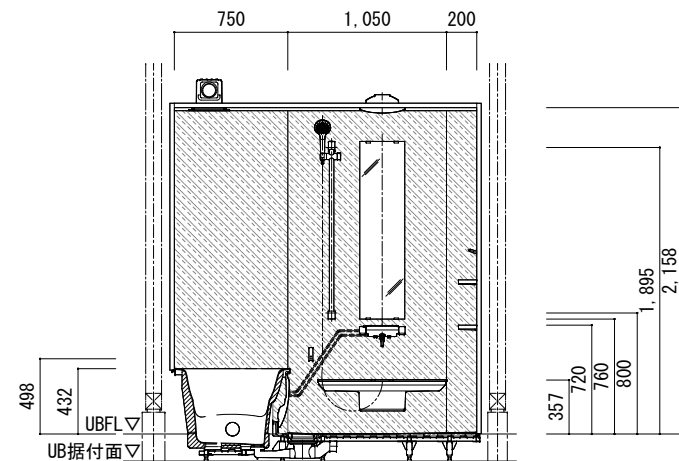
**ガス乾燥機棚 (家具工事)**  
 フィットラック 乾太くん専用台 (株) 藤山又は同等品×2  
 セット品番: KST7560 W765×H700  
**棚板 (家具工事)**  
 棚板: メラミン化粧合板 t=20  
 金物: ブラケット×2





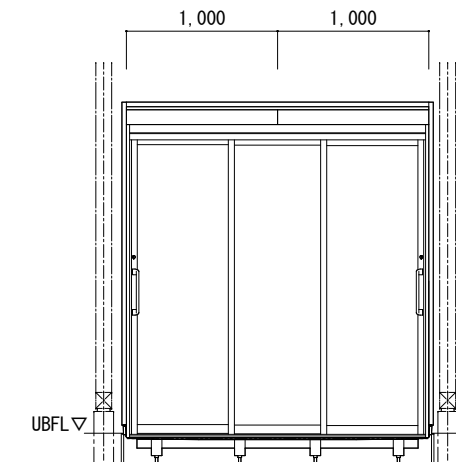
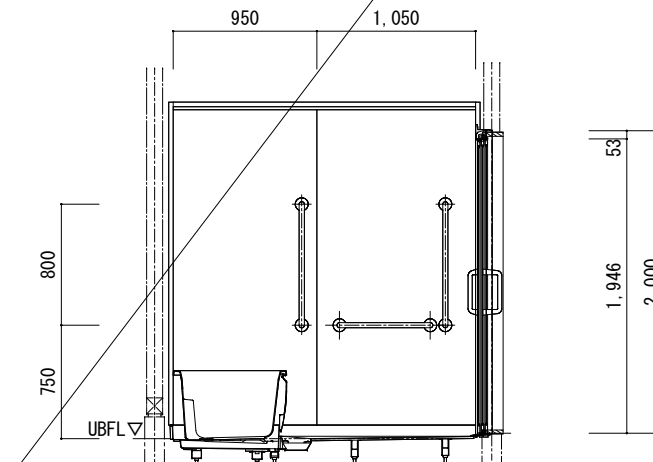
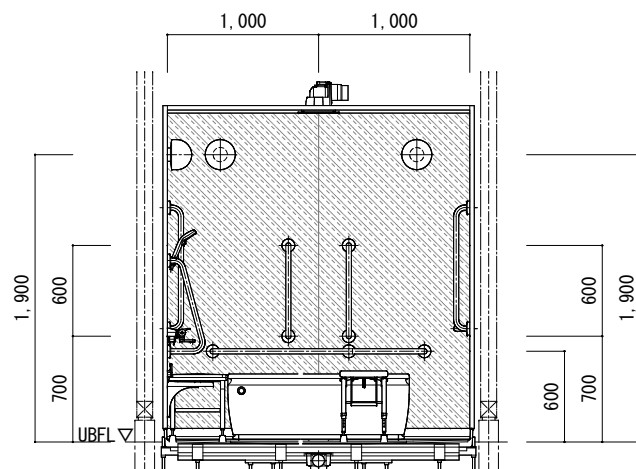
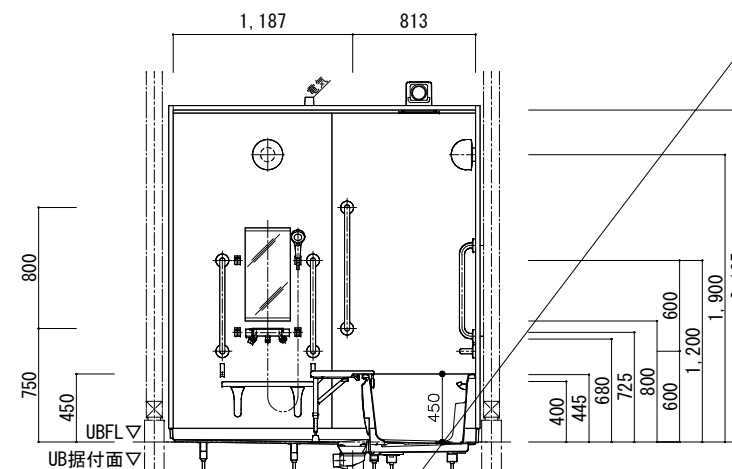
HTV1620US	フラット床	コロガン
名称	仕様・寸法	色・柄
天井パネル	化粧鋼板複合パネル (抗菌防カビ仕様・モール式)	ホワイト
壁パネル/アクセントパネル	HQパネル	ブリエホワイト/クリアライトグレー
床パネル	お掃除ラクラクほっカラリ床	ホワイト (ラグ調)
ドアパネル	折戸 (スッキリドア) 中棧なし 面材: 型板ステン板 W=800 (有効開口幅 671mm) H=2000	ホワイト (戸袋パネル: ホワイト) 面材: 半透明
浴槽/エプロン	魔法びん浴槽仕様/ワンプッシュ排水栓 ゆるり浴槽 FRPバス 追焚用	ホワイト/エプロン: ホワイト
ふろふた	ラクかるふろふた 2枚割 断熱仕様	ホワイト
ふろふたフック	樹脂製	ホワイト
カウンター	お掃除ラクラクカウンター W=850	座面: ホワイト/エプロン: グレー
洗い場水栓	サーモスタット式	水栓本体: メタル調/カバー: ライトシルバー
スライドバー	コンフォートシャワーバー (手摺り兼用) L=1175 (1095)	スライドバー: メタル調
シャワーヘッド	コンフォートウエーブシャワー ホース: L=1800	ヘッド: メタル調/ホース: シルバー
ホースフック	樹脂製	メタル調
照明	シーリング照明 (電球形LEDランプ)	
給水管/給温管	接続口 PJ1/2止め	
排水トラップ	ABS樹脂製 封水深50mm	
排水管	VU管 (2000mm) 1本 末端切放し	
タオル掛け	ステンレスパイプ φ13 L=400	座: ホワイト
手摺り (浴槽側短辺)	インテリアバー φ30 L=800	メタル調
サポートバー	樹脂製 L=1650	ホワイト
収納棚	収納棚 W260 樹脂製 2個	ホワイト
鏡	お掃除ラクラク鏡 縦長ミラー ツメ式 W298×H1175	
窓枠	フリーサイズ窓枠 内寸W365H500	窓枠: ホワイト/シリコン: ホワイト

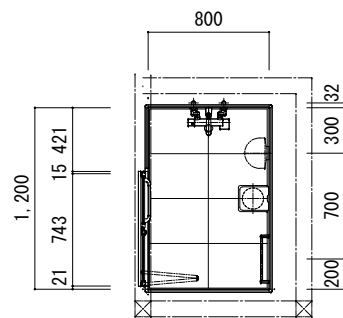
※扉開き勝手は平面詳細図による。



XAV2020UY	フラット床	コロガン
名称	仕様・寸法	色・柄
天井パネル	化粧鋼板複合パネル (抗菌防カビ仕様・モール式)	ホワイト
壁パネル/アクセントパネル	HQパネル	ベースホワイト/ライトウッドN
床パネル	FRPカラリ床 (単色)	ペーージュ
ドアパネル	3枚引戸 (スッキリドア) 面材: 型板ステン板 W=2000 (有効開口幅 1214mm)	ホワイト (戸袋パネル: ホワイト) 面材: 半透明
浴槽/エプロン	入浴サポート浴槽 FRPバス 追焚用 φ50開口 ワンプッシュ排水栓 樹脂製ハンドグリップ 3方エプロン (3方向握りやすいリム形状)	ホワイト/エプロン: ホワイト
洗面化粧台カウンター	熱可塑性ポリエステル樹脂	パウダーブラウン
洗い場水栓	サーモスタット式	水栓本体: メタル調
シャワーヘッド	コンフォートウエーブクリックシャワー	ヘッド: ホワイト/ホース: シルバー
	ホース: L=1600 調圧弁有	
ジョイントボックス	エコノミージョイントWJ3107相当品	ホワイト
ホースフック	樹脂製	ホワイト
照明	半球形照明 (LEDランプ)	
給水管/給温管	青銅鋳物製 接続口 R <sub>c</sub> 1/2	
排水トラップ	ABS樹脂製 封水深50mm	
排水管	VU管 (2000mm) 1本 末端切放し	
手摺り (一式)	インテリアバー φ30	ホワイト
トランスファーボード	インテリアバー φ30 L=800	ホワイト
鏡	耐水鏡 縦長ミラー フレーム式 (樹脂製) W298×H600	
窓枠	フリーサイズ窓枠 内寸W600H500	窓枠: ホワイト/シリコン: ホワイト

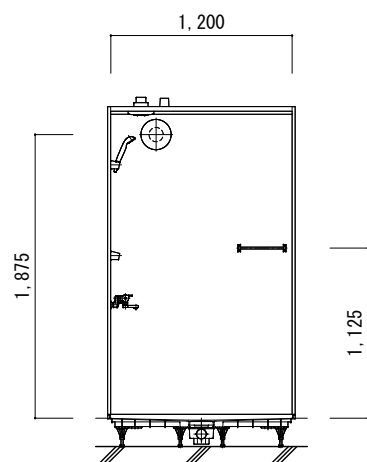
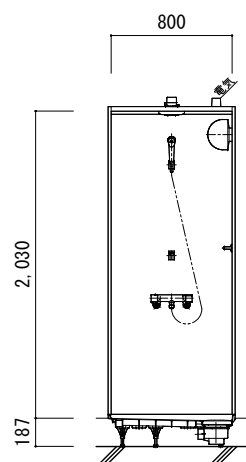
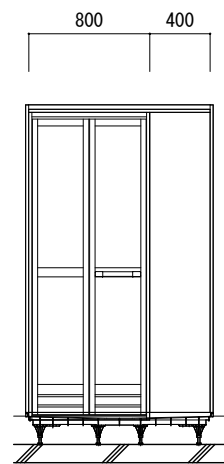
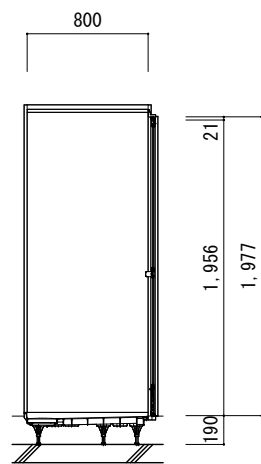
※扉開き勝手は平面詳細図による。

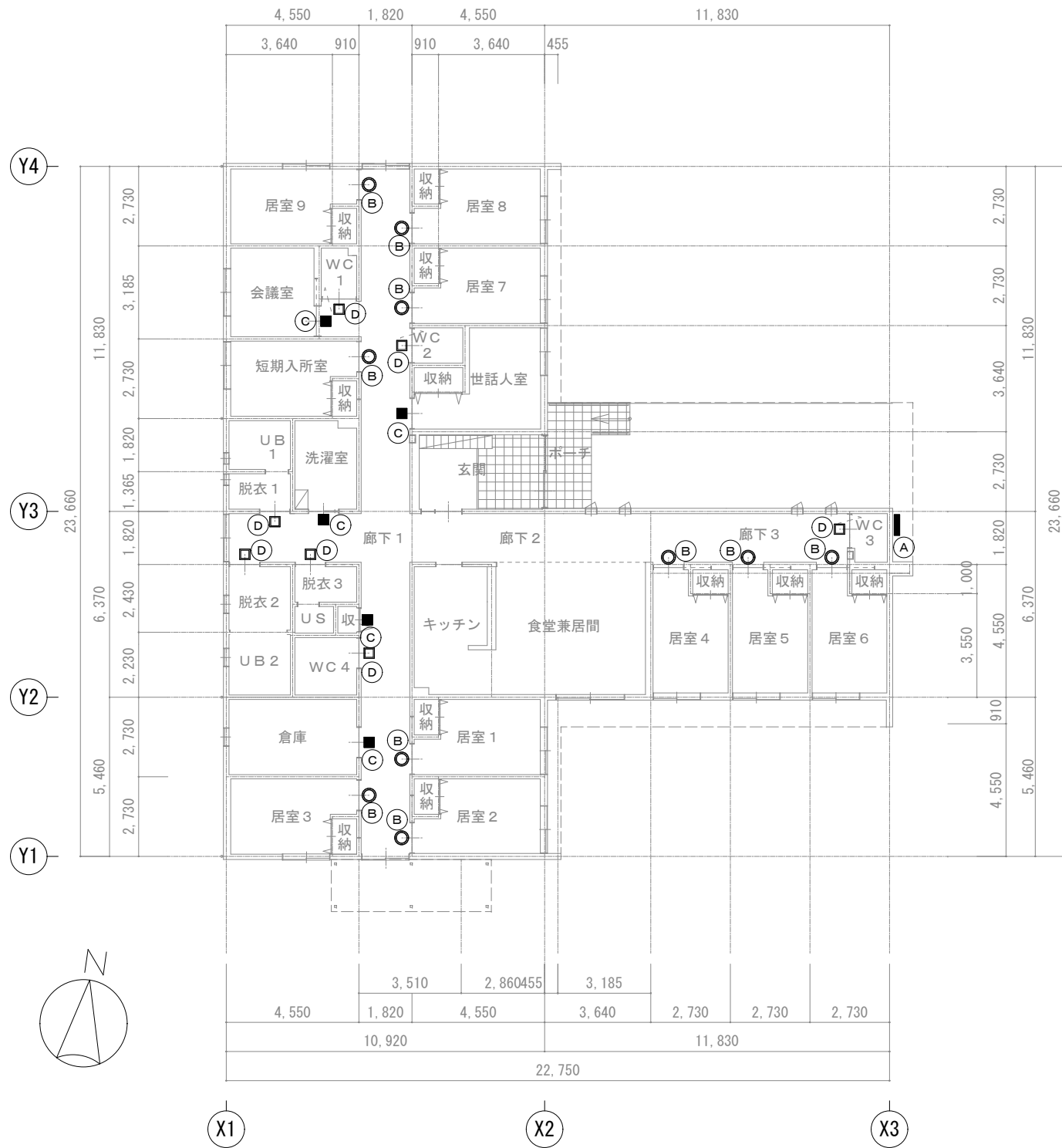




名称	仕様・寸法	色・柄
JSV0812UL	フラット床	コロガン
天井パネル	化粧鋼板複合パネル (抗菌防カビ仕様・モール式)	ホワイト
壁パネル/アクセントパネル	HQパネル	ベーススホワイト/ライトウッドN
床パネル	FRPカラリ床 (単色)	ホワイト (#NW1)
ドアパネル	折戸 (換気口開閉式) ドア脱着機構付 面材: 型板ステン板 W=800 (有効開口幅 671mm)	アイボリー 面材: 半透明
シャワー水栓	サーモスタット式	水栓本体: メタル調
シャワーヘッド	スプレーシャワー ホース: L=1600	ヘッド: ホワイトグレー/ホース: シルバー
シャワーハンガー		ホワイト
照明	半球形照明 (LEDランプ)	
ジョイントボックス	エコノミージョイントWJ3107相当品	ホワイト
給水管/給温管	青銅鑄物製 接続口 Rc1/2	
排水トラップ	ABS樹脂製 封水深50mm	
タオル掛け	ステンレスパイプ φ13 L=300	ホワイト (#NW1)

※扉開き勝手は平面詳細図による。





サインリスト

NO	名称	外部	1F	計
■ (A)	館名サイン	1	0	1
○ (B)	居室サイン	0	10	10
■ (C)	ドアシートサイン(文字)	0	5	5
□ (D)	ドアシートサイン(ピクト)	0	7	7

※取付高さは監督職員との協議による。

①	館名サイン	scale	OUT	1F	計	②	居室サイン	scale	OUT	1F	計
		1/20	1		1			1/5		10	10

SUS304 レーザー切抜加工 t=3.0 H.L. 焼付塗装

社会福祉法人あしたの会

1,550

※ 書体・文字送り間隔は打合せによる

③	シートサイン(文字)	scale	OUT	1F	計	④	シートサイン(ピクト)	scale	OUT	1F	計
		1/5		5	5			1/5		7	7

ドアにカットシート貼

倉庫

50

ドアにカットシート貼

120

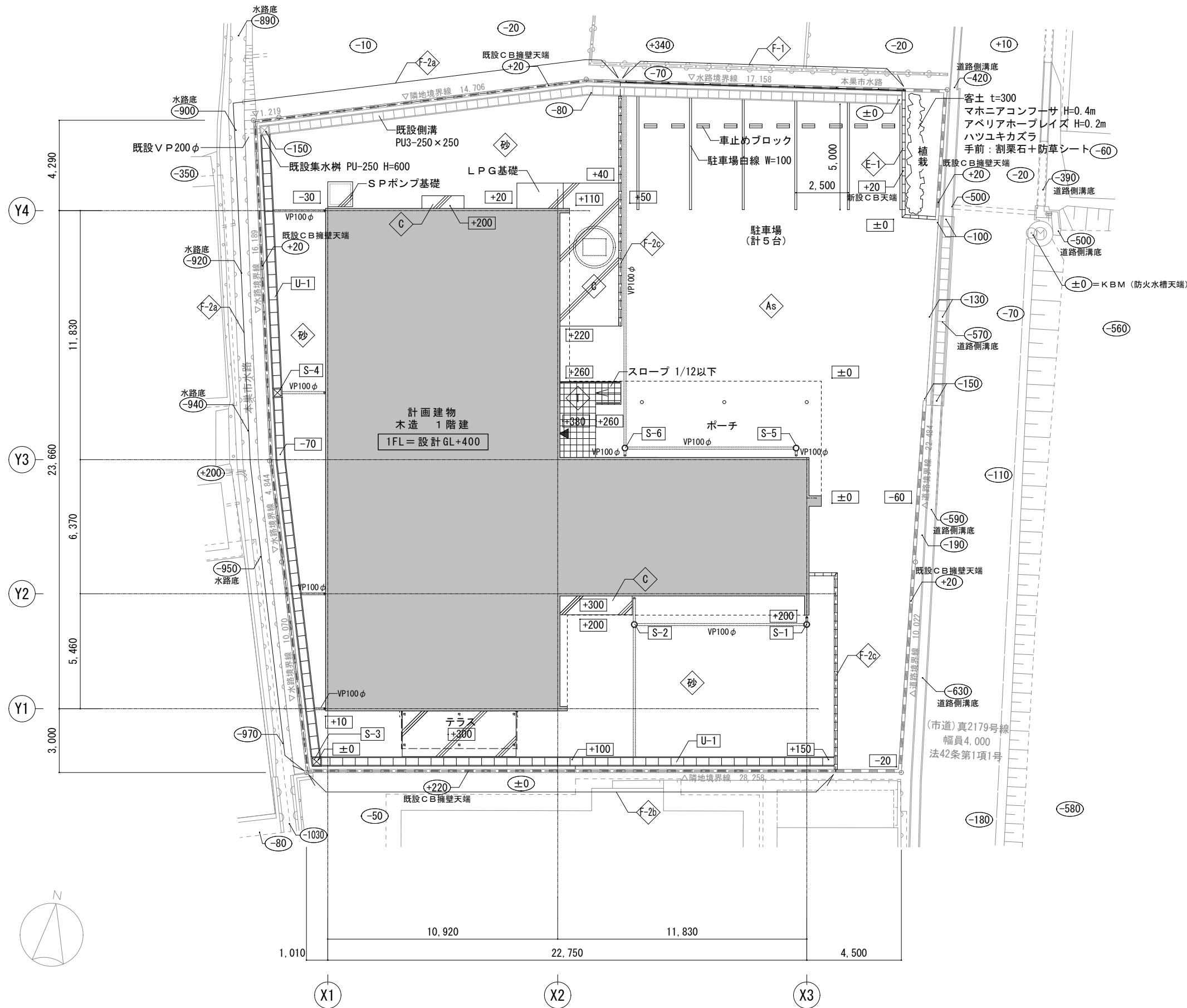
カットシート貼(指定色)  
※アイコンマークについては、別途データ提供。

40

1/3

150 " " " " 150

※床からの建具(ガラス)全て。



凡例	
***	現況地盤を示す (KBMヨリ)
***	計画地盤を示す (設計KBMヨリ)
As	密粒アスファルト舗装 t=50
T	タイル張り
C	土間コンクリート t=150
砂	防草シート+砂利 (C 0-25) t=50
E-1	化粧CB
---	既設CB塀
F-1	アルミ製ルーバーフェンス H=1,600 ルシアスH07型 支柱φ2,000 YKK AP欄同等品 既設CB基礎
F-2a	スチール製メッシュフェンス F-2a: H=1,000 / F-2b: H=800 / F-2c: H=800 朝日UNフェンス A型 支柱φ2,000 朝日スチール工業欄同等品 F-2a, 2b: 既設CB基礎 / F-2c: 化粧CB基礎
F-1a	アルミ製片開き門扉 H-1a: H=1,400 W=1,000 / H-1b: H=1,400 W=900 独立基礎 (350x350x450) ルシアスYS4型-YKK AP欄同等品
S-1	雨水樹
U-1	雨水側溝

※化粧CBはシャモティ W=150 (株)ユニソン又は同等品

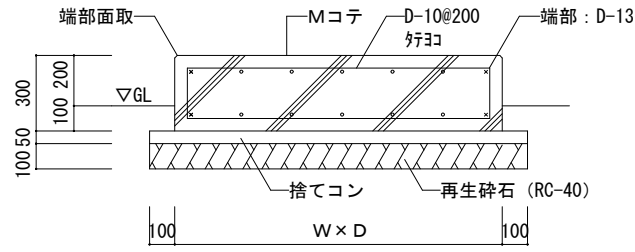
<b>As</b> 密粒アスファルト舗装 1/30	<b>C</b> 土間コンクリート 1/30
<b>U-1</b> PU2型側溝 1/30	<b>S-3</b> PU樹 1/30

■樹リスト

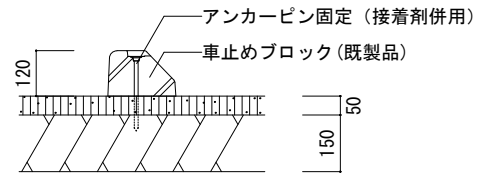
樹符号	樹種別	樹内寸サイズ	樹深さ (泥溜め含む)	蓋種別	耐荷重
S-1	小口径樹	90L 100-150	400	塩ビ製格子蓋	T-2
S-2	小口径樹	90Y 100-150	400	塩ビ製格子蓋	T-2
S-3	PU樹	250x250	500	スチール製グレーチング蓋	T-2
S-4	PU樹	250x250	500	スチール製グレーチング蓋	T-2
S-5	小口径樹	90L 100-150	500	塩ビ製格子蓋	T-2
S-6	小口径樹	90Y 100-150	800	塩ビ製格子蓋	T-2

■側溝リスト

側溝符号	側溝種別	側溝深さ H	蓋種別	耐荷重
U-1	PU2型250	250	コンクリート蓋 スチール製細目グレーチング蓋 1枚/10m	T-2

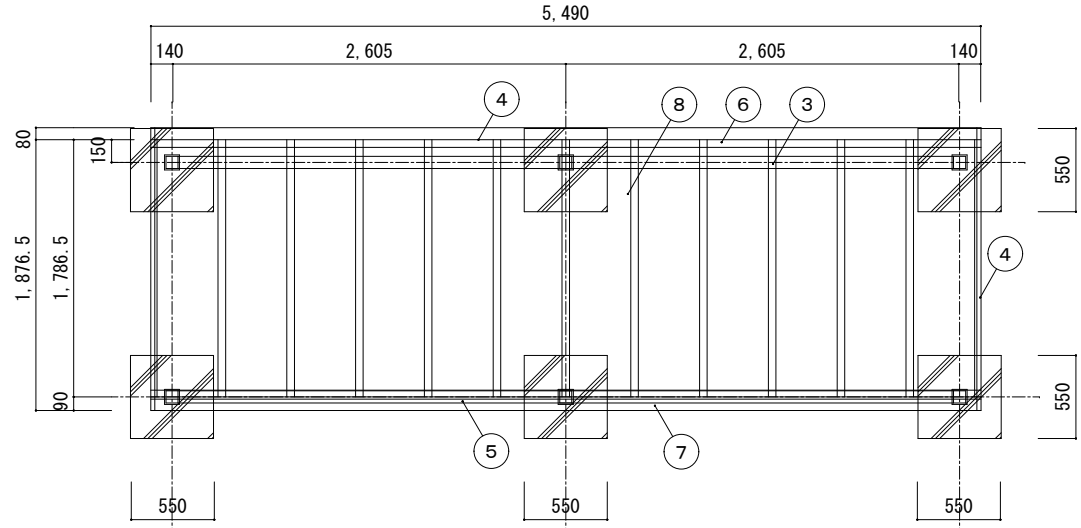


W x D	用途	箇所	数量
1,200 x 1,200	SPポンプ	建物北側	1箇所
2,200 x 1,200	LPG	建物北側	1箇所



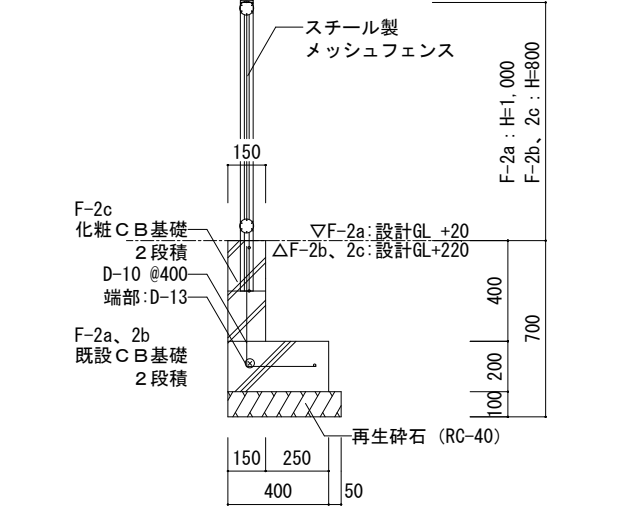
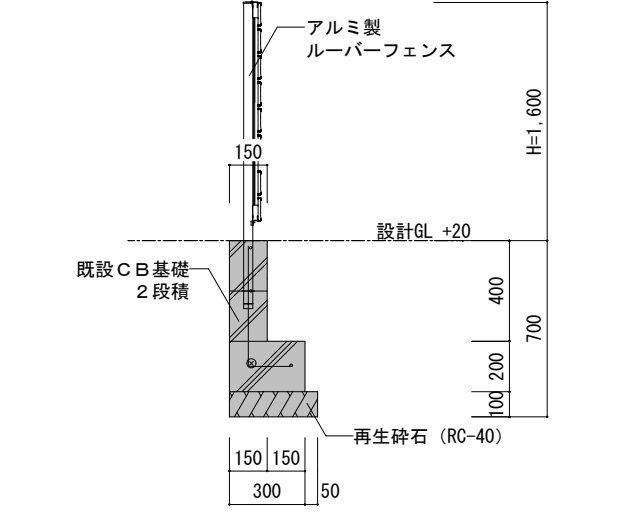
設備基礎 1/30

車止めブロック 1/20



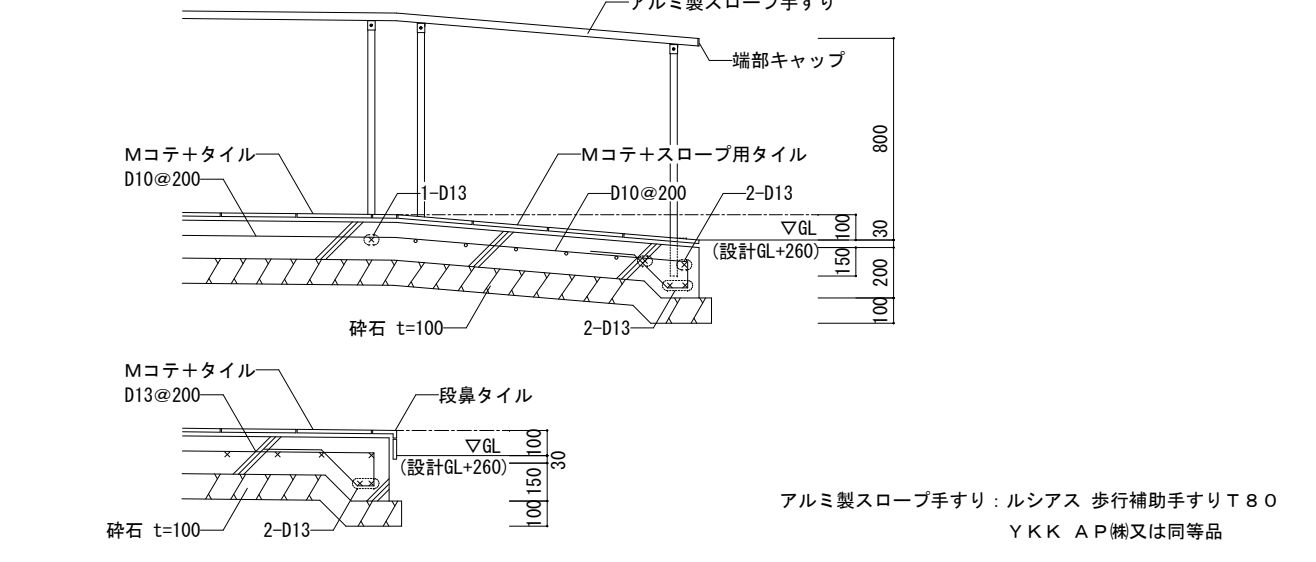
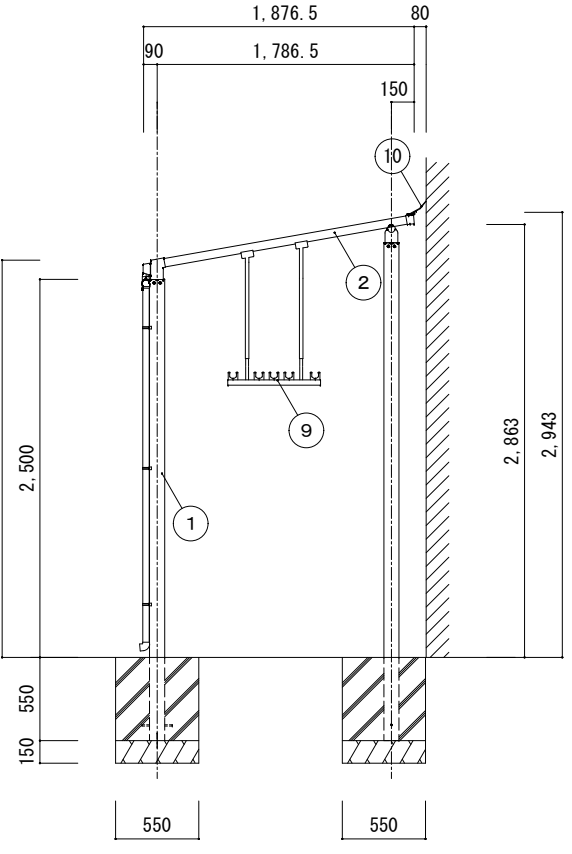
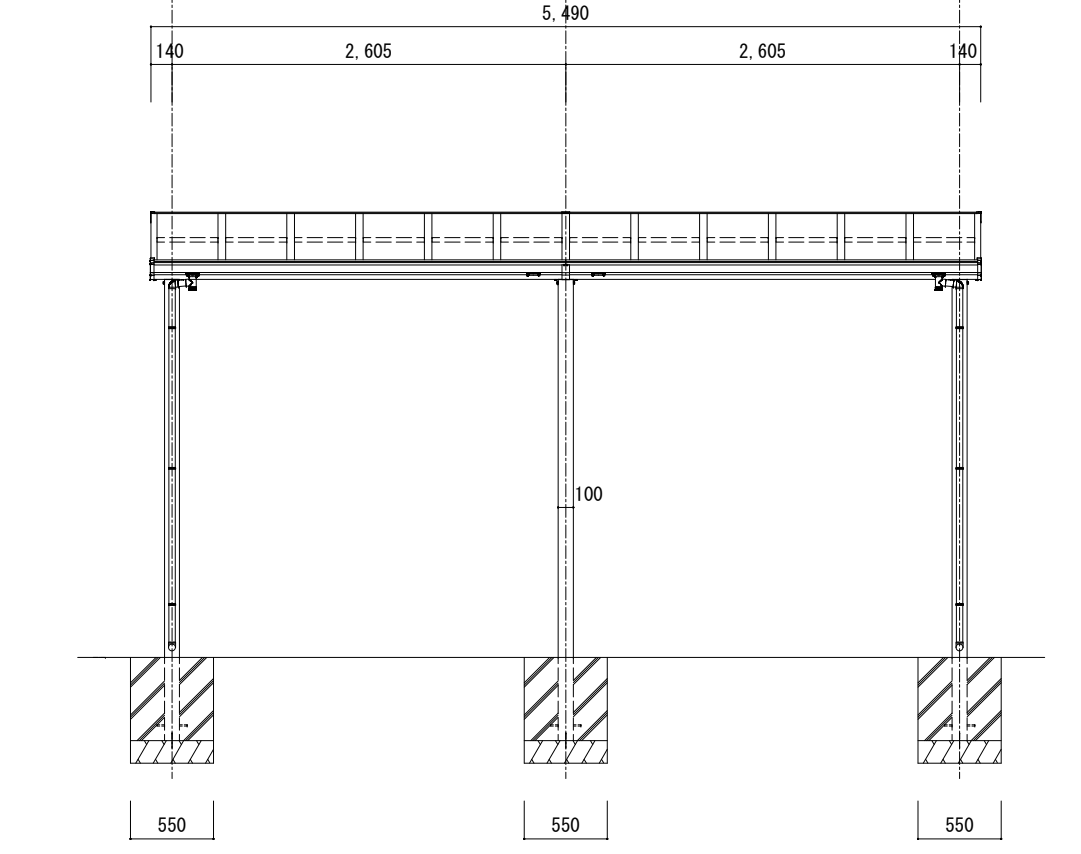
主要部材	仕様 (材質・塗装)
① 柱	アルミ押出形材 陽極酸化・塗装複合皮膜
② 梁	アルミ押出形材 陽極酸化・塗装複合皮膜
③ 母屋	アルミ押出形材 陽極酸化・塗装複合皮膜
④ 側枠	アルミ押出形材 陽極酸化・塗装複合皮膜
⑤ 前枠	アルミ押出形材 陽極酸化・塗装複合皮膜
⑥ 後枠	アルミ押出形材 陽極酸化・塗装複合皮膜
⑦ 雨樋	アルミ押出形材 陽極酸化・塗装複合皮膜
⑧ 屋根材	ポリカーボネート板
⑨ 吊り下げ式 固定物干し	アルミ押出形材 陽極酸化・塗装複合皮膜
⑩ すき間ふさぎ材	

■参考品番  
ソラリア YKK AP欄又は同等品



F-1: アルミ製ルーバーフェンス 1/30

F-2: スチール製メッシュフェンス 1/30



階段、スロープ 1/30

テラス屋根 1/50

0. 一般事項

※本特記仕様書は、各標準仕様書及び各図面に記載なき事項を特記するものであり、構造図面に記載された事項は、本特記仕様書に優先して適用する。  
 ※各事項は、「■」印又は、「□」印のものを適用する。  
 ※適用基準類  
 ・建築基準法、建築基準法施行令、国土交通省（建設省）告示  
 ・建築構造設計基準（最新版）、日本建築学会諸基準  
 ・日本建築センター等諸指針

1. 建築物の構造概要

(1) 工事名：(仮称) 本巢グループホーム新築工事

(2) 建築場所：

(3) 主要用途：

(4) 工事種別 ■新築  
増築( 年 月頃)  
改築( 年 月頃)

(5) 階数 ■地上 1階 地下 階 塔屋 階

(6) 構造種別 ■木造( 1階)  
鉄筋コンクリート構造(地階) 鉄筋コンクリート構造(壁式)  
鉄骨造 補強コンクリートブロック造 鉄骨鉄筋コンクリート造  
プレキャスト鉄筋コンクリート造 その他( )

(7) 構造形式 (RC部)  
 ・X方向:( ) ・Y方向:( )

(8) 屋上附属物 広告塔 kN  
キュービクル kN  
高架水槽 kN  
その他( )

(9) 地下埋設物 浄化槽 kN  
水槽 kN  
その他( )

(10) 特殊荷重 リフト kg用 基  
エレベーター 人乗り 基  
水槽 t 天井クレーン t用 基

(11) 附帯工事 塀(H= m)  
擁壁(H= m) その他( )

(12) 増築計画 有( ) 不明 無

2. 地盤

(1) 地盤調査  
 ■敷地内 6ヶ所 敷地付近 ヶ所 未調査

(2) 調査内容  
 ■SWS試験 物理的性質試験 力学的性質試験  
載荷試験 現場透水試験 試験堀(支持層の確認)  
 ■その他( 標準貫入試験 )

(3) 調査者  
 ・調査会社名: 地盤調査報告書による  
 ・調査報告者: 地盤調査報告書による  
 ・調査年月日: 2026年4月7日

(4) 調査報告  
 ■調査報告書は、別添による。  
今後の調査及び試験杭の結果により、杭長、杭種、直接基礎の深さ、形状を変更する場合もある。  
ボーリング標準貫入値、土質構成(基礎・杭の位置を明記すること)

(注) 施工においては、地盤調査等により設計地耐力以上の耐力を確認すること。

3. 使用材料

(1) コンクリート

適用部位	種類	設計基準強度 (F <sub>c</sub> =N/mm <sup>2</sup> )	品質管理強度 (F <sub>q</sub> =N/mm <sup>2</sup> )	スランブ (cm)	備考
捨コンクリート	■普通	18		18	※1
土間コンクリート	■普通	21		15	※1
基礎、基礎梁	■普通	21		15	※1
柱、梁、床、壁	□普通				
押えコンクリート	□普通・□軽量				
混和剤					

※1 単位水量は185kg/m<sup>3</sup>以下とする。空気量は4~6%とする。

(2) 鉄筋

	種類	径	使用部位	継手工法
異形鉄筋	■SD295	D10~D16		■重ね継手
	□SD345	D19~		□ガス圧接継手
	□SD390			
高強度せん断補強筋				□その他継手( )
丸鋼				
溶接金網 (JIS G 3551)				

(3) 鉄骨

種類	使用部位	現場溶接	備考
□SM400	□SM400	□	□有・□無
□STKR400	□STKR490	□	□有・□無
□SM490A	□SM400	□	□有・□無
□SS400	□SM490	□	□有・□無
□	□	□	□有・□無

(4) ボルト ※使用部位の詳細については、別途図示による。  
高力ボルト (M16~M22) F10T S10T認定品  
高力ボルト導入張力確認試験 必要・□不要  
中ボルト M  
アンカーボルト SS400 M12 L= 400mm ナット(■シングル・□ダブル)  
アンカーボルト SNR400B M L= mm  
頭付スタッドボルト φ L= mm 使用部位 (□柱・□大梁・□小梁) ナット(□シングル・□ダブル)

(5) コンクリートブロック (CB)  
 厚さ□100 □120 □150 □190 □A種 □B種 □C種

(6) 屋根、床、壁  
ALC板 厚さ:( )mm  
押出成形セメント板 厚さ:( )mm  
折板 H= 厚さ:( )mm  
デッキプレート 形式: 厚さ:( )mm  
 厚さ:( )mm

4. 地業工事

■(1) 直接基礎  
 ■ベタ基礎 布基礎 独立基礎  
 載荷試験 有 無  
 試験掘 有 無 深さGL- m 支持層  
 長期許容支持力度: 20kN/m<sup>2</sup>

(2) 杭基礎  
 深さGL- m 支持層

杭種	材料	施工法	備考
□RC □PC □PHC □H鋼 □鋼管 □摩擦杭	□I種 □II種 □III種	□打ち込み □埋込み(セメント締り工法)	
□場所打ちコンクリート杭	コンクリート F <sub>c</sub> = N/mm <sup>2</sup> スランブ cm セメント量 kN/m <sup>2</sup> 鉄筋 主筋: SD 帯筋: SD	□オールケーシング □リバーサレーション □アースドリル □ミニアース □深礎(□手掘り/□機械掘)	

・杭仕様 施工計画書承認 杭施工結果報告書提出  
 ・試験杭(□有 □無) (□打ち込み □載荷) 本

杭径 (mm)	設計支持力 (kN)	杭先端の深さ (m)	本数	特記事項

5. 鉄筋コンクリート工事

(1) 鉄筋  
高強度せん断補強筋は、JIS G 3137に規定されるD種1号適合品とする。  
鉄筋の加工寸法、形状、かぶり厚さ、鉄筋の継手位置、継手の重ね長さ、定着長さは「鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1)(2)」または「壁式鉄筋コンクリート構造配筋標準図(1)(2)」による。  
D19未満は、すべて重ね継手とする。継手(D19以上)をガス圧接とする場合は、日本圧接協会「鉄筋のガス圧接工事標準仕様書」による。  
ガス圧接部の抜き取り検査は、同一作業班が同一日に施工した圧接箇所ごと(200箇所を超えるときは、200箇所ごと)に1回行い、1回試験は5本以上とする。  
実施する検査及び試験は、  
 ・外観検査 ■有/□無  
 ・超音波深傷試験 ■有/□無  
 ・引張試験 □有/■無  
柱の帯筋(HOOP)の加工方法は、  
H型(タガ型) □W型(溶接型)  
S型(スパイラルル型)とする。  
鉄筋及びコンクリートの試験は、公的な試験機関で行い報告書にて提出すること。

(2) コンクリート  
コンクリートはJIS認定工場の製品とし施工に関してはJASS5(2022)による。  
水セメント比は50%以下とする。  
セメントは、JIS R5210の普通ポルトランドセメントを標準とする。  
調査計画は、工事開始前に工事監理者の承認を得ること。  
寒中、暑中、その他特殊コンクリートの適用を受ける期間に当る場合は、調査、打ち込み、養生、管理方法など必要事項について、工事監理者の承認を得ること。  
フレッシュコンクリートの塩化物測定は、原則として工事現場で(財)国土開発技術研究センターの技術評価をうけた測定器を用いて行い、試験結果の記録及び測定器の表示部を一回の測定ごとに撮影した写真(カラー)を保管し承認を得る。測定検査の回数は、通常の場合、1日1回以上とし、1回の検査における測定試験は、同一試料から取り分けて3回行い、その平均値を試験値とする。  
構造体コンクリートについては、現場の圧縮強度試験供試体(JASS5T-603)は、現場水中養生、または現場封かん養生とし、採取は打ち込み区ごと、打ち込み日ごととする。また、打ち込み量が150立米をこえる場合は150立米ごとまたは、その端部ごとに1回を標準とする。1回に採取する供試体は、適当な間隔をおいた3台の運搬車からその必要本数を採取する。なお、供試体の数量は、特別指示なき場合は、1回当たり6本以上とし、そのうち4週用に3本を用いる。  
ポンプ打ちコンクリートは、打ち込む位置にできるだけ近づけて垂直に打ち、コンクリートの自由落下高さは、コンクリートが分離しない範囲とする。ポンプ圧送に際しては、コンクリート圧送技士または同等以上の技能を有する者が従事すること。なお、打ち込み継続中における打継ぎ時間間隔の限度は、外気温が25℃未満の場合は150分、25℃以上の場合は120分以内とする。その他打設方法はJASS5(2015年版)に従うこと。  
コンクリート打ち継ぎ部は表面のレイタンスを除去後、湿潤し打ち継ぐこと。その他JASS5(2015年版)に従い打ち継ぎ処理すること。  
打設後のコンクリートは十分な養生期間を置き強度の発現に留意すること。その他JASS5(2015年版)に従い養生すること。  
中性化、塩化物、アルカリ骨材対策について、JASS5に従い配合計画をすること。

(3) 型枠  
型枠材料は、合板厚12mmを標準とする。 ■型枠の施工はJASS5による。  
型枠存置期間は、下表による。

種類	せき板				支柱			
	基礎、梁側面、柱、壁		スラブ下、梁下		スラブ下		梁下	
コンクリートの養生期間(晴気候) 許す	早強度ポルトランドセメント	普通ポルトランドセメント	早強度ポルトランドセメント	普通ポルトランドセメント	早強度ポルトランドセメント	普通ポルトランドセメント	早強度ポルトランドセメント	普通ポルトランドセメント
	高炉セメントA種	高炉セメントA種	高炉セメントA種	高炉セメントA種	高炉セメントA種	高炉セメントA種	高炉セメントA種	高炉セメントA種
	シリセメントA種	シリセメントA種	シリセメントA種	シリセメントA種	シリセメントA種	シリセメントA種	シリセメントA種	シリセメントA種
(日)	15℃以上	2	3	4	6	8	17	28
	5℃~15℃	3	5	6	10	12	25	28
	5℃未満	5	8	10	16	15	28	28
コンクリートの圧縮強度	5.0N/cm <sup>2</sup>		設計基準強度の50%		設計基準強度の85%		設計基準強度の100%	

注)1 片持梁、庇、スパン9.0m以上の梁下は、工事監理者の指示による。  
 注)2 大梁の支柱の盛りかえは行わない。また、その他の梁の場合も原則として行わない。  
 注)3 支柱の盛りかえは、必ず直上階のコンクリート打ち後とする。  
 注)4 盛りかえ後の支柱頂部には、厚い受板、角材または、これに代わるものを置く。  
 注)5 支柱の盛りかえは、小梁が終ってから、スラブを行う。一時に全部の支柱を取り払って、盛りかえをしてはならない。  
 注)6 上表以外のセメントを使用する場合は工事監理者の指示による。

6. 設備関係

■特記以外の梁貫通孔は原則として設けない、設ける場合は設計者の承認を得ること。  
 ■設備機器の架台及び基礎については工事監理者の承認を得ること。  
床スラブ内に設備配管等を埋込む場合は、スラブ厚さの1/3以下とし管の間隔を管径の3倍以上かつ5cm以上を原則とする。  
建築設備(昇降機を除く。)、建築設備の支持構造部及び緊結金物は、腐食又は腐朽のおそれがないものとする。  
屋上から突出する水槽、煙突、冷却塔その他これらに類するもの(以下「屋上水槽等」という。)は、支持構造部又は建築物の構造耐力上主要な部分に、支持構造部は、建築物の構造耐力上主要な部分に、緊結すること。  
煙突の屋上突出部の高さは、れんが造、石造、コンクリートブロック造又は無筋コンクリート造の場合は鉄製の支枠を設けたものを除き、90cm以下とすること。  
煙突が屋内にある部分は、鉄筋に対するコンクリートのかぶり厚さを5cm以上とした鉄筋コンクリート造又は厚さが25cm以上の無筋コンクリート造、れんが造、石造若しくはコンクリートブロック造とすること。  
建築物に設ける給水、排水その他の配管設備(給湯設備\*を除く)は、風圧、土圧及び水圧並びに地震その他の震動及び衝撃に対して安全上支障のない構造とすること。  
建築物の部分貫通して配管する場合においては、当該貫通部分に配管スリーブを設ける等有効な管の損傷防止のための措置を講ずること。  
管の伸縮その他の変形により当該管に損傷が生ずるおそれがある場合において、伸縮継手又は可撓継手を設ける等有効な損傷防止のための措置を講ずること。  
管を支持し、又は固定する場合においては、つり金物又は防振ゴムを用いる等有効な地震その他の震動及び衝撃の緩和のための措置を講ずること。  
法第20条第一号から第三号までの建築物に設ける屋上水槽等にあつては、平成12年建設省告示第1389号により、風圧並びに地震その他の震動及び衝撃に対して構造耐力上安全なものとする。  
給湯設備\*は、風圧、土圧並びに地震その他の震動及び衝撃に対して安全上支障のない構造とすること。満水時の質量が15kgを超える給湯設備については、地震に対して安全上支障のない構造として、平成12年建設省告示第1388号第5に規定する構造方法によること。  
 \*「給湯設備」: 建築部に設ける電気給湯器その他の給湯設備で、屋上水槽等のうち給湯設備に該当するものを除いたもの

7. その他

■諸官庁への届出書類は遅滞なく提出すること。  
 ■各試験の供試体は公的試験機関にて試験を行い工事監理者に報告すること。  
 ■必要に応じて記録写真を撮影し保管し、指示があった際の提出に備えること。

[特記事項]

TE-DOK一級建築士事務所 岐阜県知事登録 第12814号  
 一級建築士 第330351号 河本 和義

一級建築士331866  
 守田 幸三

2 0 1

### 1. 一般事項

- (1) 構造図面に記載された事項は、本標準図に優先して適用する。
- (2) 記号  
 d…異形棒鋼の呼び名に用いた数値 丸鋼では径 D…部材の成 R…直径  
 @…間隔 r…半径 Clo…部材間の内法距離 ho…部材間の内法高さ  
 ST…あばら筋 HOOP…帯筋 S.HOOP…補強帯筋 φ…直径又は丸鋼

### 2. 鉄筋加工、かぶり厚さ

#### (1) 鉄筋末端部の折曲げの形状

折曲げ角度	180°	135°	90°	折曲げ角度90°はスラブ・壁筋の末端部またはスラブと同時に打ち込むT形およびL形梁のキャップタイにのみ用いる。
図				
鉄筋の余長	4d以上	6d以上 (※4d以上)	8d以上 (※4d以上)	キャップタイ
折曲げ内法寸法Rは、SR235は3d以上、SD295A、SD295B、SD345のD16以下は、3d以上、D19以上は4d以上				※片持スラブ 上端筋の先端

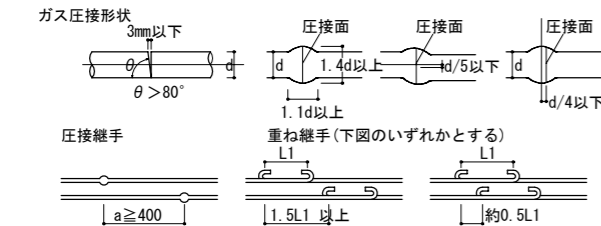
#### (2) 鉄筋中間部の折曲げの形状 鉄筋の折曲げ角度90°以下

図	鉄筋の使用箇所による呼称	鉄筋の種類	鉄筋の径による区分	鉄筋の折り曲げ内のり寸法(R)
	帯筋/あばら筋/スパイラル筋	SR235、SD295A、SD295B、SD345	16φ D16以下 19φ D19以上	3d以上 4d以上
	上記以外の鉄筋	SR235、SD295A、SD295B、SD345	16φ D16以下 19φ~25φ D19~D25 28φ~32φ D29~D38	6d以上 8d以上

#### (3) 鉄筋の定着及び重ね継手の長さ

鉄筋の種類	普通、軽量コンクリートの設計基準強度の範囲(N/mm <sup>2</sup> )	定着の長さ			特別の定着及び重ね継手の長さ(L)
		一般(L2)	下ば筋(L3)	小梁	
SR235	21~36 18以下	35dフックつき 45dフックつき	25dフックつき 15cmフックつき	15cmフックつき	35dフックつき 45dフックつき
SD295A SD295B SD345	21~36 18以下	35dまたは25dフックつき 40dまたは30dフックつき	25dまたは15dフックつき 10dかつ15cm以上		40dまたは30dフックつき 45dまたは35dフックつき

- 継手
- 末端のフックは、定着および重ね継手の長さに含まない
  - 継手位置は、応力の小さい位置に設けることを原則とする
  - 直径の異なる鉄筋の重ね継手長さは、細い方の鉄筋の継手長さとする
  - D29以上の異形鉄筋は、原則として、重ね継手としてはならない
  - 鉄筋径の差が7mmを超える場合は、圧接としてはならない

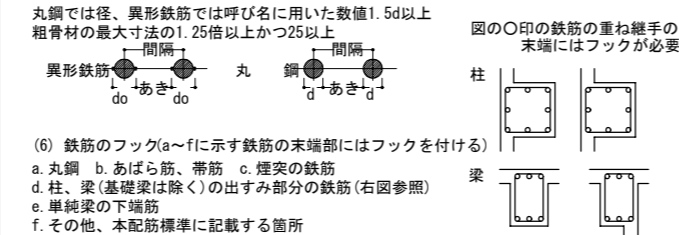


#### (4) かぶり厚さ

部	位	設計かぶり厚さ(mm)	
		設計かぶり厚さ(mm)	最小かぶり厚さ(mm)
ひびわれ誘発目地部など鉄筋のかぶり、厚さが部分的に減少する箇所についても最小かぶり厚さを確保する。	スラブ、耐力壁以外の壁	仕上がりあり 仕上がりなし	30 20
	土に接しない部分	内仕上がりあり 外仕上がりなし	40 30
土に接する部分	柱、梁、耐力壁	内仕上がりあり 外仕上がりなし	40 30
		基礎、擁壁、耐力スラブ	50 40
	壁、耐力スラブ	50 40	
	柱、梁、スラブ、壁	50 40	40
	基礎、擁壁、耐力スラブ	70 60	60

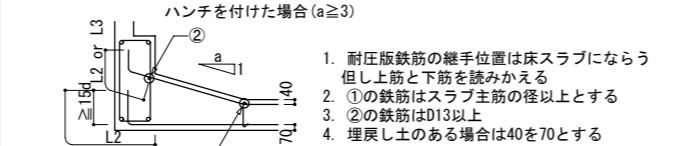
【注】(1) 上記の最小かぶり厚さは補強筋、段取り筋も対象に含む。  
 (2) 耐震スリット、目地等にはシーリング処理を行うこと。  
 (3) 軽量コンクリートの場合は、10mm増しの値とする。

### (5) 鉄筋のあき

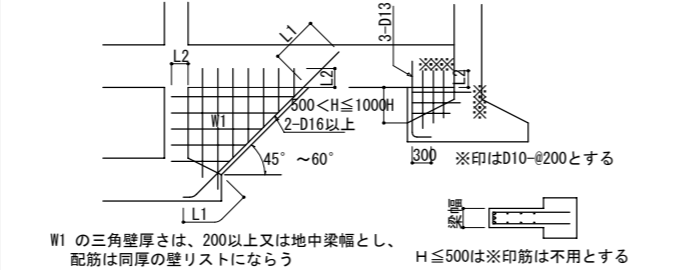


### 3. 基礎

#### (1) ベタ基礎

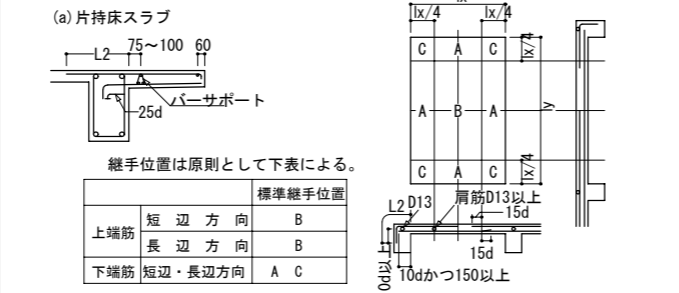


#### (2) 基礎接合部の補強

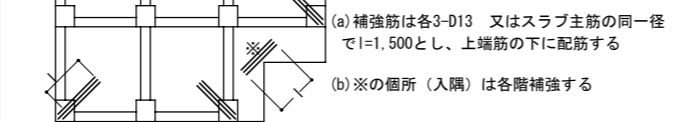


### 4. 床版

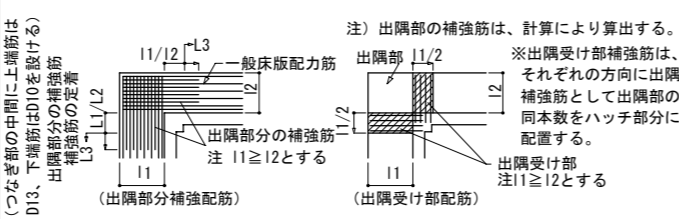
#### (1) 定着および継手



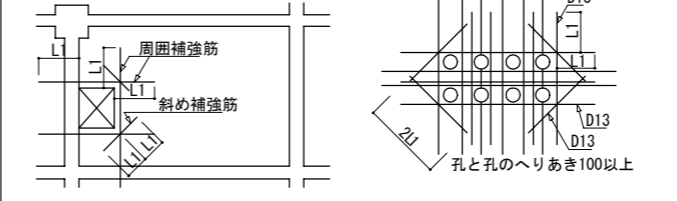
#### (2) 屋根スラブの補強



#### (3) 片持ちスラブ出隅部補強

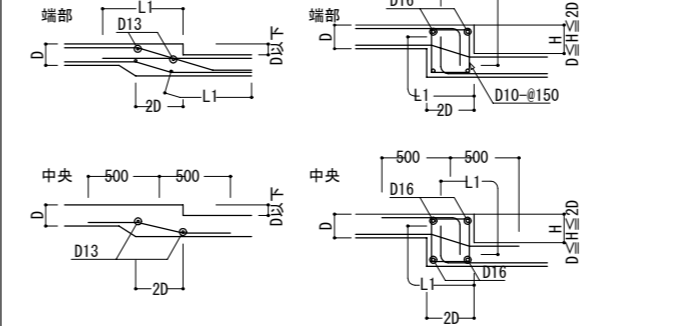


#### (4) 床版開口部の補強 (開口の径500程度の場合)

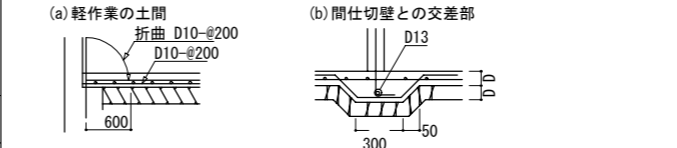


床版厚さD	周囲	斜め
D ≤ 150	各2-D13	各1-D13
150 < D ≤ 200	各2-D13	各2-D13
200 < D ≤ 300	各2-D19	各2-D16

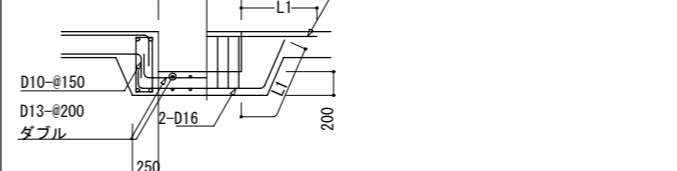
#### (5) 床版段差



#### (6) 土間コンクリート



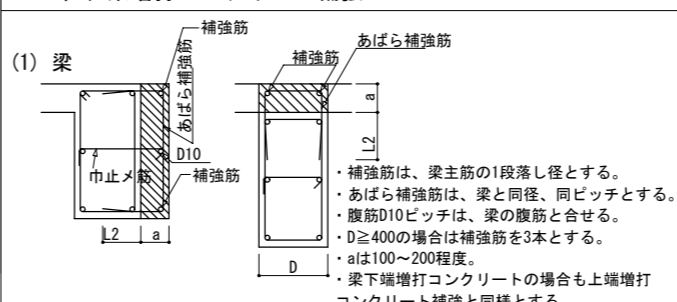
#### (7) 釜場



#### (8) 打継ぎ補強 (ダメ穴打継面について)

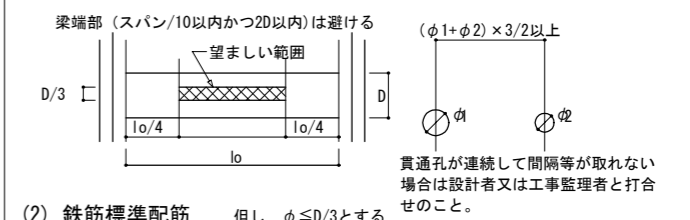
- 設計配筋間隔の1/2ピッチ 1長さ2L以上
- 無筋部分D10@200 長さ800以上

### 5. 柱、梁増打コンクリート補強



### 6. 梁貫通孔補強

#### (1) 設置可能範囲



#### (2) 鉄筋標準配筋

但し φ ≤ D/3とする

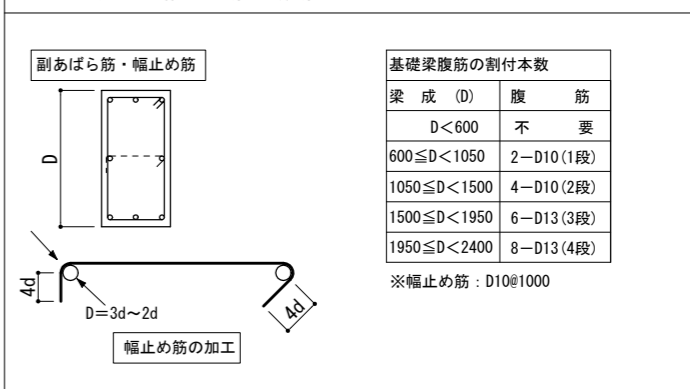
80 ≤ φ ≤ 100 折筋 2-(2-D13) 縦筋 ST 2-D13	100 < φ ≤ 150 折筋 2-(2-D13) 縦筋 ST 2-D13@100 横筋 2-(2-D13)	150 < φ ≤ 250 斜筋 4-(2-D13) 縦筋 ST 2-D13@100 横筋 2-(2-D13) 上下縦筋 ST 2-D13
φ > 250 孔補強の有効範囲と孔着長さのとり方 ※部分について計算で確認された場合は右記の位置、寸法によらずに良い。 (スターラップ補強範囲)		

・梁幅が400を超える場合は補強筋でD13はD16又は、2-D13は3-D13と、各々読みかえる

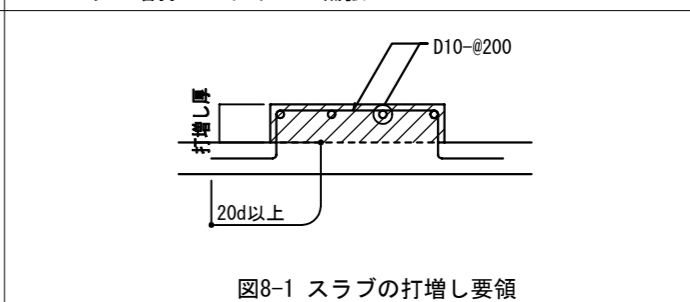
#### (3) 既製品(使用するときには、設計者又は工事監理者と打合せのこと)

- リング型 パイプ型 金網型 プレート型

### 7. 基礎梁 幅止め筋・腹筋



### 8. スラブ増打コンクリート補強



【特記事項】 ※上記のかぶり厚さに注意のこと  
 ※鉄筋継手については D13以下@6.0mごと、D16以上は@7.0mごとに1か所を設ける

# 木質工事特記仕様書

## 1. 一般事項

### (1) 適用範囲

※本仕様書は建築物及び工作物の構造上主要な部分に木材・木質材料を用いる工事に適用する。木造の構法は、建築基準法施行令第3章3節に規定する木造軸組工法に適用

### (2) 設計図書

設計図書とは標準図、特記仕様書、構造設計図、現場説明書及び質問回答書をいう。

### (3) 準拠する図書

設計図書に記載なきものは下記の図書に準拠する。(※全て最新版による。)

- 「木造住宅工事仕様書」(住宅金融支援機構監修)
- 「公共建築木造工事標準仕様書」(国土交通大臣官房官庁営繕部監修)
- 「木造計画・設計基準及び参考資料」(国土交通大臣官房官庁営繕部監修)
- 「木造軸組工法住宅の許容応力度設計」(日本住宅・木材技術センター)
- 「日本工業規格 JIS A3301-2015 木造校舎の構造設計標準」

上記の仕様書に記載無き場合は、公共規格又はこれに準ずる規格を適用する。

### (4) 設計図書の優先順位

設計図書の優先順位は下記による。

1. 指示書(現場説明書及び質疑回答書)
2. 設計図
3. 特記仕様書
4. 本標準図
5. 公共建築木造標準仕様書

### (5) 疑義

設計図書内(特記仕様書、標準図と構造設計図)で食い違いがある場合、または、疑義を生じた場合や 工法の提案を行いたい場合には監督職員に申し出、その処理方法について協議すること。

### (6) 製作要領書及び施工計画書の作成・提出

工事に先立ち、製作要領書や施工計画書を作成し、監督職員の承諾を受ける。

### (7) 施工図及びプレカット図の提出

工事に先立ち各種の施工図を作成し監督職員の承諾を受ける。また、必要に応じて接合部のモック アップの作成を行う。プレカット工場を使用する場合には、プレカット図を施工図と位置づける。

### (8) 製作工場の選定、承諾

設計図書に基づき、当該工事の規模、加工内容に応じた技術と設備を備え、かつ自主管理能力を有した製作工場及び木工技能者を選定し、監督職員の承諾を受ける。

### (9) 各種試験・検査報告書の提出

施工者は、各種工事の試験・検査結果ならびに施工記録を提出する。

## 2. 材料の品質

は適用項目を示すものとする。

### 2.1 木質材料

#### (1) 構造用製材

本項の内容は特記無き限り、構造用製材を対象とし、製材の日本農林規格に準拠する。

#### 【構造用製材】

部 位	樹種名	強度等級	乾燥処理	その他
垂木	ベイマツ	無等級	SD20	
土台、大引き	ヒノキ	無等級	SD20	
柱	スギ	無等級	SD20	
横架材	ベイマツ	無等級	SD20	

主要構造部には機械等級区分製材を用いることを原則とする。

背割りを行う部材の有無

有(背割りを行う場合は、見えがかり部・相欠き部材・構造用合板の釘接合面には行わない。)

無

強度等級を指定した材料は特に、材料の欠点の節、目切れ等に注意して材料を選定し、仕口 や接合部に欠点当たらないように注意する。

材の曲がりについては、上記にかかわらず目視等級1級相当とする。

含水率は平均含水率とし、下地材に用いる場合でもD25以下とする

#### (2) 構造用集成材、構造用単板積層材 (LVL)

本項の内容は特記無き限り、集成材及び単板積層材の日本農林規格に準拠する。

#### 【構造用集成材・LVL】

ラミナの枚数や特殊な試験については必要に応じて特記する。

部 位	樹種名	品 名 (LVLの場合は区分)	強度等級 (LVLの場合は曲げ性能)	材面の使用性能	秘4777'ヒド	
横架材	-	対称異等級積層集成材	E120-F330	2種	C	F☆☆☆☆

※屋外使用の場合は使用環境Aとする

#### (3) 構造用合板、構造用パネル (OSB) パーティクルボード、MDF等

本項の内容は特記無き限り、合板及び構造用パネルの日本農林規格又はパーティクルボード及びMDF等の日本工業規格に準拠する。

#### 【構造用合板・構造用パネル (OSB) パーティクルボード、MDF等】

単板の樹種及び構成や防虫処理については必要に応じて特記する。

部 位	品 名	強度等級	板面の品質 (注1)	接着の程度	寸 法	秘4777'ヒド
耐力壁	構造用合板	2級	C-D	特類	12mm	F☆☆☆☆
水平構面	構造用合板	2級	C-D	特類	24mm	F☆☆☆☆

注1.構造用合板の板面の品質は、通常は1級がB-C、2級がC-D OSBの場合は、表面及び裏面に木材の小片の浮き上がりがないこと及び側面の切断面が平滑であること

注2.特注品の場合は納期に注意すること (2ヶ月以上)

注3.構造用面材はできるだけ大きい寸法のものを用いる

#### (4) 丸太・そま角

#### 【丸太・そま角】

本項の内容は特記無き限り、素材の日本農林規格などに準拠する。

部 位	樹種名	縦振動ヤング係数区分	等 級

#### 2.2 接合具

接合具の材質は一般普及品を使用することを原則とし、特殊なものを使用したい場合は特記とする。接合具に錆を生じる恐れのある場合は適切な防錆処理を施す。鋼材の表面処理は特記による。標準 めっき処理は溶融亜鉛めっき鋼板：Z27 (JIS G 3302)電気亜鉛めっき：Ep-Fe/Zn8/CM2とする。

#### (1) くぎ、木ネジ

種 類	材 質	径(mm)	長さ(mm)	使用箇所	頭部/胴部形状	
<input checked="" type="checkbox"/> N釘	鉄	JIS G 3532 SWM-N	1.5~5.2	19~150	耐力壁、床、屋根	血頭網目付き/スムース
<input checked="" type="checkbox"/> CN釘	鉄	JIS G 3532 SWM-N	2.5~4.9	45~100	耐力壁、床、屋根	平頭フラット
<input type="checkbox"/> ZN釘	鉄	JIS G 3532 SWM-N			補強金物	平頭フラット/ハーフ
<input type="checkbox"/> S釘	ステンレス	JIS G 4309 SUS304			耐力壁、床板、屋根	平頭フラット及び網目付き/スムース
<input type="checkbox"/> GN釘	鉄	JIS G 3532 SWM-N			石膏ボード用	平頭フラット

#### (2) 木質構造用ビス

製品名	径 (mm)	長さ (mm)	使用箇所
<input type="checkbox"/> パネリードS	8.0	110~380	
<input type="checkbox"/> パネリードX	8.0	110~320	
<input type="checkbox"/> パネリードII+	5.0~6.0	80~200	
<input checked="" type="checkbox"/> タルキック	5.0~6.0	105~200	垂木留め付け

#### (3) ボルト、ナット、座金

ボルト・ナットはJIS B 1180、JIS B 1181の規格及び付属書JAによる。

種 類	材 質	適用径 (mm)	防錆処理、使用箇所など
<input type="checkbox"/> 呼び径六角ボルト	鉄	JIS B 1180 JIS B 1181 JIS B 1051	強度区分4.6又は、4.8、4T以上に適合する炭素鋼
<input type="checkbox"/> 有効径六角ボルト			
<input type="checkbox"/> 全ネジボルト			
<input type="checkbox"/>			
<input type="checkbox"/> アンカーボルト	鉄	JIS G 3101 SS400 JIS G 3138 SNR400B、490B JIS G 3505 SNRM8~10 JIS G 3507-1 SNRCH8~10	M12~M36
<input type="checkbox"/>			
<input type="checkbox"/>			
<input type="checkbox"/> 角座金	鉄	JIS G 3131 SPHC SS400	M12~M36
<input checked="" type="checkbox"/> 丸座金			
<input type="checkbox"/>			

・設計図及び標準図記載以外の座金は、特記なき限り用途ごと(引張、せん断)に下表により使い分ける。尚、ボルトとの組み合わせにより耐力が決まっている羽子板ボルト等の座金は、その仕様準ずる。(単位:mm)

座金の大きさ	ボルト径					
	8	10	12	16	20	24
引張を受けるボルト	厚さ	4.5	4.5	6	9	13
	角座金の辺	40	50	60	80	105
	丸座金の直径	45	60	70	90	120
せん断を受けるボルト	厚さ	3.2	3.2	3.2	4.5	6
	角座金の辺	25	30	35	50	60
	丸座金の直径	30	35	38	48	58

#### (4) ドリフトピン、ラグスクリュー、木栓

種 類	材 質	径 (mm)	長さ (mm)	防錆処理、使用箇所など
<input checked="" type="checkbox"/> ドリフトピン	鉄	JIS G 3101 SS400 JIS G 3505 SNRM8~12 JIS G 4051 S10C	12~24	105~380
<input type="checkbox"/>				
<input type="checkbox"/> ラグスクリュー (コーチボルト)	鉄	JIS B 1180 JIS B 1051 JIS G 3101	強度区分4.6又は、4.8 SS400	12~24
<input type="checkbox"/>				
<input type="checkbox"/> 木栓	堅木 (樹種: )			

・ドリフトピンの先端テーパ部分の長さ: 10mm以下

・木栓はナラ・ケヤキ・カシ等、気乾比重0.6以上の広葉樹で、節や目切れ等の欠点の無いものとし 先端は、3~5mm程度面取りすること。

#### (5) 接合金物、鋼材

種 類	品 名	短期許容接合耐力	メーカー等	防錆処理、使用箇所など
<input checked="" type="checkbox"/> 筋かい耐力壁の接合部	設計図による			<input type="checkbox"/> 溶融亜鉛めっき <input type="checkbox"/> 電気亜鉛めっき
				<input type="checkbox"/> 溶融亜鉛めっき <input type="checkbox"/> 電気亜鉛めっき
<input type="checkbox"/> 柱頭・柱脚接合部	設計図による			<input type="checkbox"/> 溶融亜鉛めっき <input type="checkbox"/> 電気亜鉛めっき
				<input type="checkbox"/> 溶融亜鉛めっき <input type="checkbox"/> 電気亜鉛めっき
				<input type="checkbox"/> 溶融亜鉛めっき <input type="checkbox"/> 電気亜鉛めっき
<input checked="" type="checkbox"/> 横架材接合部	設計図による			<input type="checkbox"/> 溶融亜鉛めっき <input type="checkbox"/> 電気亜鉛めっき
				<input type="checkbox"/> 溶融亜鉛めっき <input type="checkbox"/> 電気亜鉛めっき
<input checked="" type="checkbox"/> 鋼材	設計図による			<input type="checkbox"/> ( )
<input type="checkbox"/> ( )				<input type="checkbox"/> ( )
<input type="checkbox"/> ( )				<input type="checkbox"/> ( )
<input type="checkbox"/> ( )				<input type="checkbox"/> ( )

#### (6) 接着剤 (接着接合)

ここでいう接着接合とは、建設現場で用いるものを対象とする。

## 3. 耐久性 (防腐・防蟻・耐候処理) は適用項目を示すものとする。

### (1) 木材の防腐・防蟻処理

木材の防腐・防蟻処理は以下のいずれかとする。

- ・高耐久材の使用 (注: 部材は心材あるいは心持ち材または集成材とする)
- ・工場処理材 (注: 現場の加工、切断、穿孔箇所などは、現場処理に準じる) 保存処理材 (性能区分): K5 K4 K3 K2 K1 A0認証保存処理材: 1種 2種 3種
- ・現場処理: 塗布、吹付、浸漬(特記無き場合は、処理量: 300ml/m<sup>2</sup>、処理回数: 2回) (注: 接合部、亀裂部、コンクリートなどに接する部分は、特に入念な処理を行う。給排水用塩化ビニル管に接する部分は、薬剤による損傷を防ぐため管を保護する。処理方法は、日本しるあり対策協会の標準仕様書に準じる。)

使用薬剤: 日本しるあり対策協会または日本木材保存協会の認定品とする。

使用部位	高耐久材	工場処理材	現場処理
土台	<input type="checkbox"/> ( )	<input type="checkbox"/> K3 <input type="checkbox"/> ( )	<input type="checkbox"/> 塗布
外周柱下部1m	<input type="checkbox"/> ( )	<input type="checkbox"/> K3 <input type="checkbox"/> ( )	<input type="checkbox"/> 塗布
外周筋かい下部1m	<input type="checkbox"/> ( )	<input type="checkbox"/> K3 <input type="checkbox"/> ( )	<input type="checkbox"/> 塗布
外周木質系面材耐力壁下部1m	<input type="checkbox"/> ( )	<input type="checkbox"/> K3 <input type="checkbox"/> ( )	<input type="checkbox"/> 塗布
水周り	<input type="checkbox"/> ( )	<input type="checkbox"/> K3 <input type="checkbox"/> ( )	<input type="checkbox"/> 塗布
その他	<input type="checkbox"/> ( )	<input type="checkbox"/> K3 <input type="checkbox"/> ( )	<input type="checkbox"/> ( )

### (2) 土壌処理

- 防腐薬剤による処理: 薬剤 ( ) 特記無き場合は、日本しるあり対策協会または日本木材保存協会認定品、あるいはこれと同等 以上の効力を有するものとする。
  - 防腐薬剤による処理と同等以上の対策 ( )
  - 土壌処理省略 北海道 東北 北陸  ( )
- 注: 処理範囲は、外周部布基礎の内側、内部布基礎の周辺20cm、東石等の周囲20cmを標準とし、処理方法は日本しるあり対策協会の標準仕様書に準じる。

### (3) 耐候処理 (塗装): 劣悪環境に置かれる木材等を対象とする。

部 位	製品名 (会社名)	塗り回数

## 4. 材料品質の検査方法 は適用項目を示すものとする。

### (1) 構造用製材

現場または加工工場に搬入された製材等は、加工に先立ち下記の要領で受け入れ検査を実施し、速やかに監督職員に報告する。また係員の立会いを要する検査については、指定された試験要領に基づいて、適時抜き取り検査を実施する。社内検査で試験本数や採取率の指定がない場合は原則全数とする。検査の結果、性能を満たさない材料については適用箇所を変更する等の措置を行う。(数値は採取率(%)を示す)

部 材	確認する仕様	確認者	材種等級	外観検査	寸法検査	含水率測定		ヤング係数測定	
						表示	全乾重量法	表示	含水率計
土台	1/4 SD20	社内	100	100	100	検査後	10		
大引き		監督職員	○	○	○	木口配入	○		

・監督職員欄の○は立会い検査が必要であることを示す。

・全乾重量法による試験は社内試験として良い。

・全乾重量法による試験片は、製品の隣接部の材端より(素材の端部ではない) 10~30mmの長さで採取する

日本農林規格の目視等級区分構造用製材、機械等級区分構造用製材を使用する場合は製造工場の認定書の写しを確認する。

含水率測定は時期は、監督職員の指示による。

( )

・材種・等級は表示を確認し、外観・寸法検査は日本農林規格に準じて行う。

・含水率やヤング係数は刻印された表示の確認を原則とし、全乾重量法や曲げ荷重試験は原則、公的試験場にて行う。含水率計は日本住宅・木材技術センター認定品を、ヤング係数は(一社)全国木材検査・研究協会の認定品を用いて測定することを原則とする。

・全乾重量法や曲げ荷重試験は1荷口につき確認する本数で示す。試験体は実際に使用する同一部材の中から抽出し、木材の試験方法 (JIS Z 2101) に準ずる。

・特記無き場合は、含水率計による測定は、製材加工後の工場出荷前に行う。

・特記無き場合は、打撃振動試験は製材後(継手などの工場加工前)に行う。

### (2) 構造用集成材、構造用単板積層材 (LVL)、構造用合板、構造用パネル等

搬入される全製品について受け入れ検査を実施し、特記仕様書等で指定された所定の製品であることを、日本農林規格 (JAS) -MDF等の場合は日本工業規格 (JIS) の表示ラベルまたは出荷 証明書で確認すること。

### (3) 接合具

・現場または加工工場に搬入される全ての接合具について受け入れ検査を実施し、材質径、長さ製品名等について特記仕様書等で指定された所定の製品であることを確認すること。

・同等性能の接合具を用いる場合には、その主旨を監督職員に申し出、承諾を得る。木製品の接合具については、予め曲げ試験などにより性能の確認を行いその結果を報告する。 また必要に応じて立会いによる性能確認を実施する。

### (4) 接合金物

・現場または加工工場に搬入される全ての接合金物について受け入れ検査を実施し、材質、形状 製品名等について特記仕様書等で指定された所定の製品であることを確認すること。

・同等認定品や性能評価品等を用いる場合には、その主旨を監督職員に申し出、承諾を得る。

## 5. 木材の加工 は適用項目を示すものとする。

### (1) 刻み時の注意

製材に背割りのある場合、曲げ材は断面の弱軸と背割りの方向を一致させる。

### (2) 加工寸法の精度

図面表示は仕上がり寸法である。

下記を除き、2.1木質材料に示す材の仕上げ後の断面寸法の許容差は各々の農林規格の寸法許容差に準ずる。ただし、上限値が制限なしとなっている場合は、協議による。

構造用製材、構造用集成材、LVLの材長

軸組工法の継ぎ手仕口及び金物工法の場合: ±1.0mm以下

調整代をとったボルト接合法の場合 (大断面集成材、LVL) 材長の±0.04%以下

せん断用ボルト穴径 (dはボルト径)

集成材 d+1.0mm (d≤M12)、d+2.0mm (d≥M16)

接合金物等 d+1.0mm (d≤M12)、d+1.5mm (d≥M16)

ドリフトピン・木栓の木材の穴径: d±0mm (dはドリフトピン・木栓径)

ドリフトピンの接合金物等の穴径: d+1.0mm (d≤M12)、d+1.5mm (d≥M16)

### (3) 表面仕上げ (dはドリフトピン径)

製材 集成材、LVL

化粧材: (製材) 超自動機械かん掛け仕上げ、(集成材) 自動機械かん掛け仕上げ 野物材: サンダー掛け仕上げ、板材: 自動機械かん掛け仕上げ

### (4) 面取り

柱: ( ) mm 梁: ( ) mm

### (5) 加工状況の検査

立会い検査

外観検査 加工寸法検査

施工者自主検査記録の提出 [ ]

## 6. 運搬・建方 は適用項目を示すものとする。

### (1) 輸送計画

製品の輸送に当たっては、建方計画に支障がないように、道路状況、現場作業手順等を考慮し 十分な検討を行う。また、輸送時に製品の品質を損なわないようにする。

輸送計画書の提出 [ ]

### (2) 集積・保管

集積の際は適当な受け台などを設け、材にねじれや曲がりの損傷を与えないように注意する。降雪や降雨に対する保護としてシート養生を行う。ただし、エアコンの効いた室内は乾燥による割れが発生するため避ける。

集積場の確認 [ ]

### (3) 建方計画</

# 木造軸組接合部標準図(1)

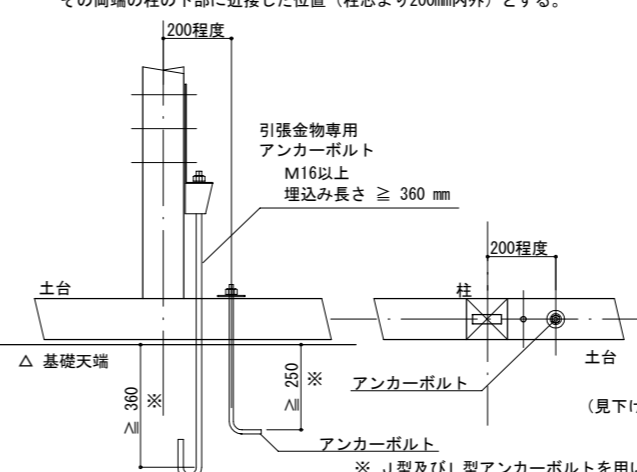
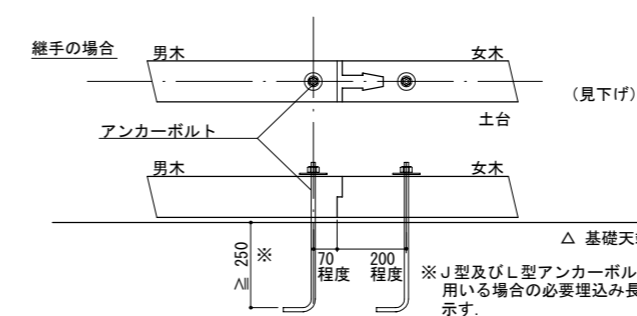
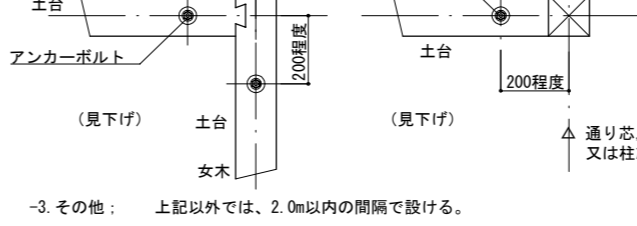
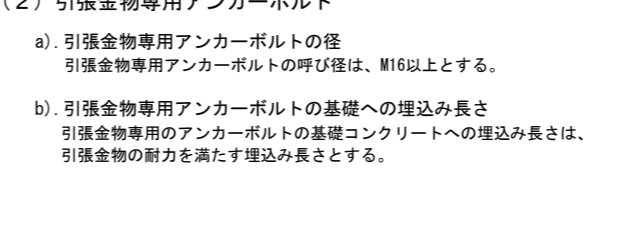
## 1. 一般事項

- (1) 適用範囲  
※本標準図は建築物及び工作物の構造上主要な部分に木材・木質材料を用いる工事に適用する。木造の構法は、建築基準法施行令第3章3節に規定する木造軸組工法に適用する。
- (2) 設計図書  
設計図書とは本標準図、特記仕様書、構造設計図、現場説明書及び質問回答書をいう。
- (3) 準拠する図書  
設計図書に記載なきものは下記の図書に準拠する。(※全て最新版による。)  
「木造住宅工事仕様書」(住宅金融支援機構監修)  
「公共建築木造工事標準仕様書」(国土交通大臣官房官庁営繕部監修)  
「木造計画・設計標準及び参考資料」(国土交通大臣官房官庁営繕部監修)  
「木造軸組工法住宅の許容応力度設計」(日本住宅・木材技術センター)  
「日本工業規格 JIS A3301-2015 木造校舎の構造設計標準」  
上記の仕様書に記載無き場合は、公共規格又はこれに準ずる規格を適用する。
- (4) 設計図書の優先順位  
設計図書の優先順位は下記による。  
1. 指示書(現場説明書及び質問回答書)  
2. 設計図  
3. 特記仕様書  
4. 本標準図  
5. 公共建築木造標準仕様書
- (5) 疑義  
設計図書内(特記仕様書、標準図と構造設計図)で食い違いがある場合、または、疑義を生じた場合や工法の提案を行いたい場合には監督職員に申し出、その処理方法について協議すること。
- (6) 製作要領書及び施工計画書の作成・提出  
工事に先立ち、製作要領書や施工計画書を作成し、監督職員の承諾を受ける。
- (7) 施工図及びブレイクアウト図の提出  
工事に先立ち各種の施工図を作成し監督職員の承諾を受ける。また、必要に応じて接合部のモックアップの作成を行う。ブレイクアウト工場を使用する場合には、ブレイクアウト図を施工図と位置づける。
- (8) 製作工場の選定、承諾  
設計図書に基づき、当該工事の規模、加工内容に応じた技術と設備を備え、かつ自主管理能力を有した製作工場及び木工技能者を選定し、監督職員の承諾を受ける。
- (9) 各種試験・検査報告書の提出  
施工者は、各種工事の試験・検査結果ならびに施工記録を提出する。
- (10) 接合工法  
本標準図に示す構造耐力上主要な柱及び梁の接合方法は、下記による。  
・継手仕口による在来工法  
・梁受け金物、及びホゾパイプ等による金物工法  
なお、上記の方法はひとつの建物で混用して構わない。また、本標準図は在来接合工法のみについて記載しており、金物工法を用いる場合は、金物工法用の標準図を本標準図に追加して用いること。本標準図で指定していない金物に変更する場合は、監督職員の承認を得ること。
- (11) 加工部材に関する留意事項  
本標準図で扱う一般的な在来ブレイクアウト工場で加工可能な範囲は以下による。  
・梁: 部材断面が幅90mm~150mm、梁成が幅と同寸~450mm、及び材長6m以下  
・柱: 90角~150角の正方形断面、長さ6m以下  
これらを超える場合は、一般ブレイクアウト工場では加工できない為、任意形状の加工が可能な加工機を有する工場を選定すること。

## 2. 材料

- (1) 木材及び木質材料  
主要構造部に使用する木材・木質材料の品質については特記仕様書で指定する。
- (2) 接合具  
a) くぎ  
主要構造部に使用するくぎはJIS A 5508で規定される鉄丸くぎ(N釘)またはため鉄丸くぎ(CN釘)または溶融亜鉛メッキため鉄丸くぎ(ZN釘)またはステンレス鋼釘(S釘)またはせっこうボード用くぎ(GN釘)を用いる。  
b) 木質構造用ビス  
主要構造部に使用する場合は構造上必要な剛性・耐力・靱性が確保されるものを選定することとし、造作用のビス(コーススレッド等)を用いてはならない。使用箇所・呼び径・呼び長さ等については特記仕様書で指定する。  
c) ボルト・ナット・座金  
1) 主要構造部に使用するボルト及びナットについては以下による。  
・ボルトはJIS B 1051、ナットはJIS B 1052に規定される機械的性質を満たす炭素鋼  
・公益財団法人日本住宅・木材技術センター規格に準じた金物に使用するボルト及びナット  
【Zマーク表示金物】  
【Dマーク表示金物】  
【Sマーク表示金物】  
・上記以外に、指定性能評価機関、又はそれに準じる公立の評価機関で試験成績書を取得して、耐力が明示された金物に使用するボルト及びナット  
2) 主要構造部に使用するボルト・ナットのねじはJIS B 0205に示すメートル並目ねじとし、構造上主要な部分にはM12以上を用いる。  
3) ボルト及びナットを用いて木材及び接合金物を緊結する場合には適切な寸法と厚みのある座金を用いる。  
※ボルト・ナット及び座金の使用部位、種類、材質、寸法、表面処理については特記仕様書で指定する。  
d) ドリフトピン・ラグスクリュー  
主要構造部に使用する場合は構造上必要な剛性・耐力・靱性が確保されるものを選定することとする。使用箇所・材質・呼び径・呼び長さ等については特記仕様書で指定する。  
e) 木栓・木ダボ  
主要構造部に使用する場合は所定の強度が確保できる樹種を指定する。樹種・径等については、特記仕様書で指定する。節・目切れ等の耐力上の欠点のないものとする。
- (3) 接合金物  
a) 規格金物  
構造材の接合に用いる接合金物の規格は以下による。  
・JIS A 5531; 木構造用金物  
・公益財団法人日本住宅・木材技術センターによる規格に準じた金物;  
Zマーク表示金物、又はCマーク表示金物  
・同等認定金物; Dマーク表示金物  
・性能認定金物; Sマーク表示金物  
上記以外に、指定性能評価機関、又はそれに準じる公立の評価機関で試験成績書を取得して基準耐力が明示された金物を、規格金物として使用できる。使用部位と金物の名称、材質、その他については特記仕様書で指定する。  
b) 製作金物  
製作金物の使用部位・材質・形状・寸法・溶接仕様・表面処理等については、特記仕様書及び設計図による。
- (4) 接着剤  
原則として、構造計算による応力の検定に現場接着による接着剤の耐力は算入しない。但し、たわみや振動等に対する剛性確保のために接着剤の効果を見込む場合はこの限りではない。建築現場で用いる接着剤の名称・材質・使用環境等については特記仕様書による。
- (5) 防腐防蟻処理及び耐候処理  
防腐防蟻処理及び耐候処理(塗装)は特記仕様書で指定する。土台及び外壁の地盤面から1m以下の構造材については適切な防腐防蟻処理を行う。適切な防腐防蟻処理については特記仕様書で指定する。

## 3. アンカーボルト

- ※共通事項  
・アンカーボルト及び座金の品質と性能、表面処理等は、特記仕様書による。
- (1) 土台固定用アンカーボルト  
a) アンカーボルトの埋設位置; アンカーボルトの埋設位置は以下による。  
-1. 耐力壁(筋かい、合板仕様共通)の下部;  
耐力壁(筋かい、合板仕様共通)の下部は、その両端の柱の下部に近接した位置(柱芯より200mm内外)とする。  
  
-2. 土台切れの端部及び、土台の継手仕口;  
土台切れの端部及び、土台の継手仕口では、両端部に設ける。当該部分が出隅の場合は、出来る限り柱に近接させた位置とする。  
  
b) 引張金物専用アンカーボルトの埋設位置  
-1. 耐力壁(筋かい、合板仕様共通)の下部;  
耐力壁(筋かい、合板仕様共通)の下部は、その両端の柱の下部に近接した位置(柱芯より200mm内外)とする。  
  
-2. 土台切れの端部及び、土台の継手仕口;  
土台切れの端部及び、土台の継手仕口では、両端部に設ける。当該部分が出隅の場合は、出来る限り柱に近接させた位置とする。  
  
-3. その他; 上記以外では、2.0m以内の間隔で設ける。
- (2) 引張金物専用アンカーボルト  
a) 引張金物専用アンカーボルトの径  
引張金物専用アンカーボルトの呼び径は、M16以上とする。  
b) 引張金物専用アンカーボルトの基礎への埋込み長さ  
引張金物専用のアンカーボルトの基礎コンクリートへの埋込み長さは、引張金物の耐力を満たす埋込み長さとする。

## 4. 接合一般

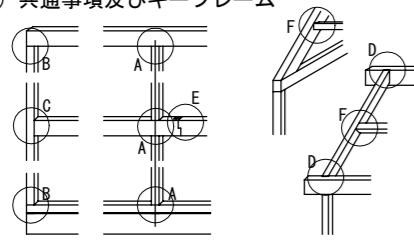
- (1) 釘接合  
・釘の長さは材厚の2.5倍以上とする。  
・面材表面に対し、釘頭がめり込んではいならない。  
・自動釘打ち機を使用する場合は、圧力を適切に調整するか、弱めの圧力で打込んでうえに手で打込んで仕上げる等により、釘頭のめり込みを防ぐ。  
・構造耐力上主要な部分において、釘を引き抜き方向に抵抗させることは避ける。  
・木口面に打たれた釘は、引抜き方向に抵抗させることはできない。
- (2) 木質構造用ビス接合  
・木口面に打たれた木質構造用ビスは、引抜き方向に抵抗させることはできない。  
・先孔を設ける場合の先孔の径は、以下のとおりとする。  
比重が0.5以上の樹種・・・呼び径の60~75%  
上記以外の樹種・・・呼び径の40~70%  
※先孔の深さは、主材へのねじ込み深さの2/3程度とする。
- (3) ボルト接合  
・締付けに先立ち、ボルトの長さ、材質、呼び径、座金等が施工箇所に適していることを確認する。  
・ボルトの締め付けは、座金等が木材に軽くめり込む程度とし、過度に締付けない。  
・締め付けを完了したボルトは、ねじ部がナットから2山以上突き出ていることを確認する。但し、座掘り座金等、ナットと座金为一体になって土台に埋込まれるタイプのものについては、メーカーの使用条件による。  
・引張力を負担する構造上主要な箇所のボルトで、設計図書で指定する部位のものについては、ダブルナット等、弛み止め等の適切な処置を行う。  
・一度締め付けたボルトについても、木材の収縮によるボルトの緩みをチェックし、緩んだものについては再度締め直しを行う。  
・ボルト接合部付近に節・目切れなどの欠点がある場合は、ボルト本数を適切に増加する。
- (4) ラグスクリュー接合  
・座金の厚さと大きさは、同じ胴径のボルト接合部における規定値を用いる。  
・締付けに先立ち、ラグスクリューの長さ、材質、呼び径、座金等が施工箇所に適していることを確認する。※先孔の深さは、ネジ部の長さと同寸以上とする。  
・先孔を設ける場合の先孔の径は、以下のとおりとする。  
比重が0.5以上の樹種・・・呼び径の60~75%  
上記以外の樹種・・・呼び径の40~70%  
・ラグスクリューの挿入は、スパナやインパクトレンチ等を用い、必ず回転させて行う。ハンマー等での叩き込みによる挿入を行ってはならない。  
・一度ねじ込んだラグスクリューは、抜き直して再びねじ込むことは避ける。  
・鋼板を側材に用いる場合のラグスクリューは、切削ネジタイプとし、転造ネジタイプを用いてはならない。また、鋼板の孔径は以下のとおりとする。  
・呼び径 M12以下: +1.0mm  
・呼び径 M16以上: +1.5mm
- (5) ドリフトピン接合  
・ドリフトピンは、孔に密着させて使用し、木材に対し遊びがあってはならない。  
・ドリフトピンは、原則として、集成材やLVL等の寸法安定性の高い木質材料に用いるものとし、止むを得ず製材に用いる場合はKD材とする。  
・施工に際しては、孔に対しテーパのある側を先端にして打込み、無理な打撃を加えてはならない。  
・ボルトやコーチスクリュー等と併用し、ドリフトピンの変形にともなう部材の開きを防止する。
- (6) 木栓接合  
・木栓は、孔に密着させて使用し、木材に対し遊びがあってはならない。  
・木栓は、原則として、集成材やLVL等の寸法安定性の高い木質材料に用いるものとし、止むを得ず製材に用いる場合はKD材とする。  
・施工に際しては、木栓を孔に対し打込む時に、折れ曲がりや割れ、頭部の潰れ等が生じないように注意し、無理な打撃を加えてはならない。  
・木栓は湿気の少ない場所で保管し、現場においても水に濡れないよう注意する。
- (7) グルードインロッド接合  
・グルードインロッド接合とは、軸組部材の木口に先孔を開け、鋼棒等を挿入して、樹脂接着剤等を注入・充填させることにより、接着剤の付着抵抗と鋼棒等の引張によって、応力を伝達する接合をいう。  
・グルードインロッド接合は、原則として、集成材やLVL等の寸法安定性の高い木質材料に用いるものとし、止むを得ず製材に用いる場合はKD材とする。  
・施工に際しては、所定の適用範囲や材料、手順、接着剤の使用環境、養生方法等を遵守して適正に行う。

TE-DOK一級建築士事務所 岐阜県知事登録 第12814号  
一級建築士 第330351号 河本 和義

# 木造軸組接合部標準図(2)

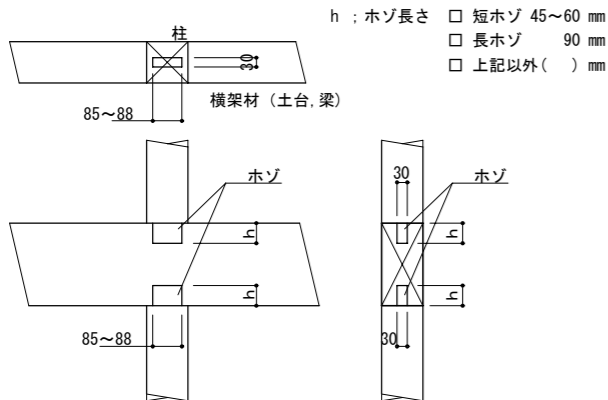
## 5. 軸組標準接合部

### (1) 共通事項及びキーフレーム

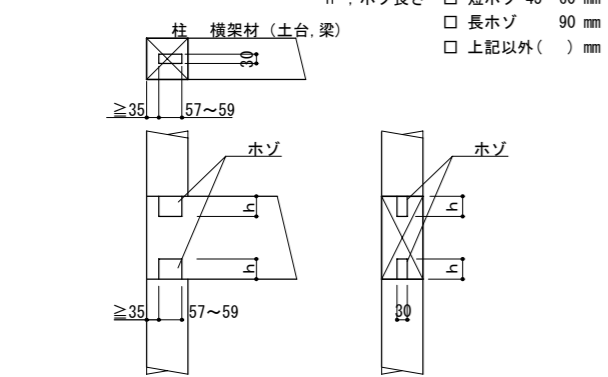


### (2) 標準的な継手仕口 (mm)

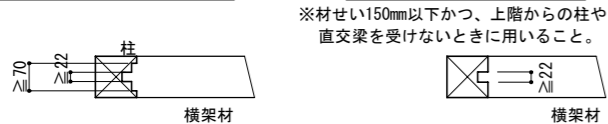
#### A 柱-横架材仕口：一般部（土台共通）



#### B 柱-横架材仕口：出隅部（土台共通）

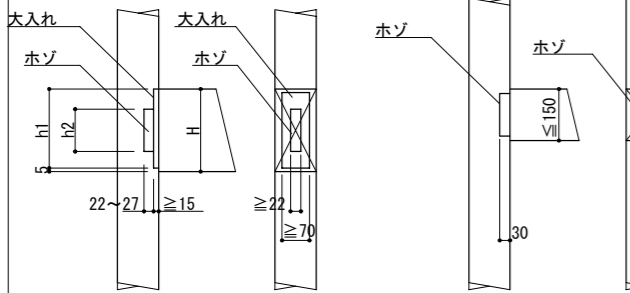


#### C 通柱-横架材仕口：胴差し

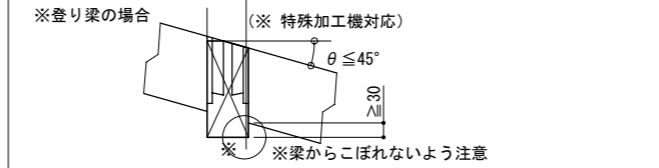
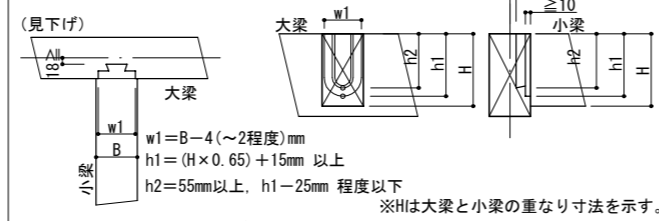


#### C 通柱-横架材仕口：桁差し

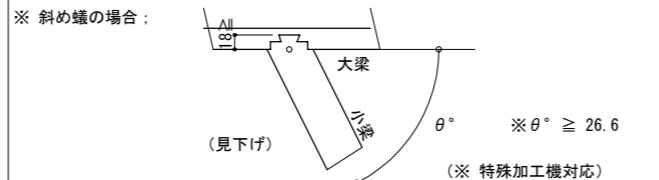
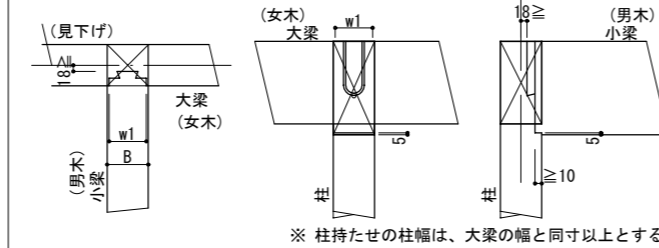
※材せい150mm以下かつ、上階からの柱や直交梁を受けないときに用いること。



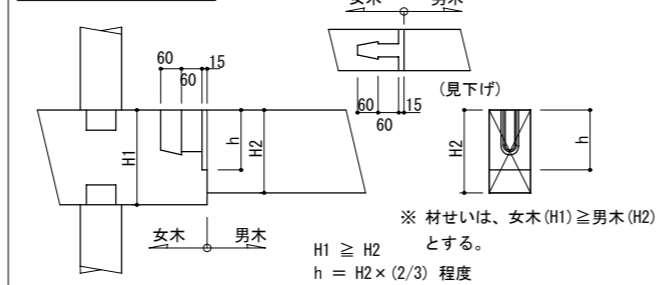
### D 大梁-小梁仕口：蟻仕口



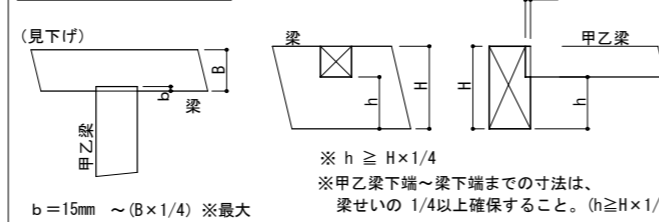
※小梁せいが大梁せいより大きい場合、小梁せいが大梁せいより大きい場合には、柱持たせのおさまりとしなければならない。(下図参照)



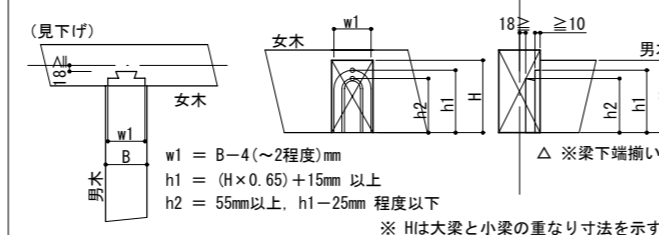
### E 梁-梁継手：腰掛継ぎ



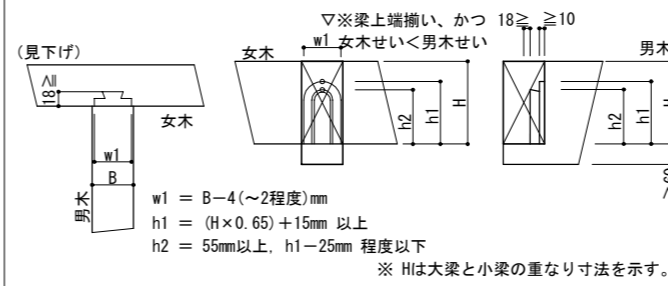
### F 梁-甲乙梁仕口：大入れ



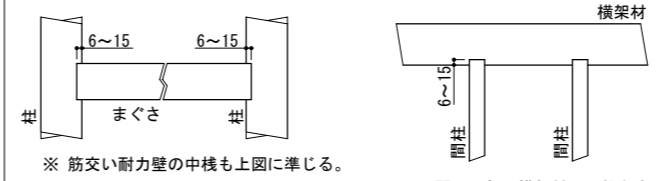
### G 梁-梁仕口：逆蟻仕口



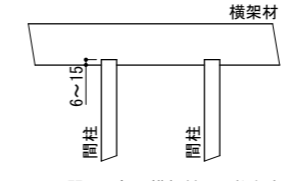
### H 梁-梁仕口：茶臼仕口



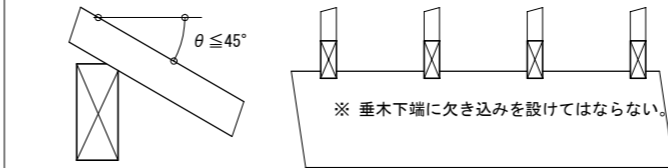
### I その他：まぐさ欠き



### J その他：間柱欠き



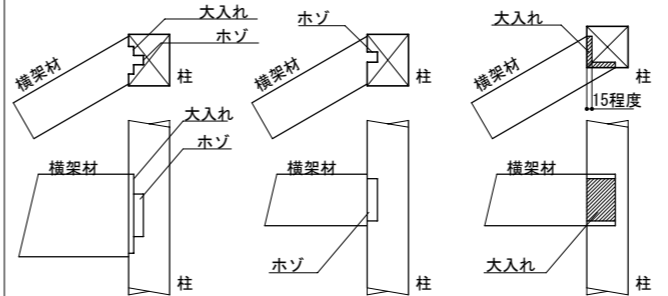
### K その他：垂木欠き



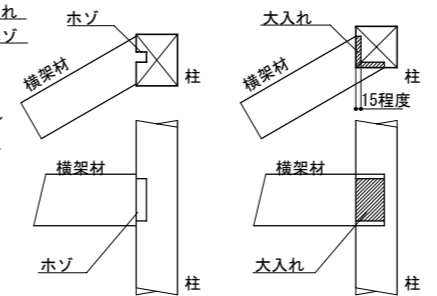
### (3) 特殊加工機を用いた標準的な継手仕口 (mm)

特殊加工機を用いることにより対応可能な継手仕口の一列を、本節に示す。特殊加工機を用いた継手仕口は、加工場が限定されるので注意すること。特殊加工機を用いた継手仕口は、その形状により加工コストが増すので注意すること。

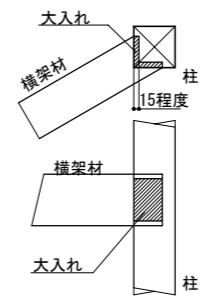
#### L 斜め胴差し



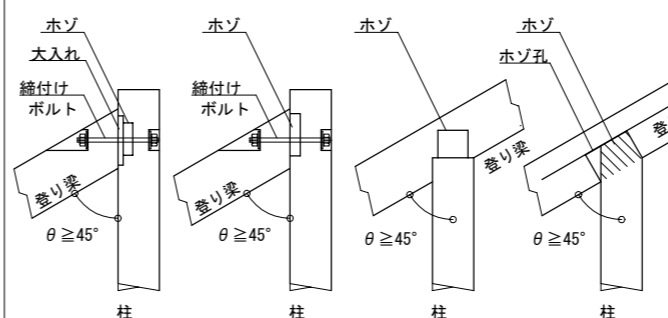
#### M 斜め桁差し



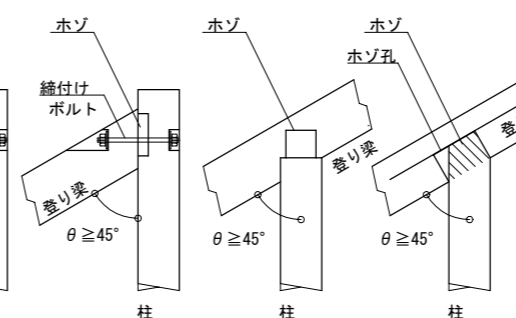
#### N 斜め柱差し大入れ



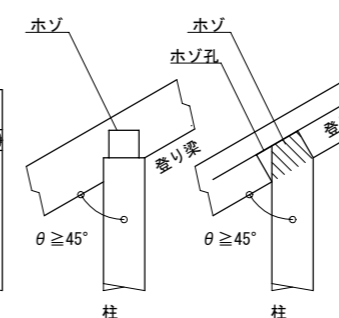
#### O 登り胴差し



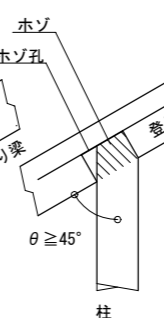
#### P 登り桁差し



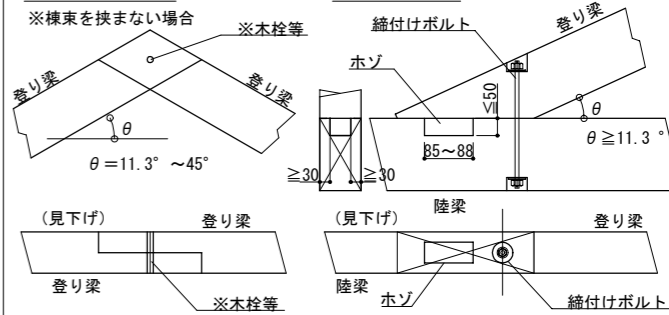
#### Q 登り斜めホゾ



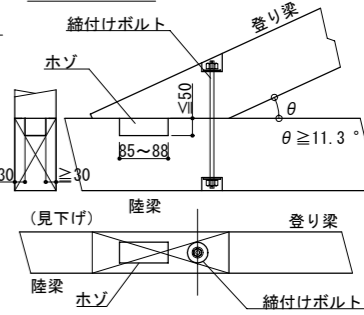
#### R 登り座付きホゾ



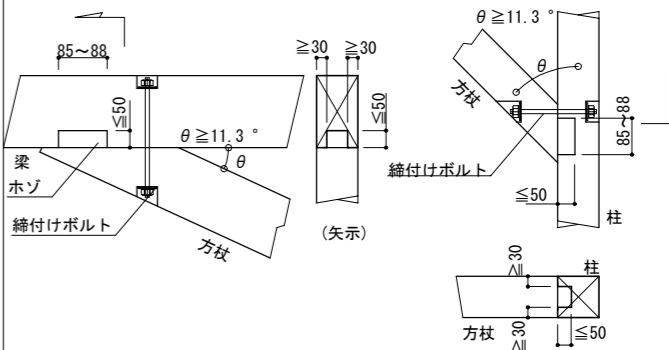
### S 登り梁合掌部



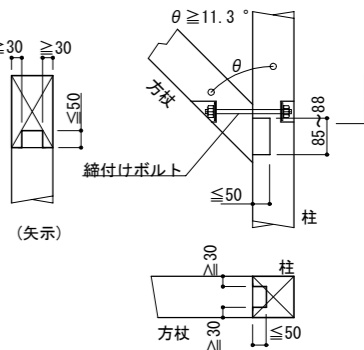
### T 登り梁合掌尻



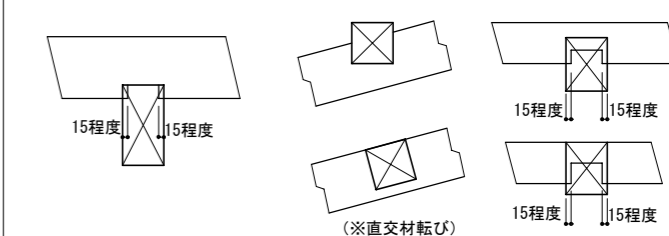
### U 方杖-梁仕口



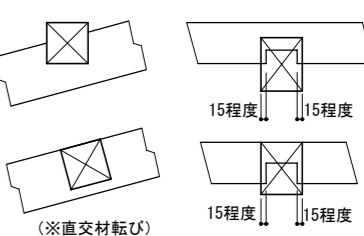
### V 方杖-柱仕口



### W 渡り頭

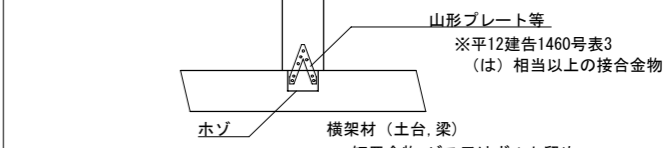


### X 登り梁渡り頭

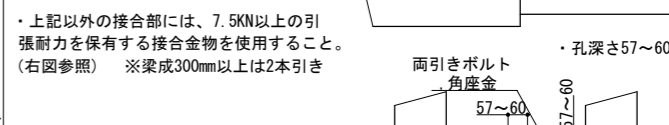


### (4) 継手・仕口の補強金物

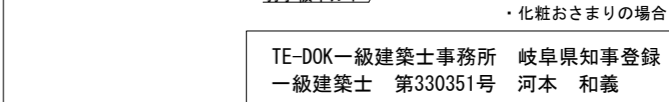
・耐力壁柱の柱脚・柱頭においては、耐力壁による引抜き力を計算し、引抜き力以上の耐力を有する接合金物を使用すること。  
・上記以外の柱脚接合部には、5.1kN以上の引張耐力を有する接合金物(平12建告1460号表3に対応する表符号の"は"相当以上)を使用すること。



(梁-梁 接合部)  
・水平断面の外周部横架材接合部においては、床水平断面による引抜き力を計算し、引抜き力以上の耐力を有する接合金物を使用すること。  
・上記以外の接合部には、7.5kN以上の引張耐力を有する接合金物を使用すること。(右図参照) ※ 梁成300mm以上は2本引き



(小梁端部接合部)  
・小梁端部接合においては、地震力によつて外れ落ちることのないよう、最低3.0kN以上の引張耐力を有する接合金物で緊結すること。



TE-DOK一級建築士事務所 岐阜県知事登録 第12814号  
一級建築士 第330351号 河本 和義

# 木造軸組接合部標準図(2A)

## 5 A. 軸組標準接合部

(公財)日本住宅・木材技術センター発行 木造住宅用標準納まり図に準拠すること

### (1) 継手及び仕口の納まり [建築基準法施行令第47条]

<p>○ 横架材の継手</p> <p>○ (腰掛けあり継ぎ)</p> <p>○ (腰掛けかま継ぎ)</p> <p>○ 土台の隅の仕口</p> <p>○ (大入れ小挿ほぞ差し 割くさび級め)</p> <p>○ (片あり挿け)</p> <p>○ 土台の仕口</p> <p>○ (大入れあり挿け)</p> <p>○ 柱と土台の仕口</p> <p>○ (落としあり)</p> <p>○ (隔ほぞ差し)</p> <p>○ (長ほぞ差し+込み栓打ち)</p> <p>○ (短ほぞ差し)</p> <p>柱を上から落とす</p> <p>込み栓</p>	<p>○ 火打土台の仕口</p> <p>(かたぎ大入れN90くぎ2本打ち)</p> <p>土台</p> <p>火打土台</p> <p>○ 通差の継手</p> <p>(通掛け大せん継ぎ)</p> <p>○ はりの仕口</p> <p>(大入れあり挿け)</p> <p>大はり</p> <p>羽子板ボルト</p> <p>床ばり</p> <p>○ 通し柱と通差の仕口</p> <p>(かたぎ大入れ短ほぞ差し)</p> <p>通し柱</p> <p>通差</p> <p>短ざく金物</p> <p>○ 通し柱と床ばりの取合い</p> <p>通し柱</p> <p>床ばり</p> <p>通し柱</p> <p>短ざく金物</p> <p>羽子板ボルト</p> <p>かね折金物</p>	<p>○ 根太の継手</p> <p>根太</p> <p>大引き</p> <p>○ 大引きと床づかの仕口</p> <p>大引き</p> <p>かすがい又はひら金物打ち</p> <p>床づか</p> <p>○ 根がらみと床づかの取合い</p> <p>大引き</p> <p>根がらみ</p> <p>床づか</p> <p>○ 床ばりの継手</p> <p>床ばり</p> <p>六角ボルト</p> <p>○ たる木と横架材の仕口</p> <p>たる木</p> <p>横架材</p> <p>○ けた行筋い・振れ止め</p> <p>むな木</p> <p>小屋づか</p> <p>けた行筋い</p> <p>振れ止め</p> <p>小屋ばり</p>	<p>○ 火打ばりの取合い</p> <p>新後</p> <p>750mm</p> <p>通差</p> <p>火打ばり</p> <p>六角ボルト</p> <p>平くぎ</p> <p>750mm</p> <p>前後</p> <p>はり</p> <p>六角ボルト</p> <p>○ 小屋ばりの継手</p> <p>小屋ばり</p> <p>軒けた</p> <p>小屋ばり</p> <p>軒けた</p> <p>○ 小屋ばりと軒けたの仕口及び取合い</p> <p>軒けた</p> <p>小屋ばり</p> <p>軒けた</p> <p>小屋ばり</p> <p>軒けた</p> <p>軒けた</p> <p>小屋ばり</p> <p>軒けた</p> <p>軒けた</p> <p>羽子板ボルト</p> <p>羽子板ボルト</p> <p>羽子板ボルト</p> <p>羽子板ボルト</p>
---	--	---	---

### (2) 柱端部と接合金物との納まり [告示第1460号 告示第1654号]

<p>(ハ) かど金物CP-T (品確法接合部倍率1.0)</p> <p>柱頭</p> <p>柱</p> <p>かど金物CP-T 10-太めくぎZN65</p>	<p>(イ) 山形プレートVP (品確法接合部倍率1.0)</p> <p>柱頭</p> <p>山形プレートVP 8-太めくぎZN90</p>	<p>(ロ) 山形プレートVP2 (品確法接合部倍率1.0)</p> <p>柱頭</p> <p>山形プレートVP2 12-太めくぎZN65</p>	<p>(ニ) 羽子板ボルトSB-F2 (E2)、羽子板パイプSP-E2 (品確法接合部倍率1.4)</p> <p>柱頭</p> <p>羽子板ボルト SB-F2 1-六角ボルトM12 2-六角ボルトM12 2-角座金W4.5×40</p> <p>羽子板パイプ SP-E2 2-六角ボルトM12 2-六角ボルトM12 2-角座金W4.5×40</p>	<p>上下階</p> <p>上階柱</p> <p>かど金物CP-T 10-太めくぎZN65</p> <p>梁</p> <p>かど金物CP-T 10-太めくぎZN65</p> <p>下階柱</p> <p>山形プレートVP 8-太めくぎZN90</p> <p>山形プレートVP2 12-太めくぎZN65</p> <p>羽子板ボルト SB-F2 1-六角ボルトM12 2-六角ボルトM12 2-角座金W4.5×40</p> <p>羽子板パイプ SP-E2 2-六角ボルトM12 2-六角ボルトM12 2-角座金W4.5×40</p>	<p>柱脚</p> <p>柱</p> <p>土台</p> <p>基礎</p> <p>かど金物CP-T 10-太めくぎZN65</p> <p>山形プレートVP 8-太めくぎZN90</p> <p>山形プレートVP2 12-太めくぎZN65</p> <p>羽子板パイプ SP-E2 2-六角ボルトM12 2-六角ボルトM12 2-角座金W4.5×40</p>
--	--	---	---	---	---

### (3) 筋かい端部及び柱端部と接合金物との納まり [建築基準法施行令第46条第4項 告示第1460号 告示第1654号]

<p>○ 筋かい端部の取合い [施行令第46条第4項]</p> <p>○ (ロ) 15×90mm以上の筋かい (壁倍率1.0、たすき掛けのとき2.0)</p> <p>10-くぎN65</p> <p>○ (ハ) 30×90mm以上の筋かい (壁倍率1.5、たすき掛けのとき3.0)</p> <p>筋かいプレートBP 10-太めくぎZN65 1-角根平頭ボルトM12 1-小型角座金W2.3×30 1-六角ナットM12</p> <p>○ (ニ) 45×90mm以上の筋かい (壁倍率2.0、たすき掛けのとき4.0)</p> <p>筋かいプレートBP2 17-スクリューくぎZS50 1-角根平頭ボルトM12 1-小型角座金W2.3×30 1-六角ナットM12</p> <p>○ (ホ) 90×90mm以上の筋かい (壁倍率3.0、たすき掛けのとき5.0)</p> <p>角座金 径12mmのボルト</p>	<p>○ 柱端部の取合い [告示第1460号 告示第1654号]</p> <p>(イ) 短ほぞ差し (品確法接合部倍率: 0.0)</p> <p>(ロ) かすがい打ち (品確法接合部倍率: 0.0)</p> <p>(ハ) 長ほぞ差し込み栓打ち (品確法接合部倍率: 0.7)</p> <p>(ニ) かど金物CP-L 10-太めくぎZN65 (品確法接合部倍率: 0.7)</p> <p>柱頭</p> <p>短ほぞ差し</p> <p>かすがい打ち</p> <p>90mm以上</p> <p>込み栓打ち</p> <p>長ほぞ (90mm以上)</p> <p>かど金物CP-L 10-太めくぎZN65</p>	<p>上下階</p> <p>短ほぞ差し</p> <p>かすがい打ち</p> <p>90mm以上</p> <p>込み栓打ち</p> <p>長ほぞ (90mm以上)</p> <p>かど金物CP-L 10-太めくぎZN65</p>	<p>柱脚</p> <p>短ほぞ差し</p> <p>かすがい打ち</p> <p>90mm以上</p> <p>込み栓打ち</p> <p>長ほぞ (90mm以上)</p> <p>かど金物CP-L 10-太めくぎZN65</p>
--	---	--	---

### (4) 柱端部と接合金物との納まり [告示第1460号 告示第1654号]

<p>(ニ) 短ざく金物S(スクリューくぎなし) (品確法接合部倍率: 1.4)</p> <p>柱頭</p> <p>短ざく金物S 2-六角ボルトM12 2-六角ナットM12 2-角座金W4.5×40</p>	<p>(ロ) 羽子板ボルトSB・F(E)、羽子板パイプSP・E (品確法接合部倍率: 1.6)</p> <p>柱頭</p> <p>羽子板ボルト SP-F 1-六角ボルトM12 2-六角ボルトM12 2-角座金W4.5×40 1-スクリューくぎZS50</p> <p>羽子板パイプ SP-E 2-六角ボルトM12 2-六角ボルトM12 2-角座金W4.5×40 1-スクリューくぎZS50</p>	<p>(ハ) 短ざく金物S(スクリューくぎあり) (品確法接合部倍率: 1.6)</p> <p>柱頭</p> <p>短ざく金物S 2-六角ボルトM12 2-六角ナットM12 2-角座金W4.5×40 3-スクリューくぎZS50</p>	<p>(ヘ) 引き寄せ金物S-HD10 (品確法接合部倍率: 1.8)</p> <p>柱頭</p> <p>引き寄せ金物 S-HD10 1-座金付きボルトM16W 1-六角ナットM16 2-六角ボルトM12 2-六角ナットM12 2-角座金W4.5×40</p>
<p>上下階</p> <p>短ざく金物S 2-六角ボルトM12 2-六角ナットM12 2-角座金W4.5×40</p> <p>羽子板ボルト SP-F 1-六角ボルトM12 2-六角ボルトM12 2-角座金W4.5×40 1-スクリューくぎZS50</p> <p>羽子板パイプ SP-E 2-六角ボルトM12 2-六角ボルトM12 2-角座金W4.5×40 1-スクリューくぎZS50</p>	<p>柱脚</p> <p>短ざく金物S 2-六角ボルトM12 2-六角ナットM12 2-角座金W4.5×40</p> <p>羽子板パイプ SP-E 2-六角ボルトM12 2-六角ボルトM12 2-角座金W4.5×40 1-スクリューくぎZS50</p>	<p>引き寄せ金物 S-HD10 1-座金付きボルトM16W 1-六角ナットM16 2-六角ボルトM12 2-六角ナットM12 2-角座金W4.5×40</p>	<p>引き寄せ金物 S-HD10 1-座金付きボルトM16W 1-六角ナットM16 2-六角ボルトM12 2-六角ナットM12 2-角座金W4.5×40</p>

TE-DOK一級建築士事務所 岐阜県知事登録 第12814号  
一級建築士 第330351号 河本 和義

# 木造軸組接合部標準図(2B)

## 5B. 軸組標準接合部

(公財) 日本住宅・木材技術センター発行 木造住宅用標準納まり図に準拠すること

### (1) 柱端部と接合金物との納まり [告示第1460号 告示第1654号]

<p>(と) 引き寄せ金物S-HD15 (品確法接合部倍率: 2.8)</p> <p>座金付きボルト M16W 引き寄せ金物 S-HD15 1-座金付きボルトM16W 1-六角ナットM16 3-六角ボルトM12 3-六角ナットM12 3-角座金W4.5×40</p>	<p>(ち) 引き寄せ金物S-HD20 (品確法接合部倍率: 3.7)</p> <p>座金付きボルト M16W 引き寄せ金物 S-HD20 1-座金付きボルトM16W 1-六角ナットM16 4-六角ボルトM12 4-六角ナットM12 4-角座金W4.5×40</p>	<p>(り) 引き寄せ金物S-HD25 (品確法接合部倍率: 4.7)</p> <p>座金付きボルト M16W 引き寄せ金物 S-HD25 1-座金付きボルトM16W 1-六角ナットM16 5-六角ボルトM12 5-六角ナットM12 5-角座金W4.5×40</p>	<p>(ぬ) 引き寄せ金物S-HD15×2 (品確法接合部倍率: 5.6)</p> <p>座金付きボルト M16W 引き寄せ金物 S-HD15×2 2-座金付きボルトM16W 2-六角ナットM16 6-六角ボルトM12 6-六角ナットM12 6-角座金W4.5×40</p>	<p>その他の引き寄せ金物 35N以上の高耐力ホールダウン金物仕様 ※メーカー製品の仕様による</p> <p>高耐力高ネジボルト 高耐力ホールダウン 締め代 (150mm以上)</p> <p>※メーカー製品の仕様による</p>
<p>引き寄せ金物 S-HD15 1-六角ボルトM16 1-六角ナットM16 3-六角ボルトM12 3-六角ナットM12 3-角座金W4.5×40</p>	<p>引き寄せ金物 S-HD20 1-六角ボルトM16 1-六角ナットM16 4-六角ボルトM12 4-六角ナットM12 4-角座金W4.5×40</p>	<p>引き寄せ金物 S-HD25 1-六角ボルトM16W 1-六角ナットM16 5-六角ボルトM12 5-六角ナットM12 5-角座金W4.5×40</p>	<p>引き寄せ金物 S-HD15×2 2-六角ボルトM16 2-六角ナットM16 6-六角ボルトM12 6-六角ナットM12 6-角座金W4.5×40</p>	<p>高耐力ホールダウン 締め代 (150mm以上)</p> <p>高耐力高ネジボルト 高耐力ホールダウン 締め代 (150mm以上)</p> <p>※メーカー製品の仕様による</p>
<p>引き寄せ金物 S-HD15 1-アンカーボルトM16 1-六角ナットM16 3-六角ボルトM12 3-六角ナットM12 3-角座金W4.5×40 アンカーボルトM16</p>	<p>引き寄せ金物 S-HD20 1-アンカーボルトM16 1-六角ナットM16 4-六角ボルトM12 4-六角ナットM12 4-角座金W4.5×40 アンカーボルトM16</p>	<p>引き寄せ金物 S-HD25 1-アンカーボルトM16W 1-六角ナットM16 5-六角ボルトM12 5-六角ナットM12 5-角座金W4.5×40 アンカーボルトM16</p>	<p>引き寄せ金物 S-HD15×2 2-アンカーボルトM16 2-六角ナットM16 6-六角ボルトM12 6-六角ナットM12 6-角座金W4.5×40 アンカーボルトM16</p>	<p>高耐力ホールダウン 締め代 (150mm以上)</p> <p>高耐力アンカーボルトM16 締め代 (150mm以上)</p> <p>※メーカー製品の仕様による</p>

### (2) 横架材及び通し柱と接合金物との納まり (品確法) [告示第1654号]

<p>横架材相互の取合い</p> <p>(る) 腰掛けあり+羽子板<sup>※</sup>付 (品確法接合部倍率: 1.9)</p> <p>腰掛けあり 羽子板ボルト SB-E2 SB-F2</p>	<p>(る) 腰掛けあり+短ざく金物 (品確法接合部倍率: 1.9)</p> <p>腰掛けあり 短ざく金物S</p>	<p>(を) 腰掛けあり+羽子板<sup>※</sup>付×2 (品確法接合部倍率: 3.0)</p> <p>腰掛けあり 羽子板ボルト×2 SB-E2 SB-F2</p>	<p>(を) 腰掛けあり+短ざく金物×2 (品確法接合部倍率: 3.0)</p> <p>腰掛けあり 短ざく金物S×2</p>	<p>通し柱と横架材の取合い</p> <p>(T1) かたぎ大入れ短ぼぞ差し+かね折り金物</p> <p>通し柱 かね折り金物SA かたぎ大入れ短ぼぞ差し</p>
<p>(る) 大入れあり掛け+羽子板<sup>※</sup>付 (品確法接合部倍率: 1.9)</p> <p>大入れあり掛け 羽子板ボルト SB-E2 SB-F2</p>	<p>(る) 大入れあり掛け+短ざく金物 (品確法接合部倍率: 1.9)</p> <p>大入れあり掛け 短ざく金物S</p>	<p>(を) 大入れあり掛け+羽子板<sup>※</sup>付×2 (品確法接合部倍率: 3.0)</p> <p>大入れあり掛け 大入れあり掛け 羽子板ボルト SB-E2 SB-F2</p>	<p>(を) 大入れあり掛け+短ざく金物×2 (品確法接合部倍率: 3.0)</p> <p>大入れあり掛け 短ざく金物S×2</p>	<p>(T1) かたぎ大入れ短ぼぞ差し+羽子板<sup>※</sup>付</p> <p>かたぎ大入れ短ぼぞ差し 羽子板ボルト SB-E2 SB-F2 通し柱</p>

### (3) 通し柱と横架材及びその他の部位と接合金物との納まり [告示第1460号 告示第1654号]

<p>通し柱と横架材の取合い(品確法) 引き寄せ金物と各部の取合い</p> <p>(T2) かたぎ大入れ短ぼぞ差し+短ざく金物S</p> <p>通し柱 かたぎ大入れ短ぼぞ差し 短ざく金物S</p>	<p>筋かいプレートと引き寄せ金物の納まり</p> <p>引き寄せ金物 S-HD15 筋かいプレート BP-2 土台</p>	<p>真壁の受材タイプと引き寄せ金物の納まり</p> <p>引き寄せ金物 S-HD15 構造用面材 土台</p>	<p>格子壁(通常タイプ)と引き寄せ金物の納まり</p> <p>引き寄せ金物 HD-N15 格子壁 柱 土台</p>	<p>筋かいたすき掛け部分の取合い</p> <p>N75釘 両面打ち</p>
<p>(T3) 引き寄せ金物S-HD15</p> <p>通し柱 引き寄せ金物 S-HD15 横架材 かたぎ大入れ短ぼぞ差し</p>	<p>貫と引き寄せ金物の納まり</p> <p>引き寄せ金物 S-HD15 貫 土台</p>	<p>土塗り壁と引き寄せ金物の納まり</p> <p>土塗り壁 柱 太めくぎ ZN90 引き寄せ金物 HD-N15</p>	<p>格子壁(後づけタイプ)と引き寄せ金物の納まり</p> <p>格子壁 柱 ラグスクリュー LS12 引き寄せ金物 S-HD15 土台</p>	<p>筋かい断面90×90mmの納まり</p> <p>六角ボルト M12 六角ボルト SM40 両面打ち ZN65 12本打ち かたぎ大入れ</p>

### (4) 横架材及び通し柱と接合金物との納まり (品確法) [告示第1654号]

<p>横架材相互及び通し柱と横架材の取合い</p> <p>梁受け金物BH-135</p> <p>製材又は構造用集成材一般 品確法接合部倍率: 2.3</p> <p>構造用集成材 (強度等級E105-F300以上) 品確法接合部倍率: 3.6</p> <p>梁受け金物BH-195、BH-255</p> <p>製材又は構造用集成材一般 品確法接合部倍率: 2.6</p> <p>構造用集成材 (強度等級E105-F300以上) 品確法接合部倍率: 4.8</p>	<p>梁受け金物 BH-135 横架材</p>	<p>梁受け金物 BH-195 横架材</p>	<p>梁受け金物 BH-255 横架材</p>
<p>(T1) かたぎ大入れ短ぼぞ差し+羽子板<sup>※</sup>付</p> <p>かたぎ大入れ短ぼぞ差し 羽子板ボルト SB-E2 SB-F2 通し柱</p>	<p>梁受け金物 BH-135 通し柱 横架材</p>	<p>梁受け金物 BH-195 通し柱 横架材</p>	<p>梁受け金物 BH-255 通し柱 横架材</p>

TE-DOK一級建築士事務所 岐阜県知事登録 第12814号  
一級建築士 第330351号 河本 和義



# 木造軸組接合部標準図(3)

## 6. 面材耐力壁

(注) (単位)mm

### 6.1 共通事項

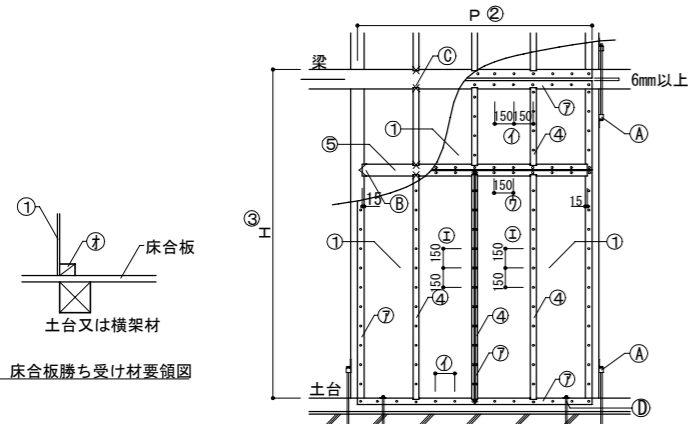
各部仕口形状は、(3)高耐力仕様構造用合板張り耐力壁を除き、木造軸組接合部標準図(2)5.軸組標準接合部に準ずる。  
 面材張り耐力壁の面材に対する釘頭のめり込みは、面材厚の10%未満かつ1mmを限度とする。左記を超える場合は隣り合う釘との中間部に増し打ちすること。  
 耐力壁の土台と基礎との間は、無収縮モルタル又は十分な耐久力を持つスペーサー材を挿入し隙間を埋めること。  
 柱の有効細長比(断面の最小二次率半径に対する座屈長さの比)は、150以下とすること。

### 6.2 面材耐力壁の仕様

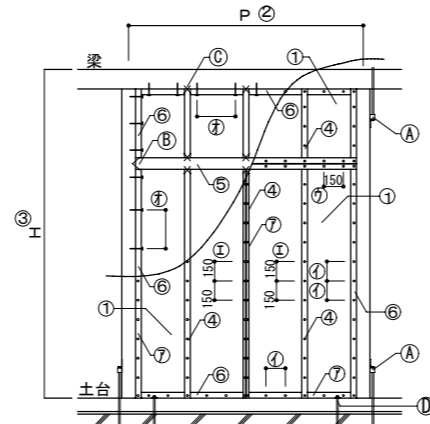
(1) 昭56建告1100号に準じた耐力壁 面材種類: 構造用パーティクルボード、構造用MDF、構造用合板、構造用パネル(OSB)

#### a. 面材張り大壁仕様耐力壁

※ 入隅部等で受け材を用いて面材を張った場合の 壁倍率は、真壁仕様の数値を適用すること



#### b. 受け材付き真壁仕様耐力壁



#### a-1. 高倍率仕様大壁耐力壁

壁倍率: 4.3または3.7

1 面材および壁倍率	構造用パーティクルボード t=9mm、構造用MDF t=9mm . . . 4.3 倍 構造用合板 t=9mm以上、構造用パネル(OSB) t=9mm以上 . . . 3.7 倍
2 柱間隔	600mm ≤ P ≤ 2000mm
3 高さ	H ≤ 6000mm、かつ一連の耐力壁の両端柱芯間距離の5倍以下
4 間柱	幅45以上、間隔500mm以下
5 中棧	幅90mm以上

#### 2) 各部仕口形状及び性能

A 各階の柱頭柱脚部	ホゾ差し等の上、水平力時に柱頭柱脚各部へ生じる引張力を上回る耐力を有する金物を使用する
B 中棧端部	まぐさ欠きに15mm大入れの上、2-N75斜め釘打ち
C 間柱端部	間柱欠きに6~15mm大入れの上、2-N75斜め釘打ち
D アンカーボルト	耐力壁のせん断力を土台から基礎へ伝えるアンカーボルト: M12以上のアンカーボルトを耐力壁両端の柱近接位置(柱芯から200mm内外)に1本ずつ設ける

#### b-1. 高倍率仕様真壁耐力壁

壁倍率: 4.0または3.3

1 面材および壁倍率	構造用パーティクルボード t=9mm、構造用MDF t=9mm . . . 4.0 倍 構造用合板 t=9mm以上、構造用パネル(OSB) t=9mm以上 . . . 3.3 倍
2 柱間隔	600mm ≤ P ≤ 2000mm
3 高さ	H ≤ 6000mm、かつ一連の耐力壁の両端柱芯間距離の5倍以下
4 間柱	幅45以上、間隔500mm以下
5 中棧	幅90mm以上
6 受け材	幅45mm以上

#### 2) 各部仕口形状及び性能

A 各階の柱頭柱脚部	ホゾ差し等の上、水平力時に柱頭柱脚各部へ生じる引張力を上回る耐力を有する金物を使用する
B 中棧端部	突き付けの上、2-N75斜め釘打ち
C 間柱端部	突き付けの上、2-N75斜め釘打ち
D アンカーボルト	耐力壁のせん断力を土台から基礎へ伝えるアンカーボルト: M12以上のアンカーボルトを耐力壁両端の柱近接位置(柱芯から200mm内外)に1本ずつ設ける

#### 3) 面材の釘打ち方法

※ 構造用合板には、CN釘を用いること。

7 面材の釘打ち	面材の4周を釘打ちする。金物が干渉する場合は、金物を避けた位置に所定の本数を釘打ちする。 柱及びはりに対するかかり寸法 22.5mm以上 面材に対するへり空き 10mm以上 柱はりのへり空き 12.5mm以上
----------	---

イ 横架材・柱	構造用合板: CN50@75mm以下、左記以外の面材: N50@75mm以下
ウ 中棧	構造用合板: CN50@150mm以下、左記以外の面材: N50@150mm以下
エ 間柱	構造用合板: CN50@150mm以下、左記以外の面材: N50@150mm以下
オ 受け材	受け材 45×60以上 構造用パーティクルボード、構造用MDF: 釘N90@120mm以下(両面張りの場合は、@60mm以下) 構造用合板、構造用パネル: 釘N90@200mm以下(両面張りの場合は、@100mm以下) ※ 床勝ち仕様の場合の受け材及び釘打ち方法はa-1.に準ずる ※ 枠材用ホールダウン金物は、45mm用を用いること(30mm用は不可)

#### a-2. 標準仕様大壁耐力壁

壁倍率: 2.5

1 面材および壁倍率	構造用パーティクルボード t=9mm、構造用MDF t=9mm . . . 2.5 倍 構造用合板 t=9mm以上、構造用パネル(OSB) t=9mm以上 . . . 2.5 倍
2 3 4 5	a-1.(高倍率仕様)に同じ
2) 各部仕口形状及び性能	A B C D a-1.(高倍率仕様)に同じ
3) 面材の釘打ち方法	7 面材の釘打ち a-1.(高倍率仕様)に同じ
イ 横架材・柱	N50@150mm以下
ウ 中棧	N50@150mm以下
エ 間柱	N50@150mm以下
オ 受け材	受け材 45×60以上 釘N90@200mm以下(両面張りの場合は、@100mm以下)

#### b-2. 標準仕様真壁耐力壁

壁倍率: 2.5

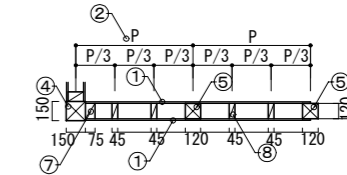
1 面材および壁倍率	構造用パーティクルボード t=9mm、構造用MDF t=9mm . . . 2.5 倍 構造用合板 t=9mm以上、構造用パネル(OSB) t=9mm以上 . . . 2.5 倍
2 3 4 5 6	b-1.(高倍率仕様)に同じ
2) 各部仕口形状及び性能	A B C D b-1.(高倍率仕様)に同じ
3) 面材の釘打ち方法	7 面材の釘打ち b-1.(高倍率仕様)に同じ
イ 外周受材	N50@150mm以下
ウ 中棧	N50@150mm以下
エ 間柱	N50@150mm以下
オ 受け材	受け材 45×60以上 釘N90@300mm以下(両面張りの場合は、@150mm以下) ※ 床勝ち仕様の場合の受け材及び釘打ち方法はa-2.に準ずる

(2) 高耐力仕様構造用合板張り耐力壁 (JIS A 3301標準仕様): 短期許容せん断耐力  $\Delta Q_a = 29.6 \text{ kN/m}$

本耐力壁を採用する場合は、設計図書に試験成績書を添付すること。

#### a. 条件及び仕様

1) 各部材料	1 面材: 構造用合板 t=12mm 両面張り 2 間隔: 900mm ≤ P ≤ 1000mm 3 高さ: 1800mm ≤ H ≤ 3650mm 4 高耐力壁を用いる場合のグリッド柱: 150mm × 150mm以上(グリッド柱: X方向とY方向の主要鉛直構面の交点の柱) 5 高耐力壁の端部および合板継ぎ目部の柱: 120mm × 120mm以上 6 構造用合板継ぎ目部横つなぎ材: 120mm × 120mm以上 7 グリッド柱に取付く受け材: 75mm × 120mm以上 8 間柱: 見付け45mm以上、見込み120mm以上、間隔P/3以下 9 小屋柱: 120mm × 120mm以上
---------	---

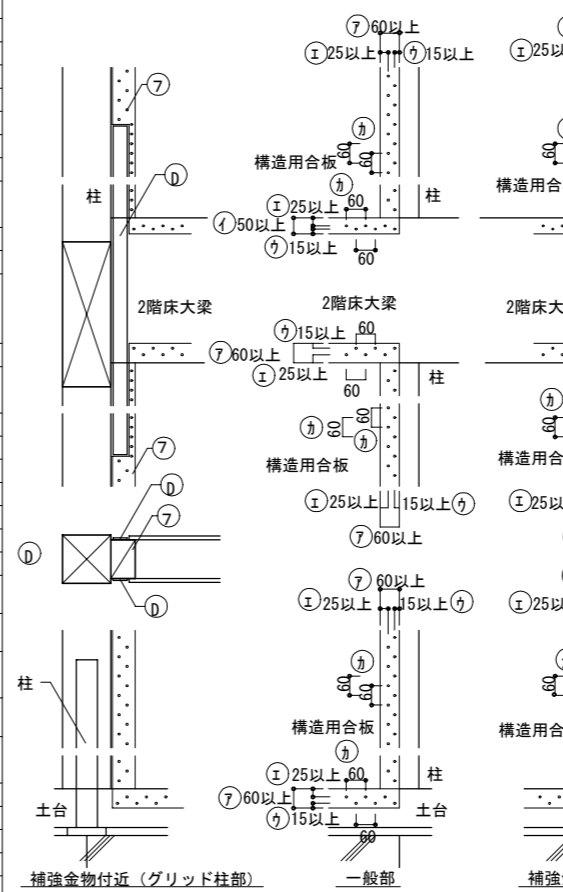


小屋耐力壁  
構造用合板 t=12mm(両面)  
小屋柱: 梁にN50@75  
間柱にN50@200以下で釘打ち

2) 各部仕口形状及び性能	A 柱頭柱脚部: 厚さ30mm × 深さ90mm以上 B 中棧端部: 片側から柱に取り付く場合: 厚さ30mm × 深さ90mmホゾ差し 両側から柱に取り付く場合: 厚さ30mm × 深さ60mmホゾ差し C 間柱両端: 横架材への溝加工及び15mm程度大入れ D 各階の柱頭柱脚部: 水平力時に柱頭柱脚各部へ生じる引張力を上回る耐力の金物を使用する E 耐力壁のせん断を土台から基礎へ伝えるアンカーボルト: M16アンカーボルト耐力壁1P当り2本設ける
---------------	--

#### 3) 各部への釘打及びビス止め

構造用合板はたて張り、4周を釘打ちする
イを除き、柱及びはりに対するかかり寸法: 60mm以上
イ 2階耐力壁合板を2階床大梁へ留め付ける場合かかり代: 50mm以上
ウを除き、合板に対するへり空き: 15mm以上
エ 柱はりのへり空き: 25mm以上
オ 金物が干渉しへり空きが確保できない合板部分のへり空き: 8mm以上
カ 横架材・柱・受け材: N50@60mmチドリ打ち
キ 間柱: N50@90mm打ち
ク 7の受け材とグリッド柱: 木質構造用ビスφ6、L130~150@100(2列)で留め付ける。



#### 6.3 その他の耐力壁

・木造軸組工法住宅の許容応力度設計(2017年版)の詳細計算法による面材張り耐力壁については、同書の規定に準拠することとし、釘ピッチ配列等の仕様については設計図による。  
 ・指定性能評価機関またはそれに準ずる公共の評価機関で成績書を取得して耐力が明示された耐力壁については試験成績書の仕様を準拠することとする。  
 ・大臣認定を取得した耐力壁については、認定書に記載された適用範囲及び仕様を守ること。

TE-DOK一級建築士事務所 岐阜県知事登録 第12814号  
 一級建築士 第330351号 河本 和義



株式会社 一級建築士事務所  
**DESIGN BOX**  
 architecture & urban design



# 木造軸組接合部標準図(3A)

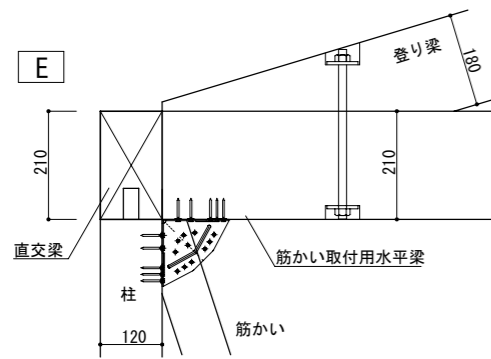
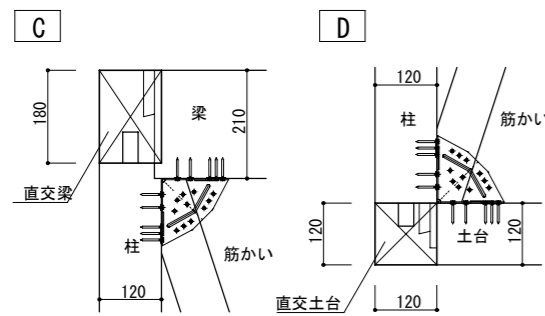
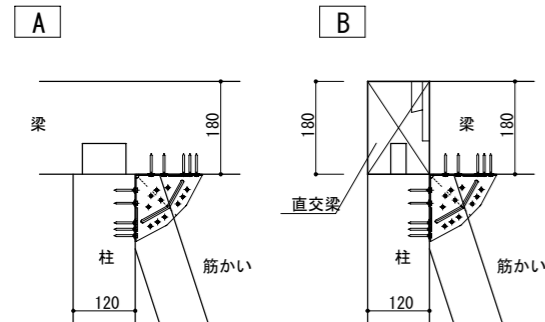
(注) (単位)mm

## 6 A. 施行令46条に基づく45×90以上の筋かい端部納まり図

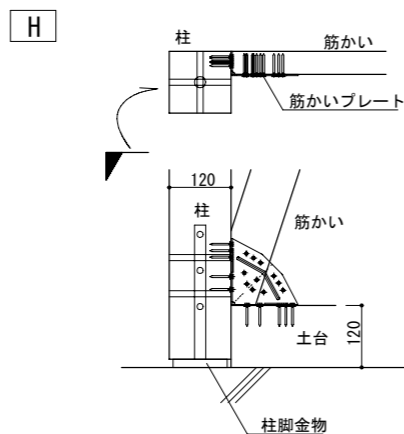
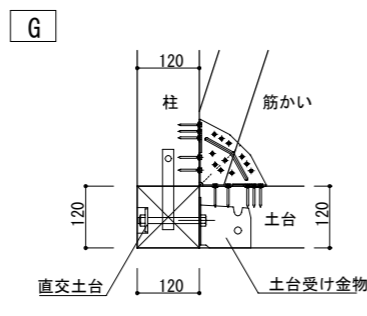
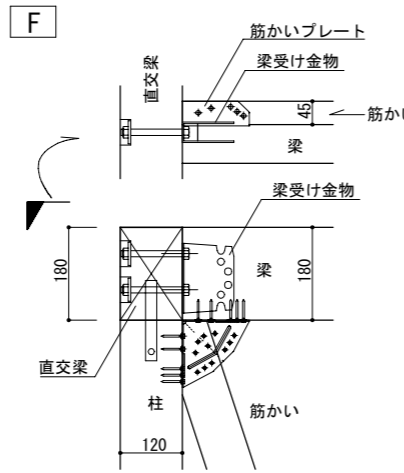
### 共通事項

筋かいプレートは、柱梁ビスどめタイプを標準とする。  
 筋かいプレートを柱取付タイプのみとする場合は柱頭のホゾに作用するせん断力に対する検討を行うこと。ただし、端部及び出隅部の柱が寄せホゾとなる場合は柱梁ビスどめタイプを使用すること。  
 筋かいプレートの取付ビスのへりあきが不足又は、金物工法の金物にビスが干渉する場合は、そのビスを無効とし、所定のビス本数に満たないときは柱取付筋かいプレートを追加する等の補強をすること。  
 梁仕口部及び柱頭柱脚部の接合金物は、木造軸組接合部標準図(2)を参照すること。

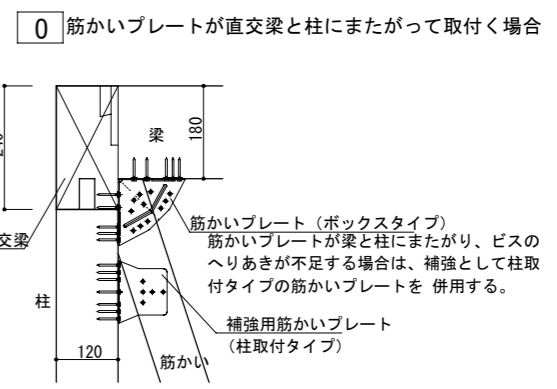
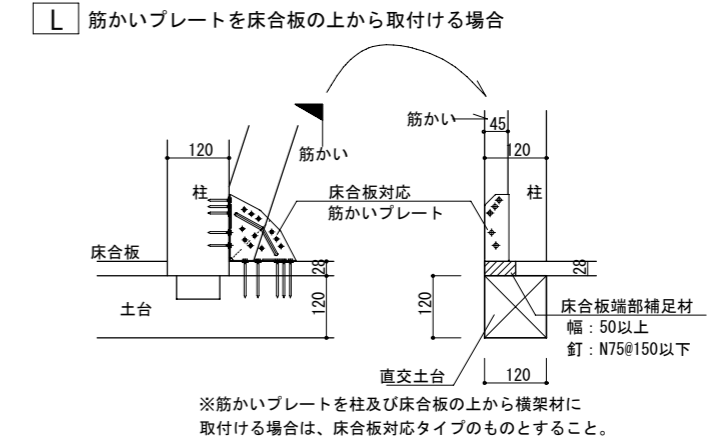
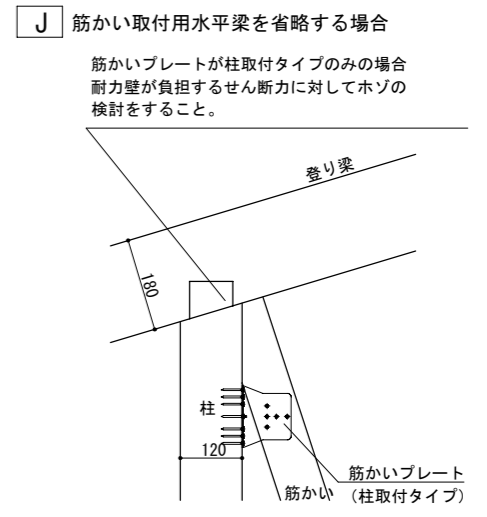
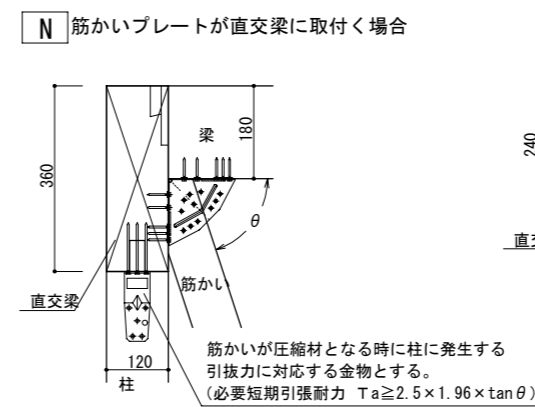
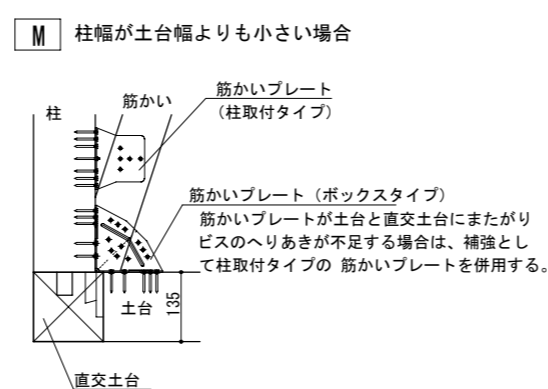
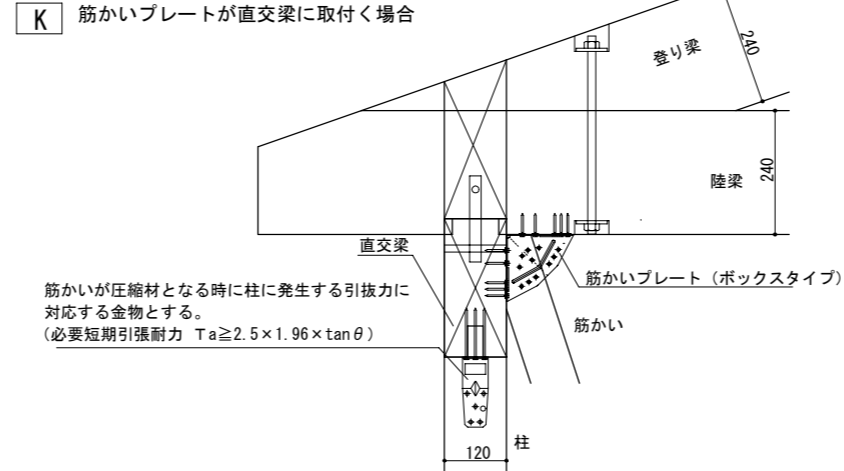
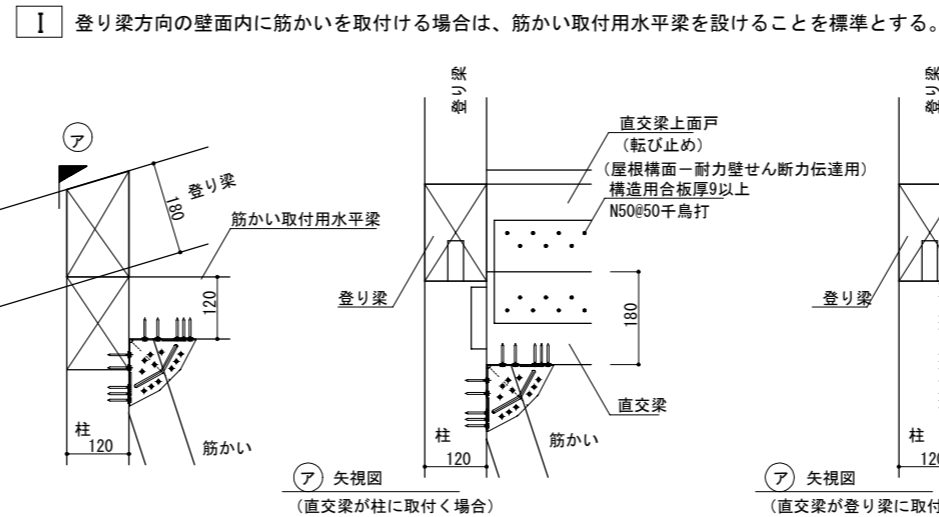
### 標準納まり図(在来工法)



### 標準納まり図(金物工法)



### 標準以外の納まり図



TE-DOK一級建築士事務所 岐阜県知事登録 第12814号  
 一級建築士 第330351号 河本 和義



# 木造軸組接合部標準図(3B)

## 6B. 昭56建告第1100号第一号に基づく面材張り大壁耐力壁納まり図

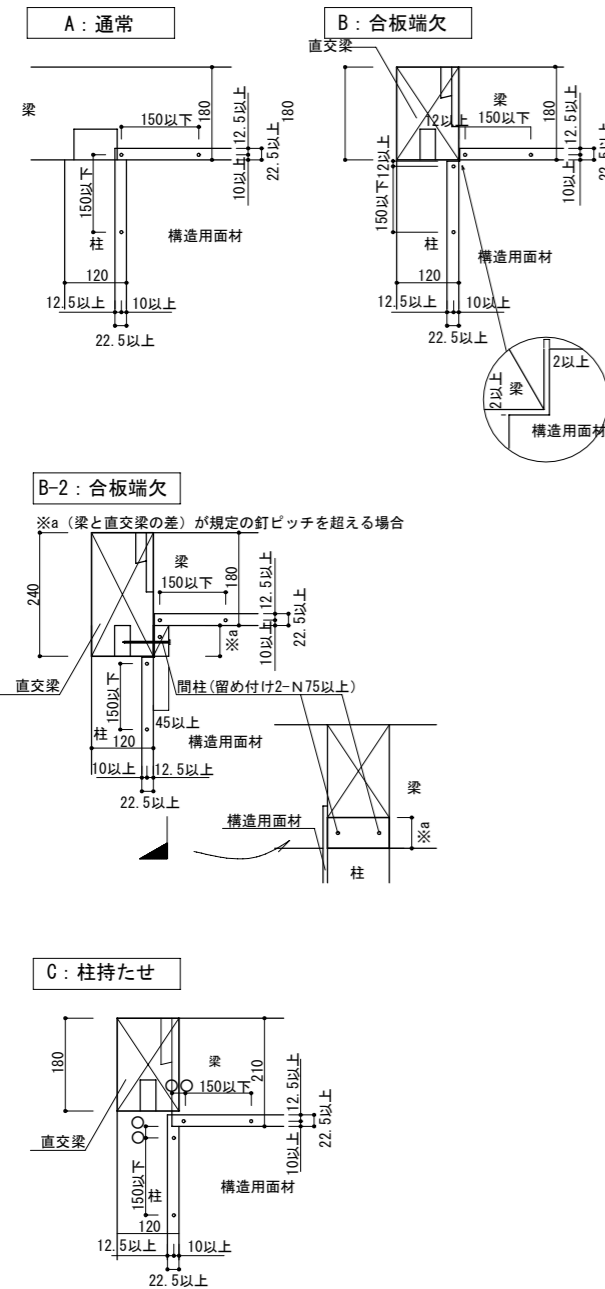
### ＜共通事項＞

- ・面材は、9mm以上を標準とする。
- ・梁仕口部及び柱頭柱脚部の接合金物は、木造軸組接合部標準図(2)を参照すること。
- ・間柱・受材・筋違等構造に関わる羽柄材の品質については、未乾燥材および皮付き材は不可とし、四面ピン角、ねじれ、反りの無い物とすることを原則とする。
- ・釘ピッチの基準は使用釘本数を満たしている必要がある。記載のピッチは「辺の長さ÷ピッチ+1本」と読むこととする。

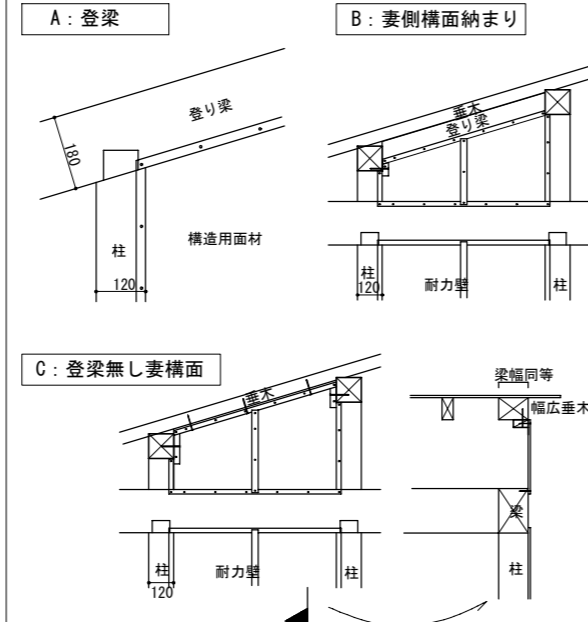
- ・開口直下の梁への間柱欠きは、原則行わない事。
- ・間柱(受材)を梁等へ留め付ける場合、釘及び木質構造用ビスの長さは、受け材厚さの2.5倍以上を標準とする。
- ・受け材厚30mmの場合は、N75、CN75以上
- ・受け材厚45mm(耐力壁：水平力のみを負担する場合)は、N90、CN90(真壁の受け材留め付けと合わせる)以上
- ・受け材厚45mm(水平構面：鉛直力と水平力を負担する場合)は、N115、木質構造用ビスL110以上

(注) (単位)mm

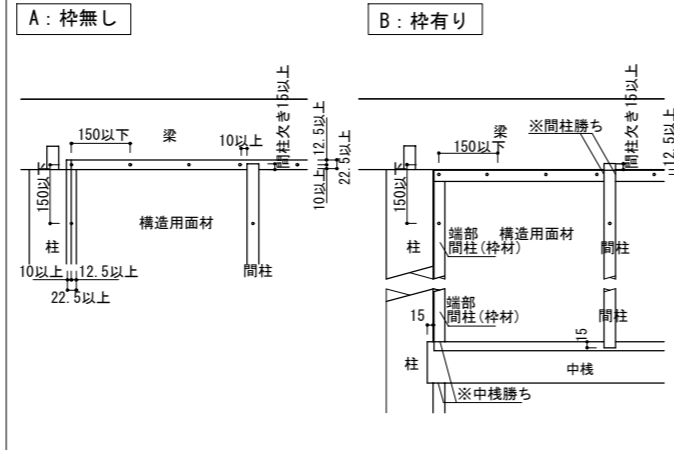
### 1. 直交梁との取り合い



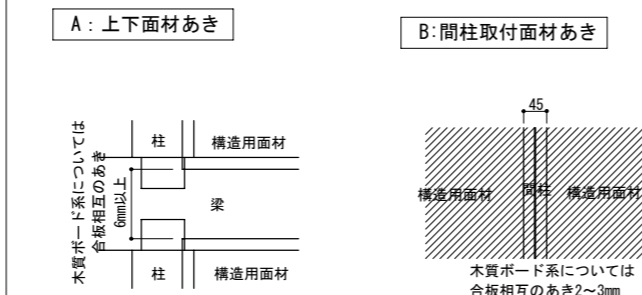
### 2. 勾配屋根の納まり



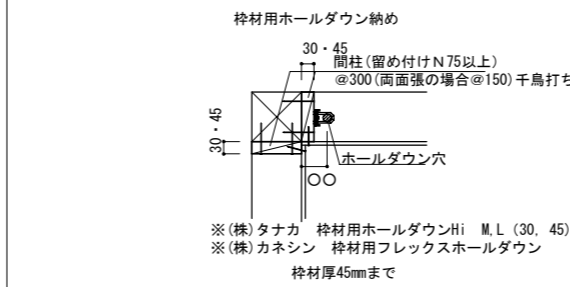
### 3. 受材・間柱勝ち負けルール



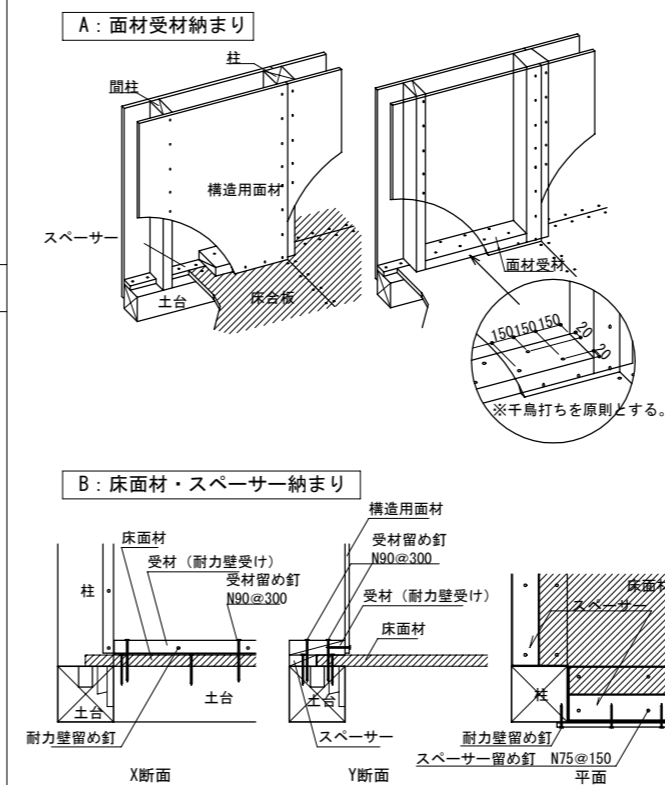
### 4. 面材相互あきのルール



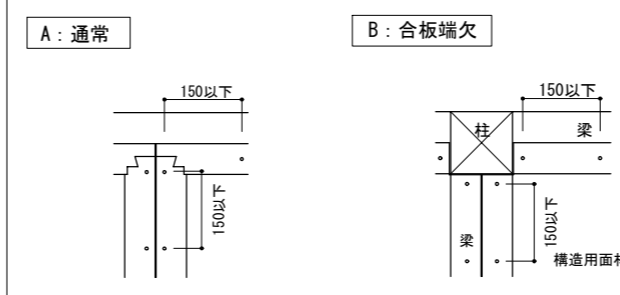
### 5. 入隅時の納まり



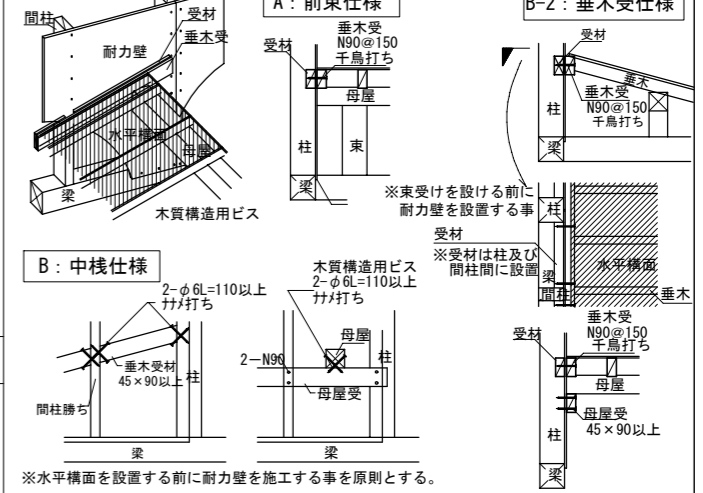
### 6. 床勝面材との取り合い



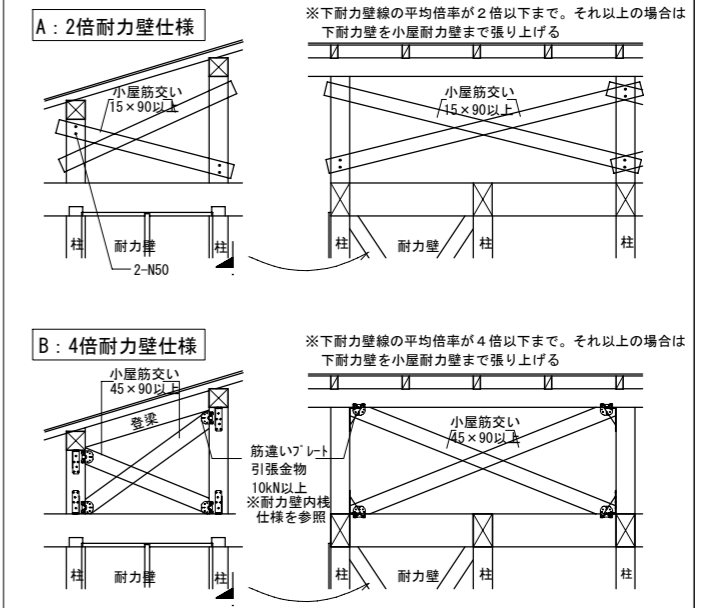
### 7. 水平構面



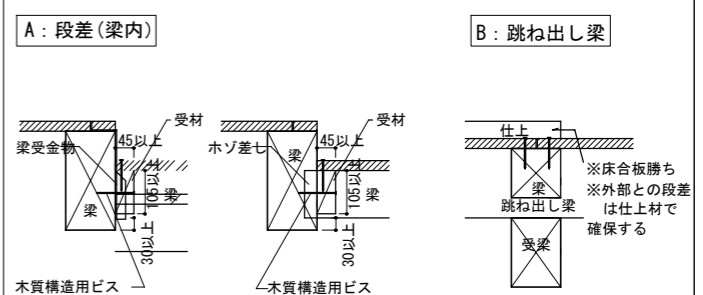
### 8. 下屋部分の納まり



### 9. 小屋筋交い



### 10. 段差



TE-DOK一級建築士事務所 岐阜県知事登録 第12814号  
 一級建築士 第330351号 河本 和義



# 木造軸組接合部標準図(4)

## 7. 水平構面

(注) (単位)mm

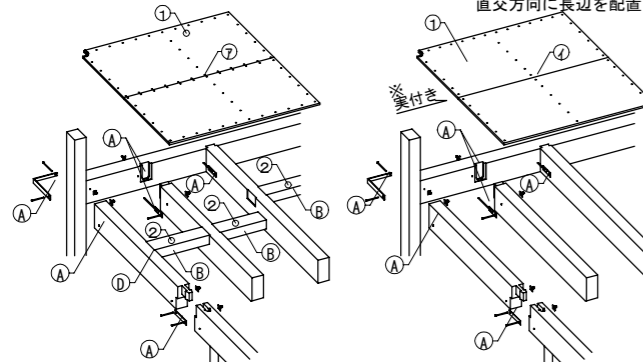
### 7.1 共通事項

- 各部仕口形状は、(3)高耐力仕様屋根・床水平構面を除き、木造軸組接合部標準図(2)5.軸組標準接合部に準ずる。
- 木造軸組工法住宅の許容応力度設計(2008年)の詳細計算法による水平構面については、同書の規定に準拠することとし、釘ピッチ配列等の仕様については設計図による。
- 指定性能評価機関またはそれに準じる公共の評価機関で成績書を取得して耐力が明示された水平構面については試験成績書の仕様に基づき準拠することとする。

### 7.2 水平構面の仕様

(1) 木造軸組工法住宅の許容応力度設計に準じた床構面

- (a) 目の字釘打ち  
短期許容せん断耐力  
7.84kN/m
- (b) 川の字釘打ち  
短期許容せん断耐力  
3.53kN/m
- ※合板は、横架材に対し直交方向に長辺を配置



#### 1) 各部材料および寸法

- 1 面材: 構造用合板 $t=24\text{mm}$ ~ $30\text{mm}$ 横架材に直貼
- 2 甲乙梁: 幅 $45\text{mm}$ 以上 $\times$ せい $45\text{mm}$ 以上 $\times$ 梁及び甲乙梁の間隔 $1000\text{mm}$ 以下

#### 2) 各部仕口形状及び性能

- A 各仕口部分:  
水平力時に継手、仕口各部へ生じる引張力を上回る耐力の金物を使用する
- B 構造用合板の継目及び釘打ちを行う部分の直下には甲乙梁を設ける
- C 高低差のある梁へは側面に床受け材を取り付け構造用合板を受ける構成
- D 甲乙梁端部は小梁に対して深さ $15\text{mm}$ 程度の大入れ N75 1本斜め打ち

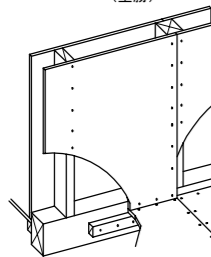
#### 3) 各部への釘打及びビス止め

- 7 構造用合板はN75@150mm目の字釘打ちで横架材、甲乙梁、床受材に留め付ける
- 4 構造用合板はN75@150mm川の字釘打ちで横架材、甲乙梁、床受材に留め付ける  
※ 構造用合板は、実付きとする。

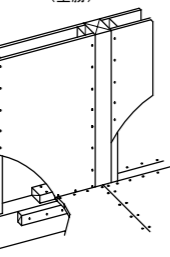
注意事項: 構造用合板(又はOSB)に対する釘頭のめり込みは、 $2\text{mm}$ を限度とする。  
 $2\text{mm}$ を超える場合は隣り合う釘との中間部に増し打ちすること。  
川の字釘打ちは構造用合板上に直接フローリングを貼る構成の場合、たわみ等に注意する事。

告示耐力壁-床納まり

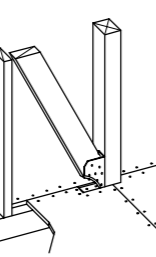
大壁合板耐力壁-床構面  
(壁勝)



真壁合板耐力壁-床構面  
(壁勝)

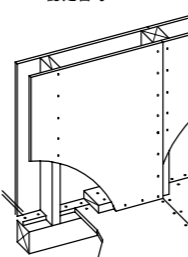


筋違耐力壁-床構面  
(筋違勝)

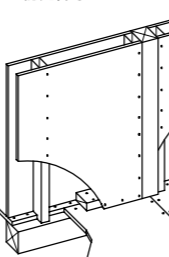


認定仕様例示) 日合連 (JPM) 仕様耐力壁-床納まり

大壁合板耐力壁-床勝  
認定番号: FRM-0296

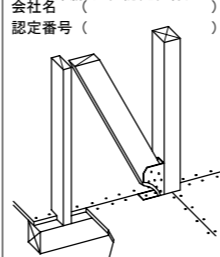


真壁合板耐力壁-床勝  
認定番号: FRM-0298



筋違金物による床勝納まり

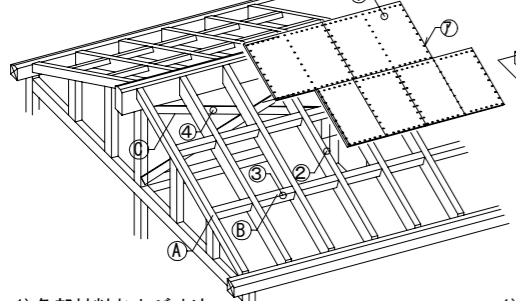
筋違耐力壁-床構面  
(床勝: 大臣認定仕様)



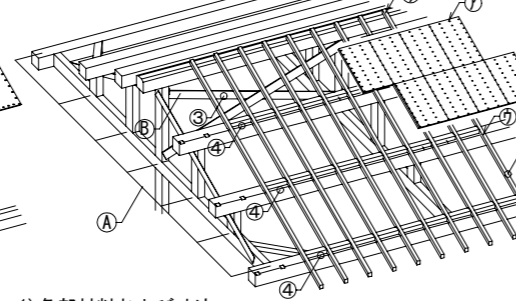
(2) 木造軸組工法住宅の許容応力度設計に準じた屋根構面

(※屋根構面で剛性を期待しない場合も、垂木等の留め付けは以下に準じる)

(a) 登梁-厚合板  
短期許容せん断耐力  
7.84kN/m(勾配面に対して)



(b) 垂木-合板  
短期許容せん断耐力  
1.96kN/m(勾配面に対して)



#### 1) 各部材料および寸法

- 1 面材: 構造用合板 $t=24\text{mm}$ ~ $30\text{mm}$ 横架材に直貼
- 2 登梁: 幅 $105\text{mm}$ 以上 $\times$ せい $105\text{mm}$ 以上 間隔 $1000\text{mm}$ 以下
- 3 甲乙梁: 幅 $45\text{mm}$ 以上 $\times$ せい $45\text{mm}$ 以上 間隔 $1000\text{mm}$ 以下
- 4 小屋耐力壁:  $15\text{mm}$ 以上 $\times$  $90\text{mm}$ 以上  
(端部は平12建造1460号の筋違耐力壁の接合)

#### 2) 各部仕口形状及び性能

- A 各仕口部分: 水平力時に継手、仕口各部へ生じる引張力を上回る耐力の金物を使用する
- B 構造用合板の継目及び釘打ちを行う部分の直下には甲乙梁を設ける
- C 耐力壁から勾配屋根水平構面までせん断力を伝達できるよう、耐力壁線上には同等以上の壁量となるよう小屋耐力壁を設ける事

#### 3) 各部への釘打及びビス止め

- 7 構造用合板はN75@150mmで目の字に垂木に留め付ける

注意事項: 構造用合板(又はOSB)に対する釘頭のめり込みは、 $2\text{mm}$ を限度とする

#### 1) 各部材料および寸法

- 1 面材: 構造用合板 $t=9\text{mm}$ ~ $15\text{mm}$ (横置)
- 2 垂木: 幅 $45\text{mm}$ 以上 $\times$ せい $45\text{mm}$ ~ $90\text{mm}$ @ $500\text{mm}$ 以下
- 3 小屋耐力壁:  $15\text{mm}$ 以上 $\times$  $90\text{mm}$ 以上  
(端部は平12建造1460号の筋違耐力壁の接合)
- 4 転び止め:  $45\text{mm}$  $\times$  $60\text{mm}$ 程度

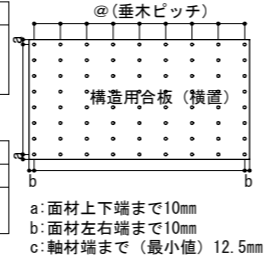
#### 2) 各部仕口形状及び性能

- A 母屋ピッチ:  $1000\text{mm}$ 以下
- B 耐力壁から勾配屋根水平構面までせん断力を伝達できるよう、耐力壁線上には同等以上の壁量となるよう小屋耐力壁を設ける事

#### 3) 各部への釘打及びビス止め

- 7 構造用合板はN50@150mmで川の字に垂木に留め付ける
- 4 転び止めを梁に2-N75斜め釘止め
- 4 垂木の留め付けは、垂木の側面から軒桁、母屋、棟木の上面に対してN75釘2本打ち

注意事項: 転び止めを使用する際、軒先・棟だけでなく垂木-母屋の接点全てに使用する

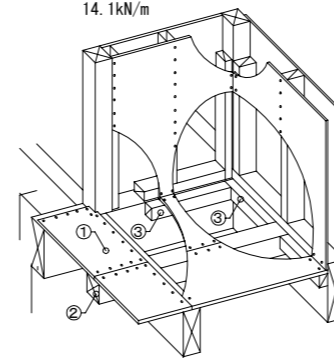


- a: 面材上下端まで $10\text{mm}$   
b: 面材左右端まで $10\text{mm}$   
c: 軸材端まで(最小値)  $12.5\text{mm}$

## 7.3 JISA3301仕様高耐力水平構面

(1) 2階床水平構面の条件及び仕様

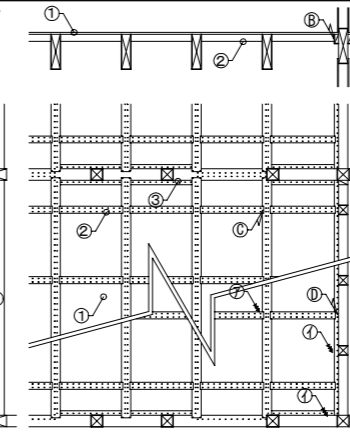
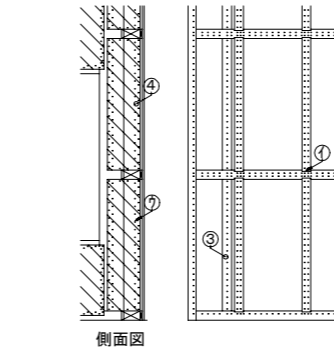
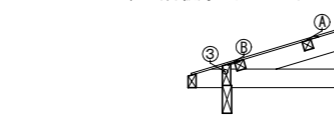
短期許容せん断耐力  
14.1kN/m



(2) 屋根水平構面の条件及び仕様

短期許容せん断耐力

- 13.5kN/m(合板釘ピッチ75mm)  
19.1kN/m(合板釘ピッチ50mm)



#### 1) 各部材料

- 1 面材: 構造用合板 $t=24\text{mm}$ 又は $28\text{mm}$ 横架材に直張り
- 2 甲乙梁:  $90\text{mm}$  $\times$  $90\text{mm}$ の正角材又は幅 $75\text{mm}$  $\times$ 成 $120\text{mm}$ 製材を平使い
- 3 大梁側面に取り付ける床受材: 幅 $55\text{mm}$ ~ $75\text{mm}$  $\times$ 成 $120\text{mm}$ の製材

#### 2) 各部仕口形状及び性能

- A 構造用合板の継目及び釘打ちを行う部分の直下には甲乙梁を設ける
- B 高低差のある梁へは側面に床受け材を取り付け構造用合板を受ける構成
- C 甲乙梁端部は小梁に対して深さ $15\text{mm}$ 程度の大入れ
- D 甲乙梁端部は床受け材に対して床受け材を深さ $15\text{mm}$  $\times$ 成 $60\text{mm}$ 切り欠き甲乙梁は成 $60\text{mm}$ 分大入れし床受け材勝ちの納まりとする

#### 3) 各部への釘打及びビス止め

- 7 構造用合板はN75@75mm目の字釘打ちで横架材、甲乙梁、床受材に留め付ける
- 4 大梁側面へ取り付け床受け材は木質構造用ビス $\phi 6$ , L130~150を $150\text{mm}$ ピッチの二列打ちとして留め付ける

#### 1) 各部材料

- 1 面材: 構造用合板 $t=24\text{mm}$ 登梁及び母屋に直張り
- 2 母屋: 幅 $120\text{mm}$  $\times$ 成 $120\text{mm}$ の製材  
多雪区域(3級及び4級)の場合は幅 $120\text{mm}$  $\times$ 成 $150\text{mm}$ の製材
- 3 軒先転び止め: 幅 $105\text{mm}$  $\times$ 成 $300\text{mm}$ の製材を用い、天端は屋根面に合わせ切り欠く
- 4 軒先転び止めの外面に直貼りする構造用合板:  $t=12\text{mm}$

#### 2) 各部仕口形状及び性能

- A 構造用合板の継目及び釘打ちを行う部分の直下には母屋を設ける
- B 屋根の合板レベルに対して低い位置にある軒先の大梁上に転び止めを設け構造用合板を受ける構成
- C 母屋端部は登梁に対して深さ $15\text{mm}$ 程度の大入れ

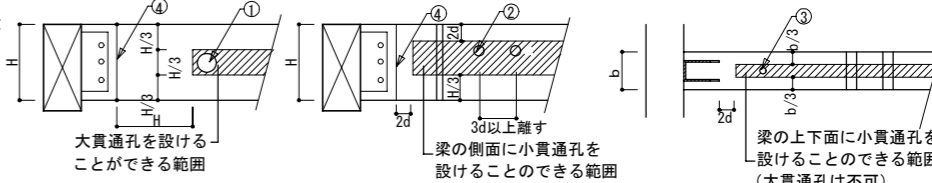
#### 3) 各部への釘打及びビス止め

- 7 13.5kN/m仕様: 構造用合板はN75@75mm4周(口の字)釘打ちで登梁及び母屋に留め付ける  
19.1kN/m仕様: 構造用合板はN75@50mm4周(口の字)釘打ちで登梁及び母屋に留め付ける
- 4 母屋端部に対して吹上対策として木質構造用ビス $\phi 5$ , L150(頭部径 $\phi 12.5$ 以上 ねじ部長さ $50$ 以上)1本を斜め打ちとする
- 4 軒先大梁と転び止めの外面に直張りする構造用合板は、N50 $\times$ 成 $50\text{mm}$ ピッチの 千鳥打ちとして留め付ける

## 8. 貫通孔

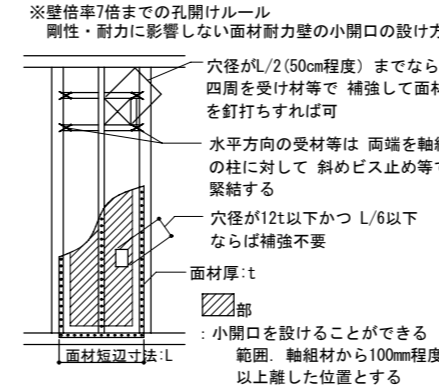
### 8.1 梁貫通孔の条件及び仕様

- ① 大貫通孔:  $d \leq H/4$ かつ $150\text{mm}$
- ② 小貫通孔:  $d \leq 30\text{mm}$ (隣り合う孔は $3d$ 以上離す)
- ③ 縦小貫通孔:  $d \leq b/6$ かつ $30\text{mm}$
- ④ 接合金物用切り欠きライン



### 8.2 耐力壁貫通孔

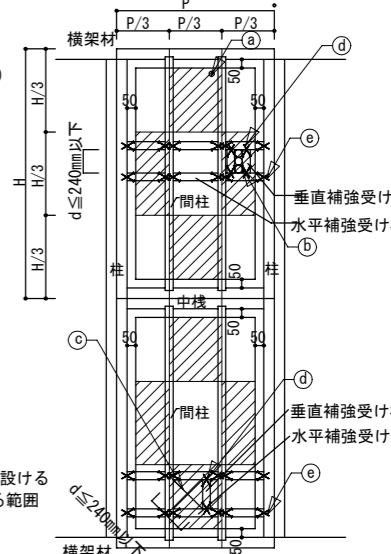
(1) 小開口付耐力壁: 木造軸組工法住宅の許容応力度設計(2025年版)  
※壁倍率7倍までの孔開けルール  
剛性・耐力に影響しない耐力壁の小開口の設け方



※補強不要の小開口は面材1枚あたり2箇所まで可能。  
補強が必要な小開口と補強が必要な小開口の組み合わせは不可とする。

(2) 高耐力仕様合板貼耐力壁 (JISA3301標準仕様)  
※壁倍率7倍を超える場合の孔開けルール (JISA3301仕様)

- a) 貫通孔基準
- ① 小貫通孔 ( $d \leq 30\text{mm}$ )  
1区画につき1か所までなら補強不要
  - ② 小貫通孔 $\times 3$ (外接円の径 $d \leq 240\text{mm}$ )  
四周を補強受材で補強  
面材1枚につき1か所のみ可
  - ③ 大貫通孔 ( $d \leq 240\text{mm}$ )  
四周を補強受材で補強  
面材1枚につき1か所のみ可
- b) 釘打ち及び断面
- ④ 合板から補強受材へN50@90mmで釘打ち  
補強受材は間柱と同寸以上の断面
  - ⑤ 補強受材の留め付けは斜めビス2本止め



TE-DOK一級建築士事務所 岐阜県知事登録 第12814号  
一級建築士 第330351号 河本 和義

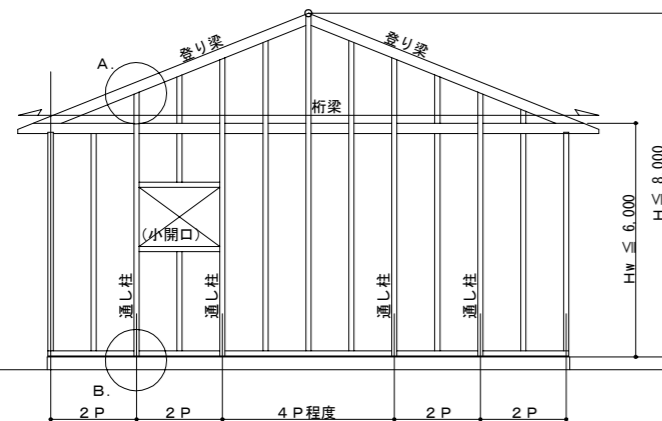
# 木造軸組接合部標準図(5)

## 8. 妻構面

平屋建物の妻構面の標準架構(耐風仕様)

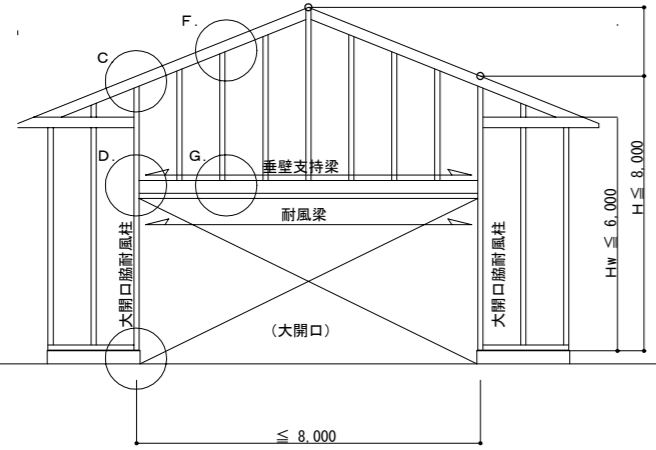
### (1) 共通事項及びキーフレーム

#### ■無開口または小開口(開口幅≦2P)有の場合



※1Pは柱-柱間の1モジュール寸法を示し、面材耐力壁に用いる構造用合板の1枚分の短辺幅を標準とする。  
但し、面材耐力壁のとき、 $P \geq H_w / 5.0$  (m)  
筋交耐力壁のとき、 $P \geq H_w / 3.5$  (m)  
 $H_w \leq 6.0$  (m)

#### ■大開口(開口幅>2P)有の場合



・妻構面の耐風柱の最高高さは、基礎立上り天端から、8m以下を標準とする。  
・妻構面の柱幅は120以上、柱成は以下の寸法以上とし、構造計算により安全であることを確認する。

柱長さ $L_c \leq 8,000$ (mm)	柱せい $D_c \geq 210$ (mm)
$\leq 7,000$ (mm)	$\geq 180$ (mm)
$\leq 6,000$ (mm)	$\geq 150$ (mm)
$\leq 5,000$ (mm)	$\geq 120$ (mm)

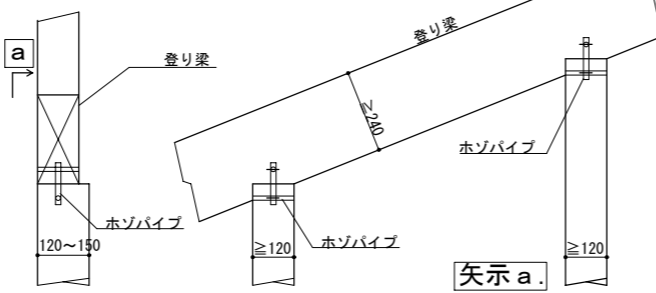
- ・妻構面の柱は2Pごとに、基礎から登り梁までの通し柱とする。但し、棟を挟んで4P程度の範囲は、1Pごとに通し柱とする。
- ・妻構面に設けた小開口(幅2P以内)の両脇の柱は、登り梁下端まで通し柱とする。
- ・妻構面に設けた大開口(幅2P超)の長さは、8m以下を標準とする。
- ・妻構面に設けた大開口の両脇には大開口耐風柱を、上部には耐風梁を設ける。また、垂壁支持梁を耐風梁の上部に設け、耐風梁と構造用ビスにて緊結する。
- ・大開口耐風柱は平角柱として、風圧力による面外方向の曲げ応力に対して、安全であるものとし、構造計算によって求めた断面寸法、樹種、強度等級とする。
- ・耐風梁は平角材を平使いで用い、風圧力による面外方向の曲げ応力に対して安全であるものとし、構造計算によって求めた断面寸法、樹種、強度等級とする。但し、計算上、垂れ壁支持梁の断面性能のみでも長期鉛直荷重と風荷重の両方を負担できる場合は、耐風梁を設けなくてもよい。
- ・垂壁支持梁および耐風梁は、両大開口耐風柱の間に1本の通し材を用いなければならない。途中に継手を設けることは、絶対に行ってはならない。
- ・母屋は登り梁を欠き込み、勝たせうえて、けらば側に片持ち梁としてはね出すことが出来る。

### (2) 継手仕口

#### ■一般部

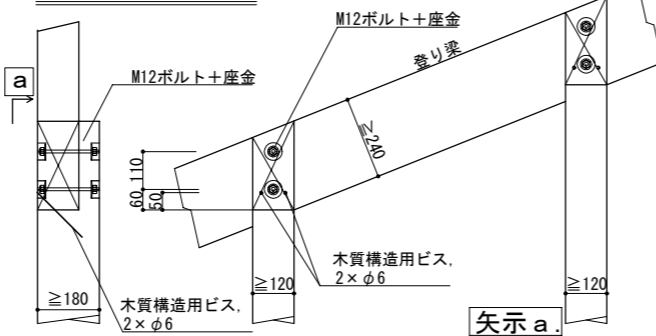
##### A. 登り梁-柱頭\_接合部

・柱せい: 120~150のとき



矢示 a.

・柱せい: ≥180のとき



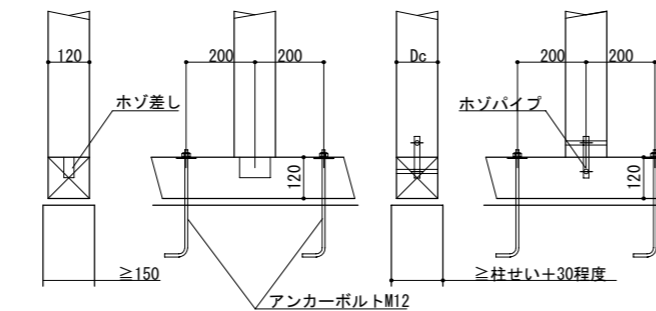
矢示 a.

##### B. 土台-柱脚\_接合部

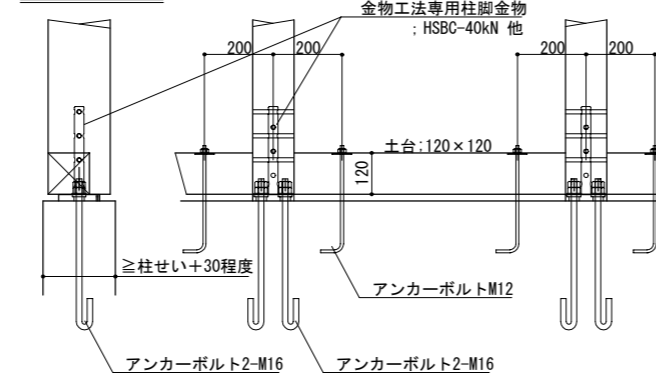
※土台の幅は、柱幅以上とすること。  
※アンカーボルトを柱の両脇200mmの位置に設けること。  
※柱間隔が1Pを超える場合、面外風圧力による負担せん断力を計算の上、決定すること。

・土台勝ち: ホソ差しの場合      ・土台勝ち: ホソパイプの場合

※ホソの種類:  短ホソ  長ホソ  
 左記以外

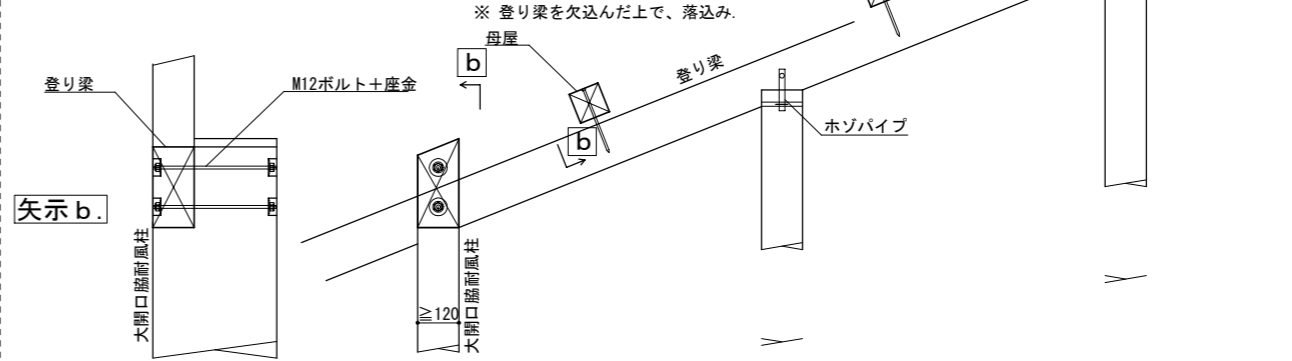


##### ・柱勝ちの場合



#### ■大開口周辺部

##### C. 登り梁-大開口耐風柱・柱頭\_接合部

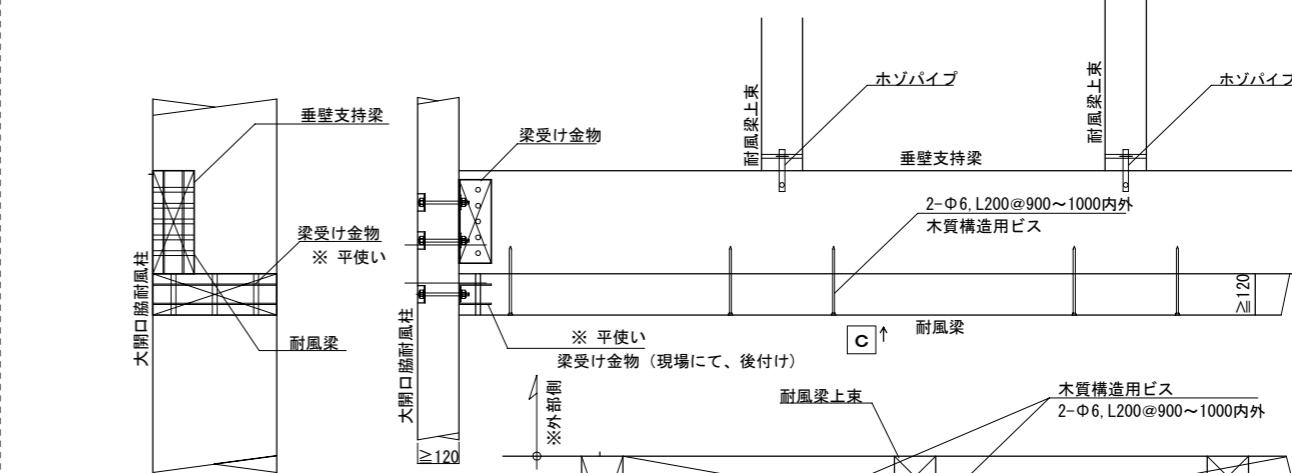


矢示 b.

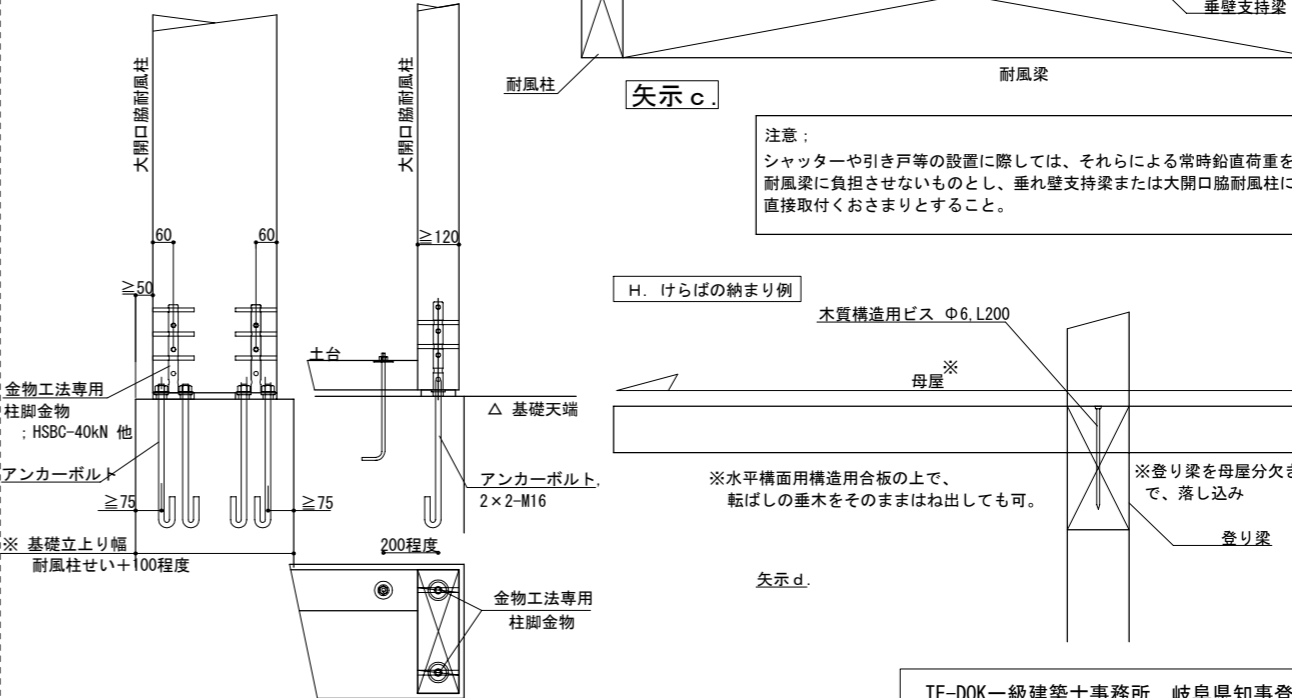
##### F. 登り梁-耐風梁上束\_接合部

※登り梁を欠込んだ上で、落込み。

##### D. 耐風梁-大開口耐風柱\_接合部



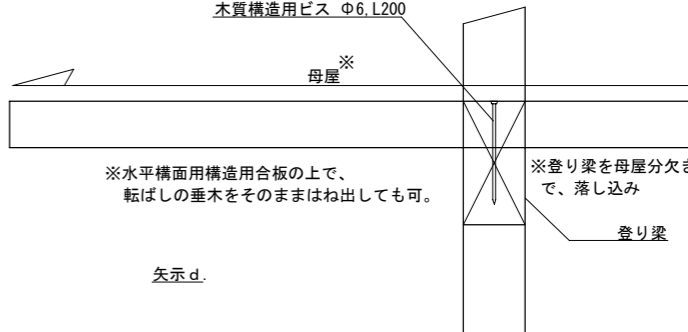
##### D. 耐風梁-大開口耐風柱-基礎\_接合部



矢示 c.

注意:  
シャッターや引き戸等の設置に際しては、それらによる常時鉛直荷重を耐風梁に負担させないものとし、垂れ壁支持梁または大開口耐風柱に直接取付くおさまりとすること。

##### H. けらばの納まり例



矢示 d.

TE-DOK一級建築士事務所 岐阜県知事登録 第12814号  
一級建築士 第330351号 河本 和義



# 木造軸組接合部標準図(6)

## 9. その他

### (1) 無等級材の品質

表 旧製材のJAS (昭和42年農林水産省告示第1842号) 第10条におけるひき角材1等の格付け基準  
(「インサイジング」以降は各等級共通)

区分	基準		
	特等	1等	2等
節	径比が30%以下であり、かつ、集中径比が40%以下であること。	径比が40%以下であり、かつ、集中径比が60%以下であること。	径比が70%以下であり、かつ、集中径比が80%以下であること。
入り皮又はやにっぽ	きわめて軽微であること。	軽微であること。	顕著でないこと。
丸身	ないこと。	20%以下であり、かつ、1角においては10%以下であること。	60%以下であり、かつ1角において30%以下であること。
曲り	0.2%以下であること。ただし、「土台用」と表示してあるものにあつては、0.5%以下である。	同左	0.5%以下であること。
ねじれ	きわめて軽微であること。ただし「土台用」表示してあるものにあつては、顕著でないこと。	同左	同左
木口割れ又は目まわり	5%以下であること。	10%以下であること。	20%以下であること。
繊維走向の傾斜 (幅が90mm未満を除く)	50mm以下であること。	80mm以下であること。	
平均年輪幅	6mm以下であること。	同左	
あて	きわめて軽微であること。	軽微であること。	顕著でないこと。
腐れ又は虫穴	きわめて軽微であること。	軽微であること。	顕著でないこと。
端落ち	端落ち(材の1端の欠如した部分)の長さ方向の長さの最大値と最小値の和の1/2の材の1辺の長さに対する割合が、10%以下であり、かつ、材の長さ方向の長さが0.2m以下であること。	同左	同左
その他の欠点	きわめて軽微であること。	軽微であること。	顕著でないこと。
インサイジング	インサイジングは欠点とみなさない。ただし、その仕様は製材の曲げ強さ及び曲げヤング係数の低下がおおむね1割を超えない範囲内とする。		

無節、上小節又は小節	「四方無節」、「三方無節」、「二法無節」、若しくは「一方無節」、「四方上小節」、「三方上小節」、「二方上小節」、「一方上小節」、又は「小節」と表示してあるものにあつては、別記1(告示参照)の(3)の基準に適合していること。
防虫処理	防虫処理を施した胸の表示がしてあるものにあつては、別記2の(2)の防虫処理試験に合格すること。
人工乾燥	人工乾燥を施した旨の表示がしてあるものにあつては、別記2の(2)の含水率試験に合格すること。
寸法	表示された寸法と測定した寸法との差がそれぞれに次に掲げる数値に適合していること。 1. 厚さ及び幅 -1.0mm 2. 長さ -0

表示	表示事項
表示	表示方法

1 次に掲げる事項が表示してあること。  
(1) 樹種名  
(2) 等級  
(3) 厚さ、幅及び長さ(斜面板にあつては、幅及び長さ)  
(4) 製造業者の指名または名称その他製造業者を表す文字

2 防ぎ処理、防腐処理または防虫処理を施した旨が表示してあるものにあつては1に規定するもの他使用した薬剤の種類を表示してあること。  
3 束に持替する場合にあつては1及び2に規定するもののほか入り数を表示してあること。

1 表示事項の項の1の(1)から(3)までに掲げる事項の表示は次に規定する方法により行われていること。  
(1) 樹種名: 最も一般的な名称をもって、記載すること。  
(2) 等級: 規格等級をもって記載すること。ただし、フタバガキ科の樹種であつて、心材のみで特等を表示するものにあつては、「特等(心材)」と記載することができる。  
(3) 厚さ、幅及び長さ: ミリメートル、センチメートル又はメートル単位で、単位を明記して記載すること。

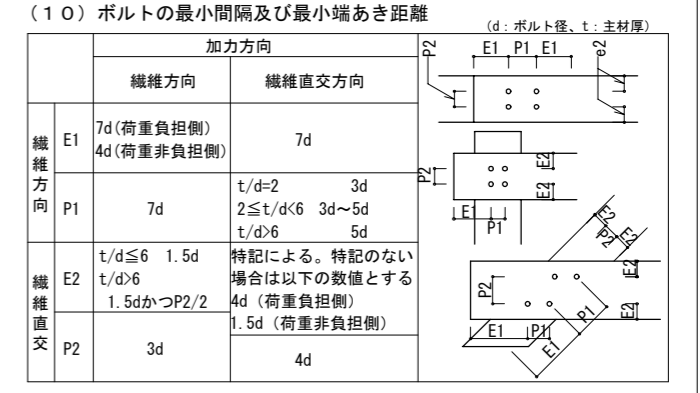
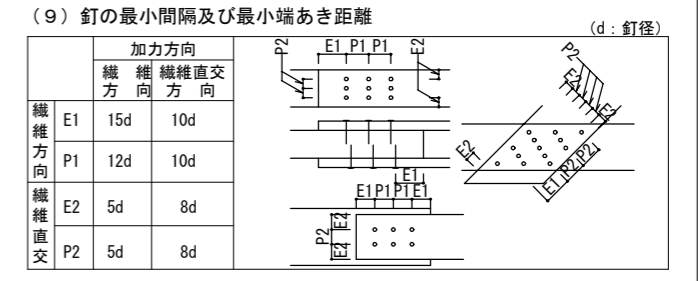
2 防腐・防虫処理若しくは防腐処理、防虫処理又は人工乾燥を施した旨を表示する場合にあつては、(1)~(3)までに規定するところにより記載してあること。  
(1) 防腐・防虫処理または防腐処理のうち防腐・防虫1種処理にあつては「防腐・防虫1種処理」又は「防腐・防虫1種」と、防腐・防虫2種処理にあつては、「防腐・防虫2種処理」又は「防腐・防虫2種」と防腐処理に当たっては「防腐3種処理」又は、「防腐3種」と記載するほか、使用した薬剤の種類をア~ウまでに規定するところにより記載してあること。  
ア JIS K15541号にあつては、「CCA・1」又は「C・1」と記載すること。  
イ JIS K15542号にあつては、「CCA・2」又は「C・2」と記載すること。  
ウ JIS K15543号にあつては、「CCA・3」又は「C・3」と記載すること。  
(2) 防虫処理にあつては、「防虫処理」と記載するほか「ほう素化合物」または「B」と記載すること。  
(3) 人工乾燥にあつては、「人工乾燥」または「人乾」と記載すること。

3 表示事項の項に規定する事項の表示は、各本、各枚又は各束ごとに見やすい箇所に明瞭にしてあること。

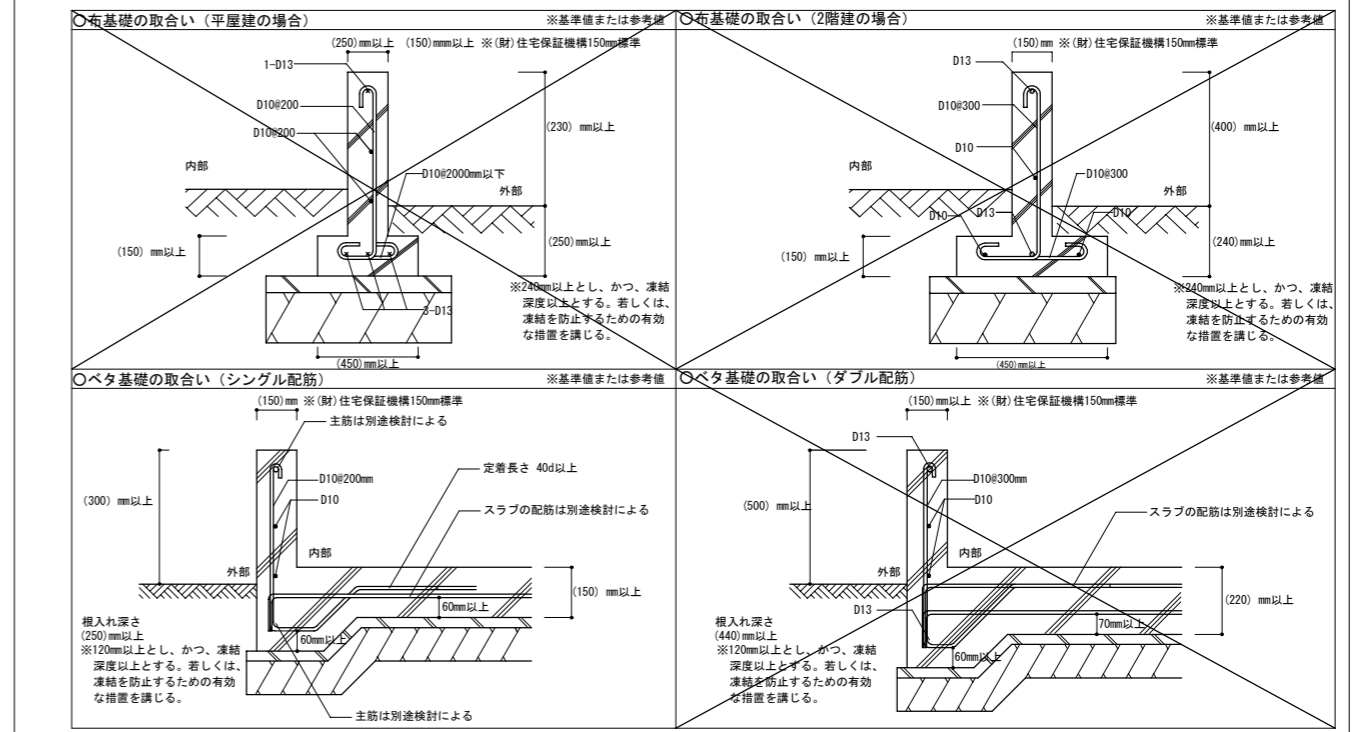
### (2) 軸組構法接合部の標準仕様

- (1) 横架材同士の継手
- 曲げ応力や引張力を負担しない継手: 腰掛け継ぎ、腰掛け継ぎ  
・せん断力が大きい場合は台持ち継ぎとする。  
・長期荷重時のせん断力の向きを考慮し女木と男木を決める。  
・逆せん断と引張の補強として短冊金物等を併用すること。  
・柱からの持ち出し位置は、連続梁の長期荷重の反曲点付近とする。
  - 曲げ応力や引張力を負担する継手: 追掛け大柱・金輪・尻挟み継ぎ、鋼板挿入ドリフトピン接合  
・伝達できるMやTは母材全断面の2割以下と考えること。
- (2) 柱の継手
- 伝達できるMやTは母材全断面の2割以下と考えること。
  - やむを得ず柱の継手を設ける場合は、曲げと軸力による複合応力の検定を行い、安全性を確認する。
- (3) 横架材どうしの仕口
- せん断力が母材全断面の3割以下の仕口: (大入れ) 蟻掛け  
・長期荷重時のせん断力の向きを考慮し女木と男木を決める。  
・逆せん断と引張の補強として羽子板ボルト等を併用する。  
・男木の梁せいが女木の2/3以下の場合か、仕口直下に柱がある場合には、大入れとしてもよいが、そうでない場合は男木のせいの2/3程度の顎をかける。
  - せん断力が母材全断面の3割を超える仕口: 梁受け金物  
・既製品の場合は金物メーカーの許容せん断耐力の値を用い、特注品の場合は構造計算で許容せん断耐力を算出して安全性を確認すること。  
・一方を片持ち梁とする場合: レベル差を設け渡り腰掛け  
・逆せん断の補強として羽子板ボルト等を併用すること。
- (4) 柱と横架材の仕口
- 柱の上下端部: 短ほぞ差し、長ほぞ差し込み栓止め  
・短期の引張力に対しては、平12建告1460号、N値計算又は許容応力度計算により、必要耐力を有するZマーク金物等を併用すること。  
・土台の出隅入隅部: 土台同士は榫輪小根ほぞ差し又は寄せほぞ差し、柱脚部は願ほぞ差し又は寄せほぞ差し(但し、柱勝ちの場合、落とし蟻又は土台を寄せほぞ差しとする。)
  - 短期の引張力に対しては、平12建告1460号、N値計算又は許容応力度計算により、必要耐力を有するZマーク金物等を併用すること。落とし蟻の場合はH口金物を用いる。
  - 通し柱と願差: 小胴付きほぞ差し、傾ぎ大入れほぞ差し、梁受け金物  
・梁受け金物以外の仕口には、引張の補強として、羽子板ボルト等を併用すること。
- (5) 筋かい端部
- 平12建告1460号の例示仕様又は同等品とする。
- (6) 火打ち、方杖
- 角材を用いる場合の端部は、傾ぎ大入れほぞ差し+ボルト締めとする。
  - Zマーク鋼製火打ち又は同等品としてもよい。

- (7) 小屋束の上下端部
- 短ほぞ差し又は長ほぞ差し込み栓止めとする。
  - 端部は、風圧力による引張力の補強として、必要耐力を有する金物で補強する。
- (8) 根太、垂木と横架材
- 落とし込み根太: 横架材に大入れ or 根太掛け+斜め釘
  - 半欠き根太: 横架材に大入れ腰掛け+斜め釘
  - 転ばし根太: 横架材に脳天釘止め又は斜め釘2本+転ばし止め
  - 垂木: 横架材に垂木道を掘り、転ばし根太と同様に止める。
  - 風の負担の補強: 必要耐力を有するひねり金物等を取り付ける。



### (3) 基礎の納まり [告示第1347号]



TE-DOK一級建築士事務所 岐阜県知事登録 第12814号  
一級建築士 第330351号 河本 和義

特記無き場合、下記の凡例とする

※基準天端 GL+0mm

地盤 設計地耐力20kN/m<sup>2</sup>以上

※SWS試験結果から想定した改良範囲はあくまで想定であり実際の支持状況は不明である。このため、施工段階で想定と異なる状況が確認された場合は、設計者と別途協議の上判断すること。

※施工時には施工図を提出すること

コンクリート : 21N/mm<sup>2</sup>

鉄筋 SD295

○ M12アンカーボルト

特記なき場合

- ・土台の継手(ス・ス両方)
- ・柱芯+200mm以内
- ・アンカーボルト間隔2700mm以内
- ・耐力壁の取りつく両側の柱
- ・人通りの両端部
- ・埋め込み長さ250mm以上

FG1 基礎梁

・詳細は基礎断面図を参照

----- 特記なき場合、基礎断面参照

・(カッコ)内の数値は、GLからの高さを示す

構造スラブ

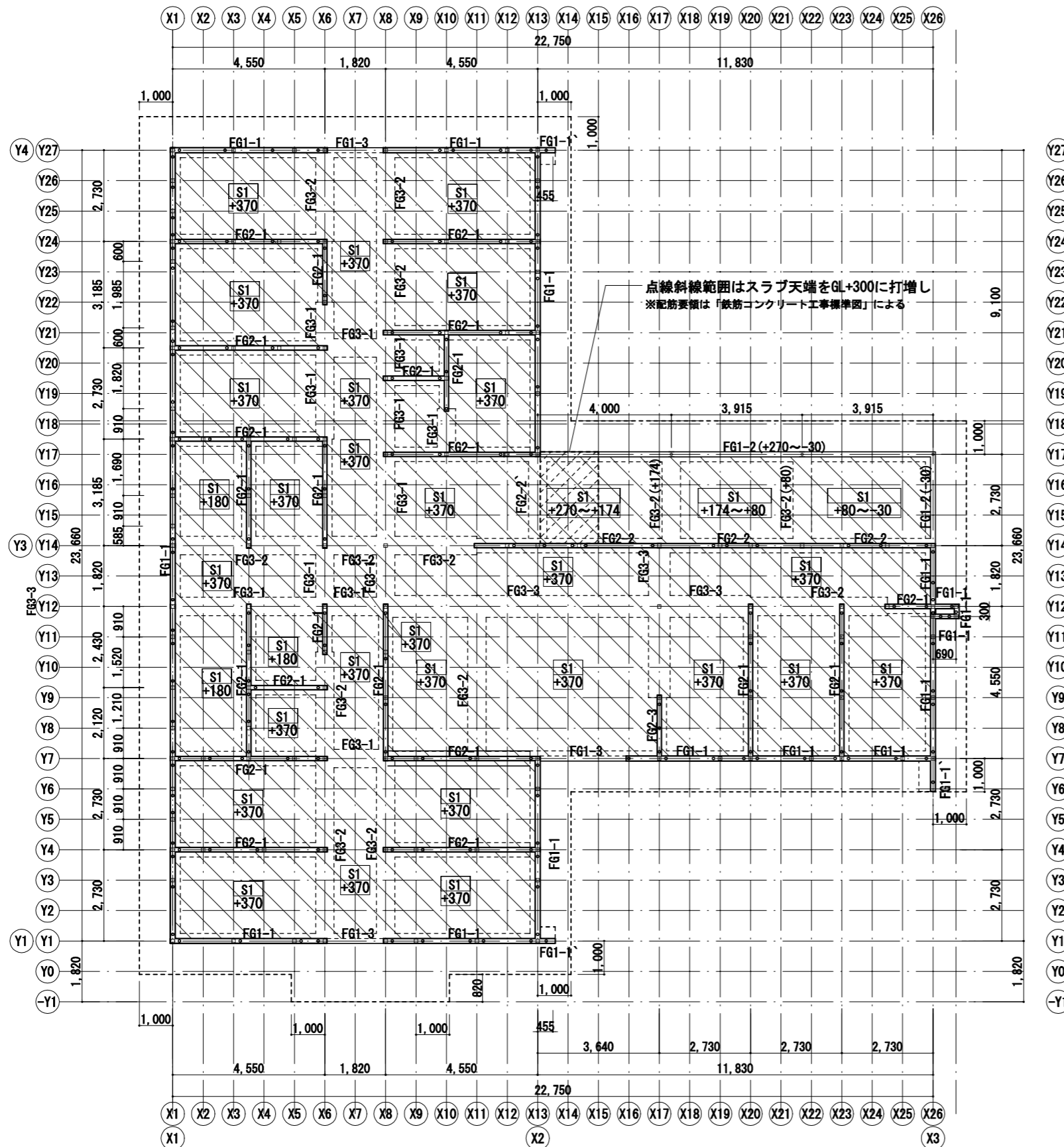
スラブ厚150mm シングル配筋

D13@200 打ち込み

※ 下段の数値は、GLからの高さを示す

浅層改良範囲を示す

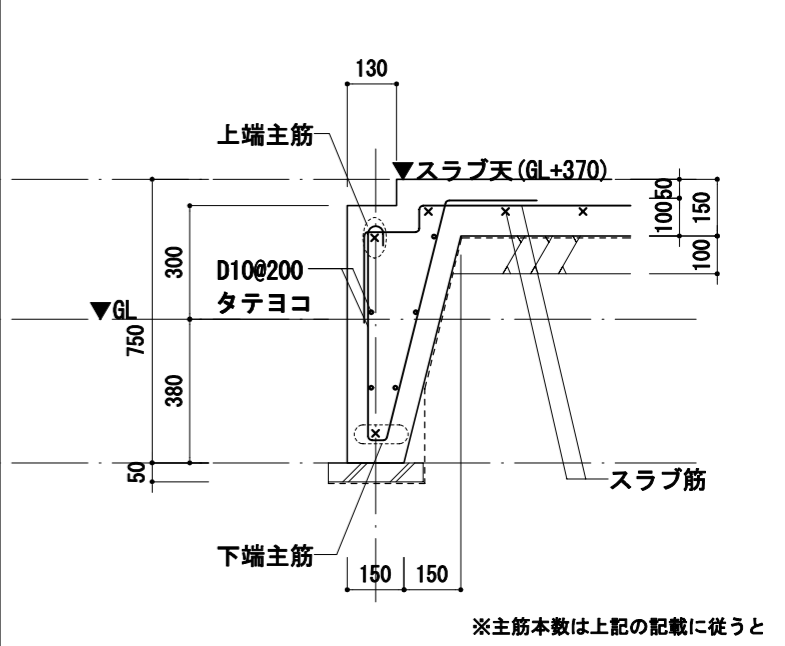
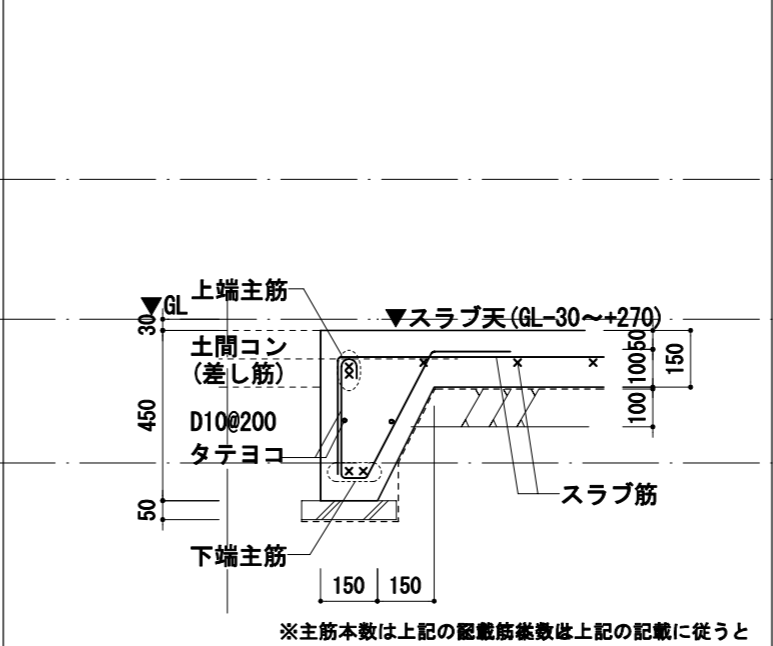
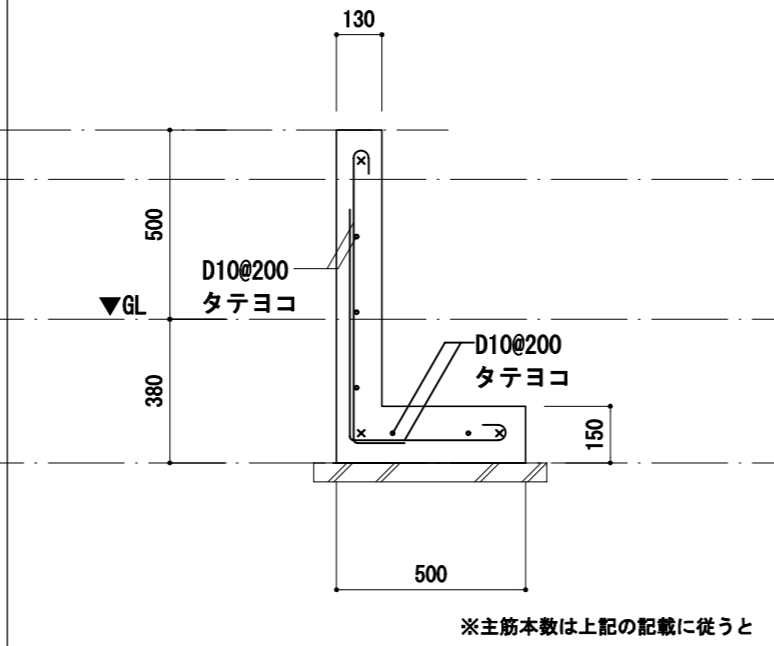
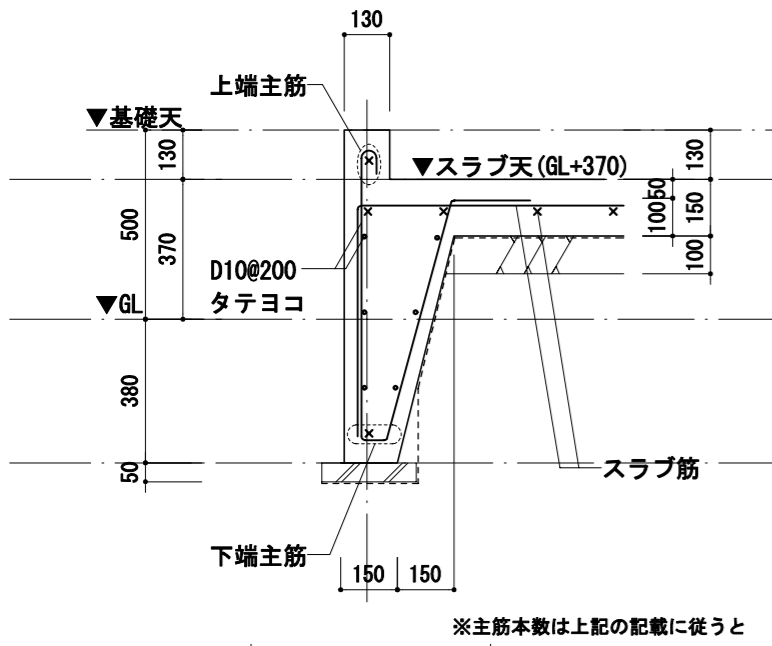
- ・改良深さ  
粘土層(現況GL-1.0m程度)~盛土層(設計GL-80mm)の範囲
- ・固化材  
100kg/m<sup>3</sup>(土質ごとに配合試験を行い設計地耐力20kN/m<sup>2</sup>以上あることを確認する)
- ・六価クロム溶出試験を行う。
- ・その他は「建築物のための改良地盤の設計及び品質管理指針」に準じる



TE-DOK一級建築士事務所 岐阜県知事登録 第12814号  
一級建築士 第330351号 河本 和義



基礎梁符号	上端主筋	下端主筋	基礎梁符号	上端主筋	下端主筋	基礎梁符号	上端主筋	下端主筋	基礎梁符号	上端主筋	下端主筋
FG1-1	1-D13	1-D13	FG1-1`	1-D13	1-D13	FG1-2	2-D13	2-D13	FG1-3	1-D13	1-D13

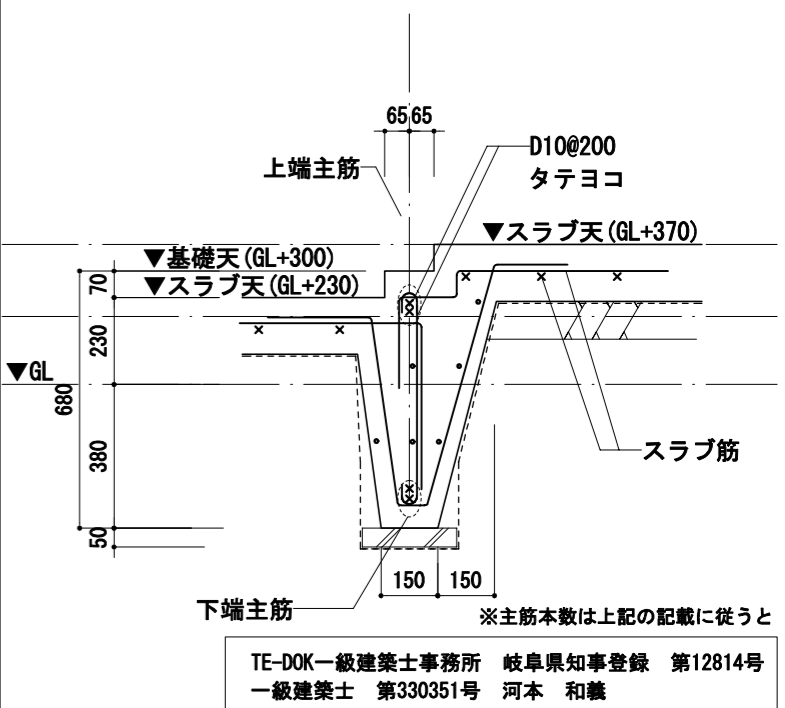
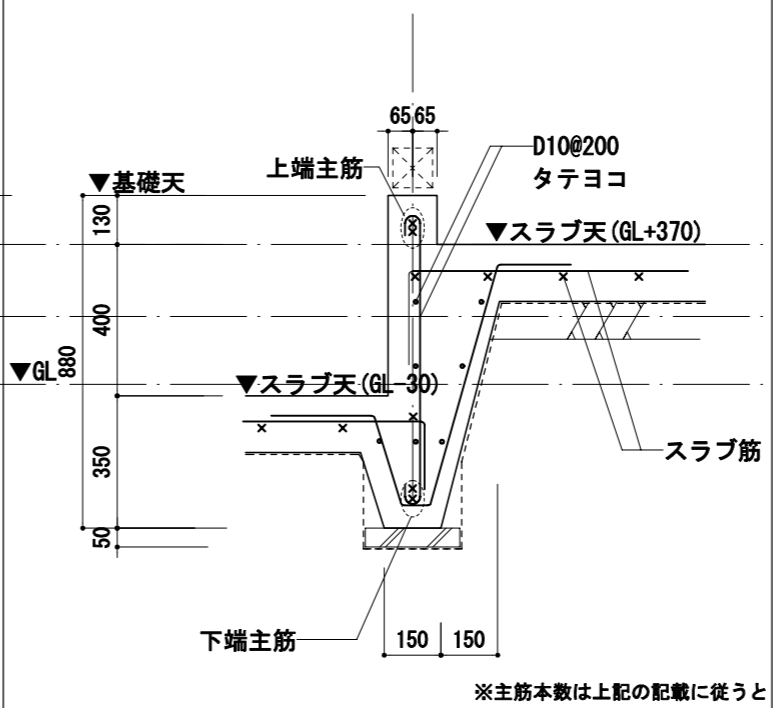
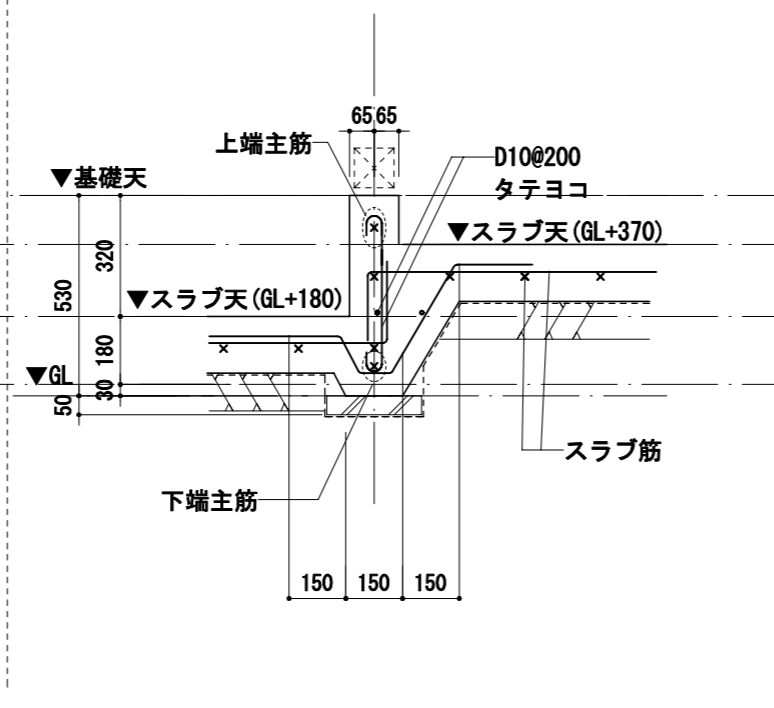
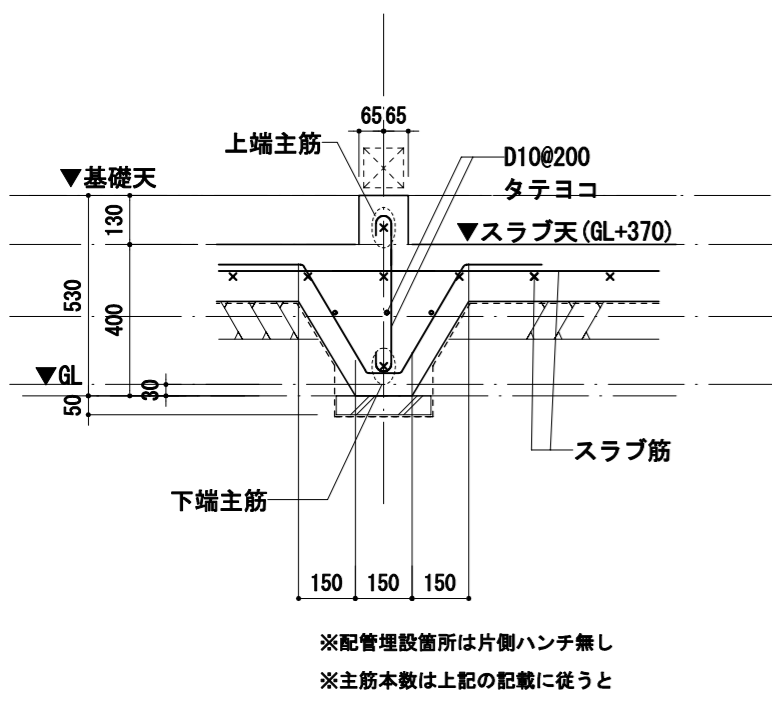


基礎梁符号	上端主筋	下端主筋
FG2-1	1-D13	1-D13

FG2-1 スラブに段差がある場合

基礎梁符号	上端主筋	下端主筋
FG2-2	2-D13	2-D13

基礎梁符号	上端主筋	下端主筋
FG2-2`	2-D13	2-D13



TE-DOK一級建築士事務所 岐阜県知事登録 第12814号  
一級建築士 第330351号 河本 和義

基礎梁符号	上端主筋	下端主筋	基礎梁符号	上端主筋	下端主筋	FG3-1、FG3-2 スラブに段差がある場合	基礎梁符号	上端主筋	下端主筋
FG2-3	2-D16	2-D16	FG3-1	1-D13	1-D13			FG3-3	3-D16
			FG3-2	2-D13	2-D13				

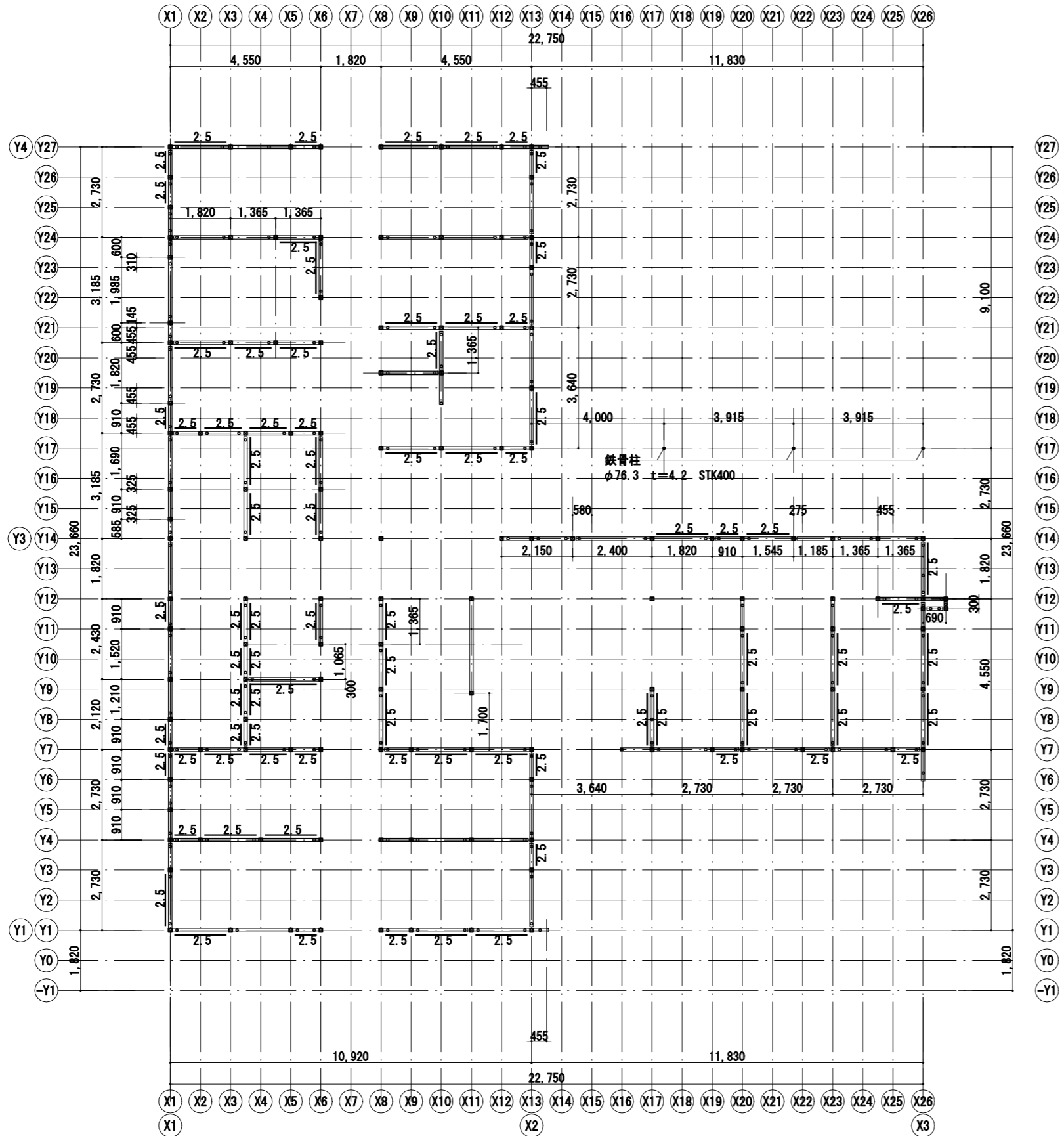
※配管埋設箇所は片側ハンチ無し  
※主筋本数は上記の記載に従うと

※主筋本数は上記の記載に従うと

※主筋本数は上記の記載に従うと

※主筋本数は上記の記載に従うと

TE-DOK一級建築士事務所 岐阜県知事登録 第12814号  
一級建築士 第330351号 河本 和義



特記無き場合、下記の凡例とする  
 ※基準天端 GL+625mm(土台天端)

- ☒ 管柱  
 特記なき場合、巾105×成105  
 スギKD製材 (SD20以下)
- ☒ 通柱  
 巾105×成105  
 スギKD製材 (SD20以下)
- ☒ M12アンカーボルト  
 特記なき場合  
 ・土台の継手(ス・ス両方) ・耐力壁の取りつく両側の柱  
 ・柱芯+200mm以内 ・人通口の両端部  
 ・アンカーボルト間隔2700mm以内 ・埋め込み長さ250mm以上

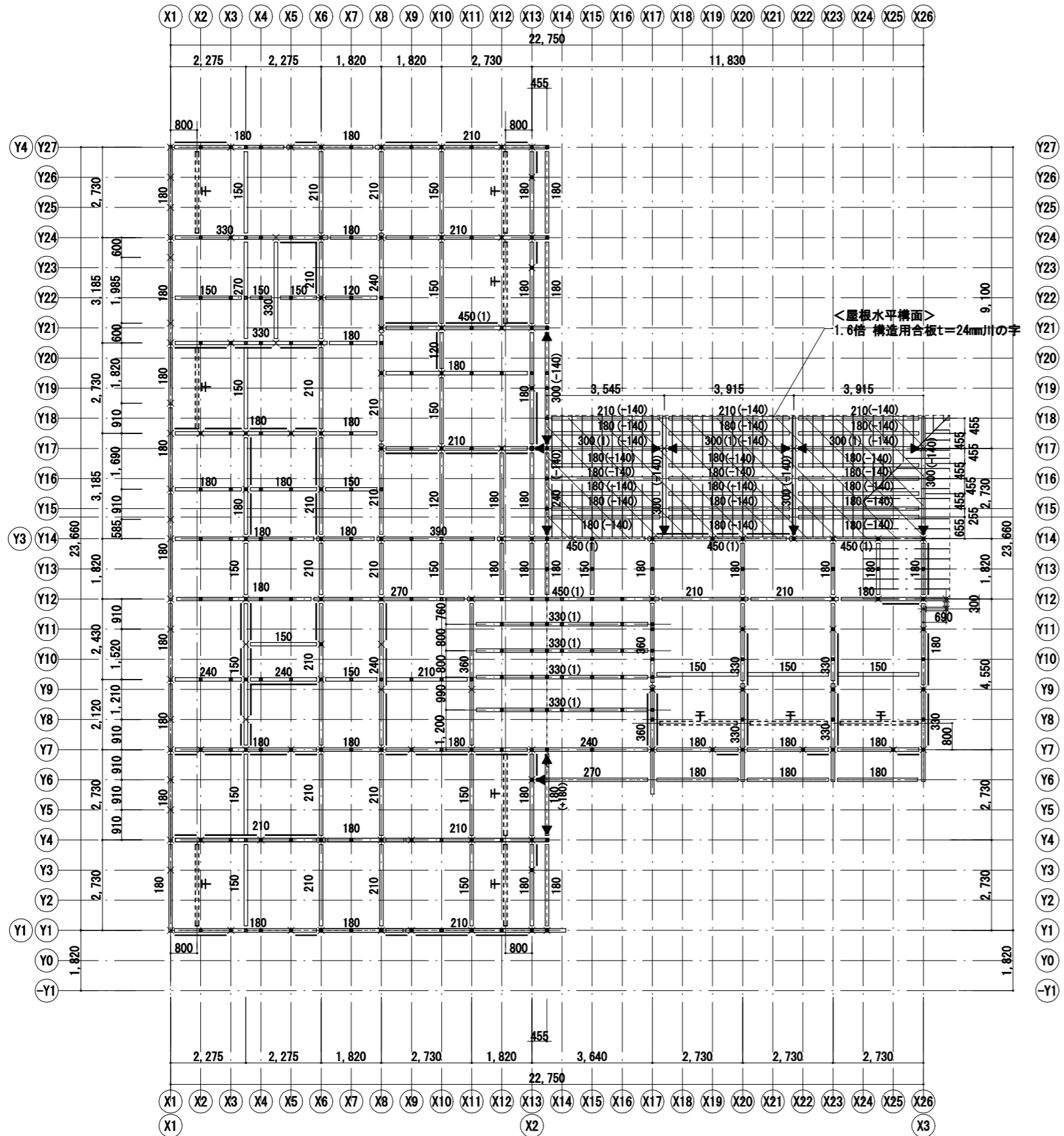
- ⊕ 床束を示す @910以内
- 105 土台  
 特記なき場合、巾105×成105  
 ヒノキKD製材 (SD20以下)

- 2.5 2.5倍壁倍率 (S56通告1100号)  
 ・構造用合板12mm以上  
 ・面材留め付けN50@150mm以下  
 ※仕様は製品仕様書に基づくこと  
 ※耐力壁ある部分のみ、桁より上の母屋(または勾配梁)まで面材を張り上げる

- ・引張力を土台および梁に定着させる座金の仕様  
 柱脚金物の取りつく柱の脇に設置するアンカーボルトの座金、またはホールダウン金物を押さえるための座金のサイズは、金物の耐力に応じて以下のサイズから選定すること  
 6.4kN以下: 厚さ4.5, 40mm角 11.7kN以下: 厚さ6.0, 54mm角  
 25.6kN以下: 厚さ9.0, 80mm角 35.0kN以下: 厚さ9.0, 80mm角(ハイヤ)  
 35.0kNを超える: 数値を満たす製品または特注座金を用いる

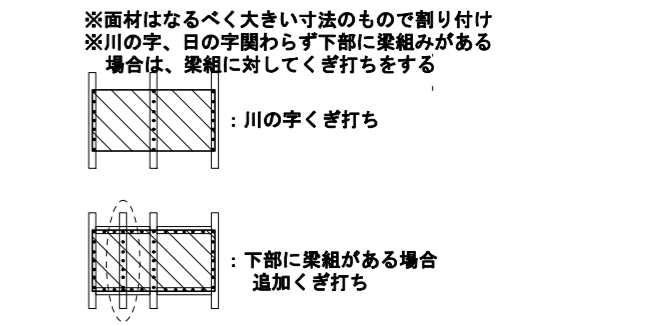
- 羽柄材部材リスト  
 窓台(三尺超え): 105×105  
 窓台(三尺以下): 105×45  
 まぐさ: 105×45  
 間柱: 105×30@455  
 ※材質は、全て、スギ 構造用製材

TE-DOK一級建築士事務所 岐阜県知事登録 第12814号  
 一級建築士 第330351号 河本 和義



- 特記無き場合、下記の凡例とする  
※基準天端 GL+3300mm(2階梁天端)
- ☒ 管柱  
特記なき場合、巾105×成105  
スギKD製材 (SD20以下)
  - ☒ 下柱
  - 105 横架材  
特記なき場合、巾105×成105  
ベイマツKD製材 (SD20以下)  
(1) は、対称異等級集材材 (E120-F330)  
数値は梁成、(カッコ)内の数値は基準レベルからの高さを示す
  - 2.5倍壁倍率 (S56建告1100号)  
・構造用合板12mm以上  
・面材留め付けN50@150mm以下  
※仕様は製品仕様書に基づくこと  
※耐力壁ある部分のみ、桁より上の母屋(または勾配梁)まで面材を張り上げる
  - 垂木  
45×90@303 ベイマツKD製材 (SD20以下) (ポーチ)
  - ☒ 室内物干し 補強材  
105×150 ベイマツKD製材 (SD20以下) 外壁より800mmの位置
  - ▲ 梁仕口 金物工法を示す

- 横架材仕口、継手  
特記なき場合は、下記に従う
- ・仕口
    - ・「腰掛け継ぎ」又は「大入れ継ぎ」とすること
    - ※大梁が小梁よりも大きく下柱がある場合は「柱もたせ」とする
  - ・継手
    - ・「腰掛け継ぎ」又は「追掛大柱継ぎ」とすること
    - ・天秤梁とならないこと (柱2本以上で梁を支える)
    - ・継手(片持ち梁)のスペンは柱間1000mm以下の位置で継ぐこと
    - ・「鉛直力を受ける梁または直交梁」「上階の束」には設けないこと
    - ・耐力壁を構成する横架材には原則継ぎを設けないこと
    - ※これに満たない位置に継ぎを設ける場合は協議すること
  - 横引き金物等  
特記なき場合は、下記に従う  
横引きボルト(両引き)(片引き) : M12羽子板ボルト  
継手補強金物: 短冊金物 (7.5kN以上)  
※梁成300以上は上下2本引き  
※箱掘りボルト引きの場合、  
・梁木口から箱の端空き距離: 200mm以上  
・座金: 角座金W4.5×40
  - ・引張力を梁に定着させる座金の仕様  
ホールダウン金物を押さえるための座金のサイズは、金物の耐力に応じて以下のサイズから選定すること  
25.6kN以下: 厚さ9.0, 80mm角 35.0kN以下: 厚さ9.0, 80mm角 (ベイマツ)  
35.0kNを超える: 数値を満たす製品または特注座金を用いる

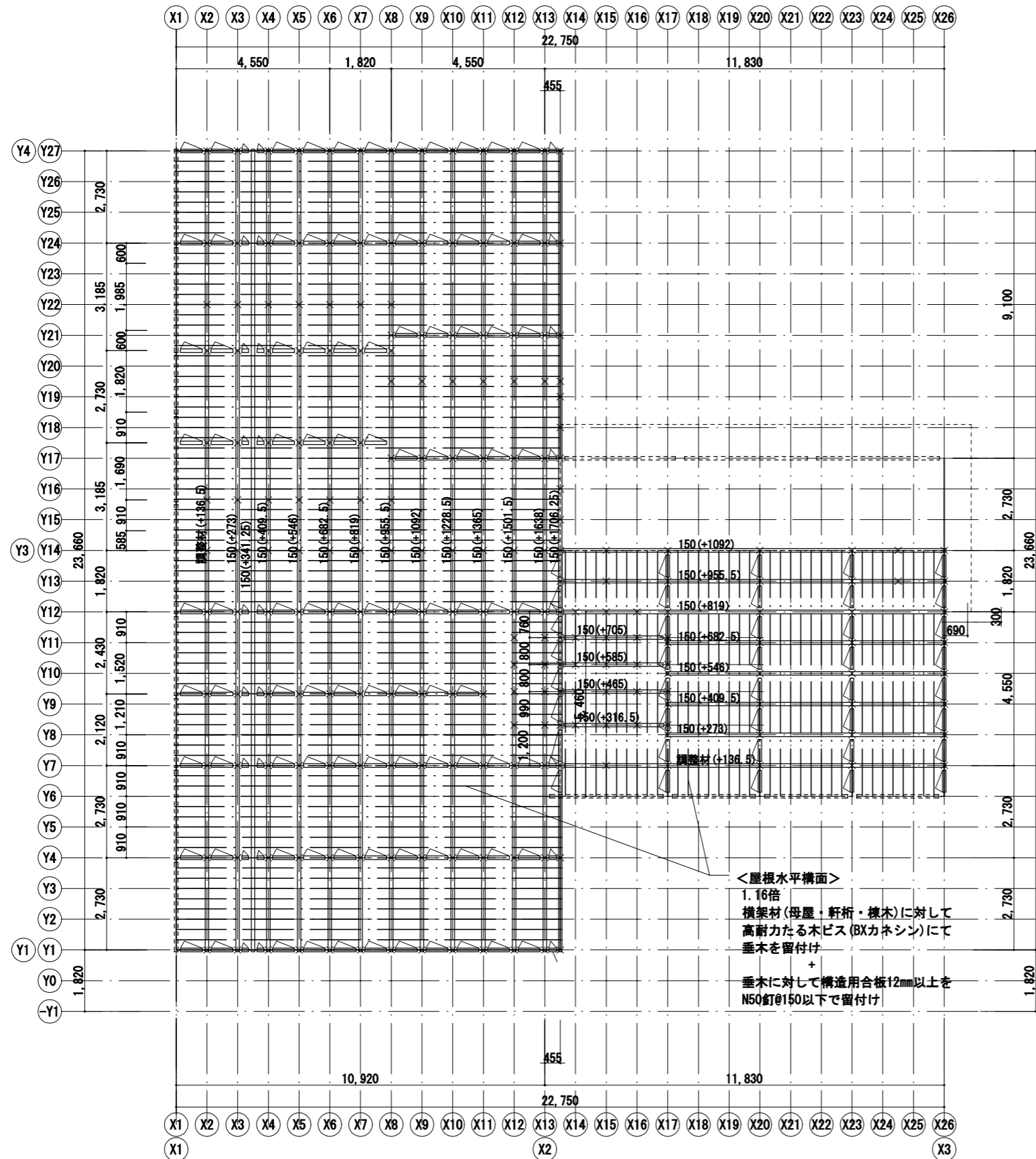


- 羽柄材部材リスト  
窓台 (三尺超え) : 105×105  
窓台 (三尺以下) : 105×45  
まぐさ : 105×45  
間柱 : 105×30@455  
※材種は、全て、スギ 構造用製材

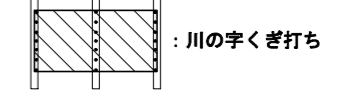
TE-DOK一級建築士事務所 岐阜県知事登録 第12814号  
一級建築士 第330351号 河本 和義

特記なき場合、下記の凡例とする  
 ※基準天端 GL+3300mm(軒桁天端)

- ☒ 小屋束  
巾105×成105  
スギKD製材(SD20以下)
- ⊗ 下柱
- 105 横架材  
特記なき場合、巾105×成105  
ペイマツKD製材(SD20以下)  
数値は梁成、(カッコ)内の数値は基準レベルからの高さを示す
- 105 登梁  
特記なき場合、巾105×成105  
ペイマツKD製材(SD20以下)
- 垂木  
45×60@303 ペイマツKD製材(SD20以下)



※面材はなるべく大きい寸法のもので割り付け  
 ※川の字、日の字問わず下部に梁組みがある場合は、梁組に対してくぎ打ちをする

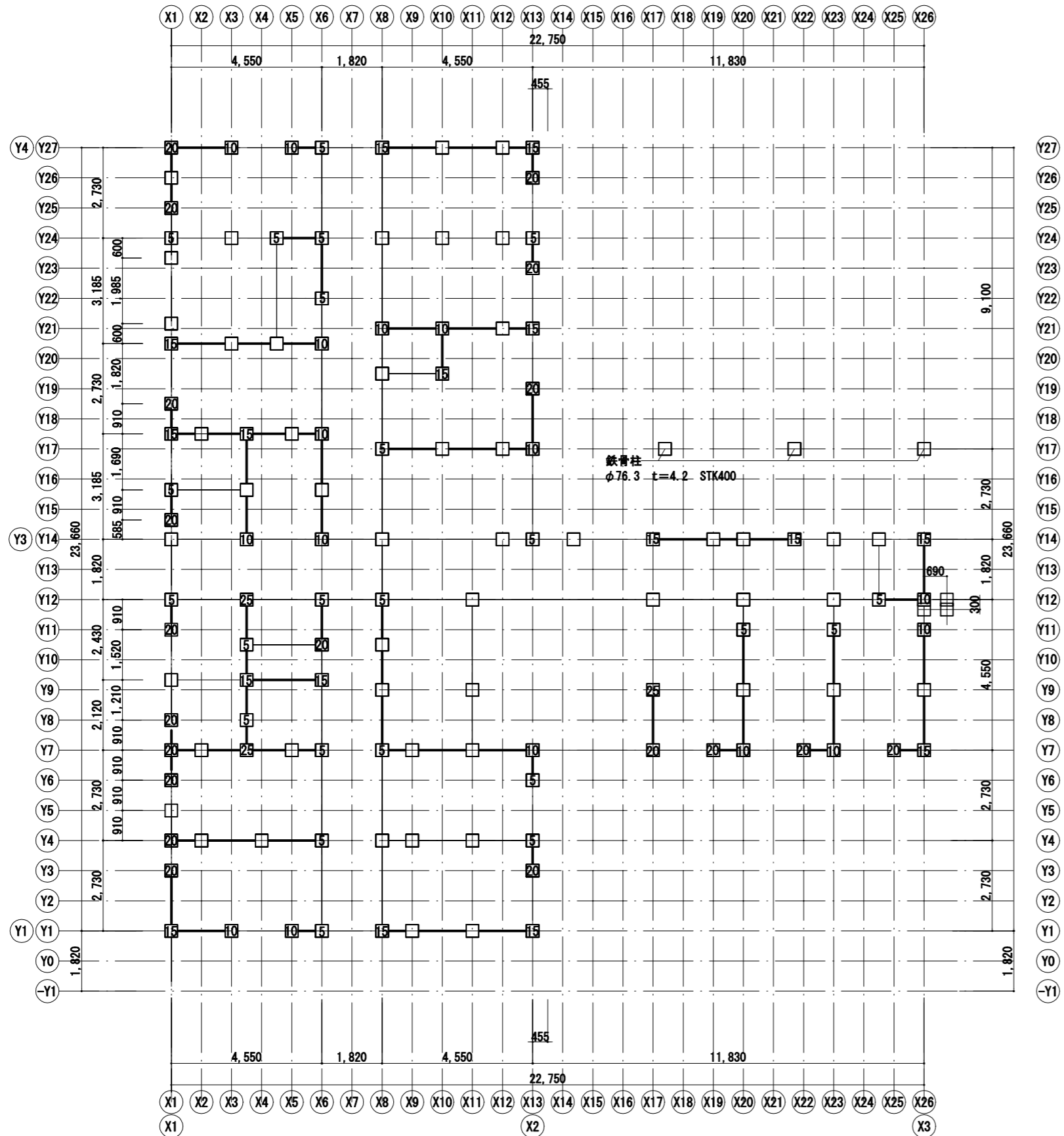


柱頭柱脚金物

5 : 5.1kN用接合金物	10 : 10kN用接合金物
15 : 15kN用ホールダウン金物	20 : 20kN用ホールダウン金物
25 : 25kN用ホールダウン金物	30 : 30kN用ホールダウン金物
35 : 35kN用ホールダウン金物	40 : 40kN用ホールダウン金物
68 : 68kN用ホールダウン金物	

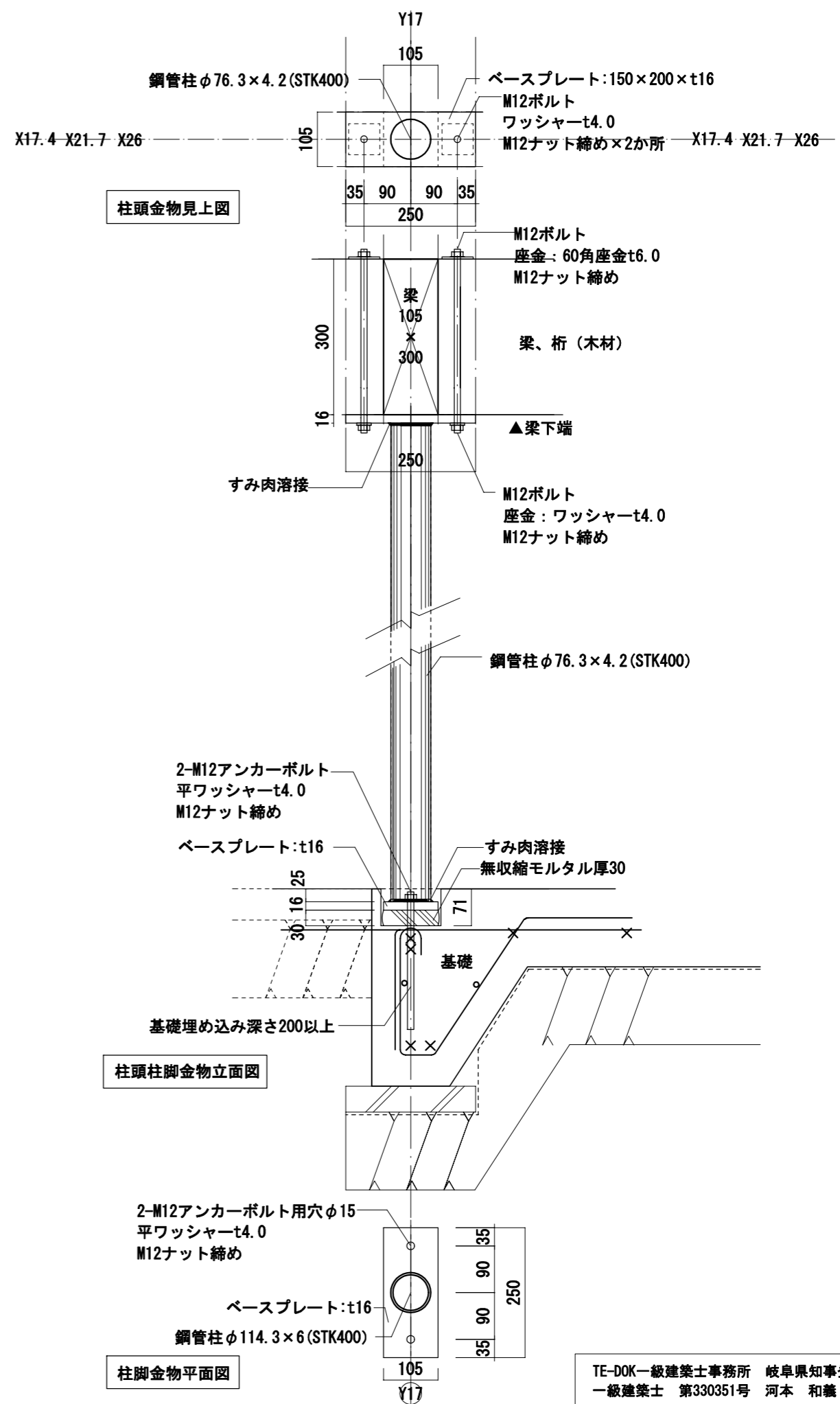
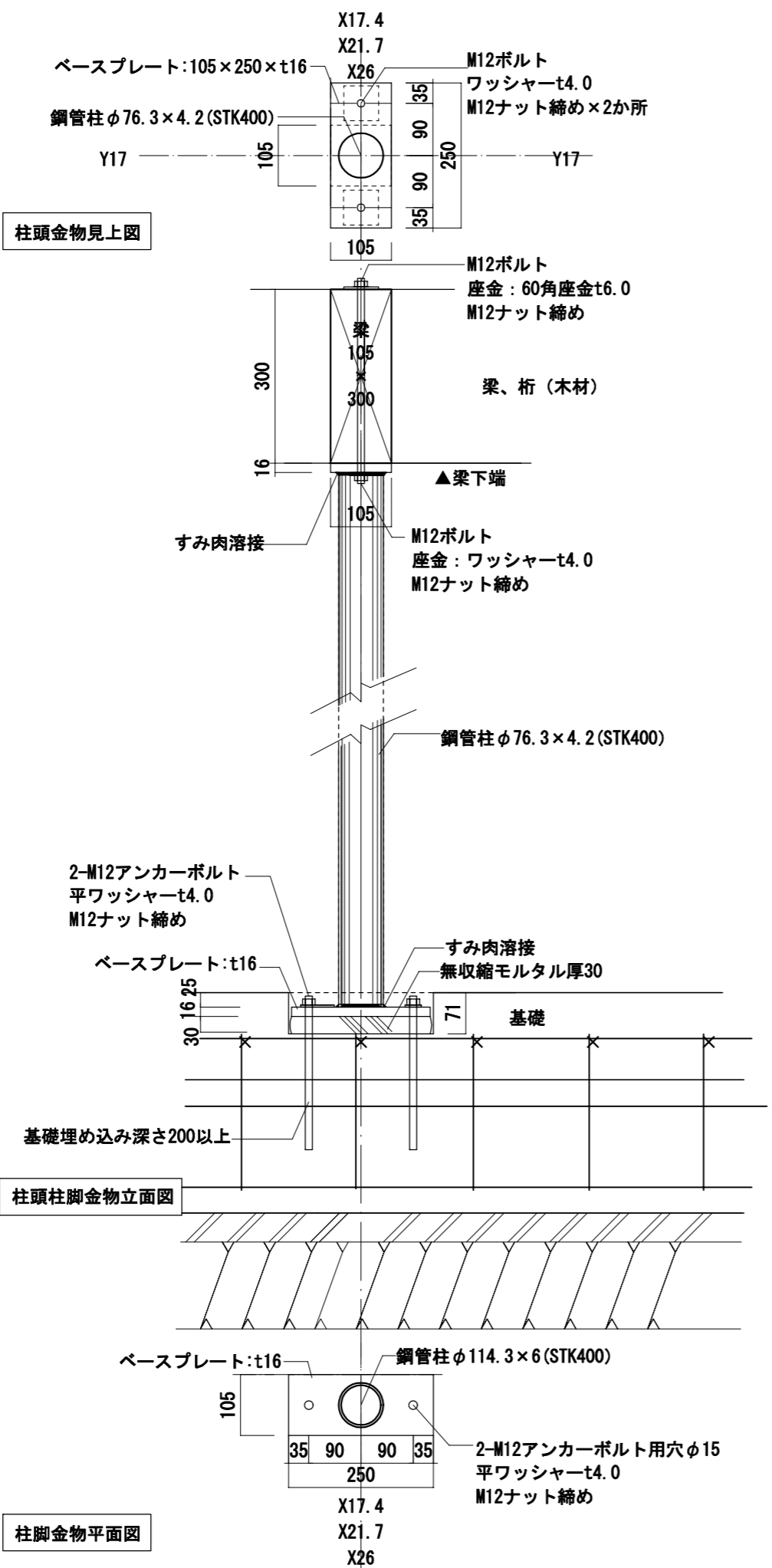
- ※表記の耐力を満たすZマーク金物又は同等以上の接合金物により柱頭柱脚それぞれに同仕様の金物を取り付けること
- ※柱頭柱脚金物は、最上階屋根水平構面まで到達すること。束等を介する場合は束等も同等以上の接合金物とする
- ※柱頭柱脚金物は、原則、耐力壁のとりつく方向の柱面に設置すること。なお、柱脚については、上記が困難な場合は、柱面4面のどの面でも可とする。
- ※同等品を使用する場合は製品の仕様に従うこと
- ※柱脚ホールダウン用M16アジャスターの定着長さ  
25.0kN以下:360mm以上 35.5kN以下:510mm以上  
35.5kNを超える場合は製品の仕様に従うこと
- ※15kN以上は原則ホールダウン金物とするL型金物を使用する場合は、製品の仕様に従い金物の脇に土台伏図記載アンカーボルトとは別途アンカーボルトを追加すること
- ※40kN以上のホールダウンの場合、専用ボルト、専用座金を用いることなど、製品の仕様に従うこと
- ※柱頭と柱脚のホールダウン金物を1本の両引きボルトで共用する場合は、大きい耐力の金物に揃えること

- ・引張力を土台および梁に定着させる座金の仕様  
柱脚金物の取りつく柱の脇に設置するアンカーボルトの座金、またはホールダウン金物を押さえるための座金のサイズは、金物の耐力に応じて以下のサイズから選定すること  
6.4kN以下 : 厚さ4.5, 40mm角 11.7kN以下 : 厚さ6.0, 54mm角  
25.6kN以下 : 厚さ9.0, 80mm角 35.0kN以下 : 厚さ9.0, 80mm角 (ﾊﾞｲﾌﾞﾙ)  
35.0kNを超える : 数値を満たす製品または特注座金を用いる

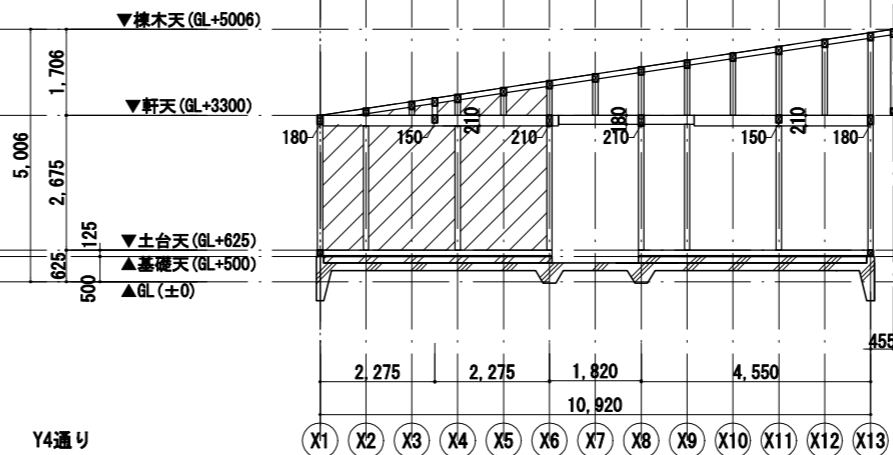
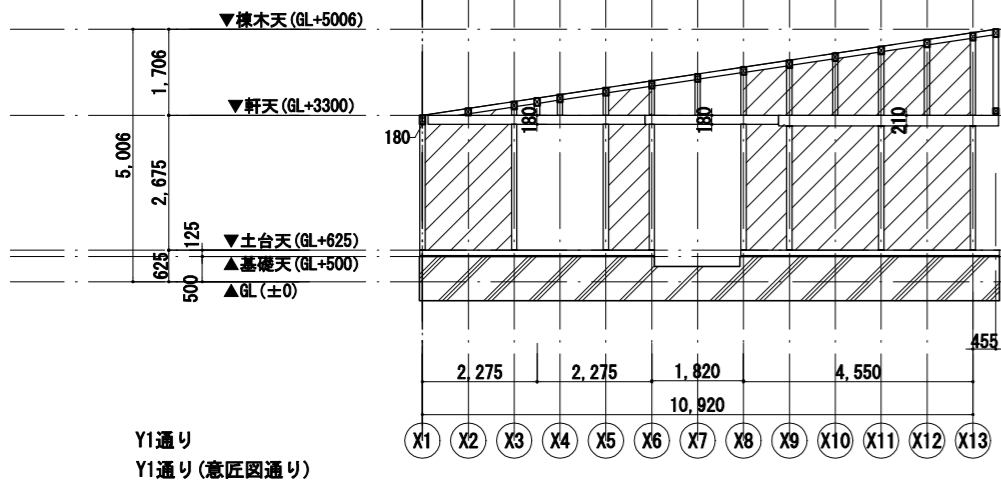


TE-DOK一級建築士事務所 岐阜県知事登録 第12814号  
一級建築士 第330351号 河本 和義

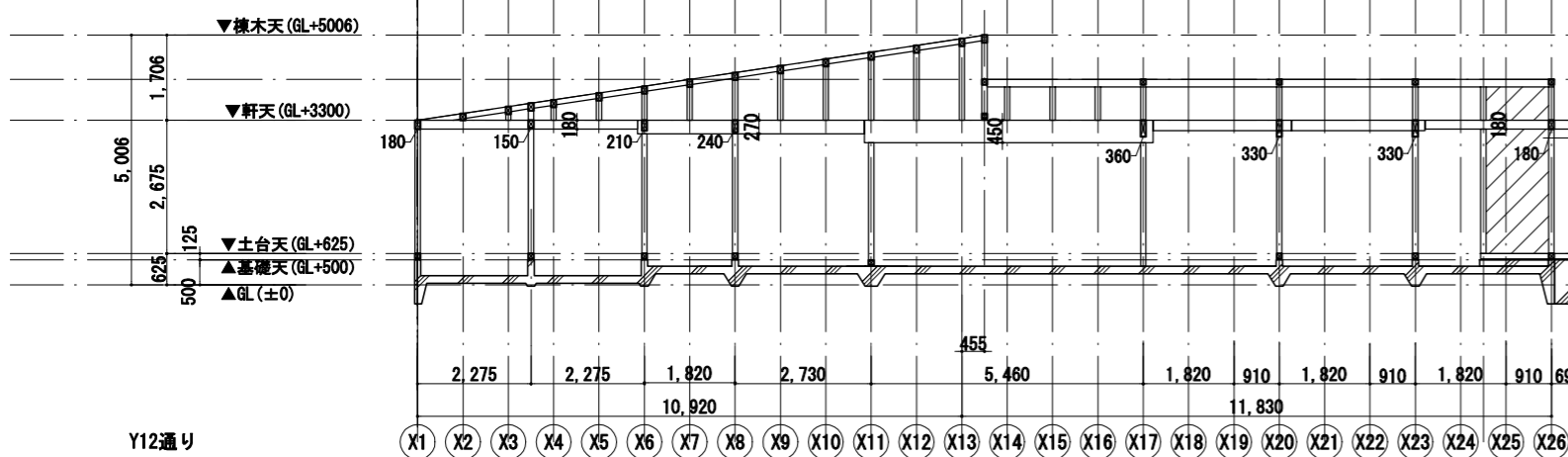
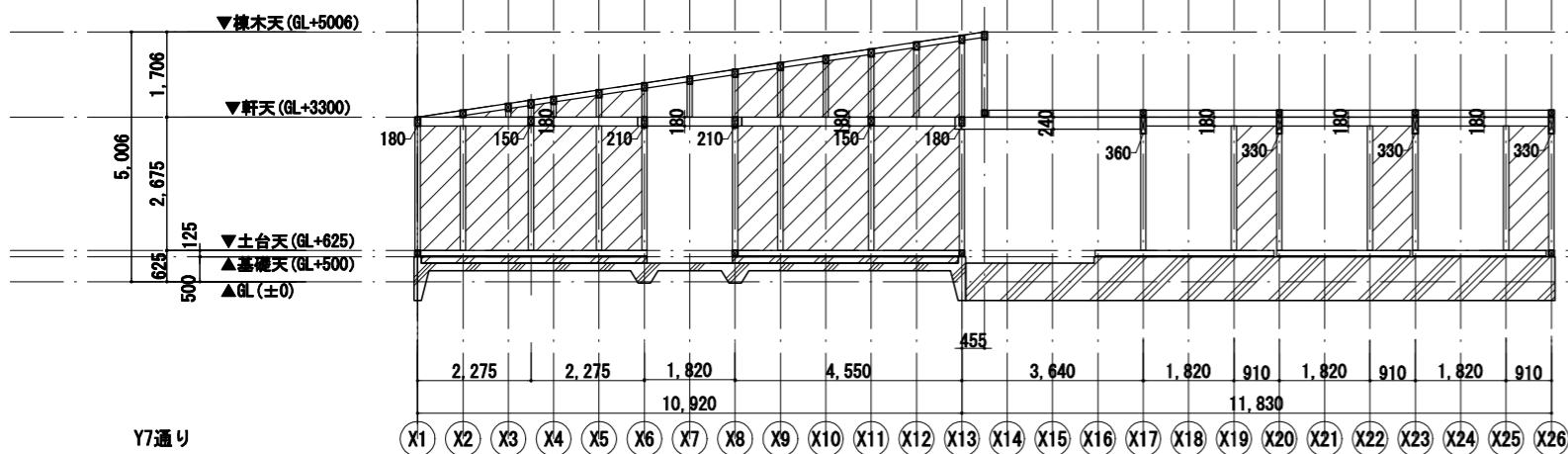
注記)1. アンカーボルト 二重ナット  
先端フック付



TE-DOK一級建築士事務所 岐阜県知事登録 第12814号  
 一級建築士 第330351号 河本 和義

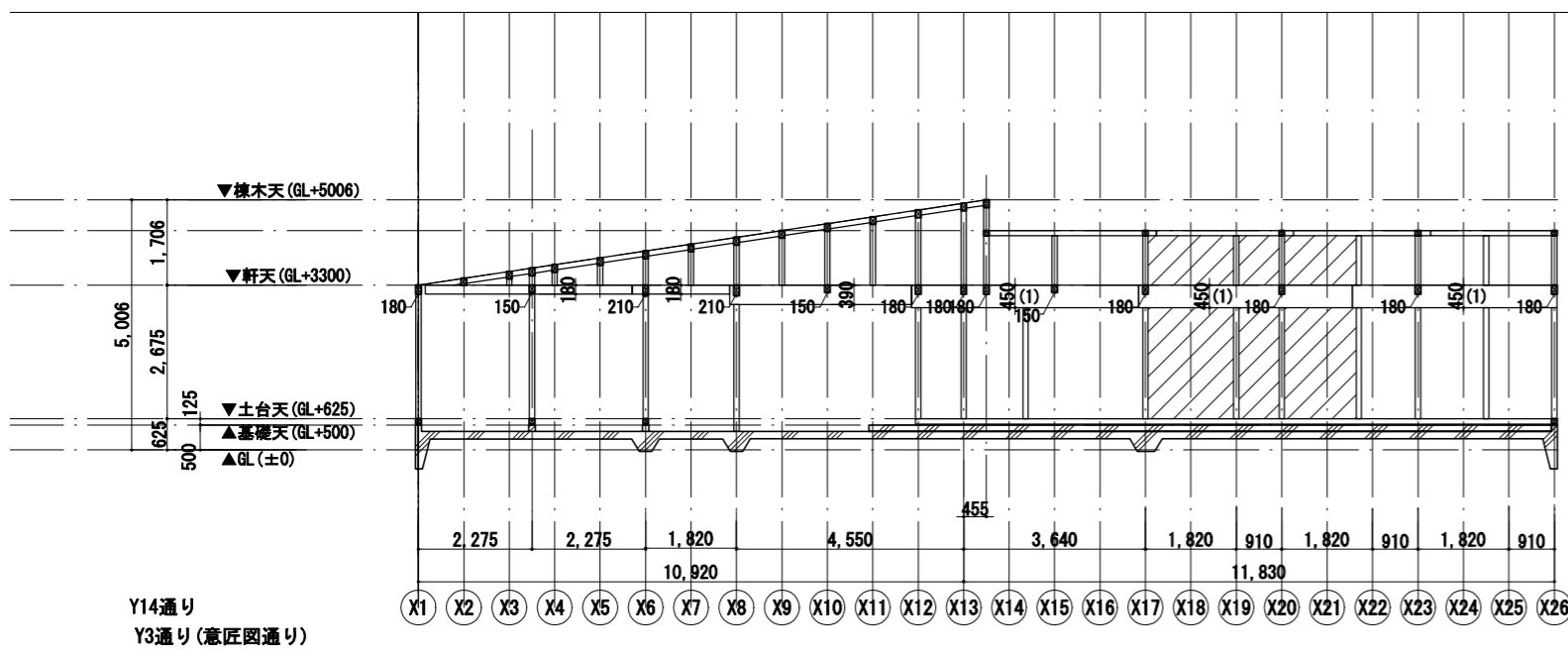


2.5倍壁倍率 (S56建告1100号)  
 ・構造用合板12mm以上  
 ・面材留め付けN50@150mm以下

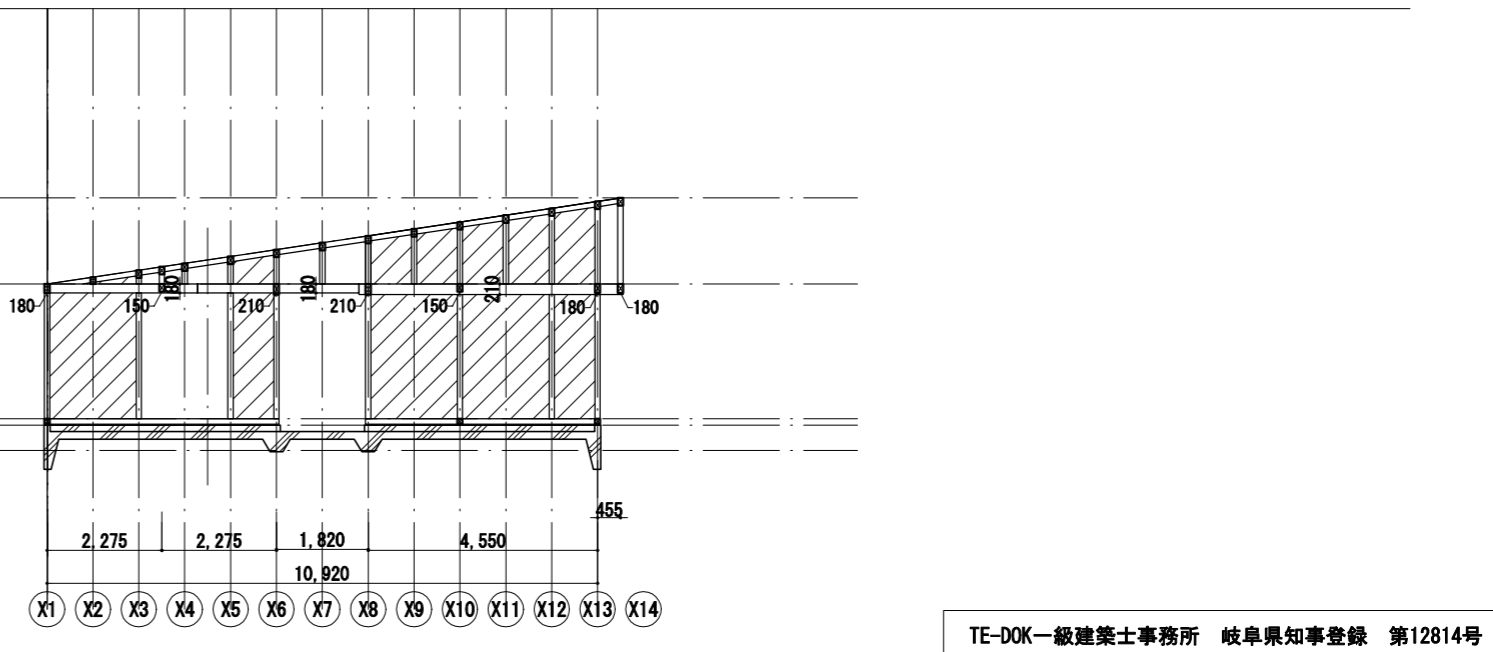
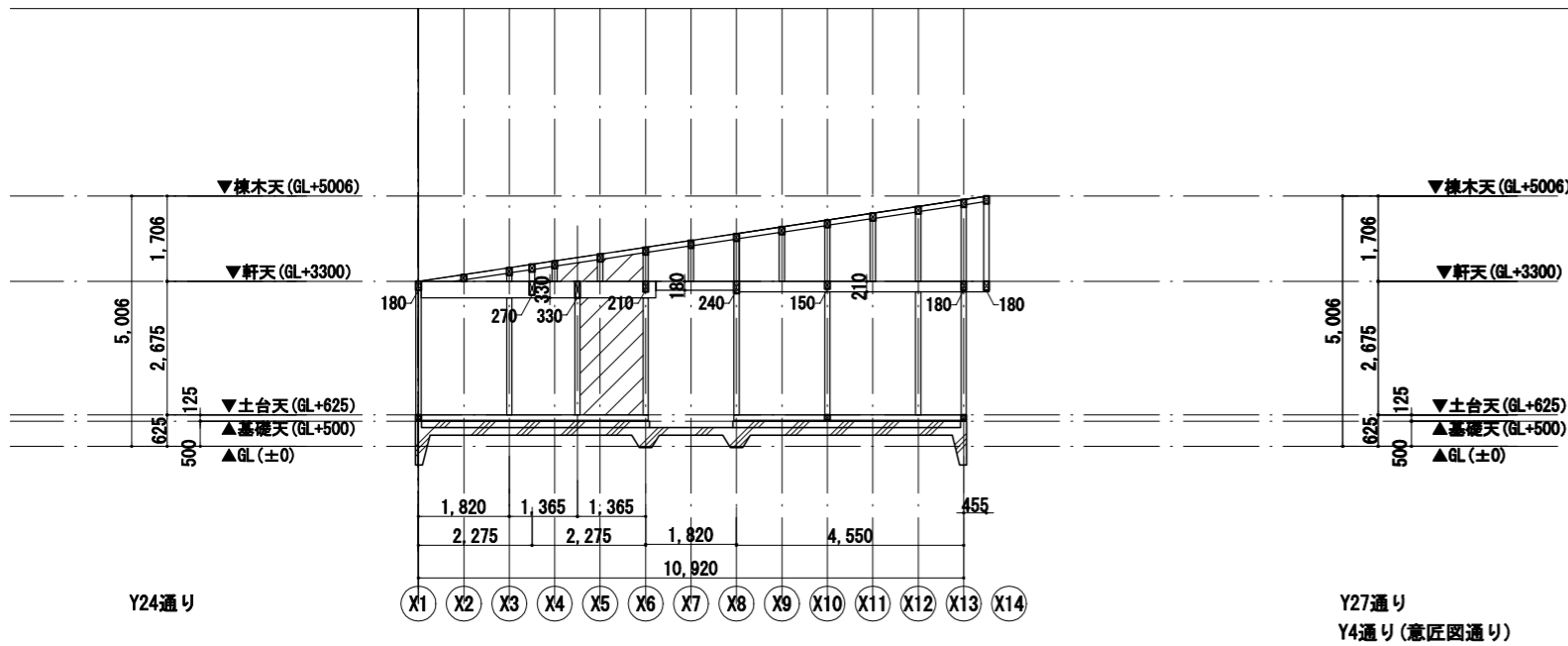
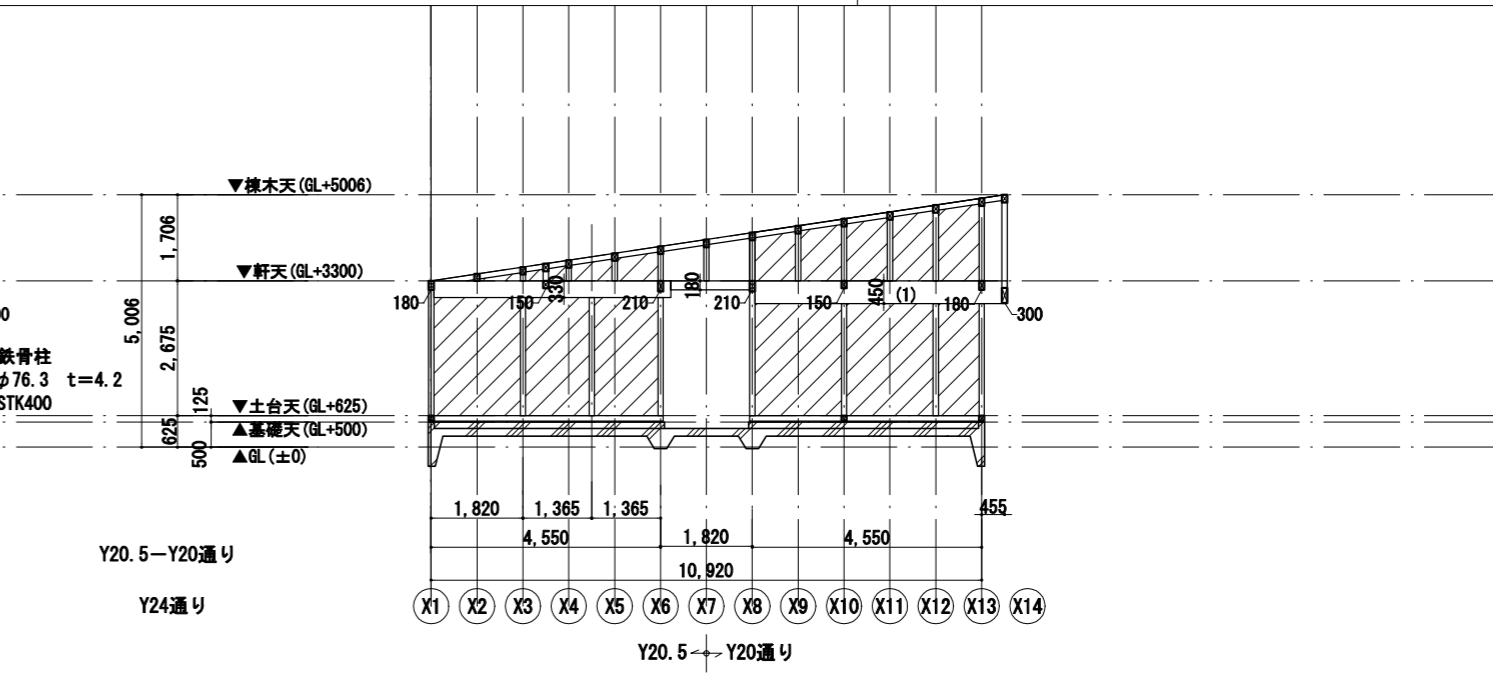
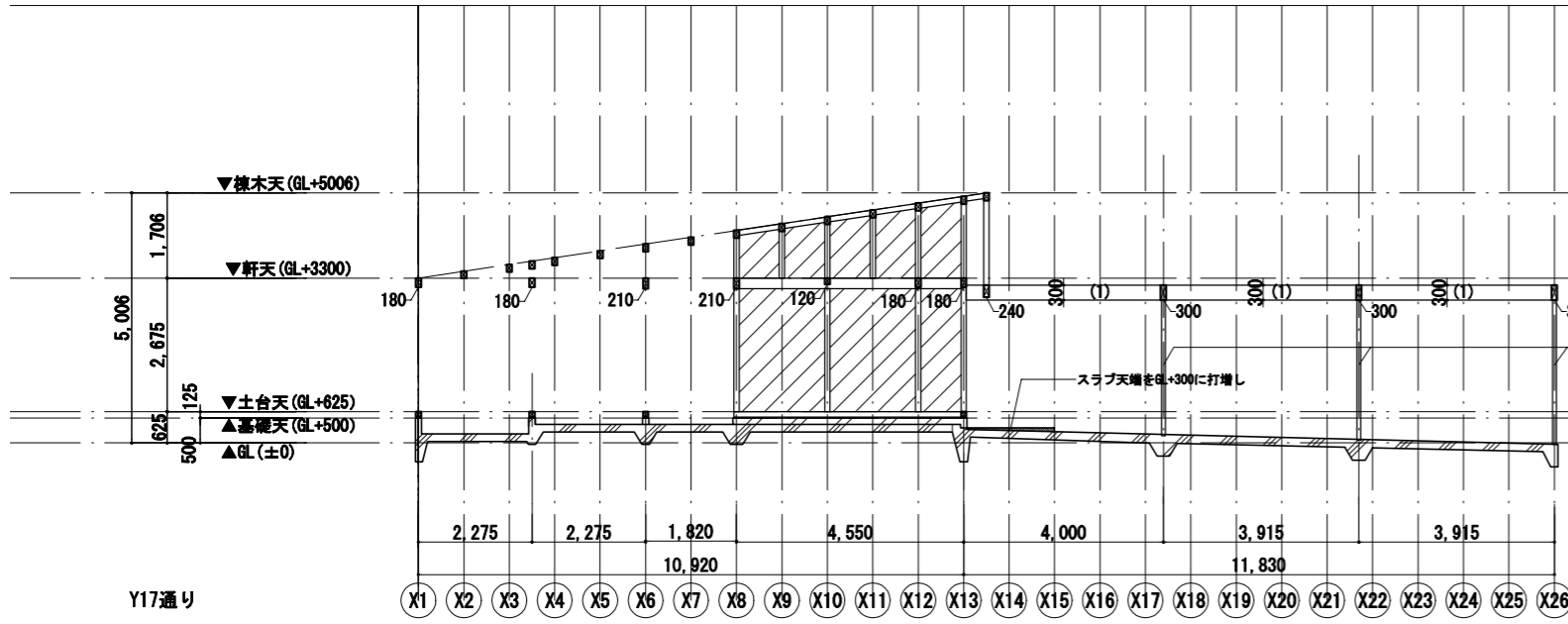


TE-DOK一級建築士事務所 岐阜県知事登録 第12814号  
 一級建築士 第330351号 河本 和義

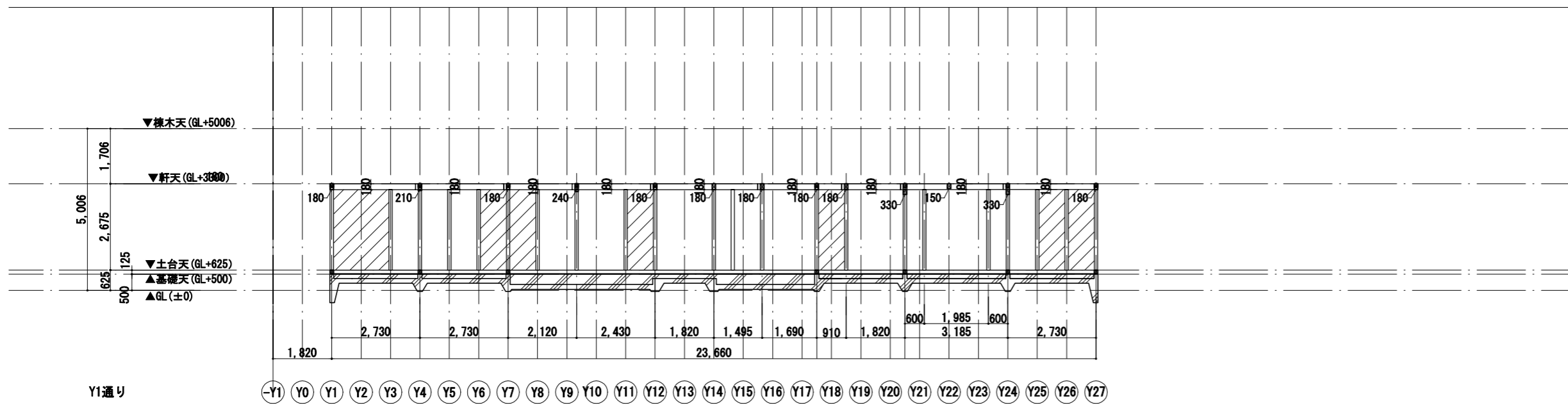




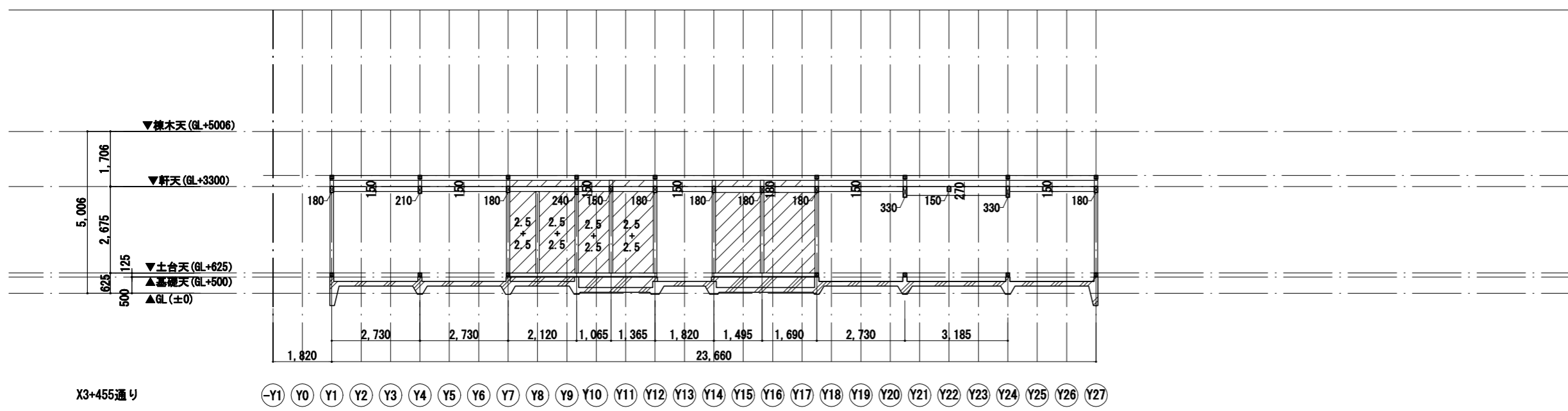
2.5倍壁倍率(S56建告1100号)  
 ・構造用合板12mm以上  
 ・面材留め付けN50@150mm以下



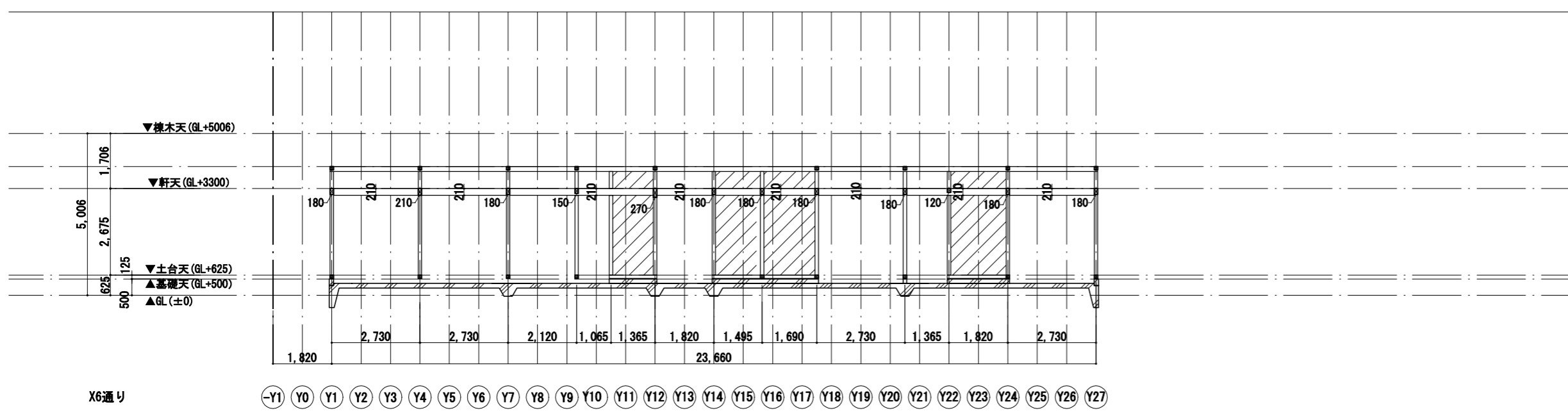
TE-DOK一級建築士事務所 岐阜県知事登録 第12814号  
 一級建築士 第330351号 河本 和義



Y1通り

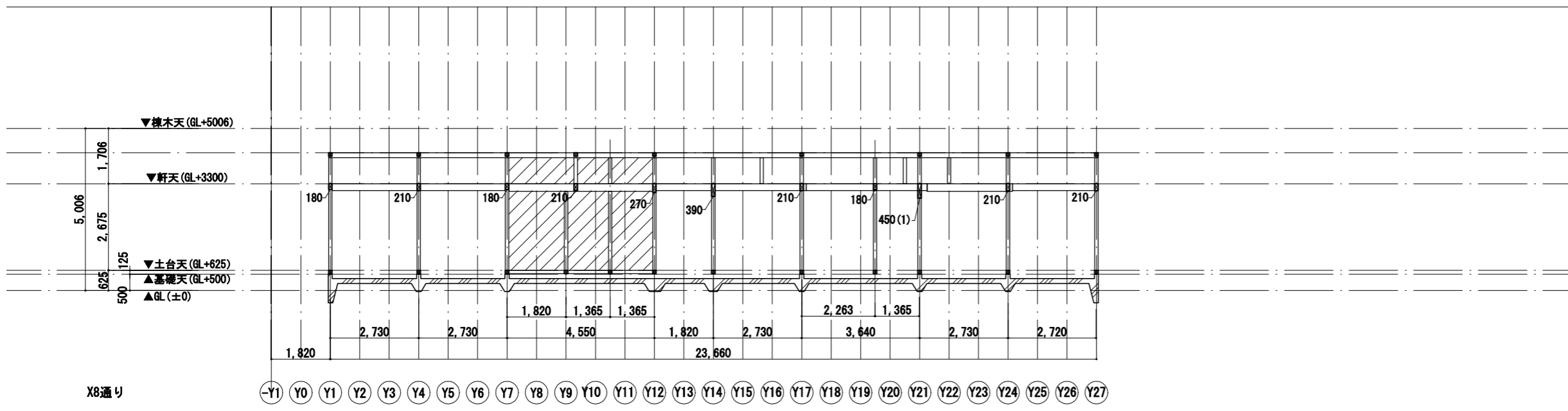


X3+455通り

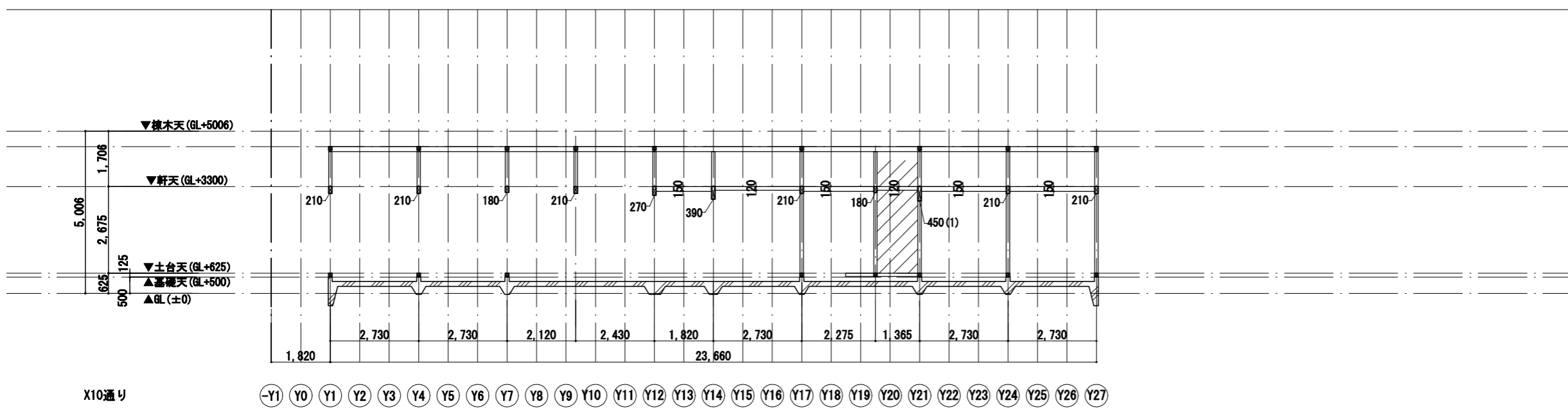


X6通り

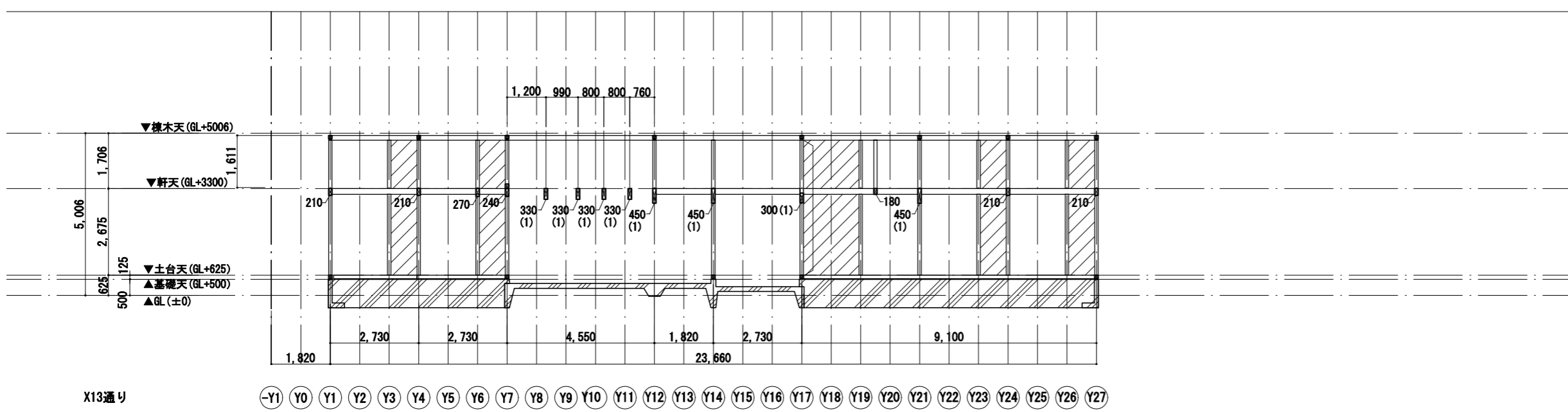
TE-DOK一級建築士事務所 岐阜県知事登録 第12814号  
 一級建築士 第330351号 河本 和義



X8通り

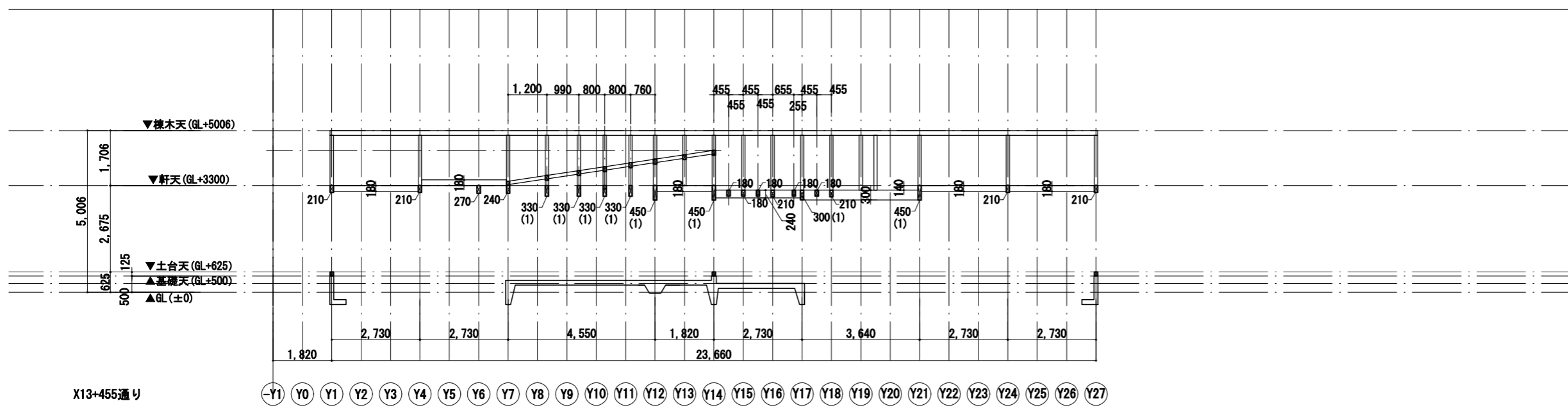


X10通り

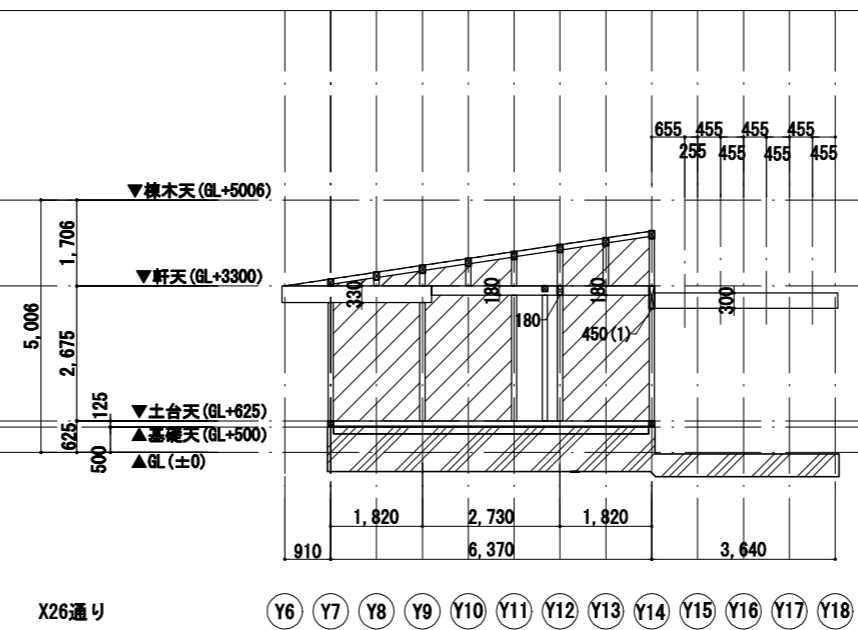
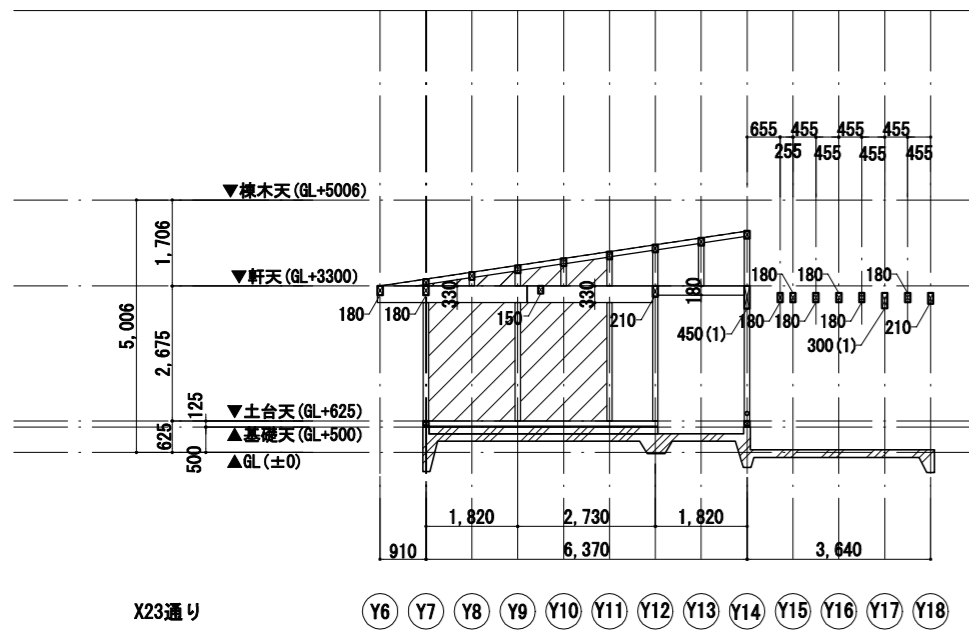
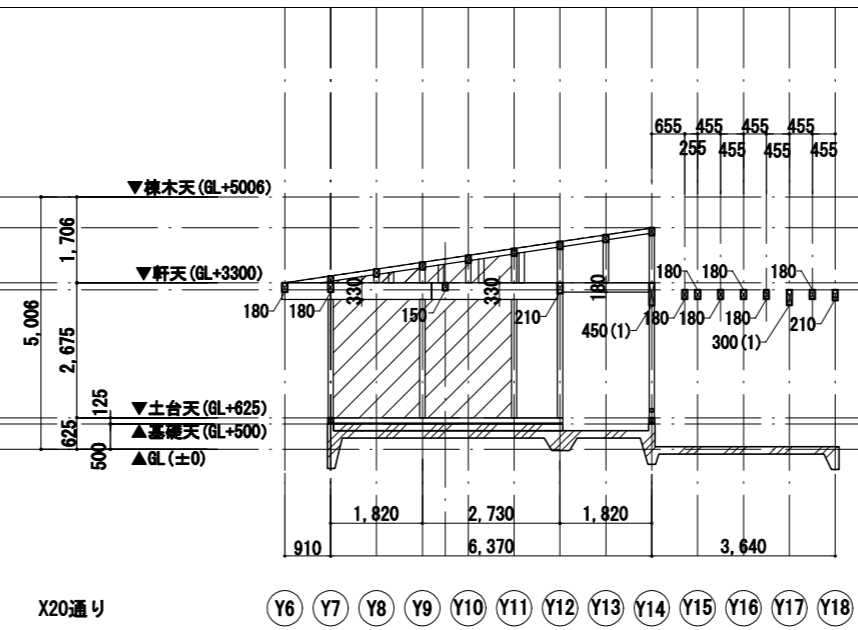
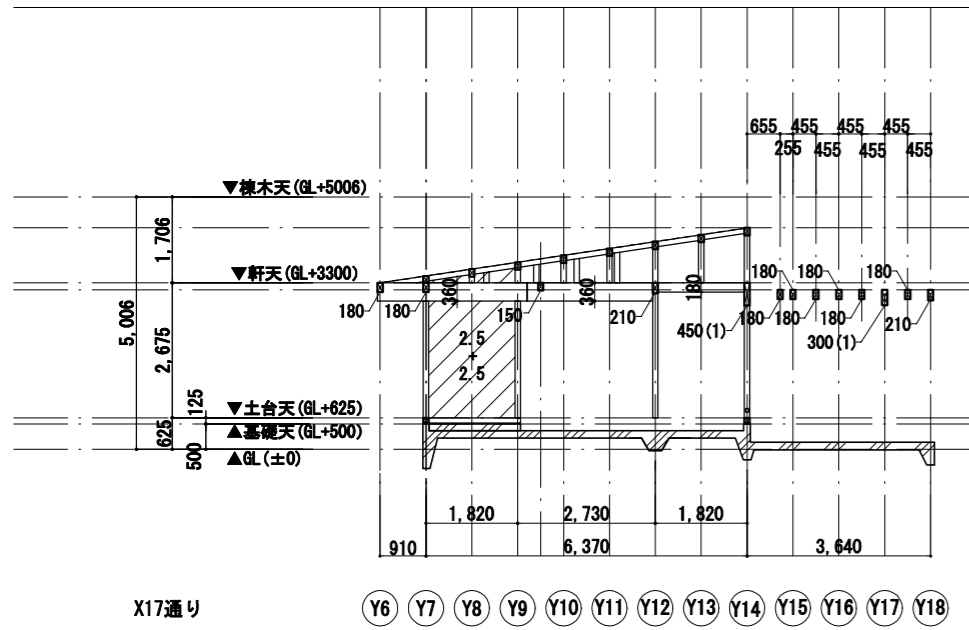


X13通り

TE-DOK一級建築士事務所 岐阜県知事登録 第12814号  
 一級建築士 第330351号 河本 和義



2.5倍壁倍率 (S56建告1100号)  
 ・構造用合板12mm以上  
 ・面材留め付けN50@150mm以下



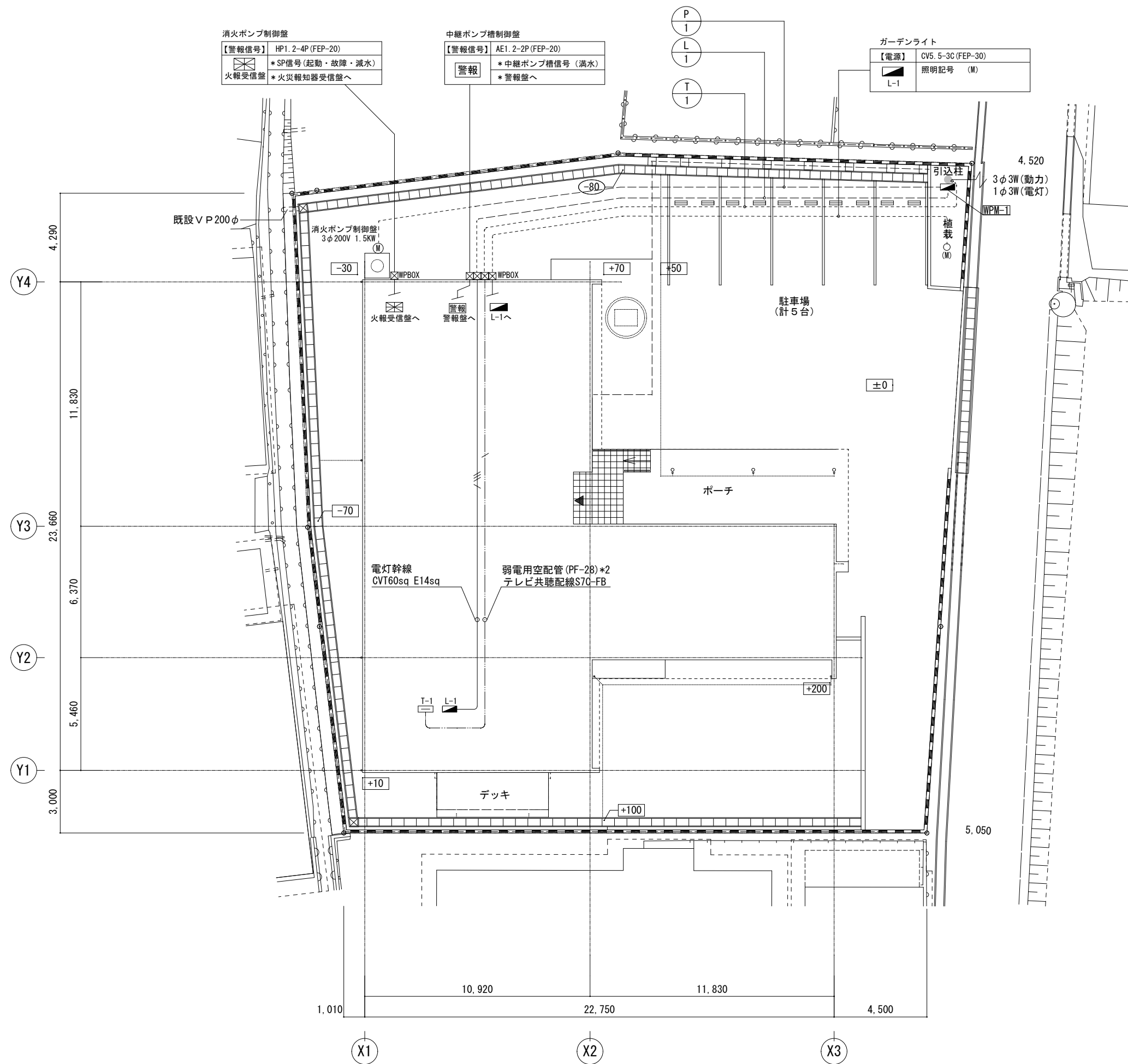
TE-DOK一級建築士事務所 岐阜県知事登録 第12814号  
 一級建築士 第330351号 河本 和義

電気設備工事特記仕様書																																														
工事名称	(仮称) 本巣グループホーム新築工事																																													
工事場所	岐阜県本巣市政田竹後701番、702番3																																													
工事種別	○ 新築 ・ 増築 ・ 改築 ・ 移築 ・ 模様替																																													
棟別概要	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">建物名称</th> <th rowspan="2">構造</th> <th colspan="3">階数</th> <th rowspan="2">延床面積</th> <th rowspan="2">摘要</th> </tr> <tr> <th>地下</th> <th>地上</th> <th>塔屋</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td>建築図による</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	建物名称	構造	階数			延床面積	摘要	地下	地上	塔屋				1			建築図による																												
建物名称	構造			階数					延床面積	摘要																																				
		地下	地上	塔屋																																										
			1			建築図による																																								
工事種目	<table border="1"> <tr> <td>1 高圧設備</td> <td>11 監視カメラ設備</td> <td>一式</td> </tr> <tr> <td>2 引込・幹線設備</td> <td>12 電気錠設備</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3 動力設備</td> <td>13 自家発電設備</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4 電灯コンセント設備</td> <td>14 火災通報設備</td> <td>一式</td> </tr> <tr> <td>5 LAN配線設備</td> <td>15 自動火災報知設備</td> <td>一式</td> </tr> <tr> <td>6 電話配管</td> <td>16 警報設備</td> <td>一式</td> </tr> <tr> <td>7 テレビ共聴設備</td> <td>17 ナースコール設備</td> <td></td> </tr> <tr> <td>8 ローカル放送設備</td> <td>18 避難設備</td> <td></td> </tr> <tr> <td>9 インターホン設備</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>10 緊急呼出設備</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	1 高圧設備	11 監視カメラ設備	一式	2 引込・幹線設備	12 電気錠設備		3 動力設備	13 自家発電設備		4 電灯コンセント設備	14 火災通報設備	一式	5 LAN配線設備	15 自動火災報知設備	一式	6 電話配管	16 警報設備	一式	7 テレビ共聴設備	17 ナースコール設備		8 ローカル放送設備	18 避難設備		9 インターホン設備			10 緊急呼出設備																	
1 高圧設備	11 監視カメラ設備	一式																																												
2 引込・幹線設備	12 電気錠設備																																													
3 動力設備	13 自家発電設備																																													
4 電灯コンセント設備	14 火災通報設備	一式																																												
5 LAN配線設備	15 自動火災報知設備	一式																																												
6 電話配管	16 警報設備	一式																																												
7 テレビ共聴設備	17 ナースコール設備																																													
8 ローカル放送設備	18 避難設備																																													
9 インターホン設備																																														
10 緊急呼出設備																																														
工事区分	○ 適用																																													
設計図書	設計図書の内容が互いに相異なる場合はその順位を原則として現場説明事項、特記仕様書、図面、共通仕様書の順とし、その他の事項については疑義が生じた場合は、監督員と協議の上決定する。																																													
共通仕様	図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、下記仕様書(○選択)に準拠し施工する。 ・ 電気設備技術基準、内線規定 ・ 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)」(最新版) ・ 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書(電気設備工事編)」(最新版) ・ 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書(電気設備工事編)」(最新版) ・ 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書(電気設備工事編)」(最新版) ・ 建築基準法、消防法、その他( ) 工事基準																																													
注意事項	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 本工事設計図面に明記がなくても、外観、構造及び技術上、当然必要と認められる工事は請負金額の範囲内において監督員の支持に従い施工すること。</li> <li>2) 防火区画貫通処置は、本工事設計図面に明記がなくても関係法規に準拠して防火区画貫通処置を施すこと。</li> <li>3) 接地工事は法規上必要と認められた場所は、本工事設計図面に明記がなくても施工すること。</li> <li>4) 二重天井内部及び後間仕切り内部配線は、ケーブル配線工事可とする。</li> <li>5) 受電後から引渡し迄の電気使用に於いて引渡し後の契約電力を想定し、それを越えない様注意すること。 特に検査等では、最大電気使用量に十分注意を払うこと。</li> <li>6) 項目は番号に○印の付いたものを適用する。 特記事項のうち選択する事項は、○印の付いたものを適用し、●印の付いたものは適用しない。</li> </ol>																																													

項目	設備	概要
1 電気方式	高圧 ・ 三相3線式 6600V 60Hz 低圧 ・ 三相3線式 200V ・ 三相4線式 V ・ 単相3線式 100-200V ・ 単相2線式 200V	・ 限流ヒューズ及び高圧負荷開閉器 (PF・S) ・ 高圧交流遮断器 (CB) ・ 変圧器総容量 400KVA (単相200KVA 三相200KVA) ・ 進相高圧コンデンサ総容量 79.8kVar ・ 直列リアクトル 6%
2 主遮断装置	・ 単独 ・ 共同 ・ EA ・ EB ・ ED ・ EA-D	・ 高調波対策は( ・ 本工事 ・ 別途工事 )とする。
3 設備容量		
4 接地工事		
5 その他		
① 電気方式	○ 三相3線式 200V ・ 三相4線式 V ○ 単相3線式 100-200V ・ 単相2線式 200V	
② 工事方法	○ 金属管 ○ 合成樹脂管 ○ CD管 ○ PF管 ○ FEP管 ○ ケーブル配線 ○ ケーブルラック ○ 隠ぺい工事 ( ・ 全部 ○ 一部 ) ○ 露出工事 ( ・ 全部 ○ 一部 ) ○ 地中埋設工事 ( ・ 全部 ○ 一部 )	
③ 接地工事	・ 単独 ・ 金属管 ○ 共通母線	・ 動力盤と電灯盤は分離型としても良い
④ 低圧コンテナー		
⑤ 別途機器接続		
⑥ その他		
① 電気方式	○ 三相3線式 200V ○ 金属管 ○ 合成樹脂管 ○ CD管 ○ PF管 ○ FEP管	
② 工事方法	○ ケーブル配線 ○ ケーブルラック ○ 隠ぺい工事 ( ・ 全部 ○ 一部 ) ○ 露出工事 ( ・ 全部 ○ 一部 ) ○ 地中埋設工事 ( ・ 全部 ○ 一部 )	
③ 接地工事	・ 単独 ・ 金属管 ○ 共通母線	
④ 低圧コンテナー		
⑤ 別途機器接続		
⑥ その他		
① 電気方式	○ 単相2線式 ○ 100V ○ 200V	
② 工事方法	○ 金属管 ○ 合成樹脂管 ○ CD管 ○ PF管 ○ FEP管 ○ ケーブル配線 ○ ケーブルラック ○ 隠ぺい工事 ( ・ 全部 ○ 一部 ) ○ 露出工事 ( ・ 全部 ○ 一部 ) ○ 地中埋設工事 ( ・ 全部 ○ 一部 )	
③ 配線器具	○ 埋込型 ・ 露出型 ○ ワイドハンドル ○ 大角連用 ・ ハイ角連用 ○ ワイドハンドル ○ 新金属 ・ 洋風モダン ○ ワイド	
④ プレート	○ 水平高低調整型 ○ 折り式タイプ型 ・ 簡易型 ・ 2重床用	
⑤ フロアー機器	○ 別図参照	
⑥ 照明器具	○ 非常用照明器具	
⑦ 位置ボックス	○ 位置ボックス	
⑧ 接地工事	・ 単独 ・ 金属管 ○ 共通母線	
⑨ その他		
1 工事方法	・ 金属管 ・ 合成樹脂管 ・ CD管 ・ PF管 ・ FEP管 ・ 隠ぺい工事 ( ・ 全部 ・ 一部 ) ・ 露出工事 ( ・ 全部 ・ 一部 ) ・ 地中埋設工事 ( ・ 全部 ・ 一部 )	
2 機器仕様	・ 配管工事のみ ・ エンジョウタイプ ( ・ BC ・ CAT5E )	
3 プレート	・ 新金属 ・ 洋風モダン ・ ワイド	
4 その他		

① 工事方法	・ 金属管 ○ 合成樹脂管 ・ CD管 ○ PF管 ○ FEP管 ○ ケーブル配線 ○ ケーブルラック ○ 隠ぺい工事 ( ・ 全部 ○ 一部 ) ○ 露出工事 ( ・ 全部 ○ 一部 ) ○ 地中埋設工事 ( ・ 全部 ○ 一部 ) ○ 配管 ( ○ 本工事 ・ 別途工事 ) ○ 配線 ( ○ 本工事 ・ 別途工事 ) ○ 交換装置 ( ・ 電子交換機 ・ 電子ボタン電話装置 ) ○ 回線 ( ・ 外線実装 1 回線 容量 回線 ) ( ・ 内線実装 回線 容量 回線 ) ( ・ 2C ・ 4C ・ 6C )
② 配管・配線	
3 機器仕様	
④ 接地工事	○ 別図参照 ( ・ 本工事 100Ω以下 ・ 別途 ) ○ 保安交換機 ( ・ 本工事 10Ω以下 ・ 別途 ) ○ 新金属 ・ 洋風モダン ○ ワイド ○ 水平高低調整型 ・ 折り式タイプ型 ・ 簡易型 ・ 2重床用
5 プレート	
6 フロアー機器	
7 その他	
① 工事方法	・ 金属管 ○ 合成樹脂管 ・ CD管 ○ PF管 ○ FEP管 ○ ケーブル配線 ○ ケーブルラック ○ 隠ぺい工事 ( ○ 全部 ○ 一部 ) ○ 露出工事 ( ・ 全部 ・ 一部 ) ○ 地中埋設工事 ( ・ 全部 ○ 一部 ) ○ CS受信システム ・ 一般共聴システム ・ 別図参照 ・ BL部品 ○ テレビ接続コード (UV分波器、同軸ケーブル2M付) 直列ユニット相当数 ○ 幹線分岐式 ( ・ 直列式 ・ 混合式 ) ○ 新金属 ・ 洋風モダン ○ ワイド ○ 図示配管のみ ○ 本工事に含む ( ・ 事前調査 場所 ・ 事後調査 場所 )
② 機器仕様	
③ 共聴方式	
④ プレート	
⑤ ビル影用設備	
⑥ その他	
1 工事方法	・ 金属管 ・ 合成樹脂管 ・ CD管 ・ PF管 ・ FEP管 ・ ケーブル配線 ・ ケーブルラック ・ 隠ぺい工事 ( ・ 全部 ・ 一部 ) ・ 露出工事 ( ・ 全部 ・ 一部 ) ・ 地中埋設工事 ( ・ 全部 ・ 一部 ) ・ 拡声装置 ( ・ 一般用 ・ 非常放送用 ・ 120W ) ・ スピーカー ( ・ 露出型 ・ 埋込型 ・ ホーン型 )
2 機器仕様	
3 その他	
① 工事方法	・ 金属管 ・ 合成樹脂管 ・ CD管 ○ PF管 ・ FEP管 ○ ケーブル配線 ○ ケーブルラック ○ 隠ぺい工事 ( ○ 全部 ・ 一部 ) ○ 露出工事 ( ・ 全部 ・ 一部 ) ○ 地中埋設工事 ( ・ 全部 ・ 一部 ) ○ 別図参照
② 機器仕様	
3 その他	
1 工事方法	・ 金属管 ・ 合成樹脂管 ・ CD管 ・ PF管 ・ FEP管 ・ ケーブル配線 ○ ケーブルラック ・ 隠ぺい工事 ( ・ 全部 ・ 一部 ) ・ 露出工事 ( ・ 全部 ・ 一部 ) ・ 地中埋設工事 ( ・ 全部 ・ 一部 ) ・ 交換機用 ( ・ 全部 ・ 一部 ) ・ 別図参照 ・ 別途工事
2 機器仕様	
3 その他	
1 工事方法	・ 金属管 ・ 合成樹脂管 ・ CD管 ・ PF管 ・ FEP管 ・ ケーブル配線 ○ ケーブルラック ・ 隠ぺい工事 ( ・ 全部 ・ 一部 ) ・ 露出工事 ( ・ 全部 ・ 一部 ) ・ 地中埋設工事 ( ・ 全部 ・ 一部 )
2 機器仕様	
3 その他	
1 工事方法	・ 金属管 ○ 合成樹脂管 ○ CD管 ○ PF管 ○ FEP管 ○ ケーブル配線 ○ ケーブルラック ○ 隠ぺい工事 ( ・ 全部 ○ 一部 ) ○ 露出工事 ( ・ 全部 ○ 一部 ) ○ 地中埋設工事 ( ・ 全部 ○ 一部 )
2 機器仕様	
3 その他	
1 工事方法	・ 金属管 ・ 合成樹脂管 ・ CD管 ・ PF管 ・ FEP管 ・ ケーブル配線 ○ ケーブルラック ・ 隠ぺい工事 ( ・ 全部 ・ 一部 ) ・ 露出工事 ( ・ 全部 ・ 一部 ) ・ 地中埋設工事 ( ・ 全部 ・ 一部 )
2 機器仕様	
3 その他	
1 形式	・ オープン型 ・ 簡易型 ・ キュービクル式
2 発電機	・ 電気方式 ・ 三相3線式 ・ 定格出力 KVA
3 原動機	・ 定格出力 PS以上
4 その他	

① 工事方法	・ 金属管 ・ 合成樹脂管 ・ CD管 ○ PF管 ・ FEP管 ○ ケーブル配線 ○ ケーブルラック ○ 隠ぺい工事 ( ・ 全部 ・ 一部 ) ・ 露出工事 ( ・ 全部 ・ 一部 ) ・ 地中埋設工事 ( ・ 全部 ・ 一部 ) ○ 別図参照																																																																																																																																																
② 機器仕様																																																																																																																																																	
3 その他																																																																																																																																																	
① 工事方法	・ 金属管 ・ 合成樹脂管 ・ CD管 ○ PF管 ・ FEP管 ○ ケーブル配線 ○ ケーブルラック ○ 隠ぺい工事 ( ・ 全部 ・ 一部 ) ・ 露出工事 ( ・ 全部 ・ 一部 ) ・ 地中埋設工事 ( ・ 全部 ・ 一部 ) ・ 専用受信機 ( ・ P型 1級 5回線 ) ○ 複合盤 ( ○ 火災表示 2 L ・ 自動閉鎖 L ・ ガス漏れ L ) ( ○ 積表示 3 L ・ 予備 L ) ・ 機器収容箱 ( ・ 露出型 ・ 埋込型 ・ 消火栓箱 ) ○ 別図参照																																																																																																																																																
② 機器仕様																																																																																																																																																	
3 その他																																																																																																																																																	
① 工事方法	・ 金属管 ・ 合成樹脂管 ・ CD管 ○ PF管 ・ FEP管 ○ ケーブル配線 ○ ケーブルラック ○ 隠ぺい工事 ( ・ 全部 ・ 一部 ) ○ 露出工事 ( ・ 全部 ・ 一部 ) ・ 地中埋設工事 ( ・ 全部 ・ 一部 ) ・ 専用運転操作盤 回線 複合操作盤 ○ 別図参照																																																																																																																																																
② 機器仕様																																																																																																																																																	
3 その他																																																																																																																																																	
1 工事方法	・ 金属管 ・ 合成樹脂管 ・ CD管 ・ PF管 ・ FEP管 ・ ケーブル配線 ○ ケーブルラック ・ 隠ぺい工事 ( ・ 全部 ・ 一部 ) ・ 露出工事 ( ・ 全部 ・ 一部 ) ・ 地中埋設工事 ( ・ 全部 ・ 一部 ) ・ 別図参照																																																																																																																																																
2 機器仕様																																																																																																																																																	
3 その他																																																																																																																																																	
1 接地極は次による。なおEBは、L=1,500とする。																																																																																																																																																	
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>接地の種類</th> <th>記号</th> <th>接地抵抗値</th> <th>接地極の規格、数量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ 共同接地</td> <td>E(A,D)</td> <td>10Ω以下</td> <td>EB (D=14又はW=40) × 3連-2</td> </tr> <tr> <td>・ A種</td> <td>E(A)</td> <td>10Ω以下</td> <td>EB (D=14又はW=40) × 3連-2</td> </tr> <tr> <td>・ B種</td> <td>E(B)</td> <td>30Ω以下</td> <td>EB (D=14又はW=40) × 2連-2</td> </tr> <tr> <td>・ C種</td> <td>E(C)</td> <td>10Ω以下</td> <td>EB (D=14又はW=40) × 3連-2</td> </tr> <tr> <td>○ D種</td> <td>E(D)</td> <td>100Ω以下</td> <td>EB (D=10又はW=40) × 1</td> </tr> <tr> <td>・ 避雷設備</td> <td>EL</td> <td>10Ω以下</td> <td>EB (D=14又はW=40) × 3連-2</td> </tr> <tr> <td>・ 避雷設備</td> <td>EL</td> <td>10Ω以下</td> <td>EP × 1</td> </tr> <tr> <td>・ 避雷設備</td> <td></td> <td>5Ω以下</td> <td>建築構造体</td> </tr> <tr> <td>・ 高圧避雷器</td> <td>ELH</td> <td>10Ω以下</td> <td>EB (D=14又はW=40) × 3連-2</td> </tr> <tr> <td>・ 低圧避雷器</td> <td>ELL</td> <td>10Ω以下</td> <td>EB (D=14又はW=40) × 3連-2</td> </tr> <tr> <td>・ 交換機用</td> <td>E(T)</td> <td>10Ω以下</td> <td>EB (D=14又はW=40) × 3連-2</td> </tr> <tr> <td>○ 通信用</td> <td>E(Dt)及びEA</td> <td>100Ω以下</td> <td>EB (D=10又はW=40) × 1</td> </tr> <tr> <td>・ 通信用</td> <td></td> <td>10Ω以下</td> <td>EB (D=14又はW=40) × 3連-2</td> </tr> <tr> <td>・ 測定用</td> <td>E0</td> <td></td> <td>EB (D=10又はW=40) × 1</td> </tr> </tbody> </table>	接地の種類	記号	接地抵抗値	接地極の規格、数量	・ 共同接地	E(A,D)	10Ω以下	EB (D=14又はW=40) × 3連-2	・ A種	E(A)	10Ω以下	EB (D=14又はW=40) × 3連-2	・ B種	E(B)	30Ω以下	EB (D=14又はW=40) × 2連-2	・ C種	E(C)	10Ω以下	EB (D=14又はW=40) × 3連-2	○ D種	E(D)	100Ω以下	EB (D=10又はW=40) × 1	・ 避雷設備	EL	10Ω以下	EB (D=14又はW=40) × 3連-2	・ 避雷設備	EL	10Ω以下	EP × 1	・ 避雷設備		5Ω以下	建築構造体	・ 高圧避雷器	ELH	10Ω以下	EB (D=14又はW=40) × 3連-2	・ 低圧避雷器	ELL	10Ω以下	EB (D=14又はW=40) × 3連-2	・ 交換機用	E(T)	10Ω以下	EB (D=14又はW=40) × 3連-2	○ 通信用	E(Dt)及びEA	100Ω以下	EB (D=10又はW=40) × 1	・ 通信用		10Ω以下	EB (D=14又はW=40) × 3連-2	・ 測定用	E0		EB (D=10又はW=40) × 1																																																																																				
接地の種類	記号	接地抵抗値	接地極の規格、数量																																																																																																																																														
・ 共同接地	E(A,D)	10Ω以下	EB (D=14又はW=40) × 3連-2																																																																																																																																														
・ A種	E(A)	10Ω以下	EB (D=14又はW=40) × 3連-2																																																																																																																																														
・ B種	E(B)	30Ω以下	EB (D=14又はW=40) × 2連-2																																																																																																																																														
・ C種	E(C)	10Ω以下	EB (D=14又はW=40) × 3連-2																																																																																																																																														
○ D種	E(D)	100Ω以下	EB (D=10又はW=40) × 1																																																																																																																																														
・ 避雷設備	EL	10Ω以下	EB (D=14又はW=40) × 3連-2																																																																																																																																														
・ 避雷設備	EL	10Ω以下	EP × 1																																																																																																																																														
・ 避雷設備		5Ω以下	建築構造体																																																																																																																																														
・ 高圧避雷器	ELH	10Ω以下	EB (D=14又はW=40) × 3連-2																																																																																																																																														
・ 低圧避雷器	ELL	10Ω以下	EB (D=14又はW=40) × 3連-2																																																																																																																																														
・ 交換機用	E(T)	10Ω以下	EB (D=14又はW=40) × 3連-2																																																																																																																																														
○ 通信用	E(Dt)及びEA	100Ω以下	EB (D=10又はW=40) × 1																																																																																																																																														
・ 通信用		10Ω以下	EB (D=14又はW=40) × 3連-2																																																																																																																																														
・ 測定用	E0		EB (D=10又はW=40) × 1																																																																																																																																														
2 本工事に使用する資材、機材は下記リスト表より選択し、係員の承認を受けたものとする。																																																																																																																																																	
	<table border="1"> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>電線管及び付属材</td> <td>日本パイプ</td> <td>東芝</td> <td>パナソニック</td> <td>未来</td> <td>古河</td> <td>クボタ</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>電線及びケーブル</td> <td>住友</td> <td>日立</td> <td>藤倉</td> <td>矢崎</td> <td>昭和</td> <td>クボタ</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>配線器具</td> <td>パナソニック</td> <td>東芝</td> <td>明工社</td> <td>神保</td> <td>寺田</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>照明器具</td> <td>パナソニック</td> <td>東芝</td> <td>三菱</td> <td>岩崎</td> <td>日立</td> <td>小泉</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>分電盤、配電盤、端子盤</td> <td>パナソニック</td> <td>日東</td> <td>河村</td> <td>内外</td> <td>尾関</td> <td></td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>受変電設備</td> <td>パナソニック</td> <td>日東</td> <td>河村</td> <td>内外</td> <td>尾関</td> <td></td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>高圧機器</td> <td>戸上</td> <td>伊予電</td> <td>三菱</td> <td>東芝</td> <td>松下</td> <td>大塚</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>電話機器</td> <td>パナソニック</td> <td>東芝</td> <td>三菱</td> <td>日立</td> <td>富士通</td> <td>岩通</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>テレビ共聴機器</td> <td>パナソニック</td> <td>マスプロ</td> <td>D X</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>放送機器</td> <td>パナソニック</td> <td>TOA</td> <td>ソニー</td> <td>JVC</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>監視カメラ機器</td> <td>パナソニック</td> <td>東芝</td> <td>TOA</td> <td>ビクター</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>インターホン機器</td> <td>パナソニック</td> <td>東芝</td> <td>アイホン</td> <td>沖</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>ナースコール機器</td> <td>パナソニック</td> <td>東芝</td> <td>アイホン</td> <td>ケアコム</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>14</td> <td>自火報、火災通報</td> <td>パナソニック</td> <td>東芝</td> <td>沖</td> <td>ニッタン</td> <td>ホーチキ</td> <td>ノーマ</td> </tr> <tr> <td>15</td> <td>避雷針機器</td> <td>大阪</td> <td>名古屋</td> <td>大崎</td> <td>日本</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>16</td> <td>自家発電機</td> <td>ヤンマー</td> <td>日本車輛</td> <td>三菱</td> <td>日立</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>17</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>18</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	1	電線管及び付属材	日本パイプ	東芝	パナソニック	未来	古河	クボタ	2	電線及びケーブル	住友	日立	藤倉	矢崎	昭和	クボタ	3	配線器具	パナソニック	東芝	明工社	神保	寺田		4	照明器具	パナソニック	東芝	三菱	岩崎	日立	小泉	5	分電盤、配電盤、端子盤	パナソニック	日東	河村	内外	尾関		6	受変電設備	パナソニック	日東	河村	内外	尾関		7	高圧機器	戸上	伊予電	三菱	東芝	松下	大塚	8	電話機器	パナソニック	東芝	三菱	日立	富士通	岩通	9	テレビ共聴機器	パナソニック	マスプロ	D X				10	放送機器	パナソニック	TOA	ソニー	JVC			11	監視カメラ機器	パナソニック	東芝	TOA	ビクター			12	インターホン機器	パナソニック	東芝	アイホン	沖			13	ナースコール機器	パナソニック	東芝	アイホン	ケアコム			14	自火報、火災通報	パナソニック	東芝	沖	ニッタン	ホーチキ	ノーマ	15	避雷針機器	大阪	名古屋	大崎	日本			16	自家発電機	ヤンマー	日本車輛	三菱	日立			17								18							
1	電線管及び付属材	日本パイプ	東芝	パナソニック	未来	古河	クボタ																																																																																																																																										
2	電線及びケーブル	住友	日立	藤倉	矢崎	昭和	クボタ																																																																																																																																										
3	配線器具	パナソニック	東芝	明工社	神保	寺田																																																																																																																																											
4	照明器具	パナソニック	東芝	三菱	岩崎	日立	小泉																																																																																																																																										
5	分電盤、配電盤、端子盤	パナソニック	日東	河村	内外	尾関																																																																																																																																											
6	受変電設備	パナソニック	日東	河村	内外	尾関																																																																																																																																											
7	高圧機器	戸上	伊予電	三菱	東芝	松下	大塚																																																																																																																																										
8	電話機器	パナソニック	東芝	三菱	日立	富士通	岩通																																																																																																																																										
9	テレビ共聴機器	パナソニック	マスプロ	D X																																																																																																																																													
10	放送機器	パナソニック	TOA	ソニー	JVC																																																																																																																																												
11	監視カメラ機器	パナソニック	東芝	TOA	ビクター																																																																																																																																												
12	インターホン機器	パナソニック	東芝	アイホン	沖																																																																																																																																												
13	ナースコール機器	パナソニック	東芝	アイホン	ケアコム																																																																																																																																												
14	自火報、火災通報	パナソニック	東芝	沖	ニッタン	ホーチキ	ノーマ																																																																																																																																										
15	避雷針機器	大阪	名古屋	大崎	日本																																																																																																																																												
16	自家発電機	ヤンマー	日本車輛	三菱	日立																																																																																																																																												
17																																																																																																																																																	
18																																																																																																																																																	

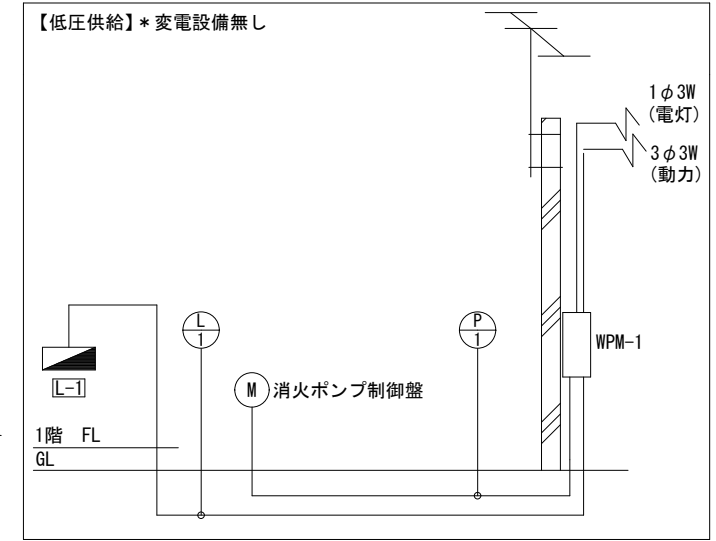


消火ポンプ制御盤  
 【警報信号】 HP1. 2-4P (FEP-20)  
 \* SP信号 (起動・故障・減水)  
 火報受信盤 \* 火災報知器受信盤へ

中継ポンプ制御盤  
 【警報信号】 AE1. 2-2P (FEP-20)  
 \* 中継ポンプ槽信号 (満水)  
 \* 警報盤へ

ガーデンライト  
 【電源】 CV5. 5-3C (FEP-30)  
 照明記号 (M)  
 L-1

幹線系統図



L 1	CVT60sqE14sq	露出配管	埋設配管
		(VE-54)	(FEP-65)
P 1	FEP5. 5sq-4C (耐火ケーブル)	露出配管	埋設配管
		(VE-28)	(FEP-30)

T 1	弱電配管 * 2 S7C-FB * 2	露出配管	埋設配管	屋内配管
		(VE-28)	(FEP-30)	(PF-28)
		露出配管	埋設配管	屋内配管
		(VE-28)	(FEP-30)	(PF-28)

特記なき配管・配線は下記とする。

CVT60sq E8sq
(PF-28)
S7C-FB

二重天井内はケーブル工事とする。

凡例

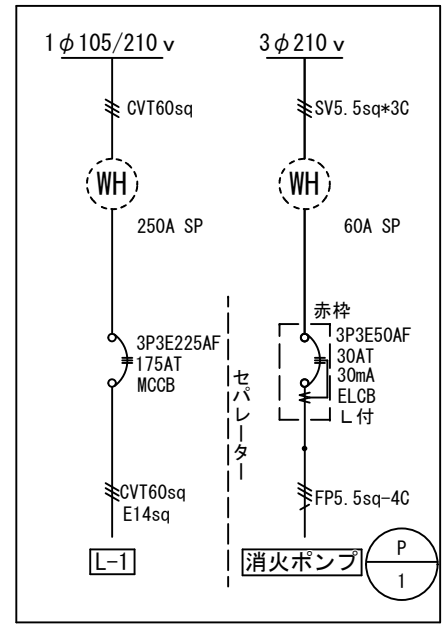
WPM-1	引込計器盤キャビネット
T-1	弱電共用盤
火報受信盤	火災報知器受信盤
警報	警報盤
引込柱	引込用柱
WPBOX	防水中継ボックス
M	消火ポンプ制御盤

場所【倉庫内】

壁名称・電気方式 幹線記号・主幹開閉器等	回路 番号	電圧 (V)	負荷容量 (VA)			分岐開閉器			電線	備考	場所
			電灯	コンセント	その他	NB 2P1E	パントル ロック	NB 2P2E			
L-1 屋内壁掛形 1φ3W 200/100V CVT60sqE14sq EL CB3P 150AF/150AT 100/200mA切替 中性線 欠相保護付 1 合計 40.9kVA 設置場所 倉庫 鋼板製	○	100		4	30/20	○		VVF		誘導灯 (赤文字)	
	○	100		14	30/20	○		VVF		非常灯 (赤文字)	
	○	100		40	30/20	○		VVF		火災受信機 (赤文字)	
	○	100		15	30/20	○		VVF		通報装置 (赤文字)	
	○	100		100	30/20	○		VVF		端子盤	
	○	100			30/20	○		VVF		PC・インターホン	
	○	100		300	30/20	○		VVF		自動ドア	
	○	100			30/20			VVF			
	○	100			30/20			VVF			
	○	100	110.6			30/20			VVF		会議室・短期入居室・世話人室・WC2電灯
	○	100	110.5			30/20			VVF		廊下1/2/3・玄関・WC3電灯
	○	100	186.2			30/20			VVF		UB1/2・脱衣1/2/3・倉庫・WC4・洗濯室電灯
	○	100	111.3			30/20			VVF		キッチン・食堂兼居間電灯
	○	100	390			30/20			VVF		全熱交換機 (カセット形) *3
	○	100				30/20			VVF		
	○	100		1,260		30/20			VVF		WC1コンセント
	○	100		1,260		30/20			VVF		WC2コンセント
	○	100		1,260		30/20			VVF		WC3コンセント
	○	100		1,260		30/20			VVF		WC4コンセント
	○	100		300		30/20			VVF		脱衣1コンセント
	○	100		300		30/20			VVF		脱衣1コンセント
	○	100		300		30/20			VVF		脱衣2コンセント
	○	100		300		30/20			VVF		脱衣2コンセント
	○	100		300		30/20			VVF		脱衣3コンセント
	○	100		300		30/20			VVF		脱衣3コンセント
	○	100		300		30/20			VVF		脱衣3コンセント
	○	100		865		30/20			VVF		短期入居室エアコン
	○	100		300		30/20			VVF		短期入居室コンセント
	○	100		865		30/20			VVF		世話人室エアコン
	○	100		600		30/20			VVF		世話人室コンセント
	○	100		1,000		30/20			VVF		中継ポンプ槽コンセント
	○	100		150		30/20			VVF		会議室・廊下北コンセント
	○	100		750		30/20			VVF		洗濯室ガス乾燥機コンセント
	○	100		300		30/20			VVF		倉庫・US・洗濯室・廊下・外部コンセント
	○	100		300		30/20			VVF		給湯器コンセント
○	100		300		30/20			VVF		冷蔵庫コンセント	
○	100		300		30/20			VVF		食堂西コンセント	
○	100		300		30/20			VVF		食堂西コンセント	
○	100		300		30/20			VVF		キッチンコンセント	
○	100		300		30/20			VVF		キッチンコンセント	
○	100		300		30/20			VVF		キッチンコンセント	
○	100		300		30/20			VVF		キッチンコンセント	
○	100		300		30/20			VVF		キッチンコンセント	
○	100		300		30/20			VVF		キッチンコンセント	
○	100		300		30/20			VVF		キッチンコンセント	
○	100		300		30/20			VVF		キッチンコンセント	
○	100		300		30/20			VVF		キッチンコンセント	
○	100		1,200		30/20			VVF		食堂温水器用コンセント	
○	100		1,200		30/20			VVF		食堂温水器用コンセント	
○	100		600		30/20			VVF		食堂温水器用コンセント	
○	100		300		30/20			VVF		食洗機コンセント	

※1

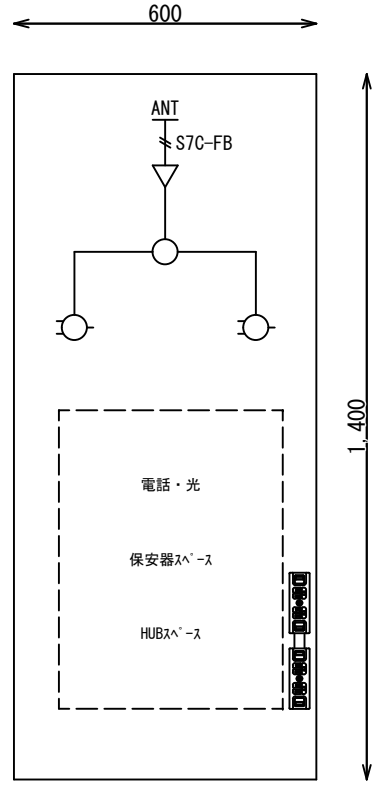
場所【引込柱設置】



WPM-1

(屋外屋根付)  
コン柱取付金具付  
鋼板製

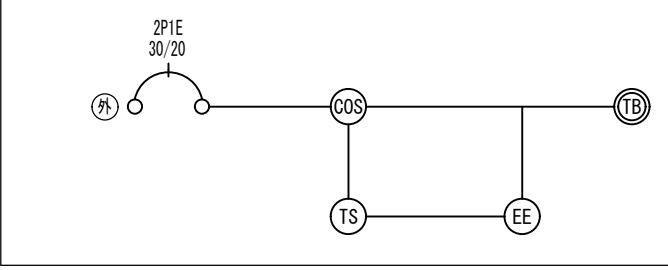
場所【倉庫内】

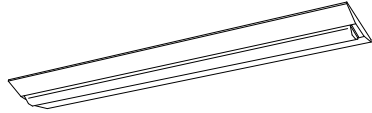
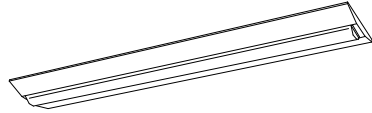
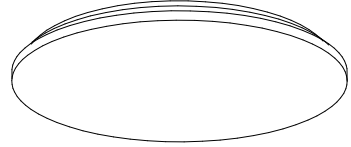
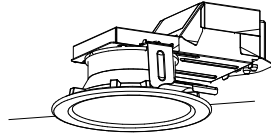
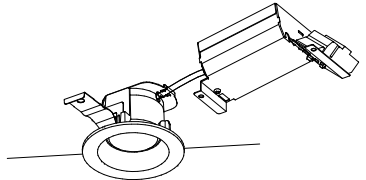
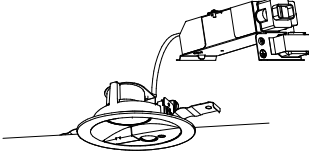
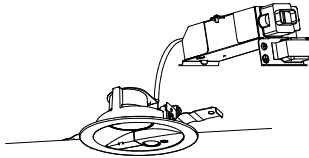
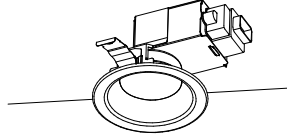
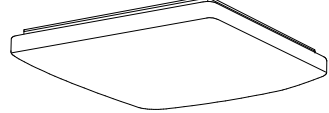
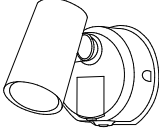
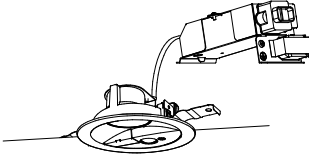
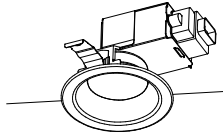

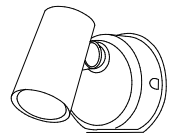

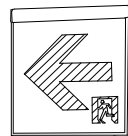
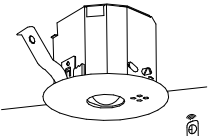
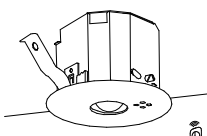


T-1

鋼板製  
W=600 H=1400 D=200

※3 【自動点灯定刻消灯制御】



<p>A iDシリーズ直付型40形 Dスタイル W230</p>  <p>パナソニック 直付XF460DENLE9 一般タイプ、6900lmタイプ 消費電力43.1W、定格出力型、電圧100~242V 本体：鋼板（白色粉末塗装） ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白） 光束維持時間4000時間（光束維持率85%） 昼白色（5000K）、Ra83 電源装置はライトバー側に内蔵</p>	<p>B iDシリーズ直付型40形 Dスタイル W230</p>  <p>パナソニック 直付XF450DENLE9 一般タイプ、5200lmタイプ 本体：鋼板（白色粉末塗装） 消費電力31.9W、定格出力型、電圧100~242V ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白） 光束維持時間4000時間（光束維持率85%） 昼白色（5000K）、Ra83 電源装置はライトバー側に内蔵</p>	<p>C シーリングライト</p>  <p>パナソニック LSEB1200K LED内蔵、電源ユニット内蔵 天井直付型、ソフトターン方式、カチットF 光束維持時間4000時間（光束維持率70%） 昼光色（6200K）、Ra83 器具光束4299lm、消費電力32.3W、電圧100V カバー：アクリル（乳白つや消し） リモコンで〈100%~5%〉調光、専用リモコン送信器同梱</p>	<p>D ダウンライト 60形電球1灯器具相当</p>  <p>パナソニック LSEB9531LE1 温白色（3500K）、Ra83 器具光束475lm、消費電力4.5W、電圧100V 電源ユニット内蔵、拡散タイプ 高気密SB形 枠：鋼板（ホワイツつや消し） 光源寿命4000時間（光束維持率70%） 埋込穴φ100</p>	<p>E LEDダウンライト 60形電球1灯器具相当</p>  <p>パナソニック LSEB5801LE1 温白色（3500K）、Ra83 器具光束450lm、消費電力4.5W、電圧100V 高気密SB形、拡散タイプ 枠：（ホワイツつや消し） 埋込穴φ75</p>																																																		
<p>F ダウンライト 60形電球1灯器具相当</p>  <p>換気扇連動型</p> <p>パナソニック LGDC1101LKLE1 電球色（2700K）、Ra83 器具光束425lm、消費電力4.7W、電圧100V 電源ユニット内蔵、拡散タイプ、PaPIRs・明るさセンサ付 高気密SB形、点灯照度・点灯保持時間調整機能付 枠：アルミダイカスト（ホワイツつや消し） 光源寿命4000時間（光束維持率70%） 埋込穴φ100</p>	<p>G ダウンライト 60形電球1灯器具相当</p>  <p>パナソニック LSEBC5071LE1 温白色（3500K）、Ra83 器具光束455lm、消費電力4.7W、電圧100V 電源ユニット内蔵、拡散タイプ、PaPIRs・明るさセンサ付 高気密SB形、点灯照度・点灯保持時間調整機能付 枠：アルミダイカスト（ホワイツつや消し） 光源寿命4000時間（光束維持率70%） 埋込穴φ100</p>	<p>H LEDダウンライト 100形電球1灯器具相当</p>  <p>パナソニック LSEB9504LE1 温白色（3500K）、Ra83 器具光束775lm、消費電力7.3W、電圧100V 高気密SB形、拡散タイプ 枠：アルミ（ホワイツつや消し） 埋込穴φ100</p>	<p>I シーリングライト</p>  <p>パナソニック LGC3510D LED内蔵、電源ユニット内蔵 昼光色（6200K）、Ra83 器具光束4100lm、消費電力32.3W、電圧100V ブッシュ方式、カチットF、竿縁天井取付アダプタ対応 光源寿命4000時間（光束維持率70%） カバー：アクリル（乳白つや消し） リモコンで〈100%~5%〉調光、専用リモコン送信器同梱</p>	<p>J LEDスポットライト 60形電球1灯器具相当</p>  <p>パナソニック LGWC40385LE1 温白色（3500K）、Ra83 器具光束430lm、消費電力6.8W、電圧100V 拡散タイプ、防雨型、PaPIRs・明るさセンサ付 可動範囲上下90度、回転方向330度 アルミダイカスト（シルバーマタリック） 点灯照度調整機能付 パネル：アクリル（透明）</p>																																																		
<p>K 軒下用ダウンライト 100形電球1灯器具相当</p>  <p>パナソニック LSEWC5040LE1 電球色（2700K）、Ra83 器具光束700lm、消費電力7.6W、電圧100V 電源ユニット内蔵、拡散タイプ、PaPIRs・明るさセンサ付 防雨型、高気密SB形、点灯照度調整機能付 枠：アルミダイカスト（ホワイツつや消し） 光源寿命4000時間（光束維持率70%） 埋込穴φ100</p>	<p>L LEDダウンライト 100形電球1灯器具相当</p>  <p>パナソニック LSEW5031LE1 電球色（2700K）、Ra83 器具光束730lm、消費電力7.3W、電圧100V 拡散タイプ、高気密SB形 枠：アルミ（ホワイツつや消し） 埋込穴φ100</p>	<p>M エントランスライト 40形電球1灯器具相当</p>  <p>パナソニック エントランスライトXLGE552LF 電球色（2700K）、Ra80 光源寿命4000時間（光束維持率70%） 器具光束215lm、消費電力4.3W、電圧100V 防雨型、ネジ、ネジ込み方式、地中埋込型 ポール：ステンレス（オフブラック） ガード：アルミダイカスト（オフブラック） グローブ：ガラス（乳白つや消し）幅φ114・地上高600</p>	<p>N LEDスポットライト 60形電球1灯器具相当</p>  <p>パナソニック LGWC40585LE1 温白色（3500K）、Ra83 器具光束430lm、消費電力6.8W、電圧100V 拡散タイプ、防雨型 可動範囲上下90度、回転方向330度 アルミダイカスト（シルバーマタリック） 点灯照度調整機能付 パネル：アクリル（透明）</p>																																																			
<p>(A1) LED C級 避難口誘導灯片面型</p>  <p>パナソニック NNFA10312LE1+FK10300</p> <p>LED誘導灯コンパクトスクエア C級 片面型 壁・天井直付型 一般型（20分間） ニッケル水素蓄電池 リモコン自己点検機能付 みるだけバッテリーチェック機能付 形式認定番号：IAS111-3709</p>	<p>(B1) LED C級 通路誘導灯両面型</p>  <p>パナソニック NNFA10322LE1+FK1036+FK10317</p> <p>LED誘導灯コンパクトスクエア C級 片面型 壁・天井直付型 一般型（20分間） ニッケル水素蓄電池 リモコン自己点検機能付 みるだけバッテリーチェック機能付 形式認定番号：IAS111-3709</p>	<p>(C1) LED非常灯専用型リモコン自己点検機能付(1.0W)</p>  <p>NNFB90605K 100φ低天井・小空間（3m~） LED内蔵 30分間タイプ 非常時：非常灯用LED点灯/常時消灯 非常灯認定番号：LALE-004 レンズ：ガラス 鋼板：（クールホワイト艶消し仕上） 電圧：100V~242V 蓄電池：ニッケル水素蓄電池 点検スイッチ付、自己点検スイッチ付 充電モニター（緑）付 リモコン：FSK90910K（別売） 保守率：0.92</p> <table border="1"> <tr> <td>器具取付高さ</td> <td>2.1m</td> <td>2.4m</td> <td>2.6m</td> <td>3.0m</td> </tr> <tr> <td>単体配置</td> <td>A1</td> <td>3.8</td> <td>4.0</td> <td>4.0</td> <td>2.8</td> </tr> <tr> <td>直線配置</td> <td>A2</td> <td>8.5</td> <td>9.4</td> <td>9.9</td> <td>10.1</td> </tr> <tr> <td>四角配置</td> <td>A4</td> <td>6.9</td> <td>7.6</td> <td>8.1</td> <td>8.9</td> </tr> </table>	器具取付高さ	2.1m	2.4m	2.6m	3.0m	単体配置	A1	3.8	4.0	4.0	2.8	直線配置	A2	8.5	9.4	9.9	10.1	四角配置	A4	6.9	7.6	8.1	8.9	<p>(C2) LED非常灯専用型リモコン自己点検機能付(1.0W)</p>  <p>NNFB91605C 100φ低天井・小空間（3m~） LED内蔵 30分間タイプ 非常灯認定番号：LALE-004 非常時：非常灯用LED点灯/常時消灯 レンズ：ガラス 鋼板：（クールホワイト艶消し仕上） 電圧：100V~242V 蓄電池：ニッケル水素蓄電池 点検スイッチ付、自己点検スイッチ付 充電モニター（緑）付 リモコン：FSK90910K（別売） 保守率：0.92</p> <table border="1"> <tr> <td>器具取付高さ</td> <td>2.1m</td> <td>2.4m</td> <td>2.6m</td> <td>3.0m</td> <td>4.0m</td> </tr> <tr> <td>単体配置</td> <td>A1</td> <td>4.2</td> <td>4.6</td> <td>4.7</td> <td>4.9</td> <td>3.3</td> </tr> <tr> <td>直線配置</td> <td>A2</td> <td>9.3</td> <td>10.2</td> <td>10.8</td> <td>11.9</td> <td>12.9</td> </tr> <tr> <td>四角配置</td> <td>A4</td> <td>7.4</td> <td>8.2</td> <td>8.7</td> <td>9.6</td> <td>11.7</td> </tr> </table>	器具取付高さ	2.1m	2.4m	2.6m	3.0m	4.0m	単体配置	A1	4.2	4.6	4.7	4.9	3.3	直線配置	A2	9.3	10.2	10.8	11.9	12.9	四角配置	A4	7.4	8.2	8.7	9.6	11.7	
器具取付高さ	2.1m	2.4m	2.6m	3.0m																																																		
単体配置	A1	3.8	4.0	4.0	2.8																																																	
直線配置	A2	8.5	9.4	9.9	10.1																																																	
四角配置	A4	6.9	7.6	8.1	8.9																																																	
器具取付高さ	2.1m	2.4m	2.6m	3.0m	4.0m																																																	
単体配置	A1	4.2	4.6	4.7	4.9	3.3																																																
直線配置	A2	9.3	10.2	10.8	11.9	12.9																																																
四角配置	A4	7.4	8.2	8.7	9.6	11.7																																																

外部北	
(J)	1

脱衣室 1・2・3	
(D)	5

会議室	
(D)	1
(I)	1

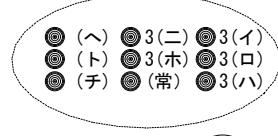
世話人室	
(C)	1
(D)	1

短期入所室	
(C)	1

洗濯室	
(B)	2

倉庫	
(A)	2

デッキ	
(N)	1

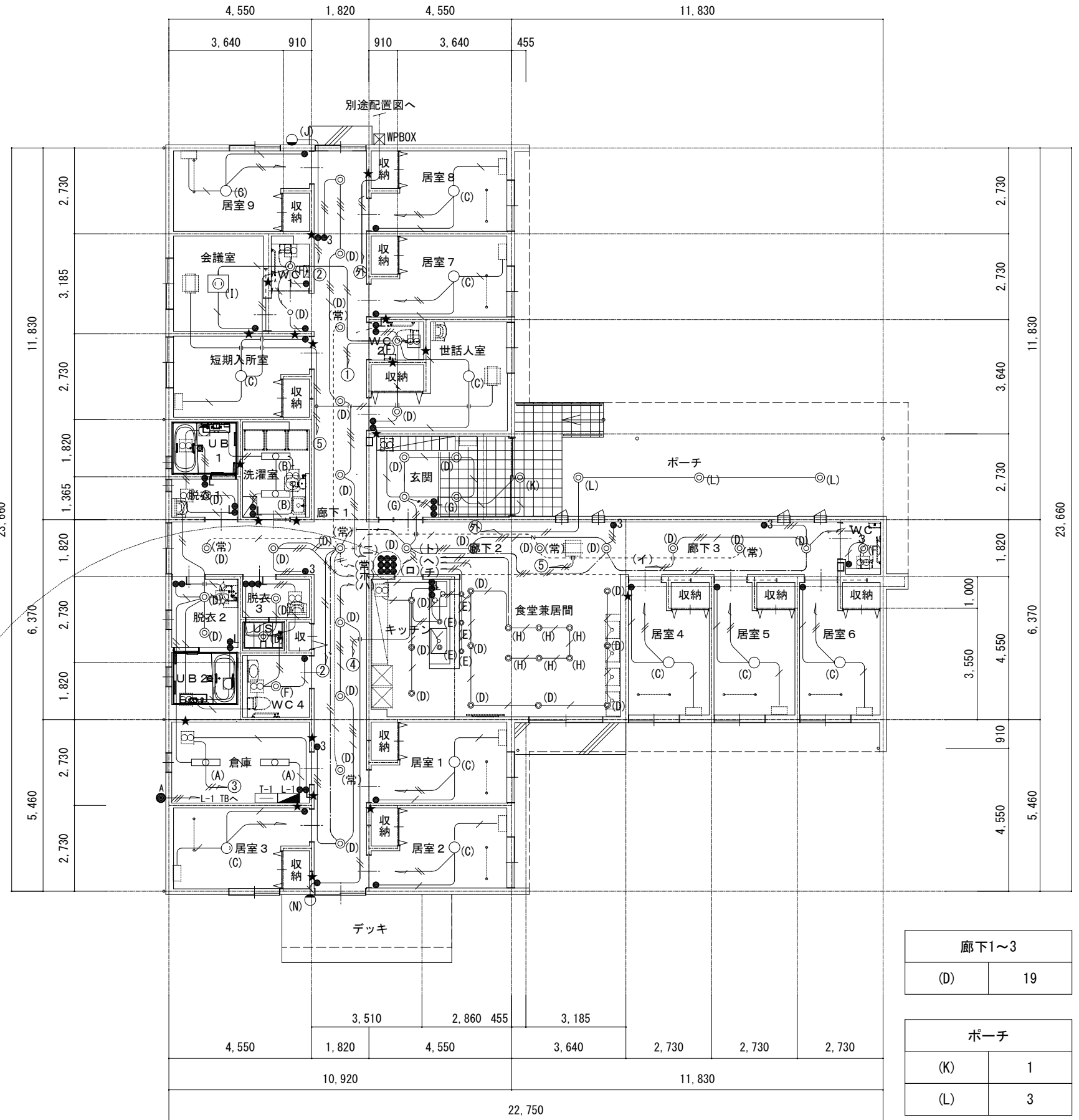


Y4

Y3

Y2

Y1



X1

X2

X3

★は区画貫通処理を示す  
国土省認定番号 PS060WL-0898

1階平面図

キッチン	
(D)	3
(E)	2

食堂兼居間	
(D)	7
(E)	3
(H)	6

居室 1~9室	
(C)	9

特記なき配管・配線は下記とする。

	WF1.6-2C (PF-16)
	WF1.6-3C (PF-16)
	VF2.0-2C (PF-16)
	CV5.5sq*3C (FEP-30)

二重天井内はケーブル工事とする。

凡例

記号	機器名称
(外)	外灯自動点灯定刻消灯制御回路
(常)	常夜灯
●	スイッチ
●L	換気扇用表示スイッチ
●A	自動点滅器 100V3A
□	支給品ブラケット
⊗	防水中継ボックス
⊞	全熱交換器 (カセット形) (本体機械工事)
⊞	全熱交換器 (壁掛形) (本体機械工事)
⊞	天井埋込換気扇 (本体機械工事)

\*照明別紙器具表

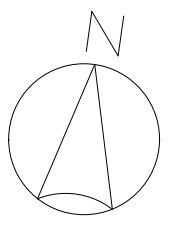
WC 1・2・3・4	
(F)	4

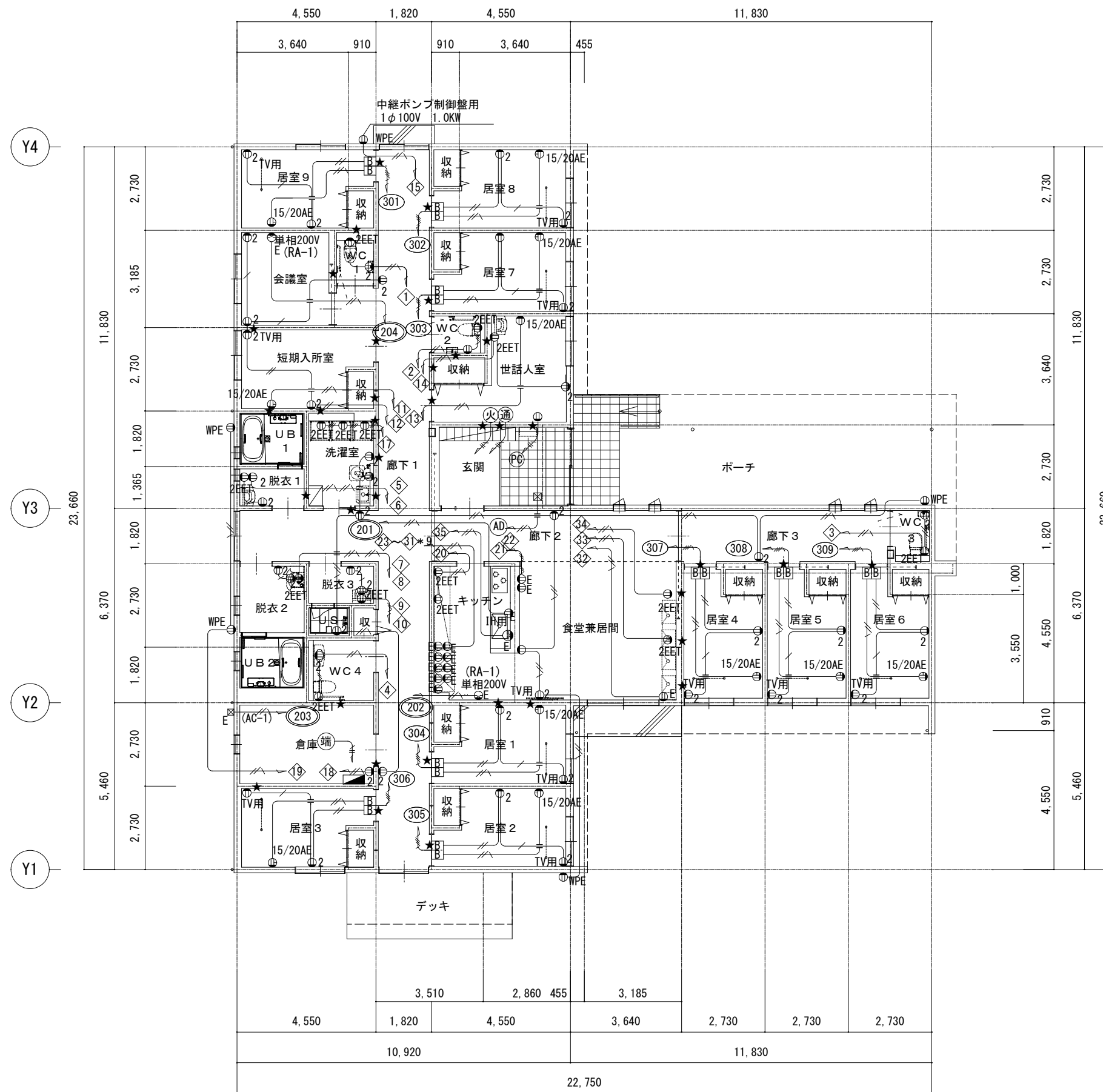
玄関	
(D)	2
(G)	2

植栽	
(M)	1

廊下1~3	
(D)	19

ポーチ	
(K)	1
(L)	3





特記なき配管・配線は下記とする。

	VVF1.6-2C (PF-16)
	VVF1.6-3C (PF-16)
	VVF2.0-2C (PF-16)
	VVF2.0-3C (PF-22)
	VVF2.6-3C (PF-22)

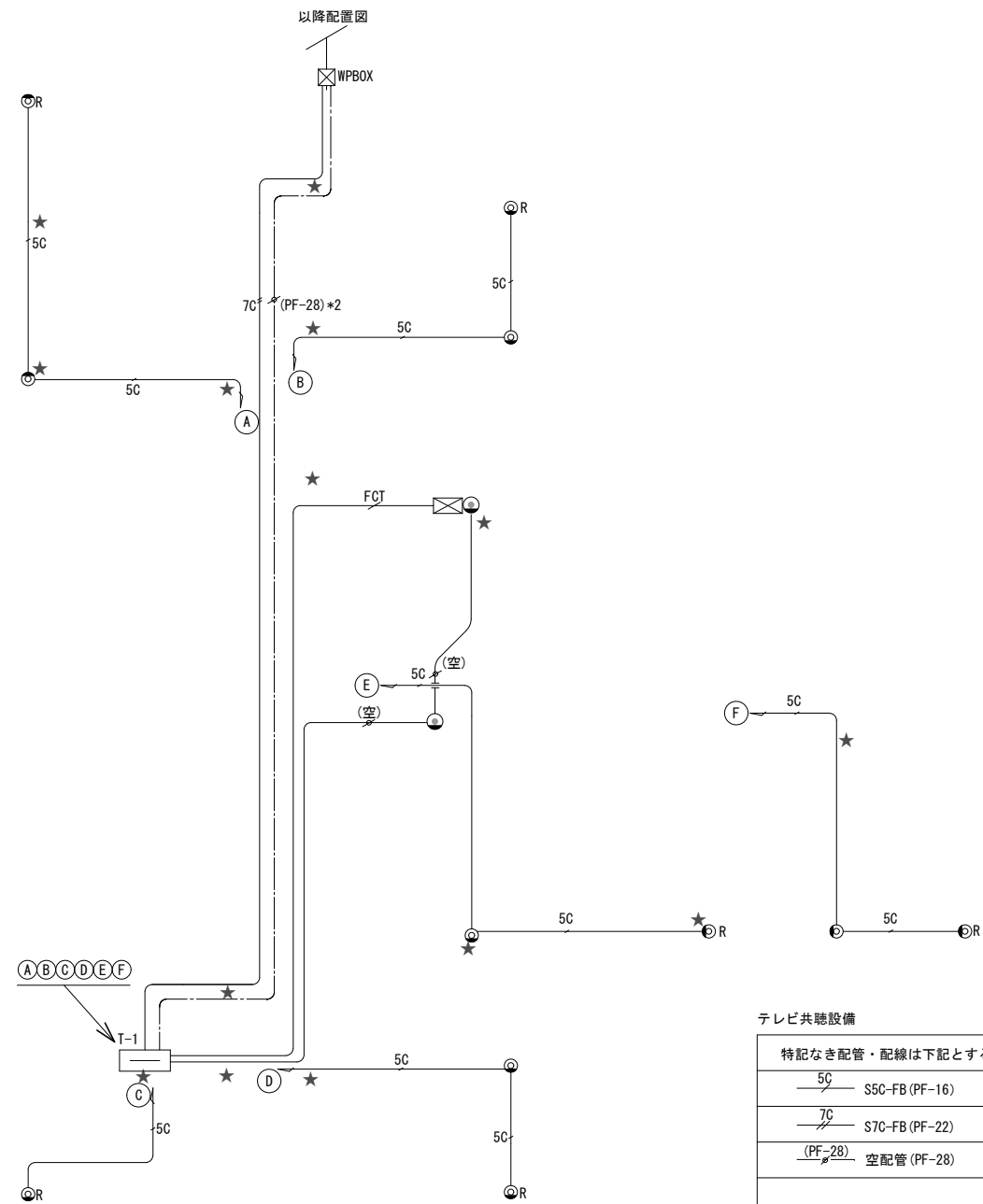
二重天井内はケーブル工事とする。

凡例

記号	機器名称
	単相 200V30A IHヒーター電源 (アース付き)
	エアコン室外機電源 (アース) (単相200V直接接続)
	単相 200V エアコンコンセント (アース)
	単相 100V エアコン用15/20A兼用コンセント (アース付き)
	単相 100V 専用コンセント (アース付き)
	単相 100V コンセント (アース付)
	単相 100V 防水コンセント (アース付き)
	単相 100V 一般コンセント
	電灯盤 (2P1E20A * 2回路)
(AC-1)	食堂兼居間エアコン (外機電源単相200)
(RA-1)	会議室・キッチンエアコン (室内機コンセント単相200V)

★は区画貫通処理を示す  
国土省認定番号 PS060WL-0898

1階平面図



A B C D E F

テレビ共聴設備凡例

記号	機器名
◎	中間ユニット
◎R	端末ユニット
T-1	弱電共用盤

弱電設備凡例

記号	機器名
◎	電話アウトレット
T-1	弱電共用盤
⊠	火災通報装置

★は区画貫通処理を示す  
国土省認定番号 PS060WL-0898

テレビ共聴設備

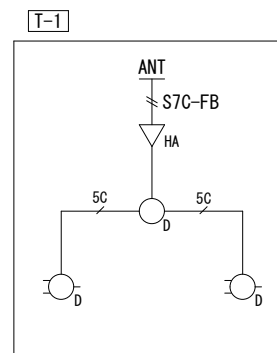
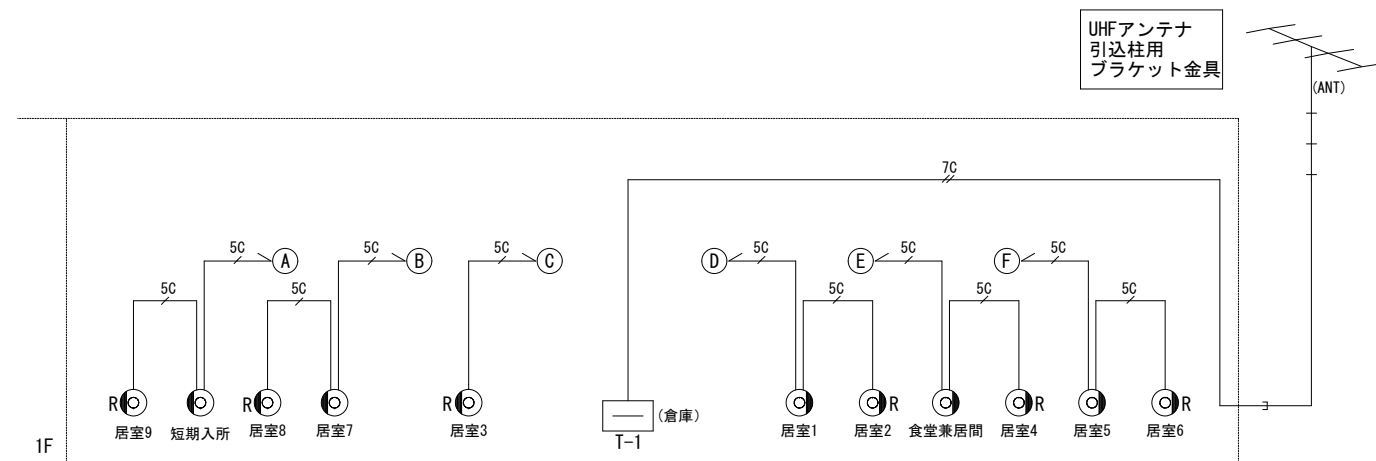
特記なき配管・配線は下記とする。

5C	S5C-FB (PF-16)
7C	S7C-FB (PF-22)
(PF-28)	空配管 (PF-28)
二重天井内はケーブル工事とする。	

弱電設備

特記なき配管・配線は下記とする。

FCT	FCT0.65*2P (PF-16)
(空)	空配管 (PF-16)
(PF-28)	空配管 (PF-28)
二重天井内はケーブル工事とする。	

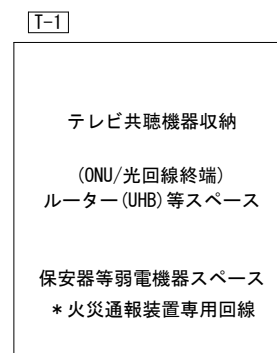
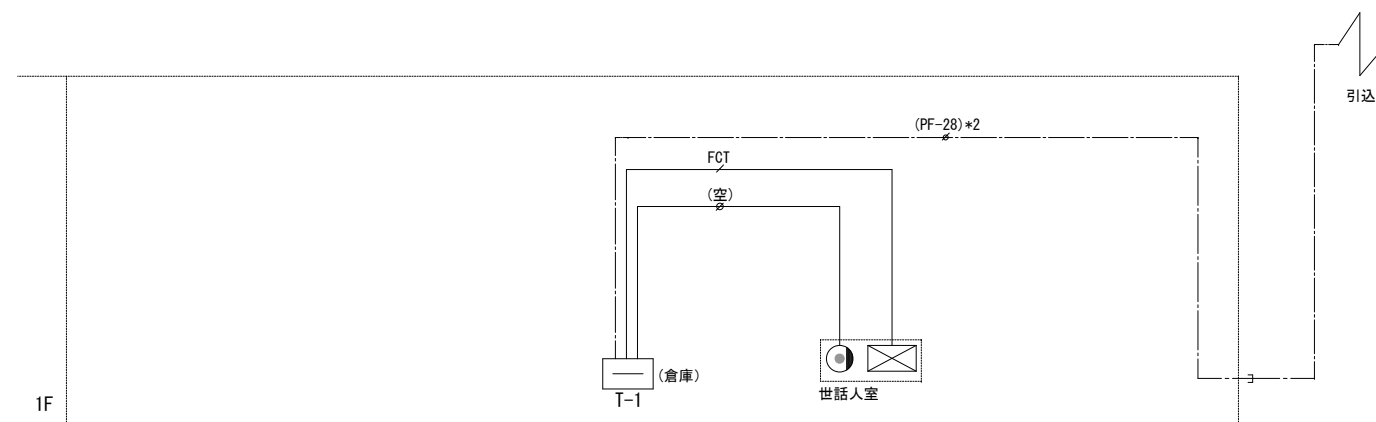


凡例

記号	機器名
◎	テレビ中間ユニット
◎R	テレビ端末ユニット
T-1	弱電共用盤
HA	増幅器
D	2分配器
D	3分配器

特記なき配管・配線は下記とする。

5C	S5C-FB (PF-16)
7C	S7C-FB (PF-22)
(PF-28)	空配管 (PF-28)
二重天井内はケーブル工事とする。	



凡例

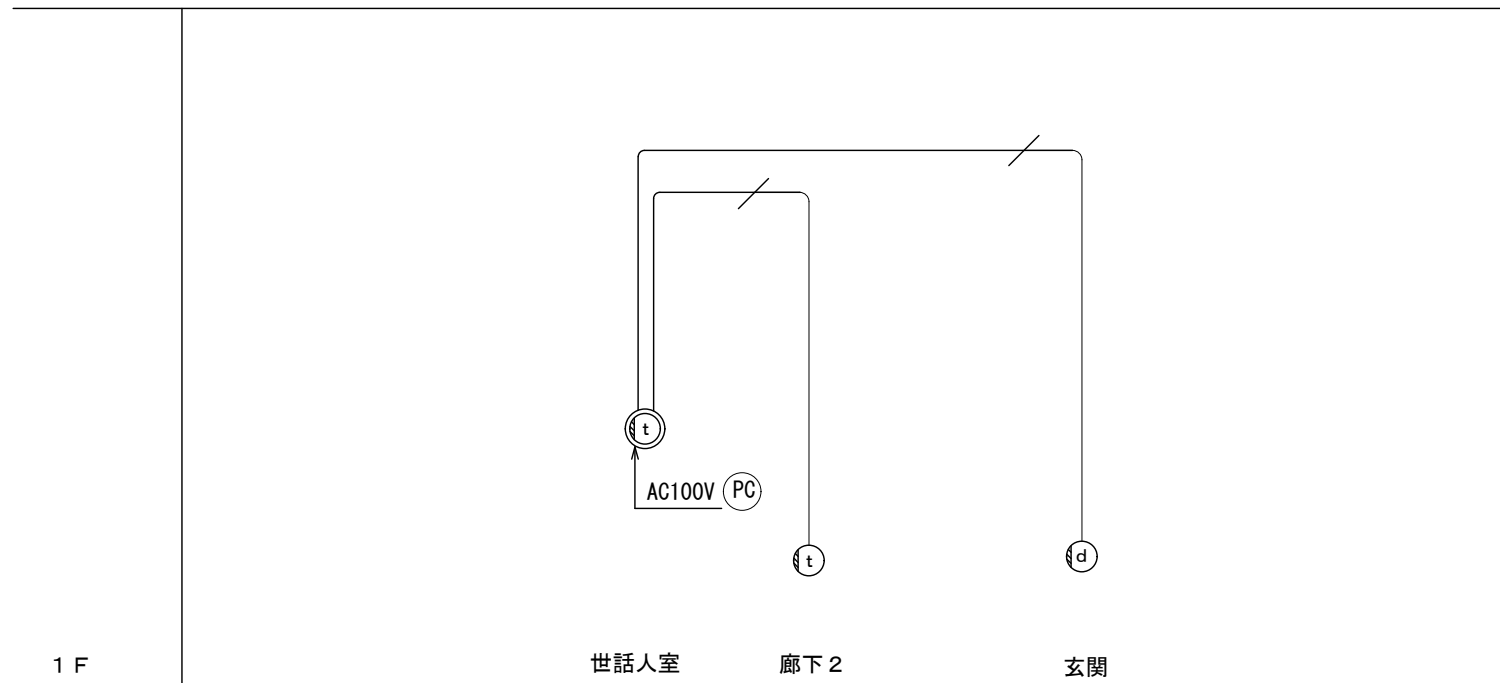
記号	機器名
◎	電話アウトレット
T-1	弱電共用盤
⊠	火災通報装置

特記なき配管・配線は下記とする。

FCT	FCT0.65*2P (PF-16)
(空)	空配管 (PF-16)
UTP0.5*4P	UTP0.5*4P (PF-16)
(PF-28)	空配管 (PF-28)
二重天井内はケーブル工事とする。	

(t)	VL-ME31X	(d)	VL-V525L-K	(t)	VL-V633K																								
テレビドアホン VL-SE31XL 		玄関子機 																											
VL-SE31XLのモニター親機 <table border="1"> <tr><td>電源</td><td>AC 100V (50 Hz/60 Hz)</td></tr> <tr><td>消費電力</td><td>待機時：約1.4 W 動作時：約8.5 W</td></tr> <tr><td>質量</td><td>約340 g</td></tr> <tr><td>画面表示</td><td>約3.5型カラー液晶ディスプレイ</td></tr> </table>		電源	AC 100V (50 Hz/60 Hz)	消費電力	待機時：約1.4 W 動作時：約8.5 W	質量	約340 g	画面表示	約3.5型カラー液晶ディスプレイ	<table border="1"> <tr><td>電源電圧</td><td>待機時：DC 約5 V 動作時：DC 約20 V</td></tr> <tr><td>消費電流</td><td>待機時：DC 約2 mA 動作時：DC 約130 mA</td></tr> <tr><td>質量</td><td>約190 g</td></tr> <tr><td>取付方法</td><td>露出時：JIS 1個用スイッチボックス適合</td></tr> </table>		電源電圧	待機時：DC 約5 V 動作時：DC 約20 V	消費電流	待機時：DC 約2 mA 動作時：DC 約130 mA	質量	約190 g	取付方法	露出時：JIS 1個用スイッチボックス適合	<table border="1"> <tr><td>電源</td><td>AC 100V (50 Hz/60 Hz)</td></tr> <tr><td>消費電力</td><td>待機時：約2.2 W 動作時：約4.7 W</td></tr> <tr><td>質量</td><td>約400 g</td></tr> <tr><td>画面表示</td><td>約3.5型カラー液晶ディスプレイ</td></tr> </table>		電源	AC 100V (50 Hz/60 Hz)	消費電力	待機時：約2.2 W 動作時：約4.7 W	質量	約400 g	画面表示	約3.5型カラー液晶ディスプレイ
電源	AC 100V (50 Hz/60 Hz)																												
消費電力	待機時：約1.4 W 動作時：約8.5 W																												
質量	約340 g																												
画面表示	約3.5型カラー液晶ディスプレイ																												
電源電圧	待機時：DC 約5 V 動作時：DC 約20 V																												
消費電流	待機時：DC 約2 mA 動作時：DC 約130 mA																												
質量	約190 g																												
取付方法	露出時：JIS 1個用スイッチボックス適合																												
電源	AC 100V (50 Hz/60 Hz)																												
消費電力	待機時：約2.2 W 動作時：約4.7 W																												
質量	約400 g																												
画面表示	約3.5型カラー液晶ディスプレイ																												

・モニター親機：VL-ME31X、玄関子機：VL-V525L-Kのセット品番です。  
 (モニター親機の単品販売はございません。)  
 (玄関子機の単品販売はございません。)

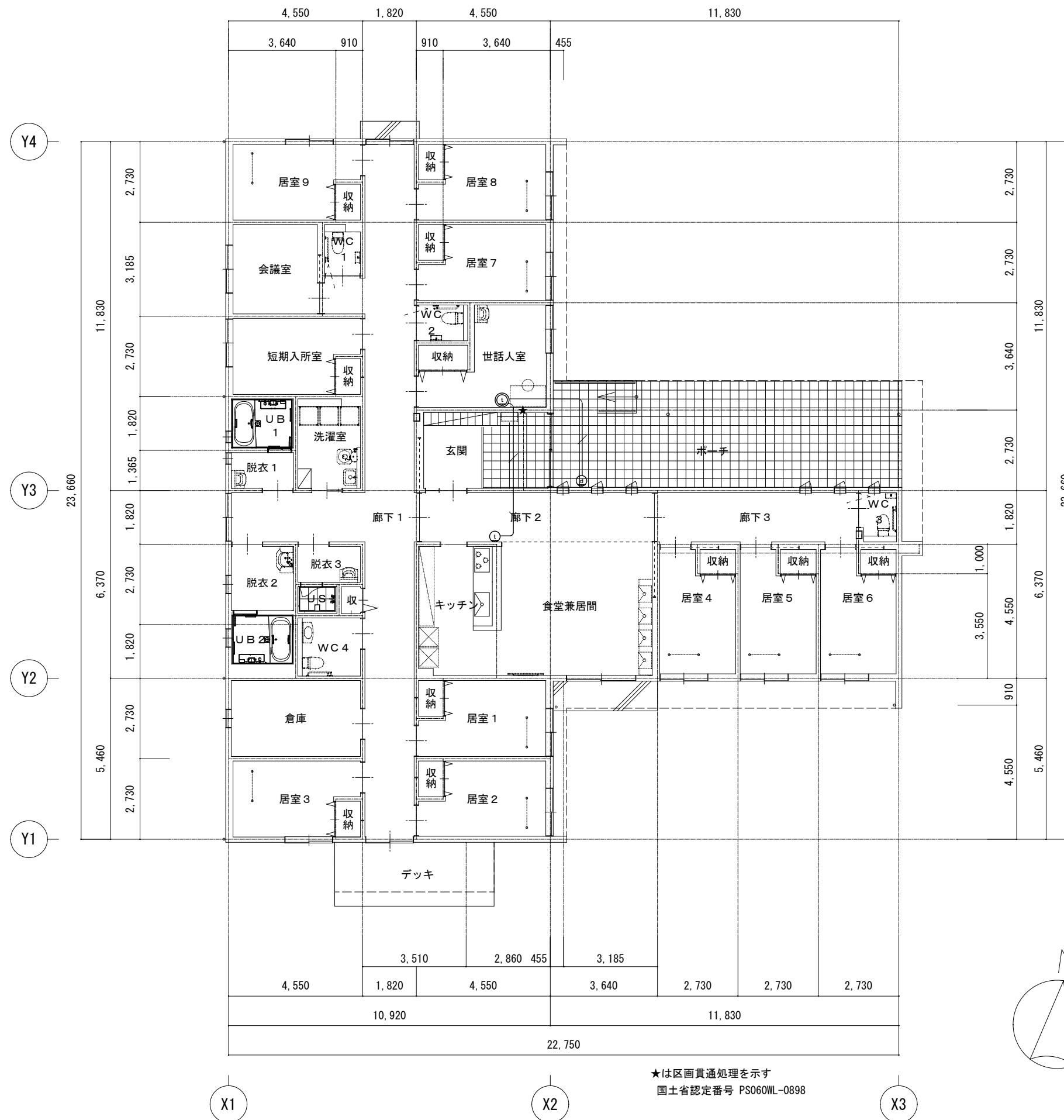


凡例

(d)	カメラ付ドアホン子機
(t)	モニター付きインターホン親機
(t)	モニター付きインターホン子機

配線仕様

— / —	AE 0.9-4C (PF16)
-------	------------------



配線仕様  
 AE 0.9-4C (PF16)

- 凡例
- カメラ付ドアホン子機
  - モニター付きインターホン親機
  - モニター付きインターホン子機

★は区画貫通処理を示す  
 国土省認定番号 PS060WL-0898

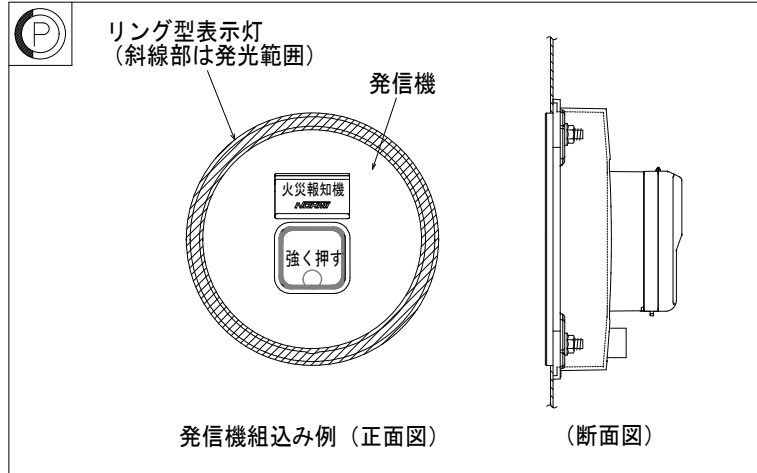
1階平面図

凡	例
記号	名称
⊗	受信機
⊗	火災通報装置
SW	連動停止スイッチ箱
□	機器収容箱
ⓐ	P型発信機
ⓑ	火災警報ベル
Ω	終端抵抗
◇	終端抵抗
△	終端感知器設定
ⓐ	光電式スポット型感知器
ⓑ	光電式スポット型感知器
Ⓒ	差動式スポット型感知器
Ⓓ	定温式スポット型感知器
ⓐ	警戒区域番号
ⓑ	警戒区域番号
—	配管配線
SP	消火ポンプ制御盤
中継	中継ポンプ槽制御盤
警報	警報盤

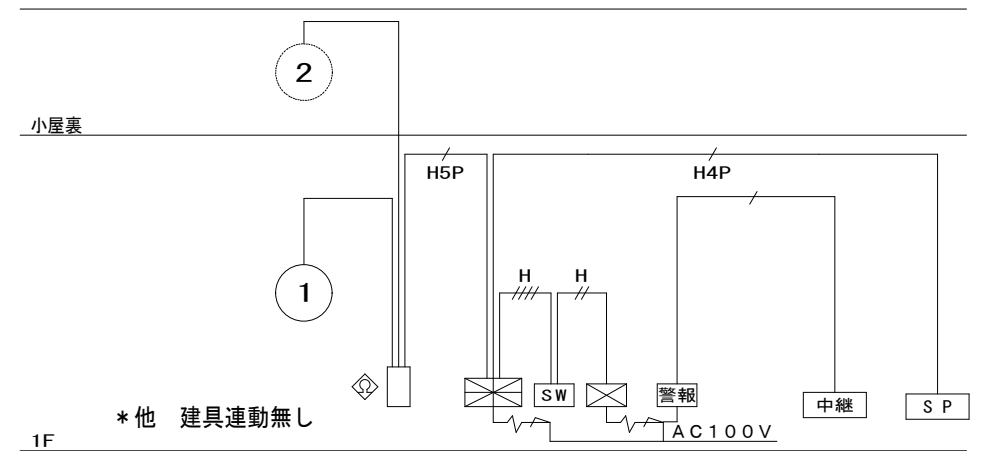
**注記**

- 受信機仕様
  - P型1級、壁掛型、窓式、主音響（音声警報）・予備電源内蔵、蓄積式、自動断線警報機能付
  - 4型LCD表示
  - オプションメッセージ表示機能付
  - 感知器情報トレンド表示機能付（自動試験機能付光電式・定温式感知器のみ）
  - 感知器汚れ量表示機能付（自動試験機能付光電式感知器のみ）
  - 操作無効機能付
  - カラーユニバーサルデザイン対応
  - 履歴リスト機能（全履歴20,000件、自動試験履歴30,000件）
  - 表示内訳
    - 火災表示 2L+3L（予備）=5L

- 諸表示部（3L）
  - グループホーム用SPポンプ警報（3L）（単独窓表示=起動・故障・減水）
  - 【警報盤】
    - 中継ポンプ槽満水表示（1L）
- 移報信号内訳：
  - 火災通報装置へ火災代表信号移報（無電圧、a接点、1L）
- 1回線には自動試験機能付感知器を最大60個接続可能とする。
- 感知器は確認灯付とする。
- 地区ベル鳴動方式は一斉鳴動方式とする。
- リング型表示灯付発信機の参考外観図は下記とする。



- 感知器取付用金具および金具取付工事は別途電気工事とする。
  - 特記なき配管配線は下記参照。  
（二重天井内はケーブル配線も可とする）
    - [感知器]
      - AE0. 9-2C (PF16)
      - AE0. 9-4C (PF16)
      - HP1. 2-2C (PF16)
      - HP1. 2-4C (PF16)
      - HP1. 2-3P (PF22)
      - HP1. 2-5P (PF22)
    - [警報盤]
      - AE1. 2-2C (PF16)
- AE：警報用ケーブル  
HP：耐熱ケーブル



自動火災報知設備系統図

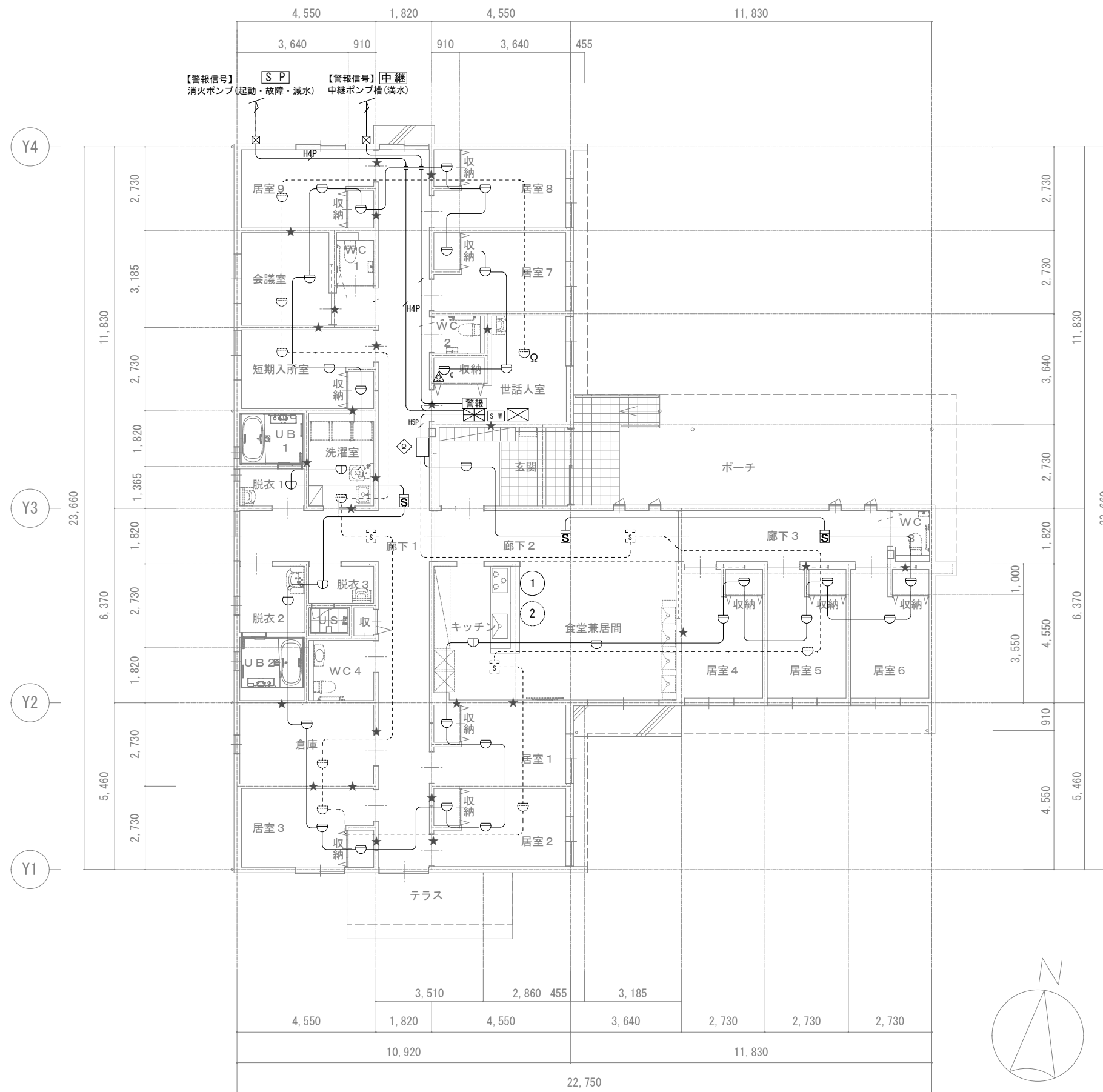
⊗	火災通報装置 システム構成図	警報	警報盤														
		<table border="1"> <tr> <td>仕様</td> <td></td> </tr> <tr> <td>形式</td> <td>GAP-1N(屋内用露出型)</td> </tr> <tr> <td>ボデー</td> <td>スチロール樹脂(難燃性樹脂)</td> </tr> <tr> <td>ドア</td> <td>スチロール樹脂(難燃性樹脂)</td> </tr> <tr> <td>色</td> <td>外面 ホワイト(N-9.5)</td> </tr> <tr> <td>彩</td> <td>内面 ホワイト(N-9.5)</td> </tr> <tr> <td>警報入力</td> <td>無電圧a接点入力</td> </tr> </table>		仕様		形式	GAP-1N(屋内用露出型)	ボデー	スチロール樹脂(難燃性樹脂)	ドア	スチロール樹脂(難燃性樹脂)	色	外面 ホワイト(N-9.5)	彩	内面 ホワイト(N-9.5)	警報入力	無電圧a接点入力
仕様																	
形式	GAP-1N(屋内用露出型)																
ボデー	スチロール樹脂(難燃性樹脂)																
ドア	スチロール樹脂(難燃性樹脂)																
色	外面 ホワイト(N-9.5)																
彩	内面 ホワイト(N-9.5)																
警報入力	無電圧a接点入力																

⊗	受信機 (自動試験機能付)	FAPJ107S-R型シリーズ																
<table border="1"> <tr> <td>電源電圧</td> <td>AC100V</td> </tr> <tr> <td>予備電源</td> <td>密閉型蓄電池、トリクル充電方式</td> </tr> <tr> <td>構造・種別</td> <td>露出・壁掛型、P型1級火災受信機</td> </tr> <tr> <td>主音響</td> <td>音声警報・後続再鳴動方式</td> </tr> <tr> <td>主材・色</td> <td>難燃性樹脂・ノーマルホワイト(NW) (マンセルN8.7近似色)</td> </tr> <tr> <td>環境条件</td> <td>温度範囲: 0°C~40°C、湿度範囲: 20~85%(RH)</td> </tr> <tr> <td>質量</td> <td>約4kg</td> </tr> <tr> <td>備考</td> <td>2.4型LCD表示、オプションメッセージ表示機能 感知器情報トレンド表示機能付 (光電式・定温式感知器のみ) 感知器汚れ量表示機能付 履歴リスト機能; (全履歴20,000件) カラーユニバーサルデザイン対応 国検型式番号; 受第2023-11号 (能美防災)</td> </tr> </table>			電源電圧	AC100V	予備電源	密閉型蓄電池、トリクル充電方式	構造・種別	露出・壁掛型、P型1級火災受信機	主音響	音声警報・後続再鳴動方式	主材・色	難燃性樹脂・ノーマルホワイト(NW) (マンセルN8.7近似色)	環境条件	温度範囲: 0°C~40°C、湿度範囲: 20~85%(RH)	質量	約4kg	備考	2.4型LCD表示、オプションメッセージ表示機能 感知器情報トレンド表示機能付 (光電式・定温式感知器のみ) 感知器汚れ量表示機能付 履歴リスト機能; (全履歴20,000件) カラーユニバーサルデザイン対応 国検型式番号; 受第2023-11号 (能美防災)
電源電圧	AC100V																	
予備電源	密閉型蓄電池、トリクル充電方式																	
構造・種別	露出・壁掛型、P型1級火災受信機																	
主音響	音声警報・後続再鳴動方式																	
主材・色	難燃性樹脂・ノーマルホワイト(NW) (マンセルN8.7近似色)																	
環境条件	温度範囲: 0°C~40°C、湿度範囲: 20~85%(RH)																	
質量	約4kg																	
備考	2.4型LCD表示、オプションメッセージ表示機能 感知器情報トレンド表示機能付 (光電式・定温式感知器のみ) 感知器汚れ量表示機能付 履歴リスト機能; (全履歴20,000件) カラーユニバーサルデザイン対応 国検型式番号; 受第2023-11号 (能美防災)																	

⊗	火災通報装置	CAFJ002-R型												
<table border="1"> <tr> <td>電源電圧</td> <td>AC100V</td> </tr> <tr> <td>種別</td> <td>火災通報装置・予備電源内蔵</td> </tr> <tr> <td>適用回線</td> <td>NTT電話回線(アナログ回線)</td> </tr> <tr> <td>通報先</td> <td>119番 + 一般通報16ヶ所</td> </tr> <tr> <td>質量</td> <td>約2kg</td> </tr> <tr> <td>備考</td> <td>(財)日本消防設備安全センター火災通報装置、認定番号: 火通-045号 (財)電気通信端末機器審査協会技術基準適合、認定番号: A16-0095001</td> </tr> </table>			電源電圧	AC100V	種別	火災通報装置・予備電源内蔵	適用回線	NTT電話回線(アナログ回線)	通報先	119番 + 一般通報16ヶ所	質量	約2kg	備考	(財)日本消防設備安全センター火災通報装置、認定番号: 火通-045号 (財)電気通信端末機器審査協会技術基準適合、認定番号: A16-0095001
電源電圧	AC100V													
種別	火災通報装置・予備電源内蔵													
適用回線	NTT電話回線(アナログ回線)													
通報先	119番 + 一般通報16ヶ所													
質量	約2kg													
備考	(財)日本消防設備安全センター火災通報装置、認定番号: 火通-045号 (財)電気通信端末機器審査協会技術基準適合、認定番号: A16-0095001													

SW	火災通報装置連動停止スイッチ箱	FHH011型								
<table border="1"> <tr> <td>種別</td> <td>火災通報専用電話機</td> </tr> <tr> <td>主材</td> <td>難燃性ABS樹脂</td> </tr> <tr> <td>質量</td> <td>約0.6kg</td> </tr> <tr> <td>備考</td> <td>(財)日本消防設備安全センター火災通報装置、認定番号: 火通-038号 (財)電気通信端末機器審査協会技術基準適合、認定番号: P96-0021-0</td> </tr> </table>			種別	火災通報専用電話機	主材	難燃性ABS樹脂	質量	約0.6kg	備考	(財)日本消防設備安全センター火災通報装置、認定番号: 火通-038号 (財)電気通信端末機器審査協会技術基準適合、認定番号: P96-0021-0
種別	火災通報専用電話機									
主材	難燃性ABS樹脂									
質量	約0.6kg									
備考	(財)日本消防設備安全センター火災通報装置、認定番号: 火通-038号 (財)電気通信端末機器審査協会技術基準適合、認定番号: P96-0021-0									

SW	火災通報装置連動停止スイッチ箱	FHH011型								
<table border="1"> <tr> <td>種別</td> <td>火災通報装置連動停止スイッチ箱</td> </tr> <tr> <td>主材</td> <td>ポリカーボネート系樹脂、クリーム色</td> </tr> <tr> <td>質量</td> <td>約235g</td> </tr> <tr> <td>備考</td> <td></td> </tr> </table>			種別	火災通報装置連動停止スイッチ箱	主材	ポリカーボネート系樹脂、クリーム色	質量	約235g	備考	
種別	火災通報装置連動停止スイッチ箱									
主材	ポリカーボネート系樹脂、クリーム色									
質量	約235g									
備考										



【警報信号】  
消火ポンプ(起動・故障・減水)

【警報信号】  
中継  
中継ポンプ槽(満水)

★は区画貫通処理を示す  
国土省認定番号 PS060WL-0898

特記なき配管・配線は下記とする。

(警報線)	AE 1.2-2C (PF-16)
(感知器)	AE 0.9-2C (PF-16)
(感知器)	AE 0.9-2C (PF-16)
	AE 0.9-4C (PF-16)
	HP 1.2-2C (PF-16)
	HP 1.2-4P (PF-16)
	HP 1.2-3P (PF-22)
	HP 1.2-4P (PF-22)
	HP 1.2-5P (PF-22)

二重天井内はケーブル工事とする。

AE: 警報用ケーブル  
HP: 耐熱ケーブル  
---: 小屋裏配線

凡例

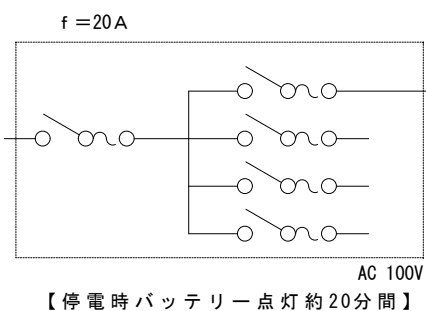
記号	機器名称
☒	受信機
☒	火災通報装置
☒	連動停止スイッチ箱
☐	機器収納箱 ※埋込型
Ⓟ	P型発信機
ⓑ	火災警報ベル
Ω	終端抵抗
⊕	終端抵抗
⊕	終端感知器設定
☒	光電式スポット型感知器
☒	光電式スポット型感知器
⊖	差動式スポット型感知器
⊖	差動式スポット型感知器 (小屋裏用)
⊖	定温式スポット型感知器
Ⓝ	警戒区域番号
Ⓝ	警戒区域番号 (小屋裏)
☒	防水中継ボックス
☒	消火ポンプ制御盤
☒	中継ポンプ槽制御盤
☒	警報盤

1階平面図

特記なき配管・配線は下記とする。

	WF1.6-2C (PF-16)
	WF2.0-2C (PF-16)

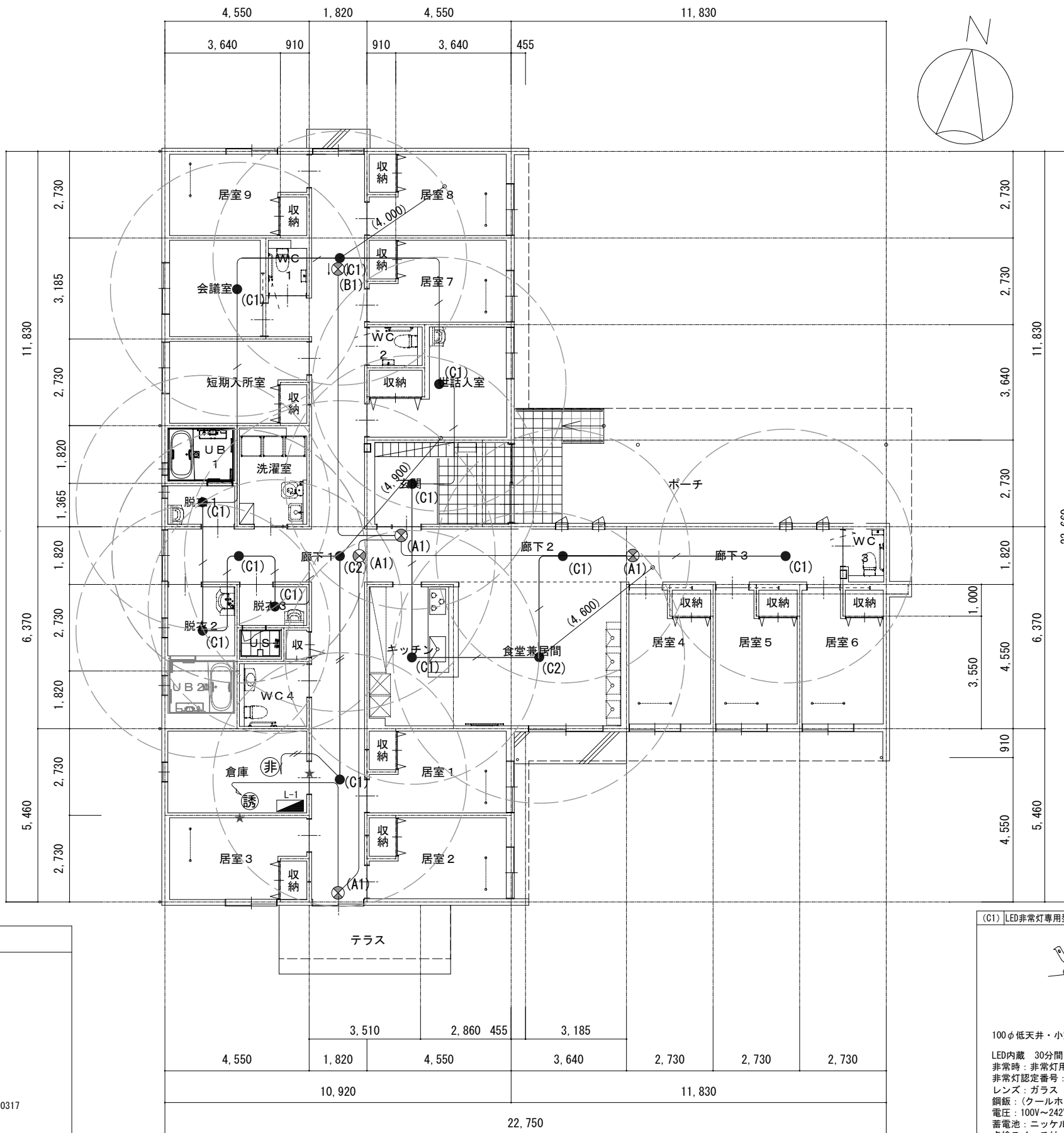
二重天井内はケーブル工事とする。



誘導灯凡例

記号	機器名称
(A1)	C級 避難口誘導灯片面型
(B2)	C級 通路誘導灯両面型

A1	LED C級 避難口誘導灯片面型	B1	LED C級 通路誘導灯両面型
パナソニック NNFA10312LE1+FK10300 LED誘導灯コンパクトスクエア C級 片面型 壁・天井直付型 一般型 (20分間) ニッケル水素蓄電池 リモコン自己点検機能付 みるだけバッテリーチェック機能付 形式認定番号: 1AS111-3709		パナソニック NNFA10322LE1+FK1036+FK10317 LED誘導灯コンパクトスクエア C級 片面型 一般型 (20分間) 壁・天井直付型 ニッケル水素蓄電池 リモコン自己点検機能付 みるだけバッテリーチェック機能付 形式認定番号: 1AS111-3709	



特記なき配管・配線は下記とする。

	WF1.6-2C (PF-16)
	WF2.0-2C (PF-16)

二重天井内はケーブル工事とする。

非常灯設備凡例

記号	機器名称
(C1)	非常灯 NNFB 90605K
(C2)	非常灯 NNFB 91605C

共通設備凡例

記号	機器名称
L-1	電灯盤 (L-1)

(C1) LED非常灯専用型リモコン自己点検機能付 (1.0W)	(C2) LED非常灯専用型リモコン自己点検機能付 (1.0W)																																												
100φ低天井・小空間 (3m~) NNFB90605K LED内蔵 30分間タイプ 非常時: 非常灯用LED点灯/常時消灯 非常灯認定番号: LALE-004 レンズ: ガラス 鋼板: (クールホワイト艶消し仕上) 電圧: 100V~242V 蓄電池: ニッケル水素電池 点検スイッチ付、自己点検スイッチ付 充電モニター (緑) 付 リモコン: FSK90910K (別売) 保守率: 0.92	100φ低天井・小空間 (3m~) NNFB91605C LED内蔵 30分間タイプ 非常時: 非常灯用LED点灯/常時消灯 非常灯認定番号: LALE-004 レンズ: ガラス 鋼板: (クールホワイト艶消し仕上) 電圧: 100V~242V 蓄電池: ニッケル水素電池 点検スイッチ付、自己点検スイッチ付 充電モニター (緑) 付 リモコン: FSK90910K (別売) 保守率: 0.92																																												
<table border="1"> <thead> <tr> <th>器具取付高さ</th> <th>2.1m</th> <th>2.4m</th> <th>2.6m</th> <th>3.0m</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>単体配置 A1</td> <td>3.8</td> <td>4.0</td> <td>4.0</td> <td>2.8</td> </tr> <tr> <td>直線配置 A2</td> <td>8.5</td> <td>9.4</td> <td>9.9</td> <td>10.1</td> </tr> <tr> <td>四角配置 A4</td> <td>6.9</td> <td>7.6</td> <td>8.1</td> <td>8.9</td> </tr> </tbody> </table>	器具取付高さ	2.1m	2.4m	2.6m	3.0m	単体配置 A1	3.8	4.0	4.0	2.8	直線配置 A2	8.5	9.4	9.9	10.1	四角配置 A4	6.9	7.6	8.1	8.9	<table border="1"> <thead> <tr> <th>器具取付高さ</th> <th>2.1m</th> <th>2.4m</th> <th>2.6m</th> <th>3.0m</th> <th>4.0m</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>単体配置 A1</td> <td>4.2</td> <td>4.6</td> <td>4.7</td> <td>4.9</td> <td>3.3</td> </tr> <tr> <td>直線配置 A2</td> <td>9.3</td> <td>10.2</td> <td>10.8</td> <td>11.9</td> <td>12.9</td> </tr> <tr> <td>四角配置 A4</td> <td>7.4</td> <td>8.2</td> <td>8.7</td> <td>9.6</td> <td>11.7</td> </tr> </tbody> </table>	器具取付高さ	2.1m	2.4m	2.6m	3.0m	4.0m	単体配置 A1	4.2	4.6	4.7	4.9	3.3	直線配置 A2	9.3	10.2	10.8	11.9	12.9	四角配置 A4	7.4	8.2	8.7	9.6	11.7
器具取付高さ	2.1m	2.4m	2.6m	3.0m																																									
単体配置 A1	3.8	4.0	4.0	2.8																																									
直線配置 A2	8.5	9.4	9.9	10.1																																									
四角配置 A4	6.9	7.6	8.1	8.9																																									
器具取付高さ	2.1m	2.4m	2.6m	3.0m	4.0m																																								
単体配置 A1	4.2	4.6	4.7	4.9	3.3																																								
直線配置 A2	9.3	10.2	10.8	11.9	12.9																																								
四角配置 A4	7.4	8.2	8.7	9.6	11.7																																								

★は区画貫通処理を示す  
 国土省認定番号 PS060WL-0898

1階平面図

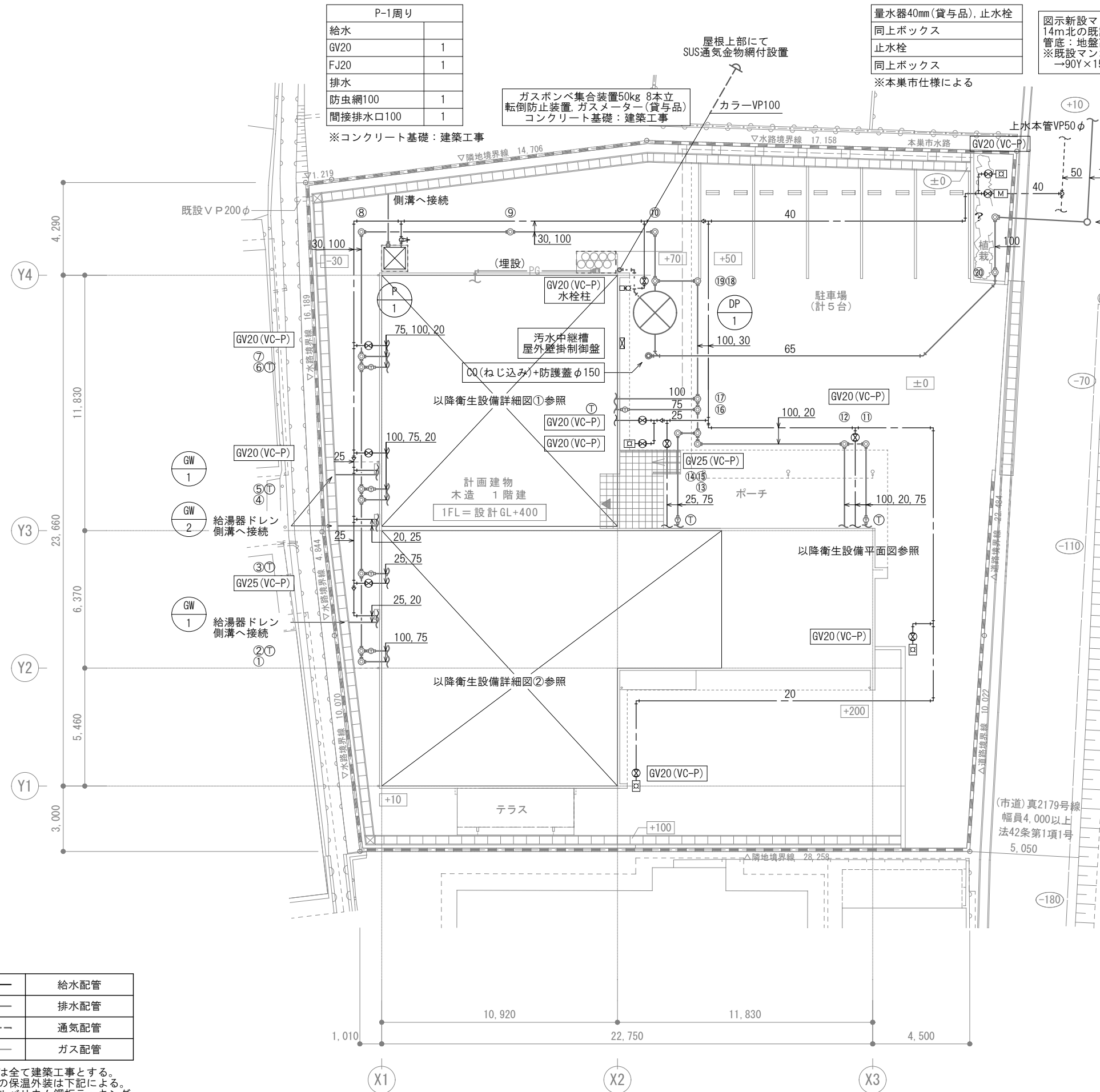


【衛生機器表】

記号	名称	仕様	電源	台数	設置場所	参考型番
GW-1	ガスふろ給湯器	24号 屋外壁掛形	1φ100V	2	屋外	RUF-E240EAW
	フルオート	ガス消費量 54.0 kW 消費電力 120 + 170 W				(リンナイ)
		付属品 配管カバー, リモコンx2(浴室/台所, 配線共), 風呂循環金具, 他標準付属品一式				
GW-2	ガス給湯器	24号 屋外壁掛形	1φ100V	1	屋外	RUX-E2403W(A)
	給湯専用	ガス消費量 44.2 kW 消費電力 55 + 169 W				(リンナイ)
		付属品 配管カバー, リモコンx2(浴室/台所, 配線共), 他標準付属品一式				
P-1	スプリンクラーポンプユニット	※消火設備図参照	3φ200V	1	屋外	
		コンクリート基礎: 建築工事				
DP-1	汚水中継ポンプ槽	型式 コンクリート既成管	1φ100V	1(組)	屋外	
	※詳細図参照	有効水量 1.5m <sup>3</sup> 流入管底 GL-1300 mm				
		ポンプ能力 150L/min×6.5m×0.4kW×2台				
		付属品 屋外壁掛制御盤(指定色), 着脱装置, 蓋(人荷重), スクリーン, 他標準付属品一式 二次配線工事: 本工事				

【衛生器具表】

器具名称	参考品番 (TOTO)	仕様・付属品	合計	WC 1	WC 2	WC 3	WC 4	脱衣 1	脱衣 2	脱衣 3	世話人室	洗濯室	食堂兼居間	キッチン	屋外
洋風大便器	CS597BCS	SH596BAYR(密結タケ), TCF589AUR(ウォシュレット, AC100V 314W), YH702(棚付二連紙巻器)	4	1	1	1	1								
I型手すり	T112C6	T110D3R(固定金具)	3	1	1	1									
L型手すり	T112CL9	T110D3R(固定金具)	1			1									
レストルームドレッサー	ULRB1R6BNNNN	(キャビネット, ハイハック手洗, 自動水栓 AC100V)	3	1	1	1									
壁掛洗面器	L270C	TLE28SA1A(自動水栓 AC100V), TLDP2201JA(排水金具), TL220D(ハックハンガー)	1			1									
マルチユーザー向けカウンター	MLUA	L=3500, 2方エプロン LS351C(洗面器)×4, REAH03B11RS25SK(自動水栓一体型電温3L, AC100V 600W)×4, ?RHE436-30(連結管)×4, TLDP2105JA(排水金具)×4, TL345C(アングル形止水栓)×4, M9P40A(フック)×5	1										1		
洗面化粧台	LDBA060BAGMS1A	(エコックル混合水栓), LMBA060B1GDC1G(化粧鏡), LTL4D12U(止水栓)×2	2					1	1						
洗面化粧台	LDBA060BAGMS1A	(エコックル混合水栓), RESK06A1R(電温6L, AC100V 600W), LTL4D12U(止水栓)×2	1							1					
洗面化粧台(車いす対応)	LDSML090AUGEZ1A	(エコックルシャワー水栓), LMSML090A2RLH1G(化粧鏡), LTL4D14U(止水栓)×2	1					1							
化粧鏡	YM511	(350×1000)	1			1									
化粧鏡	YM3045A	(300×450)	3	1	1	1									
耐食鏡	YM4560F	(450×600)	1								1				
ペーパータオルホルダー	YKT100R		4	1	1	1	1								
汚物流し	SKL330TNFPR	(TK133EQ13C(レハ-式自在水栓))	1									1			
マルチシンク	SK500	TKG20B2U(壁付2ハンドル混合水栓), T6PMR(壁排水金具), TL220D(ハックハンガー)	1									1			
洗濯パン	PWP640N2W	PJ2009NW(縦引きトラップ)	3									3			
洗濯機用横水栓	TW11R		3									3			
横水栓	T28AKUH13	水栓柱共(SUS製, 1200H)	1												1
散水栓	T28KUNH13	B-3ホック共	4												4
化粧鏡(食堂洗面)	建築工事		1										1		
UB/US	建築工事	配管接続迄機械設備工事	3					1	1	1					
キッチン(水栓共)	建築工事	止水栓及び配管接続迄機械設備工事	1												1



P-1周り	
給水	
GV20	1
FJ20	1
排水	
防虫網100	1
間接排水口100	1

量水器40mm(貸与品), 止水栓
同上ボックス
止水栓
同上ボックス

※本業市仕様による

図示新設マンホールから  
14m北の既設マンホール(下水本管VU150φ,  
管底:地盤高-1,280)より延長工事:本工事  
※既設マンホール(塩ビ製小口径マンホール90L×150×300φ防護蓋(T-25)  
→90Y×150×300φ防護蓋(T-25)へ変更)

ガスボンベ集合装置50kg 8本立  
転倒防止装置, ガスメーター(貸与品)  
コンクリート基礎:建築工事

※コンクリート基礎:建築工事

1号マンホール(蓋共)新設  
上水新規引込工事:本工事  
給水加入金:別途工事  
下水延長工事:本工事  
下水新規接続工事:本業市工事  
(取付桝設置迄)  
受益者負担金:別途工事

【排水桝リスト】

記号	仕様	参考 管底高さ	樹仕様
汚水		GL基準	
①	目皿付トラップ桝 SUT 75-150	-600	樹脂蓋
②	塩ビ製小口径桝 90L 100-150	-600	樹脂蓋
③	塩ビ製小口径桝 90Y 100-150	-640	樹脂蓋
④	塩ビ製小口径桝 90Y 100-150	-710	樹脂蓋
⑤	塩ビ製小口径桝 90Y 100-150	-780	樹脂蓋
⑥	塩ビ製小口径桝 90Y 100-200	-910	樹脂蓋
⑦	塩ビ製小口径桝 90Y 100-200	-950	樹脂蓋
⑧	塩ビ製小口径桝 90L 100-200	-1040	樹脂蓋
⑨	塩ビ製小口径桝 90Y 100-200	-1140	樹脂蓋
⑩	塩ビ製小口径桝 90L 100-200	-1240	樹脂蓋
⑪	塩ビ製小口径桝 90L 100-150	-670	防護蓋
⑫	塩ビ製小口径桝 90Y 100-150	-710	防護蓋
⑬	塩ビ製小口径桝 90L 100-150	-810	防護蓋
⑭	塩ビ製小口径桝 90L 100-150	-670	防護蓋
⑮	塩ビ製小口径桝 90Y 100-150	-850	防護蓋
⑯	塩ビ製小口径桝 90Y 100-150	-890	防護蓋
⑰	塩ビ製小口径桝 90Y 100-200	-930	防護蓋
⑱	塩ビ製小口径桝 90L 100-200	-1020	防護蓋
⑲	塩ビ製小口径桝 90Y 100-200	-1290	樹脂蓋
⑳	塩ビ製小口径桝 ST 100-150	-750	CO+防護蓋
㉑	本業市規格品(設置迄本業市工事)	-850	防護蓋

※桝深さは参考とし、現地に調整すること。  
※COはねじ込み式とする。  
※防護蓋はT-8とする。

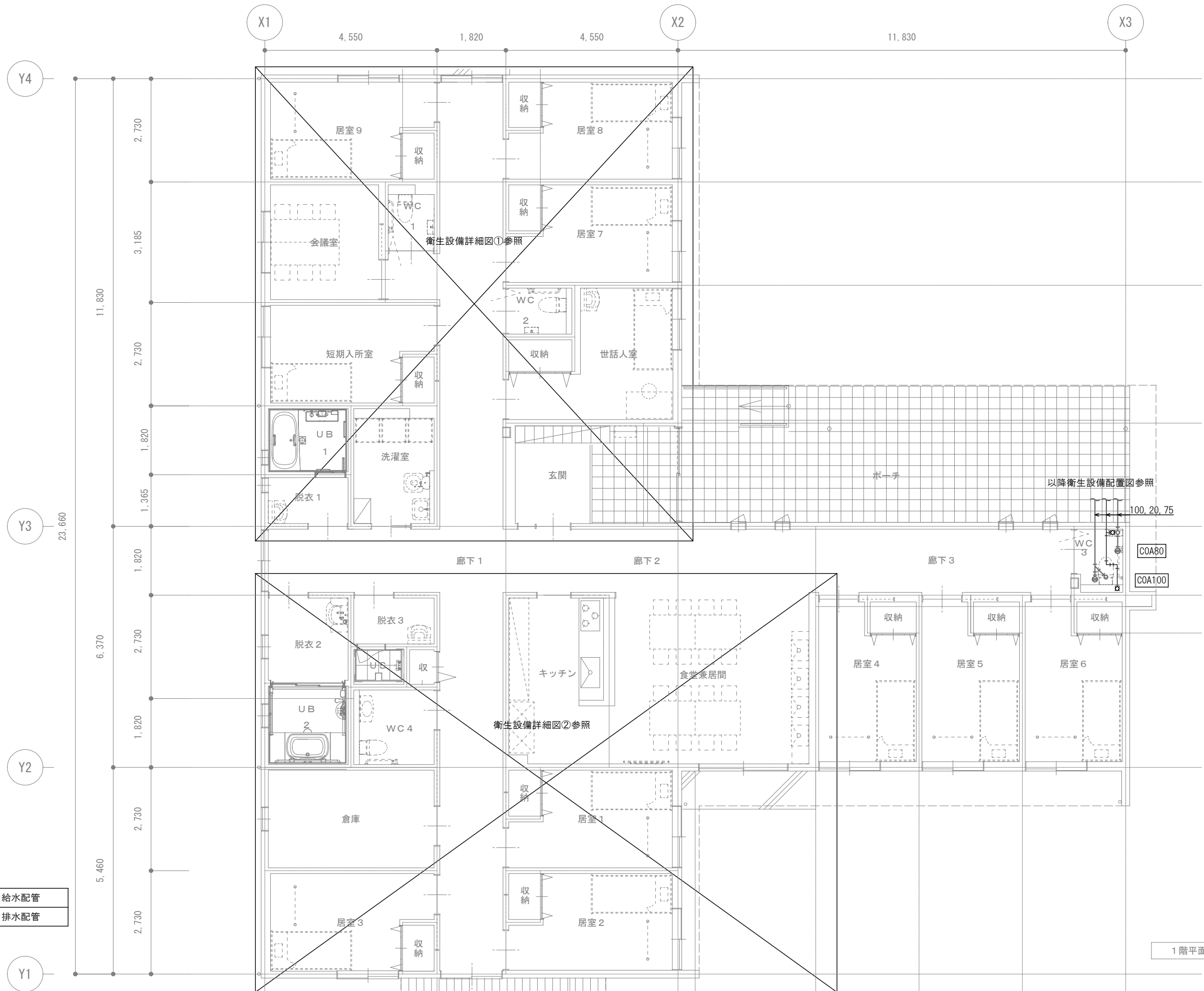
【凡例】

———	給水配管
———	排水配管
----	通気配管
— PG —	ガス配管

※雨水排水工事は全て建築工事とする。  
・屋外露出配管の保温外装は下記による。  
屋外露出:ガルバリウム鋼板ラッキング  
(保温不要配管は素地表し)

凡例	
***	現況地盤を示す (KBMより)
***	計画地盤レベルを示す (KBMより)

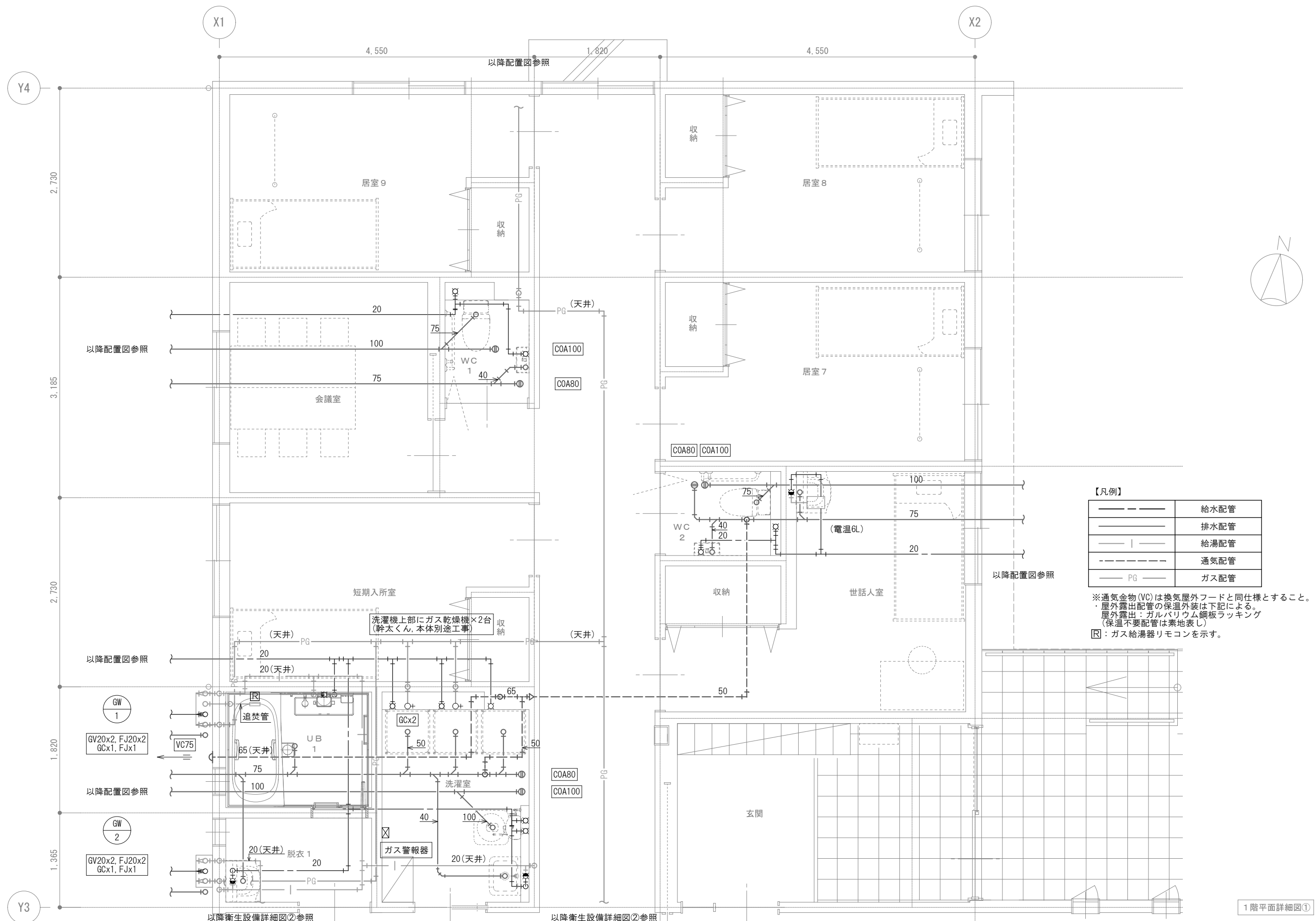
※設計GL = KBM ± 0 (標高 14.00)



【凡例】

	給水配管
	排水配管

1階平面図

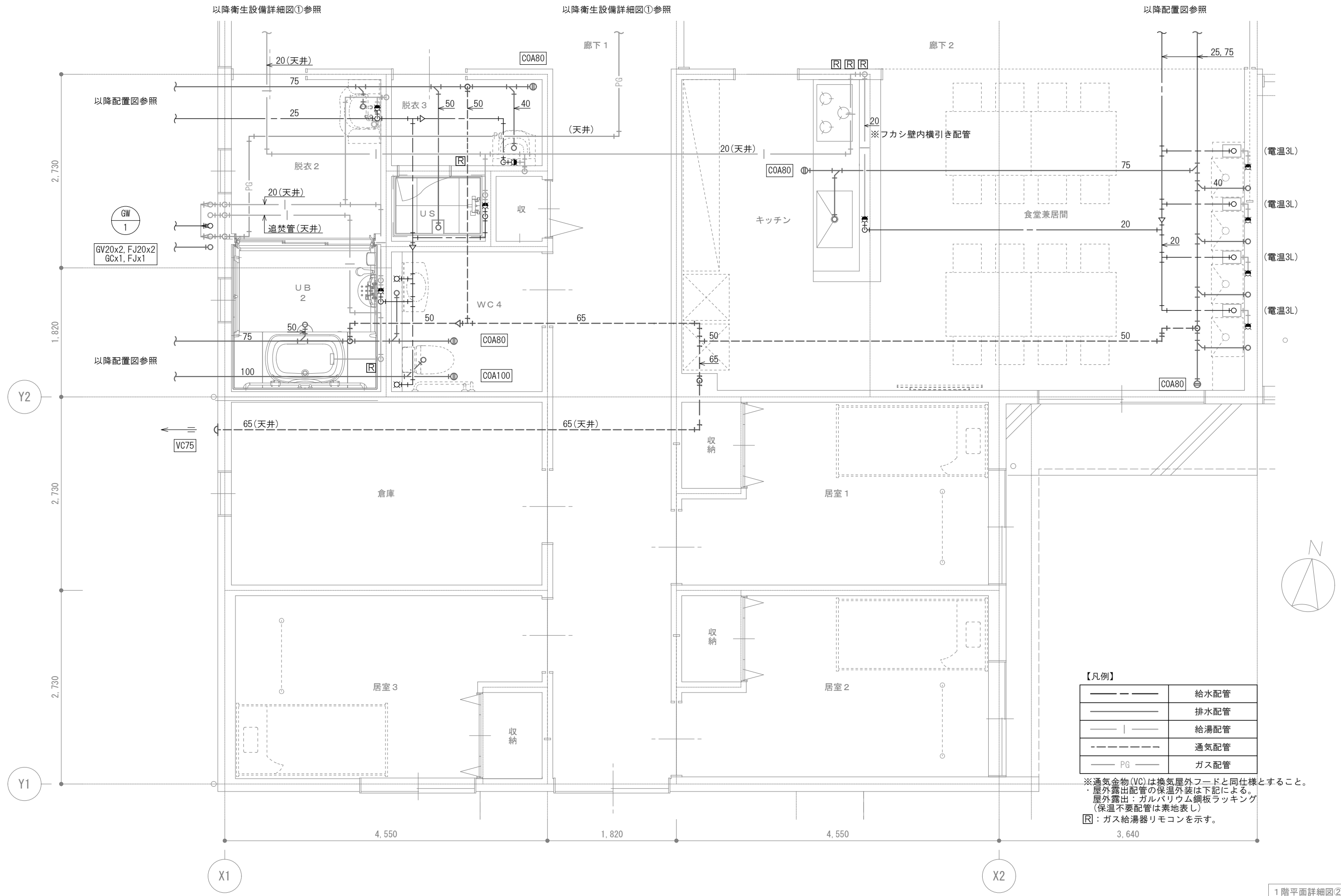


【凡例】

— — — — —	給水配管
—   —   —	排水配管
— · — · —	給湯配管
- - - - -	通気配管
— PG —	ガス配管

※通気金物 (VC) は換気屋外フードと同仕様とすること。  
 ・屋外露出配管の保温外装は下記による。  
 屋外露出：ガルバリウム鋼板ラッキング  
 (保温不要配管は素地表し)  
 [R]：ガス給湯器リモコンを示す。

1階平面詳細図①



以降衛生設備詳細図①参照

以降衛生設備詳細図①参照

以降配置図参照

以降配置図参照

以降配置図参照

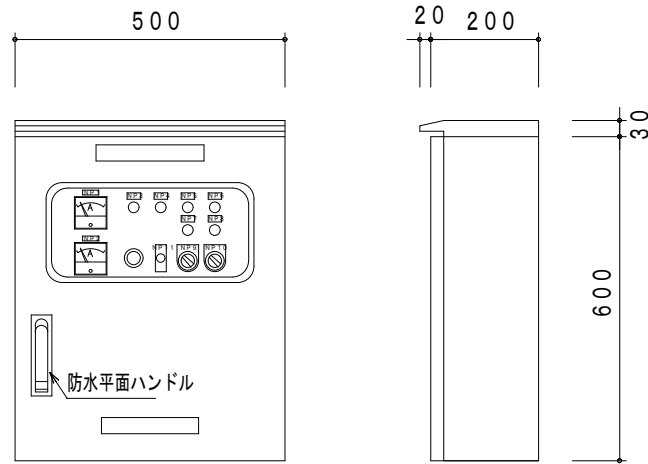
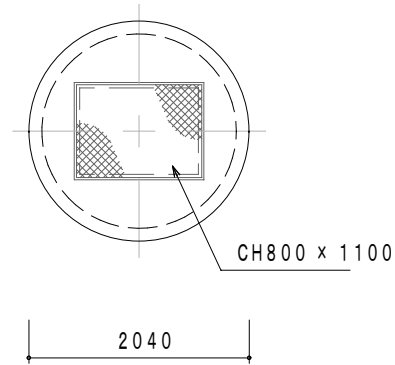
【凡例】

———	給水配管
———	排水配管
——— ———	給湯配管
----	通気配管
— PG —	ガス配管

※通気金物 (VC) は換気屋外フードと同仕様とすること。  
 ・屋外露出配管の保温外装は下記による。  
 屋外露出：ガルバリウム鋼板ラッキング  
 (保温不要配管は素地表し)  
 [R]：ガス給湯器リモコンを示す。

1階平面詳細図②

スラブ平面図 (1/70)

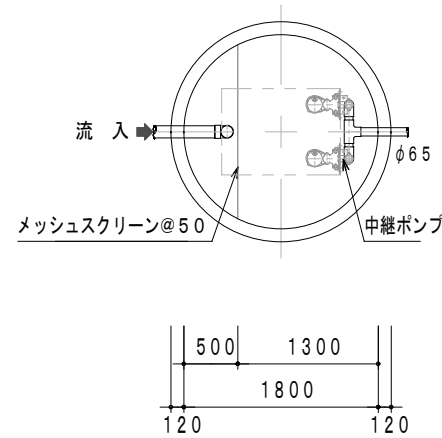


NO	名称
NP1	中継ポンプNo. 1
NP2	中継ポンプNo. 2
NP3	電源
NP4	過負荷
NP5	漏電
NP6	満水
NP7	中継ポンプNo. 1
NP8	中継ポンプNo. 2
NP9	中継ポンプ 手動一切-自動
NP10	中継ポンプ No. 1-自交-No. 2
NP11	プザー 切-入

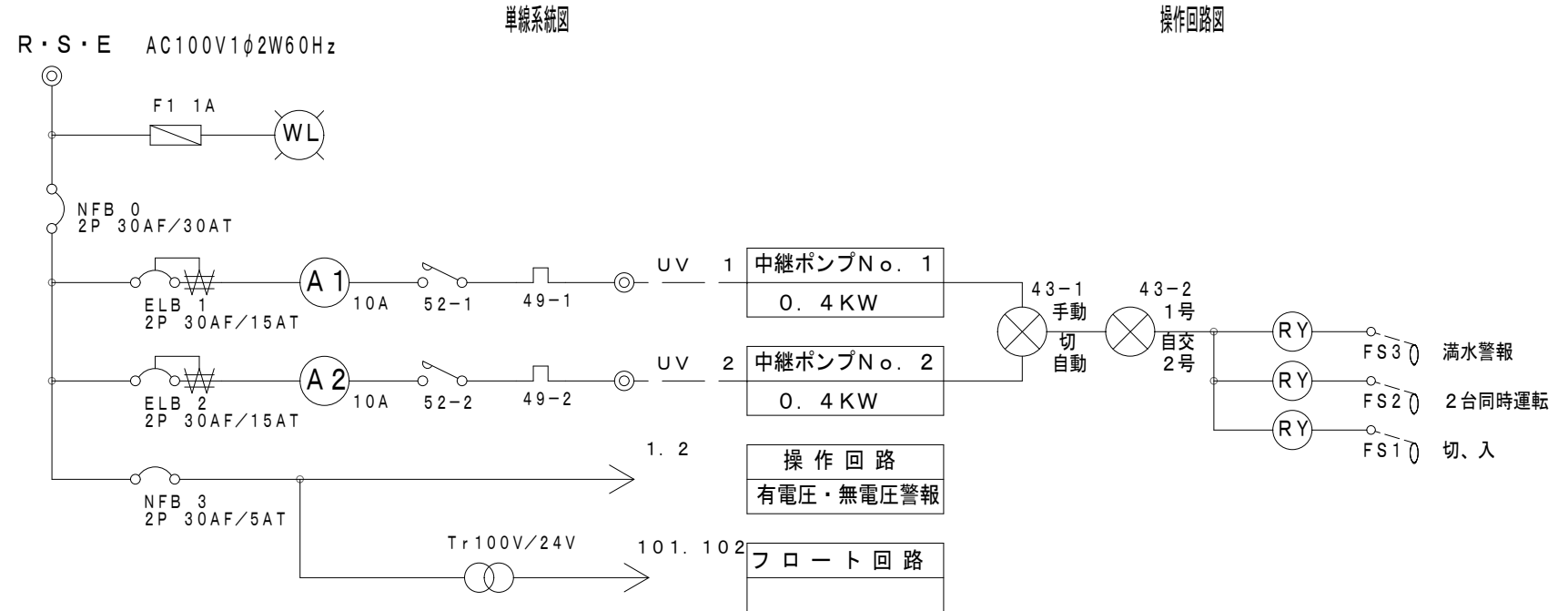
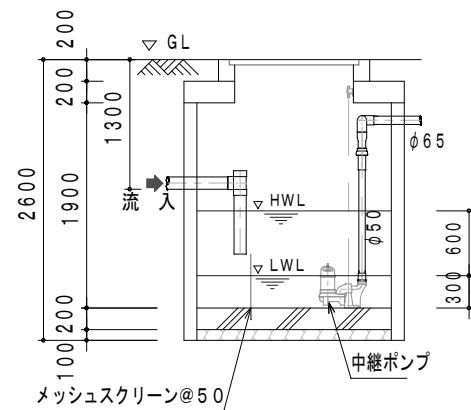
盤姿図 1/10

- \* 盤寸法は参考値とする。
- \* 故障時追従機能有り。
- \* 自動交互運転方式 (満水時中継ポンプ2台同時運転)。
- \* 盤は指定色焼付塗装とする。

槽内平面図 (1/70)



槽内断面図 (1/70)



設計容量  $1.82 \times \pi / 4 \times 0.6h = 1.52m^3$

機器仕様

名称	台数	仕様
中継ポンプ	2	φ50 x 0.15m3 / 分 x 6.5m x 0.4kw (単相100V)

特記事項

- \* 流入管・放流管は、槽外500以降は本工事範囲外とする。
- \* チェッカープレート(鑄鉄製)は、耐圧荷重5000kgにてボルトロック式とする。

凡 例

記号	名称	備 考
	スプリンクラーポンプ	40φ×80L/min×48m×1.5kw (水槽一体型ユニット・圧力タンク起動)
		水槽呼称容量: 1.5m <sup>3</sup> 有効容量1.34m <sup>3</sup>
	スプリンクラーヘッド	閉鎖型1種72°C (水道直結型) 15L/min 0.02MPa r=2.6m
	スプリンクラーヘッド	閉鎖型1種96°C (水道直結型) 15L/min 0.02MPa r=2.6m
	スプリンクラー配管	JIS G3452 SGP
	仕切弁	
	逆止弁	
	末端試験弁	25A ボール弁・圧力計・オリフィス

設 計 計 算 書

1. 揚水量

水道直結型スプリンクラー設備	15L/min・個×4個同時=60L/min
----------------	------------------------

2. 水槽容量

水道直結型スプリンクラー設備	60L/min×20分間=1200L/min=1.2m <sup>3</sup> (水槽有効容量1.34m <sup>3</sup> (規定水量の111%))
----------------	---

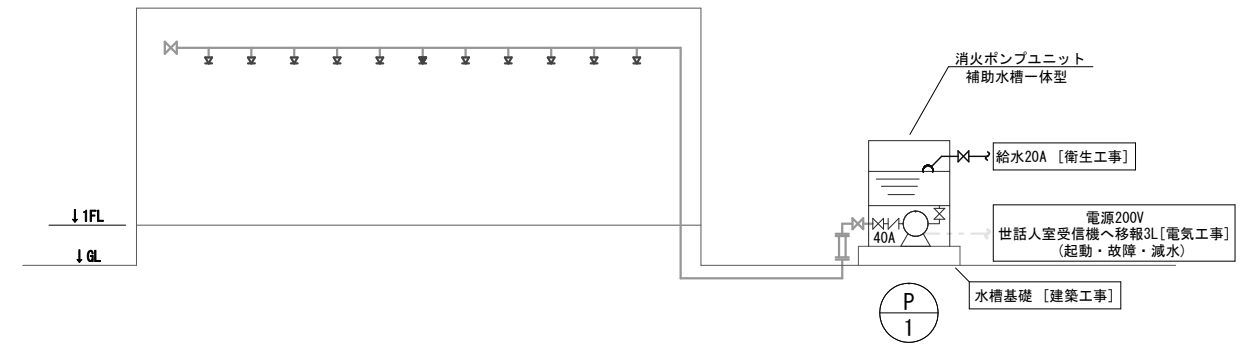
3. ポンプ能力

ノズル数 (個)	流量 (L/MIN)	管径 (mm)	エルブ°90° 個係数計	チース°分岐 個係数計	仕切弁 個係数計	逆止弁 個係数計	継手相当管長 (M)	直管長 (M)	総管長 (m)	損失水頭係数	損失水頭 (M)
1	15	25	0.0	1.7	0.0	0.0	1.7	2.5	4.2	0.013	0.0546
2	30	25	0.8	0.0	0.0	0.0	0.8	4.5	5.3	0.046	0.2438
4	60	25	0.8	1.7	0.0	0.0	9.0	37.0	46.0	0.167	7.6820
4	60	40	1.3	0.0	0.3	3.5	5.7	1.5	7.2	0.023	0.1656

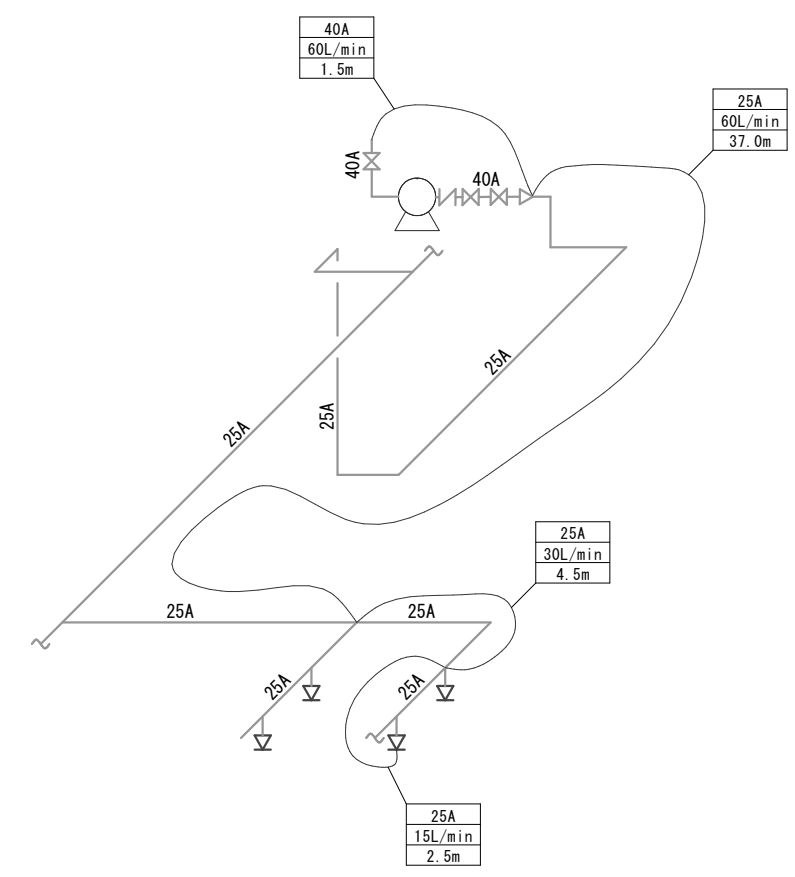
  

1. ポンプ全揚程 $H = h_5 \times 1.1 = 15.07m$	E	ポンプロ径	配管路・弁類	損失水頭 (M)
2. 揚水量 $Q = 60 L/min = 0.06m^3$	0.6	~40	h1 摩擦損失水頭合計	≒8.2 m
3. 電動機出力 $0.163 \times Q \times H \times K / E \approx 0.271$			h2 放射圧力	2.0 m
4. 使用ポンプ 40φ×80L/min×48m×1.5kw			h3 落差	3.0 m
			h4 巻き下げフレキ	0.5 m
				m
	K	動力の種類		m
	1.1	電動機直結	h5 ポンプ全揚程(総計)	13.7 m

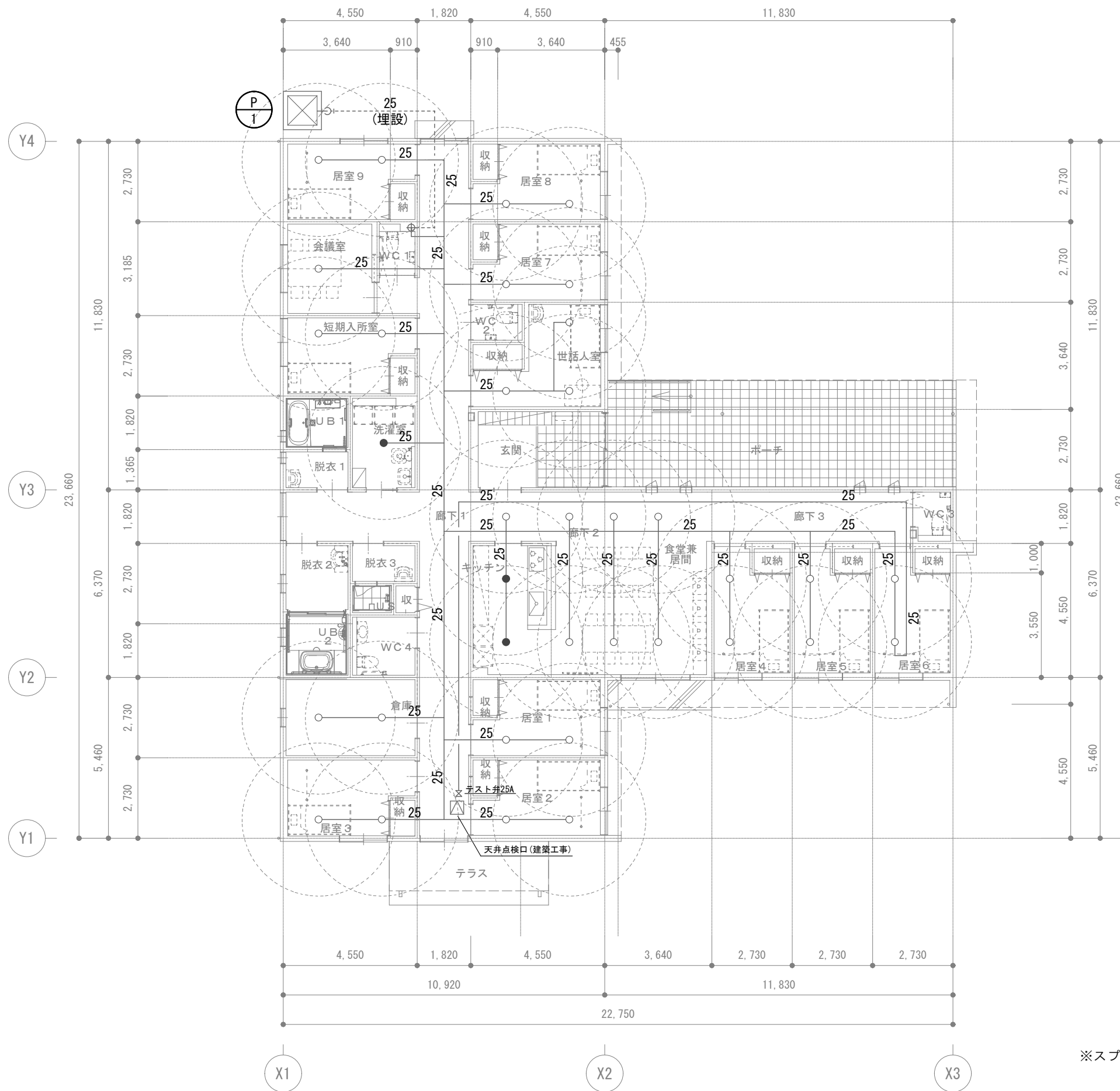
※室内に面する部分の仕上げについては全て不燃材又は準不燃材を使用するものとする



系統図



アイソメ図

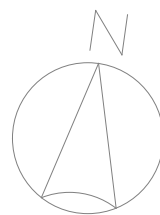
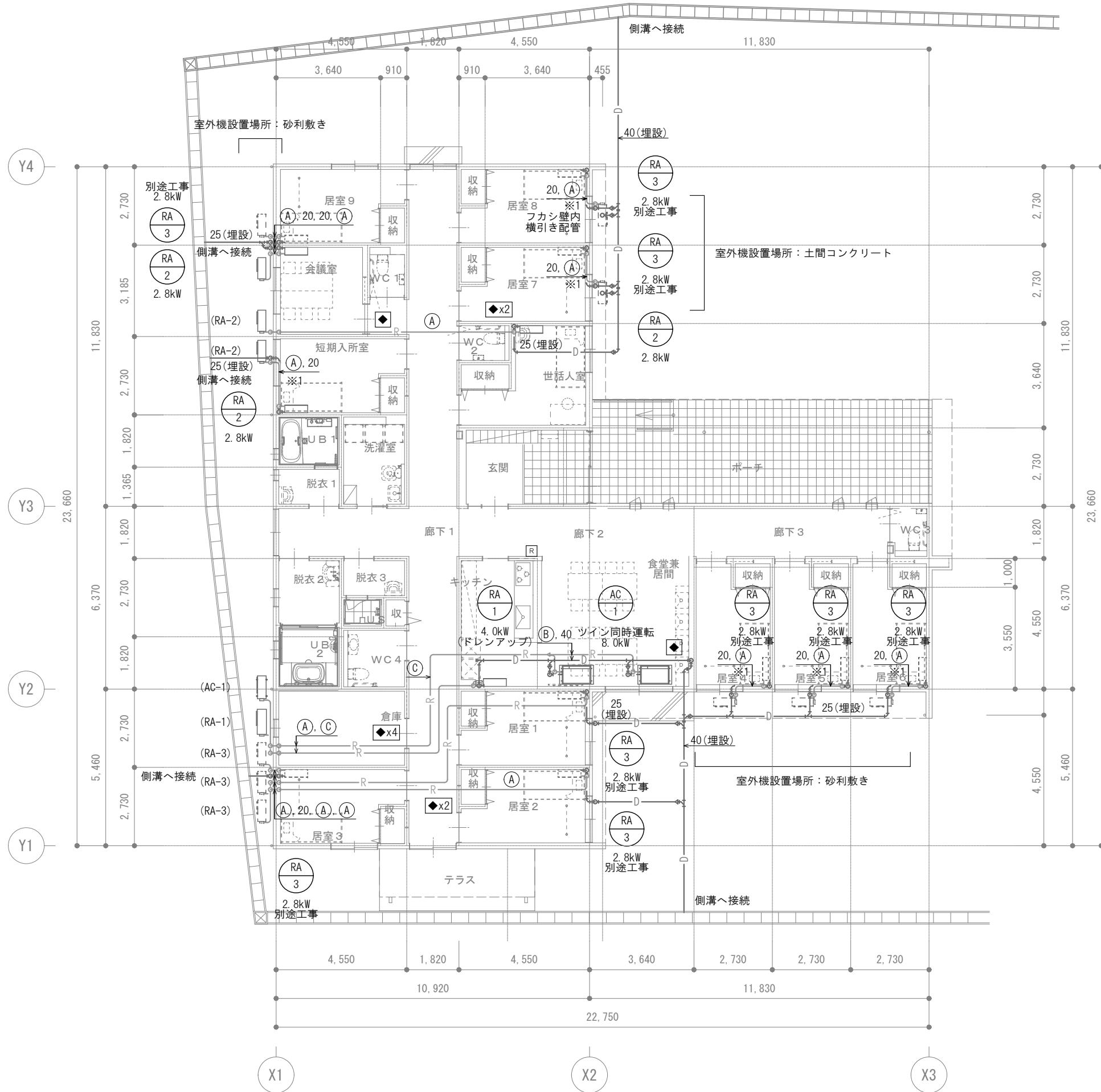


※スプリンクラーヘッドの設置されていない収納は全て2㎡未満

1階平面図

【空調機器表】

記号	名称	仕様	電源	台数	設置場所	参考型番
AC-1	空冷式パッケージエアコン	冷房能力 7.1 kW 消費電力 2.15 kW	1φ200V	1組	食堂兼居間	SZRK80CVD
	天井埋込カセット形	暖房能力 8.0 kW 消費電力 2.25 kW	室外電源	(外機 1台)		(ダイキン)
	1方向吹出	最大暖房低温能力 6.3 kW 消費電力 2.40 kW		(内機 2台)		
	ツイン同時運転	ファン(内/外) 78x2 / 90 W 圧縮機 1.70 kW				
		付属品 ワイヤードリモコン, 分岐管, 集中ドレンプラグ, 既成コンクリート置台, 転倒防止金具, 他標準付属品一式				
RA-1	ルームエアコン	冷房能力 4.0 kW 消費電力 1,370 W	1φ200V	1	キッチン	S406ATCP-W
	壁掛形	暖房能力 5.0 kW 消費電力 1,390 W	室内電源			(ダイキン)
		最大暖房低温能力 5.3 kW 消費電力 2,580 W				
		圧縮機 1,100 W				
		付属品 ワイヤレスリモコン(ホルダー共), ドレンアップキット, 既成コンクリート置台, 転倒防止金具, 他標準付属品一式				
RA-2	ルームエアコン	冷房能力 2.8 kW 消費電力 750 W	1φ100V	3	世話入室	S286ATCS-W
	壁掛形	暖房能力 3.6 kW 消費電力 865 W	室内電源		短期入所室	(ダイキン)
		最大暖房低温能力 3.4 kW 消費電力 1,250 W			会議室	
		圧縮機 750 W				
		付属品 ワイヤレスリモコン(ホルダー共), 既成コンクリート置台, 転倒防止金具, 他標準付属品一式				
RA-3	ルームエアコン	冷房能力 2.8 kW 消費電力 750 W	1φ100V	9	居室1~9	S286ATCS-W
	壁掛形	暖房能力 3.6 kW 消費電力 865 W	室内電源			(ダイキン)
		最大暖房低温能力 3.4 kW 消費電力 1,250 W				
		圧縮機 750 W				
		付属品 ワイヤレスリモコン(ホルダー共), 集中ドレンプラグ(居室7, 8の2カ所のみ), 既成コンクリート置台, 転倒防止金具, 他標準付属品一式				
	※別途工事 (配管は本工事)					



1階平面図

【凡例】

— R —	冷媒配管
— D —	ドレン配管
Ⓜ	リモコン

【冷媒サイズリスト】

記号	ガス管	液管
Ⓐ	9.5φ	6.4φ
Ⓑ	12.7φ	6.4φ
Ⓒ	15.9φ	9.5φ

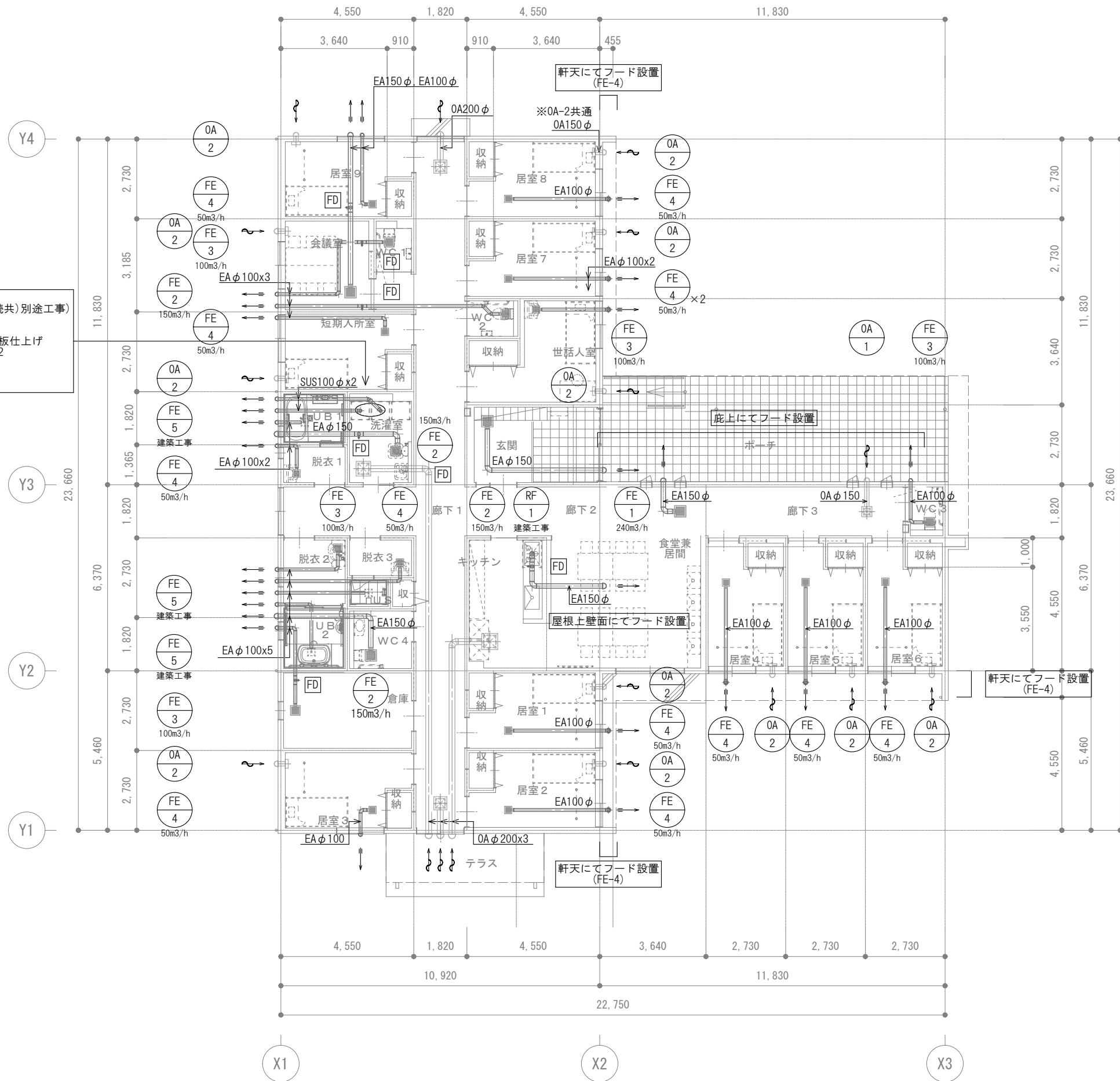
- ・ 渡り配線は冷媒管共巻きとする。
- ・ 屋内外露出配管の保温外装は下記による。  
 屋内露出：合成樹脂製カバー  
 屋外露出：ガルバリウム鋼板ラッキング  
 (保温不要配管は素地表し)
- ・ 砂利敷き箇所に設置の室外機のドレンはその場放流とする。
- ・ RA-3は機器工事(据付・配管接続共)は別途工事とし、配管工事は機械設備工事とする。
- ◆：防火区画貫通処理(国土交通大臣認定工法)を示す。

【換気機器表】

記号	名称	仕様	電源	台数	設置場所	参考型番	
FE-1	天井埋込型換気扇	風量 240 m <sup>3</sup> /h 接続ダクト 150 φ	1φ100V	1	食堂兼居間	VD-18ZXP14-C	
	低騒音形	静圧 80 Pa 消費電力 40.0 W					
	付属品	天吊金具, 他標準付属品一式					
FE-2	天井埋込型換気扇	風量 150 m <sup>3</sup> /h 接続ダクト 150 φ	1φ100V	4	WC4	VD-18ZX14-C	
	低騒音形	静圧 80 Pa 消費電力 28.5 W					
	付属品	天吊金具, 他標準付属品一式					
FE-3	天井埋込型換気扇	風量 100 m <sup>3</sup> /h 接続ダクト 100 φ	1φ100V	5	WC 1~3	VD-15ZX14-C	
	低騒音形	静圧 50 Pa 消費電力 14.0 W					
	付属品	天吊金具, 他標準付属品一式					
FE-4	天井埋込型換気扇	風量 50 m <sup>3</sup> /h 接続ダクト 100 φ	1φ100V	13	図示による	VD-10ZC14-C	
	低騒音形	静圧 50 Pa 消費電力 9.3 W					
	付属品	天吊金具, 他標準付属品一式					
FE-5	天井埋込型換気扇	ダクト接続迄機械設備工事		3	UB 1		
	(UB・USセット品)	接続ダクト: 100φ					UB 2
	建築工事						US
RF-1	レンジフード	ダクト接続迄機械設備工事		1	キッチン		
	建築工事	接続ダクト: 150φ					
0A-1	自然給気口	グリル型(風向調整機構付) 接続ダクト 150φ		1	廊下3	P-18GLF6	
	天井付	付属品 フィルター, 他標準付属品一式					
0A-2	自然給気口	グリル型(風向調整機構付) 接続ダクト 150φ		12	居室1~9	P-18WQU	
	壁付	付属品 フィルター, 他標準付属品一式					
							世話人室
					短期入所室		
					会議室		
	※フードは下記参照						
	SUS製軒天用フード(防虫網, 指定色)	100 φ		8			
	SUS製丸型フラットフード(覆い, 水切り付, 防虫網, 指定色)	100 φ		13			
	SUS製丸型フラットフード(覆い, 水切り付, 防虫網, 指定色)	150 φ		19			
	SUS製丸型フラットフード(覆い, 水切り付, 防虫網, 指定色)	200 φ		4			

※換気スイッチは配線共電気工事とする。

洗濯機上部にガス乾燥機×2台  
 (幹太くん 本体(据付及び配管ダクト接続共)別途工事)  
 下記部材は機械設備工事  
 排気ダクト: SUS100φ×2(保温施工)  
 屋内露出部はカラー亜鉛鉄板仕上げ  
 機器接続部: ダンパー付排湿ロガイド×2  
 (参考品番: DG-100CK)  
 屋外フード: 専用パイプフード×2  
 (参考品番: DF-100A)



1階平面図

室名	廊下1
器具名	VHS(F) 300×300
風量	OA 500 m <sup>3</sup> /h
ボックス	450×450×350H (内貼り 25mm)

×2

室名	キッチン
器具名	VHS(F) 400×400
風量	OA 690 m <sup>3</sup> /h
ボックス	550×550×350H (内貼り 25mm)

×1

室名	洗濯室
器具名	VHS(F) 350×350
風量	OA 590 m <sup>3</sup> /h
ボックス	500×500×350H (内貼り 25mm)

×1

- ⊠: UB/US天井扇(建築工事、ダクト接続迄機械設備工事)
- ⊞: 全熱交換器(カセット形)リモコン
- ⊞: 防火ダンパーを示す。